

平成 29 年度第 2 回加西市元気なまちづくり市民会議 次第

平成 29 年 7 月 22 日(土) 13 時～

加西市役所 4 階会議室

開会

1 委員紹介

2 議事

- (1) 28 年度事業の評価検証
 - ・外部評価（2 次評価）の進め方
- (2) 外部評価（2 次評価）の実施
 - ・3 部会での検討
 - ・全体会での検討

3 その他

閉会

配布資料

- ・資料 1 第 1 回部会 外部評価（2 次評価）実施要領
- ・総合計画施策評価一覧
- ・総合計画評価シート

【次回開催予定】

第 3 回 平成 29 年 8 月 19 日(土) 10:00～ 市役所 5 階会議室

※ 平成 28 年度事業の評価検証 等

平成 29 年度 第2回加西市元気なまちづくり市民会議 出席者名簿

(五十音順)

氏名	団体名等	役職	備考
小川 麻弥	連合保護者会	副会長	(欠席)
河尻 悟	神戸新聞社	北播総局加西支局長	
久米澤 稔	連合兵庫北播地域協議会	副議長	(欠席)
杉本 建人	加西商工会議所	専務理事	副会長
高見 めぐみ	女性農業者	—	(欠席)
多田 安洋	加西市区長会	副会長	
立花 莉絵子	加西市地域おこし協力隊	隊員	
辰巳 浩輝	北条金融協会	会長	
谷川 賢次	加西市連合 P T A	副会長	
橋本 たへ子	加西市連合婦人会	理事	
牧瀬 稔	関東学院大学法学部地域創生学科	准教授	会長
吉田 廣	加西市老人クラブ連合会	会長	

■市担当者（説明員）

氏 名	所属・役職名
西岡 義信	都市整備部長
高井 勝正	生活環境部長
河原 浩申	地域振興部長
奥隅 一博	健康福祉部長
山本 和孝	総務部長
達可 忠久	教育部長

■事務局

氏 名	所属・役職名
須貝 正俊	加西市理事（地域創生担当）
森井 和喜	ふるさと創造部長
藤後 靖	ふるさと創造部人口増政策課長
小菊 啓靖	ふるさと創造部人口増政策課課長補佐
小林 和敏	ふるさと創造部人口増政策課係長
菅生 綾子	ふるさと創造部人口増政策課主任
岩野 裕之	ふるさと創造部人口増政策課主任
小山 映	ふるさと創造部人口増政策課まちづくり専門員

第 1 回部会 外部評価（2 次評価）実施要領

1 外部評価（2 次評価）の進め方

(1) 部会での検討（90分）

① 市民の視点から各施策について別紙「総合計画施策評価一覧」を使い、内部評価（1 次評価）の総合評価（5 段階評価）と同様の基準で評価する。

評価方法は、施策毎の 1 次評価が妥当であるかを検討し、施策評価一覧の総合評価欄に S から D を書き込んでいく。

（総合評価基準の目安）

総合評価基準		説明	目標数値の達成度 単年(H28)の数値目安
S	目標を大きく上回って達成	計画を大きく上回る進捗があり、予定を大幅に超える成果を得ている	130 以上
A	目標を上回って達成	計画が順調に進捗し、予定以上の成果を得ている	110～129
B	目標を達成	計画通り概ね進捗し、一定の成果を得ている	90～109
C	目標を下回っている	計画より進捗が遅れ気味で、成果もあまり得られていない	70～89
D	目標を大きく下回っている	計画より進捗が遅れており、成果はまだ得られていない	69 以下

② 各施策に対する意見・提案等のコメントを出していく。

(2) 全体会にて各部会長より作業分までの総括・感想（20分：1 部会 3 分程度の報告後、意見交換）

2 部会の編成

部会名	対象政策	担当委員	事務局	説明員
①人づくり ・産業部会	政策 01 明日を担い 未来へつなげる人づくり 政策 02 郷土に誇りを持てる 家庭・学校・地域の輪づくり 政策 03 地域の豊かさと元気を 取り戻す産業づくり	杉本副会長 多田委員 橋本委員 谷川委員	須貝理事 岩野主任 小山専門員	教育委員会 達可部長 地域振興部 河原部長
②まちづくり ・くらし部会	政策 04 都市の魅力と快適さを 高めるまちづくり 政策 05 誰もが最期まで元気に 暮らせる健康づくり 政策 06 身近な幸せを実感できる 安全と安心の暮らしづくり	河尻委員 高見委員 立花委員 吉田委員	藤後課長 小菊補佐 菅生主任	健康福祉部 奥隅部長 都市整備部 西岡部長
③環境 ・地域経営部会	政策 07 自然環境の保全と 特色ある景観づくり 政策 08 循環型社会をめざす 生活環境づくり 政策 09 住民参画・男女参画で 地域を元気にする加西 政策 10 健全な行財政運営の確立	牧瀬会長 久米澤委員 辰巳委員 小川委員	森井部長 小林係長	総務部 山本部長 生活環境部 高井部長

平成28年度評価

基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり
施策	1 誰もが学べる学習環境づくり
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。
関連課名	生涯学習課、図書館、文化・観光・スポーツ課

基本計画	1 公民館を中心に生涯学習機会の充実と情報発信を推進します。		
------	--------------------------------	--	--

主管部課	部名	教育委員会	課名	生涯学習課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・積極的な情報提供 ・学習内容の充実及び多様な生涯学習機会の提供	・同左	・同左
	経費(千円)	2,701	3,300	3,300

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★公民館主催年間講座数【5-88】 (1回だけの単発講座を除く)	目標		40	42	44	46	50	50
	実績	—	40	39				
(指標及びH32目標値の設定理由) 生涯学習の中核機関である公民館の主催講座数。現状数をほぼ維持。	目標数値の達成度	単年度	100%	93%				
		最終年度	80%	78%				

H28取組状況・課題と今後の取組についてのコメント

H28取組状況	地域の文化やボランティア養成講座、社会課題に応じた公民館主催講座を連続講座39、単発講座13、合計52講座開催し、昨年より500人減、延8,930人が参加しました。生涯学習情報については、市広報誌の外、新聞、チラシ、ブログやSNS等のインターネットなど、様々な媒体を活用し情報提供を行っています。
---------	--

課題と今後の取組	主催講座の参加者が地域活動に参加するなど、少しずつ学習成果を還元できるようになってきています。自主的に学ぶ登録グループの高齢化と固定化が進み、活性化を図る必要があります。今後も引き続き、社会課題の解決を図るものや地域ニーズに対応した学習機会を提供していきます。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度	今後の方針	
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	93%	78%	B: 目標を達成	②継続

指標の進捗状況	目標数値に対する担当課による達成度	基本計画に対する担当課による自己評価	基本計画の今後の方針
①未着手	S: 予定より早く進行	S: 目標を大きく上回って達成	①完了
②実行中	A: 予定通り進行	A: 目標を上回って達成	②継続
③完了	B: 予定より遅延	B: 目標を達成	③見直し
		C: 目標を下回っている	④廃止
		D: 目標を大きく下回っている	

変更する内容	
--------	--

取組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★公民館主催年間講座数(1回だけの単発講座を除く)【5-88】 (定義)公民館の単発講座を除く主催講座の数 (根拠)公民館主催講座の開催実績から算定 (担当者)生涯学習課長 (目標値10年)当初(H22):一講座 現状:40講座 5年後:50講座 (目標値3年)平成30年度:46講座 平成31年度:50講座 平成32年度:50講座
------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり
施策	1 誰もが学べる学習環境づくり
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。
関連課名	生涯学習課、図書館、文化・観光・スポーツ課

基本計画	1 公民館を中心に生涯学習機会の充実と情報発信を推進します。
------	--------------------------------

主管部課	部名	教育委員会	課名	生涯学習課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・積極的な情報提供 ・学習内容の充実及び多様な生涯学習機会の提供	・同左	・同左
	経費(千円)	2,701	3,300	3,300

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★公民館主催年間講座数【5-88】 (1回だけの単発講座を除く)	目標	/	40	42	44	46	50	50
	実績	—	40	39				
(指標及びH32目標値の設定理由) 生涯学習の中核機関である公民館の主催講座数。現状数をほぼ維持。	目標数値の達成度	単年度	100%	93%				
		最終年度	80%	78%				

H28取組状況	地域の文化やボランティア養成講座、社会課題に応じた公民館主催講座を連続講座39、単発講座13、合計52講座開催し、昨年より500人減、延8,930人が参加しました。生涯学習情報については、市広報誌の外、新聞、チラシ、ブログやSNS等のインターネットなど、様々な媒体を活用し情報提供を行っています。
---------	--

課題と今後の取組	主催講座の参加者が地域活動に参加するなど、少しずつ学習成果を還元できるようになってきています。自主的に学ぶ登録グループの高齢化と固定化が進み、活性化を図る必要があります。今後も引き続き、社会課題の解決を図るものや地域ニーズに対応した学習機会を提供していきます。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	93%	78%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・積極的な情報提供 ・学習内容の充実及び多様な生涯学習機会の提供	同左	
	経費(千円)	3,800	3,800	

変更する内容	
--------	--

取組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★公民館主催年間講座数(1回だけの単発講座を除く)【5-88】 (定義)公民館の単発講座を除く主催講座の数 (根拠)公民館主催講座の開催実績から算定 (担当者)生涯学習課長 (目標値10年)当初(H22):一講座 現状:40講座 5年後:50講座 (目標値3年)平成30年度:46講座 平成31年度:50講座 平成32年度:50講座
------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり
施策	1 誰もが学べる学習環境づくり
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。
関連課名	生涯学習課、図書館、文化・観光・スポーツ課

基本計画	2 公民館登録グループによる社会貢献活動推進のため、研修会やコーディネート等の活動支援を行います。		
------	---	--	--

主管部課	部名	教育委員会	課名	生涯学習課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・「公民館まちづくり出前講座」制度の拡充	・同左	・同左
	経費(千円)	0	0	0

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
公民館登録グループ社会貢献活動コーディネート制度(公民館出前講座)参加グループ数	目標		30	35	40	45	50	60
	実績	—	25	29				
(指標及びH32目標値の設定理由) 出前講座実施グループ実数。10年後に約半数のグループが実施と設定。	目標数値の達成度	単年度	83%	83%				
		最終年度	42%	48%				

H28取組状況	公民館登録グループの29グループが49回にわたり、市民3,877人に対して出前講座を行いました。制度の普及啓発により年々依頼が増えています。
---------	--

課題と今後の取組	実施延回数や参加人数は増加していますが、実施する登録グループには偏りが見られます。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	83%	48%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・「公民館まちづくり出前講座」制度の拡充	同左	
	経費(千円)	0	0	

変更する内容	
--------	--

取組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名) 公民館登録グループ社会貢献活動コーディネート制度(公民館出前講座)参加グループ数 (定義) 公民館で学んだ学習成果を地域へ還元し、地域貢献を推進する (根拠) 各公民館で社会貢献活動を実施するグループから算定 (担当者) 生涯学習課長 (目標値10年) 当初(H22): ーグループ 現状: 30グループ 5年後: 60グループ (目標値3年) 平成30年度: 45グループ 平成31年度: 50グループ 平成32年度: 60グループ</p>
------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり
施策	1 誰もが学べる学習環境づくり
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。
関連課名	生涯学習課、図書館、文化・観光・スポーツ課

基本計画	3 幅広く高度な情報が提供できるよう館外における図書館サービスを拡充します。また、播磨管内図書館での貸出が可能となり、読書の機会充実に努めます。		
------	--	--	--

主管部課	部名	教育委員会	課名	図書館
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・学校図書館との連携の促進 ・各種イベントの実施 ・図書館資料の充実	・学校図書館との連携強化 ・アステアかさい連携事業の充実	・学校図書館との連携強化 ・アステアかさい連携事業の充実
	経費(千円)	118,622	119,320	119,320

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
年間図書館来館者数(万人)	目標		23	23	23	24	24	25
	実績	26	23	22				
(指標及びH32目標値の設定理由) 図書館への来館者数の減少傾向をストップし、増加を目指す。	目標数値の達成度	単年度	100%	96%				
		最終年度	92%	88%				

H28取組状況	学校図書館と市立図書館の連携事業として学校託送や読み聞かせの出前講座を行い、子どもたちの読書活動の推進を図るよう努めました。また、播州弁検定や図書館まつり、キッズクラフト等の各種イベントを行い、図書館に足を運んでもらえるように努めました。
---------	---

課題と今後の取組	図書館に全く興味がない方に図書館を知ってもらうことが必要であるため、各種イベントを企画していきます。複合施設であるアステアかさいの中にあるということで、アステアと連携しながら来館者増を図る必要があります。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	96%	88%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・学校図書館コーディネーターの活用による学校図書館との連携の充実 ・各種イベントの充実	・同左	
	経費(千円)	124,505	124,505	

変更する内容	
--------	--

取組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)年間図書館来館者数 (定義)加西市立図書館の年間来館者数 (根拠)集計データに基づく (担当者)図書館長 (目標値10年)当初(H22):26万人 現状:23万人 5年後:25万人 (目標値3年)平成30年度:24万人 平成31年度:24万人 平成31年度:25万人
------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり
施策	1 誰もが学べる学習環境づくり
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。
関連課名	生涯学習課、図書館、文化・観光・スポーツ課

基本計画	4 芸術文化の薫り高い市民生活を創出します。
------	------------------------

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	文化・観光・スポーツ課
------	----	---------	----	-------------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・加西市文化連盟の指導・育成 ・加西市文化祭の開催	・加西市文化連盟の指導・育成 ・加西市文化祭の開催 ・文化連盟50周年記念事業	・加西市文化連盟の指導・育成 ・加西市文化祭の開催 ・東はりま大茶会
	経費(千円)	3,377	4,000	4,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
加西市文化祭参加者人数	目標		2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
	実績	—	2,440	2,791				
(指標及びH32目標値の設定理由) 加西市文化祭参加者人数(出演者・出品者)について一定の水準を維持するよう、27年度の実績をもとに目標値として設定した。	目標数値の達成度	単年度	102%	116%				
		最終年度	102%	116%				

H28取組状況 平成28年度は、文化祭をはじめとする文化活動の主な拠点である加西市民会館文化ホールが耐震改修工事で9か月間にわたって使用できなかったため、各事業の開催方法を見直したり工夫したりすることによって、できるだけ参加者の満足度を落とさずに事業等を開催できるようサポートを行いました。

課題と今後の取組 市文化連盟においては徐々に会員の理解と信頼が得られつつありますが、会員の固定化・高齢化も手伝い、自律的・発展的な活動が難しくなっています。今後も継続して指導・支援を行い、市民自ら創造する芸術文化の薫り高い市民生活を目指します。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	116%	116%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・加西市文化連盟の指導・育成 ・加西市文化祭の開催 ・東はりま大茶会	・加西市文化連盟の指導・育成 ・加西市文化祭の開催	
	経費(千円)	4,000	3,500	

変更する内容

※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)
 (指標名)加西市文化祭参加者人数
 (定義)加西市文化祭における出演者・出品者のべ人数
 (根拠)同上
 (担当者)文化・観光・スポーツ課長
 (目標値10年)当初(H22): 一人 現状: 2,400人 5年後: 2,400人
 (目標値3年)平成30年度: 2,400人 平成31年度: 2,400人 平成32年度: 2,400人

取り組みの進捗状況を確認するための数値 [再掲]

平成28年度評価

基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり
施策	1 誰もが学べる学習環境づくり
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。
関連課名	生涯学習課、図書館、文化・観光・スポーツ課

基本計画	5 ★地域での子どもの共育活動を推進します。		
------	------------------------	--	--

主管部課	部名	教育委員会	課名	生涯学習課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・学校家庭地域が連携し、土曜日に教育活動を実施 ・5校区で実施	・同左	・同左
	経費(千円)	2,669	2,669	2,669

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★土曜チャレンジ学習事業(校区)【5-83】	目標		3	5	5	5	5	5
	実績	—	3	5				
(指標及びH32目標値の設定理由) 学校家庭地域の連携協力推進事業のうち、代表的な事業の土曜日の教育活動事業の実施校数。小学校区の約半数と設定。	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	60%	100%				

H28取組状況	平成27年度より開始し、北条小・北条東小・下里小・富合小・宇仁小学校区で学校や地域団体と連携して、土曜日等学校休業日に教育活動事業を実施。47回にわたり、延1,590人の小学生が参加し、非常に参加者の多い事業となっています。
---------	--

課題と今後の取組	今後も学校や地域団体、家庭との連携・協力を推進し、地域で学ぶ教育活動を継続するとともに新しい校区での実施を目指します。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・学校家庭地域が連携し、土曜日に教育活動を実施 ・7校区で実施	・同左	
	経費(千円)	2,600	2,600	

変更する内容	(平成29年度から総合教育センターへ所管がかわります)
--------	-----------------------------

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★土曜チャレンジ学習事業【5-83】 (定義)土曜日の教育活動事業実施学校数 (根拠)土曜日の教育活動事業実施学校数から算定 (担当者)生涯学習課長 (目標値10年)当初(H22):一校区 現状:3校区 5年後:5校区 (目標値3年)平成30年度:5校区 平成31年度:5校区 平成31年度:5校区
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり
施策	2 主体的な青少年活動
到達目標	青少年の健全かつ自主的な活動を推進するため、それを支える人づくりをめざします。
関連課名	総合教育センター

基本計画	1 様々な地域事業に参画し、青少年活動事業の充実を図ります。
------	--------------------------------

主管部課	部名	教育委員会	課名	総合教育センター
------	----	-------	----	----------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域事業に参画 ・うれしの春のフェスティバル ・東日本支援事業(ハチドリ祭り)に参画 ・夏祭り大作戦 ・クリスマス大作戦 ・成人式 ・交流会(年間7回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域事業に参画 ・うれしの春のフェスティバル ・東日本支援事業(ハチドリ祭り)に参画 ・夏祭り大作戦 ・クリスマス大作戦 ・成人式 ・交流会(年間7回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域事業に参画 ・うれしの春のフェスティバル ・東日本支援事業(ハチドリ祭り)に参画 ・夏祭り大作戦 ・クリスマス大作戦 ・成人式 ・交流会(年間7回)
	経費(千円)	183	183	183

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
若者広場年間事業数(回)	目標		6	7	7	8	9	10
	実績	3	6	5				
(指標及びH32目標値の設定理由) 参画する地域事業の回数を示すもので、当初 値から3倍を設定	目標数値の 達成度	単年度	100%	71%				
		最終年度	60%	50%				

H28取組状況	加西サイサイまつりににおいて「お化け屋敷大作戦2016」を実施し、約1,000名が来場しました。その他、成人式の企画運営にも携わりました。各事業を通して市内外の若者団体との交流を図っています。
---------	--

課題と今後の取組	各種団体との交流は定着しています。しかし、青年連絡会の会員数の減少に伴い、参画する事業の数が減少しています。今後、会員数の増加と事業の活性化が望まれます。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	71%	50%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域事業に参画 ・うれしの春のフェスティバル ・東日本支援事業(ハチドリ祭り)に参画 ・夏祭り大作戦 ・クリスマス大作戦 ・成人式 ・交流会(年間7回) 	・同左	
	経費(千円)	183	183	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)若者広場年間事業数 (定義)若者が主体となって様々なグループと連携して行う交流事業の数 (根拠)加西市青年連絡会「えんどれす」の実施状況より設定 (担当者)総合教育センター所長 (目標値10年)当初(H22):3回 現状:6回 5年後:10回 (目標値3年)平成30年度:8回 平成31年度:9回 平成32年度:10回
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり
施策	2 主体的な青少年活動
到達目標	青少年の健全かつ自主的な活動を推進するため、それを支える人づくりをめざします。
関連課名	総合教育センター

基本計画	2 地域のお兄さん、お姉さん、あるいはおじさん、おばさんとして、より近い立場で青少年に接していく青少年団体連絡協議会の育成と支援を行います。また青少年活動指導者の確保・育成を行います。		
------	--	--	--

主管部課	部名	教育委員会	課名	総合教育センター
------	----	-------	----	----------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・ジュニアリーダー教室 ・デイキャンプ ・ご来光のつどい ・とんど焼き	・ジュニアリーダー教室 ・デイキャンプ ・ご来光のつどい ・とんど焼き	・ジュニアリーダー教室 ・デイキャンプ ・ご来光のつどい ・とんど焼き
	経費(千円)	280	280	280

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
青少年団体連絡協議会登録者数(人)	目標		30	30	30	40	40	50
	実績	—	30	30				
(指標及びH32目標値の設定理由) 青少年団体連絡協議会の各団体の登録者の合計人数を示し、事業内容をもとに50名を設定	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	60%	60%				

H28取組状況	空手やボーイスカウトなど青少年の健全育成を目指す団体の指導者が、長年にわたり熱心に活動しています。恒例となっています「ご来光のつどい」には、例年約500名が参加しています。
---------	--

課題と今後の取組	会員数が増加し活動が活性化するよう、進学や就職により団体を離れた後も再加入し活動できるような継続的な情報提供を含む声かけや、新規メンバーの獲得につながる広報活動が必要です。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	60%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・ジュニアリーダー教室 ・デイキャンプ ・ご来光のつどい ・とんど焼き	・同左	
	経費(千円)	280	280	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)		
	(指標名) 青少年団体連絡協議会登録者数 (定義) 地域のお兄さん、お姉さん、あるいはおじさん、おばさんとして、より近い立場で青少年に接していく人材の登録人数 (根拠) 青少年団体連絡協議会の各団体の登録者総数 (担当者) 総合教育センター所長 (目標値10年) 当初(H22): 一人 現状: 30人 5年後: 50人 (目標値3年) 平成30年度: 40人 平成31年度: 40人 平成32年度: 50人		

平成28年度評価

基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり
施策	3 地域で楽しめる体カづくり
到達目標	施設の活用と指導者の育成によって、誰もが気軽にスポーツ、レクリエーション活動に親しめるまちをめざします。
関連課名	文化・観光・スポーツ課

基本計画	1 住民のニーズに合わせた施設の有効活用を行い、住民が身近な場所でスポーツを楽しめる機会を拡充します。
------	---

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	文化・観光・スポーツ課
------	----	---------	----	-------------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	ウォーキングコース増設	ウォーキングコース増設	ウォーキングコース増設
	経費(千円)	2,920	100	100

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市が所管するスポーツ施設の年間利用者数(人)	目標		89,000	89,200	89,400	89,600	89,800	90,000
	実績	78,000	88,890	83,896				
(指標及びH32目標値の設定理由) 多くの住民がスポーツを楽しめる機会の充実を図るため、1000人増を設定。	目標数値の達成度	単年度	100%	94%				
		最終年度	99%	93%				

H28取組状況	ウォーキングコース増設を予定していたが、施設修繕の必要が生じたため予定を変更し、市民グラウンド防球ネット設置、アラジスタジアム・テニスコート自家用電気工作物修繕、アラジスタジアムカウント掲示板修繕等を行いました。
---------	--

課題と今後の取組	平成29年度からも取組内容をウォーキング増設から施設の改修に変更予定です。また、体育施設の利用人数向上を図るため、市内スポーツ団体や指定管理者と連携し、スポーツ教室やイベントを開催する必要があります。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	94%	93%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	経費(千円)	7,500	100	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)市が所管するスポーツ施設の利用者数 (定義)勤労者体育センター、加西球場、加西市民グラウンド、加西テニスコート、加西南テニスコート、アクアスカサイ、すぱーく加西、多目的グラウンド、加西南多目的グラウンド、加西南ゲートボール場、ぜんぼうグリーンパークの年間利用者数 (根拠)指定管理者等からの集計データに基づき過去の実績データから算出 (担当者)文化・観光・スポーツ課長 (目標値10年)当初(H22):78,000人 現状:89,000人 5年後:90,000人 (目標値3年)平成30年度:89,600人 平成31年度:89,800人 平成32年度:90,000人</p>
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり
施策	3 地域で楽しめる体カづくり
到達目標	施設の活用と指導者の育成によって、誰もが気軽にスポーツ、レクリエーション活動に親しめるまちをめざします。
関連課名	文化・観光・スポーツ課

基本計画	2 地域に密着して活動しているグループのリーダーや指導者を養成し、活動を支援します。		
------	--	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	文化・観光・スポーツ課
------	----	---------	----	-------------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・指導者養成講座開催	・指導者養成講座開催	・指導者養成講座開催
	経費(千円)	100	150	150

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
指導者養成講座の参加人数	目標		100	105	110	115	120	125
	実績	—	110	93				
(指標及びH32目標値の設定理由) 指導者不足の解消のため指導者養成講座参加者を約100名増の125名とする。	目標数値の達成度	単年度	110%	89%				
		最終年度	88%	74%				

H28取組状況	環太平洋大学との連携による指導者養成講座(実技研修)を開催しました。
---------	------------------------------------

課題と今後の取組	スポーツ推進計画に基づき、各スポーツ団体の連携協力を図り、指導者不足を解消するための講習会や研修が必要です。 また、平成29年度から補助金を活用した指導者講習会等を実施するため予算額を変更予定です。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	89%	74%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・指導者養成講座開催	・同左	
	経費(千円)	150	150	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)指導者養成講座の参加人数 (定義)実技及び講義による指導者養成講座の参加者数 (根拠)指導者養成講座の参加者数から算定 (担当者)文化・観光・スポーツ課長 (目標値10年)当初(H22):一人 現状:100人 5年後:125人 (目標値3年)平成30年度:115人 平成31年度:120人 平成32年度:125人
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり
施策	3 地域で楽しめる体カづくり
到達目標	施設の活用と指導者の育成によって、誰もが気軽にスポーツ、レクリエーション活動に親しめるまちをめざします。
関連課名	文化・観光・スポーツ課

基本計画	3 高齢者や障がい者を含めたスポーツ、レクリエーション活動を推進します。
------	--------------------------------------

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	文化・観光・スポーツ課
------	----	---------	----	-------------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・ニュースポーツ教室開催 ・各スポーツ教室開催	・ニュースポーツ教室開催 ・各スポーツ教室開催	・ニュースポーツ教室開催 ・各スポーツ教室開催
	経費(千円)	500	500	500

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
スポーツ教室の年間参加人数	目標		300	320	340	360	380	400
	実績	—	353	391				
(指標及びH32目標値の設定理由) 市及びスポーツ推進委員会が開催するスポーツ教室の参加者数をH32に100人増とする。	目標数値の達成度	単年度	118%	122%				
		最終年度	88%	98%				

H28取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全年齢層を対象としたフットサル教室を開催しました。 ・スポーツ少年団対象のサッカー教室を実施しました。 ・中学生以上を対象としたダブルダッチ教室を実施しました。 ・小学生を対象としたブラインドサッカー(障がい者スポーツ)教室を開催しました。
---------	--

課題と今後の取組	子どもから大人まで、幅広い年代が参加できるスポーツ教室を開催し、市民誰もが参加できる環境を作っていくことが必要です。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	122%	98%	A: 目標を上回って達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・ニュースポーツ教室開催 ・各スポーツ教室開催	・同左	
	経費(千円)	500	500	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)スポーツ教室の年間参加人数 (定義)市及びスポーツ推進委員会が開催するスポーツ教室の参加者数 (根拠)スポーツ教室の参加者数から算定 (担当者)文化・観光・スポーツ課長 (目標値10年)当初(H22): 一人 現状: 300人 5年後: 400人 (目標値3年)平成30年度: 360人 平成31年度: 380人 平成32年度: 400人</p>
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり
施策	4 出会いを求める若者の応援
到達目標	出会いを求める人たちが「自分に合う」方法で幸福をつかむことができるまちをめざします。
関連課名	ふるさと創造課

基本計画	1 事業者と連携し、若者の出会いの場のサポート制度を構築するとともに、特色あるイベントの実施に努めます。
------	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	ふるさと創造課
------	----	---------	----	---------

実施スケジュール	取組内容	H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
		婚活コラボ事業	婚活コラボ事業	婚活コラボ事業
	経費(千円)	17	0	0

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
カップル成立年間組数【1-17】	目標		19	20	20	20	20	20
	実績	—	22	3				
(指標及びH32目標値の設定理由) 婚活実施事業数を3~4回 1回あたりのカップル数を5として算定	目標数値の達成度	単年度	116%	15%				
		最終年度	110%	15%				

H28取組状況	料理・スポーツを男女混合で行う「共同作業」を取り入れました。メリットは男女のコミュニケーションが活発になったことです。フリータイムの時間を取らず、グループで過ごす時間を増やすことで内気な男女には良い時間となりました。オークタウンを使用することで自然と触れ合えるイベントになり、加西市のPRができました。
---------	---

課題と今後の取組	残念ながら成立カップルが市外在住者ばかりでした。今後は加西市在住者の参加料金を低額にするなど対応が必要です。また、平成29年度から出会いサポートセンター開設のため予算額を変更予定です。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	15%	15%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		婚活コラボ事業	婚活コラボ事業	婚活コラボ事業
	経費(千円)	0	0	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)カップル成立年間組数【1-17】 (定義)カップリング事業において、男女の意思によりカップルとなったもの (根拠)カップリング事業1回あたり3組を目標とし、事業回数を乗ずる。 (担当者)ふるさと創造課長 (目標値10年)当初(H22):一組 現状:19組 5年後:20組 (目標値3年)平成30年度:20組 平成31年度:20組 平成32年度:20組
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり
施策	4 出会いを求める若者の応援
到達目標	出会いを求める人たちが「自分に合う」方法で幸福をつかむことができるまちをめざします。
関連課名	ふるさと創造課

基本計画	2 関係機関を通じて、企業や事業者等の協力を得ながら職域相互の若者交流等、若者が気軽に会えるイベントや交流機会の創出を支援します。		
------	---	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	ふるさと創造課
------	----	---------	----	---------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容			
	経費(千円)	0		

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
職域交流年間事業数(回)	目標		1	1	1	1	1	2
	実績	0	5	1				
(指標及びH32目標値の設定理由) 会議所との連携による。加西市の規模であれば1回が妥当であるため。	目標数値の達成度	単年度	500%	100%				
		最終年度	250%	50%				

H28取組状況	加西商工会議所青年部主催の婚活イベントを開催。市内製造業にて、ものづくりと一緒に体験する「DIYこん」として、青年部のメンバーを中心に運営。男女14人ずつが参加し、3組のカップルが成立。市はイベントPRや広報掲載など情報発信に協力した。男性2人は加西市の方でした。
---------	--

課題と今後の取組	異業種交流を特記化せず、上記婚活プログラムに含めます。
----------	-----------------------------

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	50%	B: 目標を達成	④廃止

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容			
	経費(千円)			

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)職域交流年間事業数 (定義)複数の企業団体の独身従業員同士による交流会開催数 (根拠)以前に実施していた実績と市内産業団地への企業進出と採用状況から算出 (担当者)ふるさと創造課長 (目標値10年)当初(H22):0回 現状:1回 5年後:2回 (目標値3年)平成30年度:1回 平成31年度:1回 平成32年度:2回
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	5 特色ある教育
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。
関連課名	総合教育センター、学校教育課、教育総務課

基本計画	1 義務教育9年間を見通した小中連携強化及び小中一貫教育に対応した学習指導計画を推進し、保幼小、小中連携を強化します。		
------	---	--	--

主管部課	部名	教育委員会	課名	総合教育センター
------	----	-------	----	----------

実施スケジュール	取組内容	H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
		<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携推進プランに基づく取組の充実 ・9年間のカリキュラムの検討・作成 ・小中連携教育研修講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携推進プランに基づく取組の充実 ・9年間のカリキュラムの検討・作成 ・小中連携教育研修講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携推進プランに基づく取組の充実 ・9年間のカリキュラムの検討・作成 ・小中連携教育研修講座の実施
経費(千円)		1,143	1,352	1,352

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★保幼小中連携強化に係る合同研修会の年間開催数【5-82】	目標		1	1	1	2	3	3
	実績	—	1	1				
(指標及びH32目標値の設定理由) 保幼小中連携強化に係る合同研修会の年間開催数を示し、当初値から3倍を設定	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	33%	33%				

H28取組状況	全4中学校区において、小中連携教育推進委員会及び部会での協議を基軸にした合同研修会や相互授業参観、さらには、小中もしくは小中合同授業・合同交流会が実施されるなど、小中連携教育が積極的に推進されました。
---------	--

課題と今後の取組	小中連携の9年間のカリキュラム作成等により、小中連携推進プランに基づく取組を充実させていきます。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	33%	B: 目標を達成	②継続

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携推進プランに基づく取組の充実 ・9年間のカリキュラムに基づく取組の充実 ・保幼小中連携教育研修講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・同左 	
経費(千円)		1,187	1,187	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)★保幼小中連携強化に係る合同研修会の年間開催数【5-82】 (定義)保幼小中連携強化に係る合同研修会の年間開催数 (根拠)保幼小中連携強化に係る総合教育センター主催の研修講座の年間開催数 (担当者)総合教育センター所長 (目標値10年)当初(H22):一回 現状:1回 5年後:3回 (目標値3年)平成30年度:2回 平成31年度:3回 平成32年度:3回</p>
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	5 特色ある教育
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。
関連課名	総合教育センター、学校教育課、教育総務課

基本計画	2 小中教員の連携、外国人語学指導助手(ALT)の増員により、小中学校の外国語教育を充実します。		
------	--	--	--

主管部課	部名	教育委員会	課名	学校教育課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・外国人語学指導助手配置事業 ・小学校6年間における外国語活動実施事業 ・幼稚園、幼児園および社会教育分野への外国人語学指導助手配置事業	・同左	・同左
	経費(千円)	21,718	22,262	22,262

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
外国語指導助手の配置人数	目標		6	6	6	6	7	7
	実績	6	6	6				
(指標及びH32目標値の設定理由) H32年度から全面実施される小学校における外国語の教科化に伴い、小学校への派遣講師を1名増やし充実にあてる。	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	86%	86%				

H28取組状況	業務委託及び市直接雇用で計6名のALTを確保し、小中学校における英語科・外国語活動の充実を図りました。 ・小中連携の視点から、外国語活動及び英語科における相互授業参観や教員研修の充実を図りました。 ・小学校においては、1～4年生に対する外国語活動や夏季休業中の英会話教室実施の推進を図りました。 ・幼稚園や幼児園、公民館活動及び夏季休業中の「kasai英語村サマーキャンプ」へALTの派遣を行い、幅広い外国語教育の展開を具現化しました。
---------	---

課題と今後の取組	・小学校外国語の教科化を見通して、小学校教員の外国語活動における指導力の向上を図るための研修を充実させます。 ・幼稚園、幼児園及び公民館等でのALTの派遣は効果があり、さらに配置時間を増やすなどの事業の拡大を推進します。 ・長期休業中等を活用して、社会教育施設での国際理解教育の充実を図ります。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	86%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・外国人英語指導助手配置事業 ・小学校6年間における外国語活動実施事業 ・幼稚園、幼児園および社会教育分野への外国人語学指導助手配置事業	・同左	
	経費(千円)	24,446	24,446	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)外国語指導助手の配置人数 (定義)外国人英語指導助手の小中特別支援学校への配置 (根拠)外国人英語指導助手の小中特別支援学校への配置人数 (担当者)学校教育課長 (目標値10年)当初(H22):6人 現状:6人 5年後:7人 (目標値3年)平成30年度:6人 平成31年度:7人 平成32年度:7人
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	5 特色ある教育
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。
関連課名	総合教育センター、学校教育課、教育総務課

基本計画	3 情報端末の整備により、子どもたちの情報活用力を向上させます。		
------	----------------------------------	--	--

主管部課	部名	教育委員会	課名	教育総務課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・富田・賀茂・富合・宇仁・西在田小学校 教育用パソコン更新 ・加西特別支援学校 教育用パソコン更新	・中学校 教育用パソコン更新	北条東小学校教育用パソコン更新
	経費(千円)	2,746	7,500	2,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
教育用PC更新済校数	目標		2	8	12	13	16	18
	実績	—	2	8				
(指標及びH32目標値の設定理由) リース更新年により決定	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	11%	44%				

H28取組状況	5小学校(富田・賀茂・富合・宇仁・西在田)及び加西特別支援学校の教育用ICT機器の5年リースが完了したことに伴い、最新のICT機器・ソフトウェア等を選定した上で新たな5年リース契約を結び、情報教育の環境整備を行いました。
---------	--

課題と今後の取組	16学校のICT機器は、全て5年で更新することとしています。各学校のリース終了時期に、適宜更新を行います。この5年サイクルの更新は、今後も継続する予定です。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	44%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・北条東小学校教育用パソコン更新	・北条小、下里小、九会小学校教育用パソコン更新	
	経費(千円)	2,000	5,000	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)教育用PC更新済校数 (定義)単年度の計画更新校数と実施更新校数 (根拠)更新実績 (担当者)教育総務課長 (目標値10年)当初(H22):一校 現状:2校 5年後:5年で16校を順次更新する。 (目標値3年)平成30年度:13校 平成31年度:16校 平成32年度:18校
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	5 特色ある教育
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。
関連課名	総合教育センター、学校教育課、教育総務課

基本計画	4 加西の風土、文化、自然を活かした環境教育カリキュラムの実施や関係団体との連携を深めていきます。
------	---

主管部課	部名	教育委員会	課名	学校教育課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・各校における環境体験学習の実施 ・小学校における「あびき湿原環境学習」の実施	同左	同左
	経費(千円)	1,942	1,942	1,942

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
小中学校での体験型環境教育の年間時間数	目標		10	10	10	10	10	10
	実績	8	8	10				
(指標及びH32目標値の設定理由) 1校あたりの年間授業時数を示すもので、数値設定のみならず、学習内容の充実を図ることをねらいとする。	目標数値の達成度	単年度	80%	100%				
		最終年度	80%	100%				

H28取組状況	各校の状況に応じて、地元人材や専門家の協力を得ながら、河川の環境調査、里山体験、昆虫や希少生物の観察などの活動を通して、自然の不思議・すばらしさを実感した学習を実施しました。また、11校すべての小学校で「あびき湿原」を活用した環境学習に取り組んだことで、ふるさとの身近な自然環境について考え、自ら環境保全等に働きかける子どもたちの意識の向上を図ることができました。
---------	--

課題と今後の取組	小学校においては、すべての学校において「あびき湿原」での環境学習の取組を継続させていきます。中学校においては、理科を中心とした教科学習の範疇での環境教育にとどまっています。校区の実態や特性から環境教育に関する教材やカリキュラムの作成に関して、今後も継続して計画していきます。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・各校における環境体験学習の実施 ・小学校及び中学校における「あびき湿原環境学習」の実施	同左	
	経費(千円)	1,942	1,942	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)小中学校での体験型環境教育の年間時間数 (定義)小中学校における環境教育の実施 (根拠)小中学校における環境教育の年間時間数 (担当者)学校教育課長 (目標値10年)当初(H22):8時間 現状:10時間 5年後:10時間 (目標値3年)平成30年度:10時間 平成31年度:10時間 平成32年度:10時間
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	5 特色ある教育
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。
関連課名	総合教育センター、学校教育課、教育総務課

基本計画	5 個々の能力に応じた特別支援教育の充実を図ります。
------	----------------------------

主管部課	部名	教育委員会	課名	学校教育課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・特別支援教育コーディネーター部会 ・特別支援教育担当者及び特別支援教育コーディネーター、特別支援学級担任 合同研修会 ・特別支援教育コーディネーターネットワーク会議	・同左	・同左
	経費(千円)	157	185	185

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
特別支援教育担当者や特別支援教育コーディネーター等を対象とした研修の年間開催数	目標		3	4	4	5	5	5
	実績	—	3	4				
(指標及びH32目標値の設定理由) 指標: 専門研修の開催数 目標値設定理由: 校内支援体制の充実	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	60%	80%				

H28取組状況	コーディネーター研修を2回、特別支援教育担当者とコーディネーターとの合同研修会を1回、さらに幼稚園のコーディネーターも参加してのネットワーク会議を含め4回の研修会を行いました。インクルーシブ教育システム構築に向けた各学校の具体的な取組について話し合いを深めることができ、校内支援体制も整いつつ関係機関との連携もスムーズにできつつある状況です。
---------	---

課題と今後の取組	加西特別支援学校のセンター的機能の活用や特別支援教育担当者や特別支援学級担任、特別支援教育コーディネーターを中心とする研修会の実施によって、市内の全ての学校における特別な支援の必要な児童生徒に対する適正な教育がなされています。更に各学校間での情報交換や情報共有の場を多く持つために、研修会の開催数の増加と内容の充実を図ります。今後の課題と取組としては、ライフステージを通じた早期からの支援体制作りに向けて、市内の資源を活用し各関係機関との連携をさらに進めていきます。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	80%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・特別支援教育コーディネーター部会 ・特別支援教育担当者及び特別支援教育コーディネーター、特別支援学級担任 合同研修会 ・特別支援教育コーディネーターネットワーク会議	・同左	
	経費(千円)	185	185	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)特別支援教育担当者や特別支援教育コーディネーター等を対象とした研修の年間開催数 (定義)該当教員を対象とした専門研修の開催 (根拠)専門研修の開催数 (担当者)学校教育課長 (目標値10年)当初(H22):一回 現状:3回 5年後:5回 (目標値3年)平成30年度:5回 平成31年度:5回 平成32年度:5回
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	5 特色ある教育
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。
関連課名	総合教育センター、学校教育課、教育総務課

基本計画	6 総合教育センターを活用し、校種間研修講座の増加と各種間の連携強化を図ります。		
------	--	--	--

主管部課	部名	教育委員会	課名	総合教育センター
------	----	-------	----	----------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・小中連携教育推進委員会開催 ・小中連携教育研修講座の開催 ・小中合同研修講座の開催	・小中連携教育推進委員会開催 ・小中連携教育研修講座の開催 ・小中合同研修講座の開催	・小中連携教育推進委員会開催 ・小中連携教育研修講座の開催 ・小中合同研修講座の開催
	経費(千円)	1,129	1,075	1,075

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①総合教育センターにおける年間研究講座数	目標		15	39	40	40	40	40
	実績	10	36	43				
(指標及びH32目標値の設定理由) 総合教育センターが主催する研修講座の年間開催数を示し、教育課題から内容回数を設定	目標数値の達成度	単年度	240%	110%				
		最終年度	90%	108%				
②★校内研修の実施回数(月あたり回数) 【5-86】	目標		3	3	3	3	3	3
	実績	—	3	3				
(指標及びH32目標値の設定理由) 市内小中特別支援学校の校内研修の実施回数(月あたり)を示し、各月週1回開催をもとに設定	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	100%	100%				

H28取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員のキャリアステージやニーズに応じた研修内容を検討し、26コース43講座を実施しました。 ・研修内容や講師については、兵庫教育大学や県立教育研修所など関係機関と連携し、研修講座がより充実したものとなるようにしました。 ・英語・道徳の教科化に向けた研修をはじめ、小中合同の研修を実施しました。
---------	--

課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査の分析結果や考察を踏まえ、加西市の小・中学生の学力向上を推進するための効果的かつ実践的な指導方法についての研修を実施します。 ・校種間連携強化のための・先進的な取組を導入した研修を実施します。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
①	②実行中	S: 予定より早く進行	110%	108%	B: 目標を達成	②継続
②	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%		

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・小中連携教育推進委員会開催 ・小中連携教育研修講座の開催 ・小中合同研修講座の開催	・同左	
	経費(千円)	1,105	1,105	

変更する内容	
--------	--

平成28年度評価

基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	5 特色ある教育
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。
関連課名	総合教育センター、学校教育課、教育総務課

取り組みの進捗状況を確認するための数値 〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)総合教育センターにおける年間研究講座数 (定義)学校・学級経営の研修講座や小中連携・校種間連携のための研修講座数 (根拠)専門研修の開催数 (担当者)総合教育センター所長 (目標値10年)当初(H22):10講座 現状:15講座 5年後:40講座 (目標値3年)平成30年度:40講座 平成31年度:40講座 平成32年度:40講座</p> <p>(指標名)★校内研修の実施回数【5-86】 (定義)市内小中特別支援学校の校内研修の実施回数(月あたり) (根拠)市内小中特別支援学校の校内研修の実施回数(月あたり) (担当者)総合教育センター所長 (目標値10年)当初(H22):一回/月 現状: 3回/月 5年後: 3回/月 (目標値3年)平成30年度:3回/月 平成31年度:3回/月 平成32年度:3回/月</p>
-----------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	5 特色ある教育
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。
関連課名	総合教育センター、学校教育課、教育総務課

基本計画	7 ★特色のある部活や教室を設置します。
------	----------------------

主管部課	部名	教育委員会	課名	学校教育課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・部活動指導者研修会の実施 ・部活動外部指導者の活用 ・部活動ガイドラインの点検評価	・同左	・同左
	経費(千円)	806	1,512	1,512

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★部活動の指導者研修会の実施数【5-85】	目標		—	1	1	3	3	3
	実績	—	—	1				
(指標及びH32目標値の設定理由) 総合教育センターとの連携により、職員研修の一環として講座を開設する	目標数値の達成度	単年度	—	100%				
		最終年度	—	33%				

H28取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・加西市中学校部活動ガイドラインの見直しのための委員会を11月に開催し、中学校の実態に合わせて、一部修正を行いました。 ・総合教育センターと連携して、部活動指導者研修講座を開催し、8月に研修を行いました。 ・3人の部活動外部指導者を活用しました。
---------	---

課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・総合教育センターと連携し、部活動指導者研修講座によって、教職員の指導力向上を図ります。 ・部活動外部指導者の活用を推進し、部活動の活性化を図ります。 ・加西市中学校部活動ガイドラインを毎年点検評価し、より効果的で実効性のあるガイドラインに整えます。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	33%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・部活動指導者研修会の実施 ・部活動外部指導者の活用 ・部活動ガイドラインの点検評価	・同左	
	経費(千円)	1,603	1,603	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)★部活動の指導者研修会の実施数【5-85】 (定義)教職員を対象とした部活動指導に関する研修会の実施回数 (根拠)総合教育センターが開催する研修講座数による (担当者)学校教育課長 (目標値10年)当初(H22):一回 現状:一回 5年後:3回 (目標値3年)平成30年度:3回 平成31年度:3回 平成32年度:3回</p>
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	5 特色ある教育
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。
関連課名	総合教育センター、学校教育課、教育総務課

基本計画	8 ★地元高校の活性化を支援します。			
------	--------------------	--	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課
------	----	---------	----	--------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	北条高校活性化協議会への支援 (アフタースクールゼミ事業、通学バス事業、国際交流事業、兵庫県教育委員会への要望活動)	同左	同左
	経費(千円)	8,955	10,000	10,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★アフタースクールゼミ受講者年間延べ人数【5-87】	目標		400	420	440	460	500	500
	実績	—	416	406				
(指標及びH32目標値の設定理由) 北条高校活性化協議会の柱となる取組みであるアフタースクールゼミの参加者数を示すもので、年々延べ20人増えと想定。	目標数値の達成度	単年度	104%	97%				
		最終年度	83%	81%				

H28取組状況	北条高校アフタースクールゼミにおける受講生の学力差が非常に大きく、レベルを絞った講座が十分に行えない問題を解消するため、平成28年度2学期からは河合塾によるゼミを「受験コース」、兵庫教育大学の学生を講師としたゼミを「基礎コース」とし、よりきめ細やかな学習支援を行いました。
---------	--

課題と今後の取組	平成29年度入試において、国立大学合格者数は増加したものの、国公立大学合格者数は減少してしまいました。今後は基礎コースを全体的な学力底上げの受け皿としつつ、受験コースをより受験に特化した内容のものとし、国公立大学の合格者数の増加を図り、北条高校の生徒確保及び活性化を進めていきます。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	97%	81%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・北条高校活性化協議会への支援 (アフタースクールゼミ事業、通学バス事業、国際交流事業、兵庫県教育委員会への要望活動)	・同左	
	経費(千円)	10,000	10,000	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★アフタースクールゼミ受講者年間延べ人数【5-87】 (定義)アフタースクールゼミ受講者数 (根拠)受講申込者名簿 (担当者)人口増政策課長 (目標値10年)当初(H22):一人 現状:400人 5年後:500人 (目標値3年)平成30年度:460人 平成31年度:500人 平成32年度:500人
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	6 安全安心で潤いのある学校
到達目標	小学校1年生から中学校3年生までの連続性を意識した学校整備を行い、安心して学べる緑豊かな教育環境をめざします。
関連課名	教育総務課

基本計画	1 すべての小中学校の旧耐震施設の耐震化を完了させた後は、避難所としての機能回復や教育環境改善を継続します。			
主管部課	部名	教育委員会	課名	教育総務課
実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・西在田小学校地震改築工事Ⅱ期 (RC解体工事のみ) ・西在田小学校地震改築工事Ⅱ期 (W解体工事のみ)		
	経費(千円)	132,744		

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①学校耐震化率(鉄筋コンクリート・鉄骨造)	目標		100	100				
	実績	58	100	100				
(指標及びH32目標値の設定理由)	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	100%					
②学校耐震化率(木造)	目標		100	100				
	実績	0	100	100				
(指標及びH32目標値の設定理由)	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	100%					
③学校施設における太陽光発電容量(kw)【5-84】	目標		197	197				
	実績	10	197	197				
(指標及びH32目標値の設定理由)	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	100%					

H28取組状況	西在田小学校の地震改築工事は残りの解体工事が完了しました。
---------	-------------------------------

課題と今後の取組	昭和56年以前に建築された建物は耐震化工事に合わせて、平成27年度までに改修を完了しました。しかし、昭和56年以降に建設された建物は、改修を行っていない為、老朽化が進んでおり計画的な改修が必要です。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	③完了	A: 予定通り進行	100%		B: 目標を達成	
	③完了	A: 予定通り進行	100%			
③完了	A: 予定通り進行	100%				

平成28年度評価

基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	6 安全安心で潤いのある学校
到達目標	小学校1年生から中学校3年生までの連続性を意識した学校整備を行い、安心して学べる緑豊かな教育環境をめざします。
関連課名	教育総務課

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		※耐震化完了	※耐震化完了	
	経費(千円)			
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)学校耐震化率(鉄筋コンクリート・鉄骨造) (定義)鉄筋コンクリートまたは鉄骨造の小中学校施設における耐震化完了施設の割合 (根拠)現在、耐震化済棟数/全棟数=29棟/50棟=58.0% H28年度に52棟/52棟=100% (担当者)教育総務課長 (目標値10年)当初(H22):58.0% 現状:100.0% 5年後:※耐震化完了 (目標値3年)平成30年度:※耐震化完了 平成31年度:※耐震化完了 平成32年度:※耐震化完了</p> <p>(指標名)学校耐震化率(木造) (定義)木造の小中学校施設における耐震化完了施設の割合 (根拠)耐震化済棟数/全棟数=0棟/5棟=0% 平成28年度に2棟/2棟=100%をめざす (担当者)教育総務課長 (目標値10年)当初(H22):0.0% 現状:100.0% 5年後:※耐震化完了 (目標値3年)平成30年度:※耐震化完了 平成31年度:※耐震化完了 平成32年度:※耐震化完了</p> <p>(指標名)学校施設における太陽光発電容量 (定義)木造の小中学校施設における耐震化完了施設の割合 (根拠)10kw×7校(善防中、泉中、九会小、西在田小、富合小、賀茂小、下里小)+15kw×2校(北条中、宇仁小)=100kw (担当者)教育総務課長 (目標値10年)当初(H22):10kw 現状:197kw 5年後:197kw (目標値3年)平成30年度:197kw 平成31年度:197kw 平成32年度:197kw</p>			

平成28年度評価

基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	6 安全安心で潤いのある学校
到達目標	小学校1年生から中学校3年生までの連続性を意識した学校整備を行い、安心して学べる緑豊かな教育環境をめざします。
関連課名	教育総務課

基本計画	2 ★学校施設の改修工事を計画的に行い、長寿命化を図ります。		
------	--------------------------------	--	--

主管部課	部名	教育委員会	課名	教育総務課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	次年度からの改修工事に向けた調整	富田小体育館、日吉小北校舎、宇仁小体育館、北条中北校舎・武道場、特別支援学校プールの改修工事、加西中学校プール改築工事	富田小北校舎、賀茂小北校舎、善防・加西中武道場
	経費(千円)	—	417,000	197,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
改修工事の完了棟数	目標	/	—	—	6	10	11	13
	実績	—	—	—				
(指標及びH32目標値の設定理由) 建築年度により計画棟数を設定	目標数値の達成度	単年度	—	—				
		最終年度	—	—				

H28取組状況	改修計画を策定しました。
---------	--------------

課題と今後の取組	昭和56年以前に建築された建物は耐震化工事に合わせて、平成27年度までに改修を完了しました。しかし、昭和56年以前に建設された建物は、改修を行っていない為、老朽化が進んでおり計画的な改修が必要です。また、平成29年度からの取組内容を実施計画変更のため、特別支援学校プールの改修工事、加西中学校プール改築工事、富合小学校トイレ整備工事を進める予定です。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	—	—	—	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・富田小体育館、日吉小北校舎、宇仁小体育館、北条中北校舎・武道場	・富田小北校舎、賀茂小北校舎、善防・加西中武道場	
	経費(千円)	210,000	197,000	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)改修工事の完了棟数 (定義)各年度に実施する改修棟数 (根拠)各年度に実施された改修棟数/計画棟数 (担当者)教育総務課長 (目標値10年)当初(H22): 一棟 現状:0棟 5年後:13棟 (目標値3年)平成30年度:10棟 平成31年度:11棟 平成32年度:13棟
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	6 安全安心で潤いのある学校
到達目標	小学校1年生から中学校3年生までの連続性を意識した学校整備を行い、安心して学べる緑豊かな教育環境をめざします。
関連課名	教育総務課

基本計画	3 ★南部学校給食センターの改築を行い、単独調理場の統廃合を行います。		
------	-------------------------------------	--	--

主管部課	部名	教育委員会	課名	教育総務課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	計画策定	実施設計	建設工事
	経費(千円)	—	16,000	580,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
単独調理場数【減少指標】	目標		3	3	3	3	0	0
	実績	—	—	—				
(指標及びH32目標値の設定理由) 南部給食センターH29設計、H30建設工事、H31解体工事 H31に単独調理場統合	目標数値の達成度	単年度	—	—				
		最終年度	—	—				

H28取組状況	事業計画を策定しました。
---------	--------------

課題と今後の取組	単独調理場施設が、建設より27年経過しており、南部給食センターの早期完成により統合する必要があります。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	—	—	—	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・実施設計	・建設工事	
	経費(千円)	15,300	580,000	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)単独調理場数【減少指標】 (定義)単独調理場の統廃合 (根拠)統廃合後の単独調理場数 (担当者)教育総務課長 (目標値10年)当初(H22): 一施設 現状:3施設 5年後:0施設 (目標値3年)平成30年度:3施設 平成31年度:0施設 平成32年度:0施設
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	7 地域に開かれた学校づくり
到達目標	学校が家庭や地域との連携を強化し、子どもたちとの活動や体験の場を共有できる開かれた学校づくりをめざします。
関連課名	学校教育課、総合教育センター

基本計画	1 ゲストティーチャー等の活用により地域全体で学校の支援に取り組みます。			
------	--------------------------------------	--	--	--

主管部課	部名	教育委員会	課名	学校教育課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール	取組内容	H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
		・加西学校づくり応援事業 ・環境体験事業	・加西学校づくり応援事業 ・環境体験事業	・加西学校づくり応援事業 ・環境体験事業
	経費(千円)	1,233	1,900	1,900

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
ゲストティーチャーの延べ人数【6-93】	目標		380	385	390	395	400	410
	実績	380	380	385				
(指標及びH32目標値の設定理由) 指標: ゲストティーチャーの延べ人数 目標値設定理由: 地域に開かれた学校づくり	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	93%	94%				

H28取組状況	様々な教育活動の場面において、小・中・特別支援学校が地域の人材を活用し、児童生徒の生きる力の育成とふるさと意識の醸成に努めました。
---------	---

課題と今後の取組	・年間指導計画を精査し、地域人材を活用できる場面を積極的に増やしていきます。 ・地域の人材確保のために、より一層地域と連携を深めることで人材発掘に努めます。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	94%	B: 目標を達成	②継続

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		・加西学校づくり応援事業 ・環境体験事業	・同左	1,600
	経費(千円)	1,600	1,600	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)ゲストティーチャーの延べ人数【6-93】 (定義)小・中・特支学校におけるゲストティーチャー数 (根拠)ゲストティーチャーの延べ人数 (担当者)学校教育課長 (目標値10年)当初(H22):380人 現状:380人 5年後:410人 (目標値3年)平成30年度:395人 平成31年度:400人 平成32年度:410人
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	7 地域に開かれた学校づくり
到達目標	学校が家庭や地域との連携を強化し、子どもたちとの活動や体験の場を共有できる開かれた学校づくりをめざします。
関連課名	学校教育課、総合教育センター

基本計画	2 小中学校内に地域の住民が立ち寄れる広場を設け、地域との交流を図ります。		
------	---------------------------------------	--	--

主管部課	部名	教育委員会	課名	総合教育センター
------	----	-------	----	----------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・学校支援地域本部事業	・学校支援地域本部事業	・学校支援地域本部事業
	経費(千円)	1,258	1,264	1,264

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
校内交流広場設置数	目標		16	16	16	16	16	16
	実績	11	16	16				
(指標及びH32目標値の設定理由) 市内の小中特別支援学校の校内交流広場設置数を示し、全校設置を設定	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	100%	100%				

H28取組状況	ワッシュョイスクール事業を展開している全小中学校においてメンバーの部屋が設置されています。また、市内全学校において地域住民が訪問し学校教育を支援できる環境が整うとともに、交流の場としての機能を果たしています。
---------	--

課題と今後の取組	コミュニティールームの設置など、地域の交流の場となることが期待される中、地域住民にどのように周知するのが当面の課題です。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・学校・家庭・地域の連携協力推進事業	・同左	
	経費(千円)	4,389	4,389	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)校内交流広場設置数 (定義)市内各小中学校において地域住民が立ち寄れる広場を設置している学校数 (根拠)中学校・特別支援学校での設置 (担当者)総合教育センター所長 (目標値10年)当初(H22):11校 現状:16校 5年後:16校 (目標値3年)平成30年度:16校 平成31年度:16校 平成32年度:16校
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	7 地域に開かれた学校づくり
到達目標	学校が家庭や地域との連携を強化し、子どもたちとの活動や体験の場を共有できる開かれた学校づくりをめざします。
関連課名	学校教育課、総合教育センター

基本計画	3 学校評議員制度やオープンスクール等を通して地域に信頼される学校づくりを推進します。		
------	---	--	--

主管部課	部名	教育委員会	課名	学校教育課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・オープンスクールの実施 ・学校評議員会の開催	・オープンスクールの実施 ・学校評議員会の開催	・オープンスクールの実施 ・学校評議員会の開催
	経費(千円)	303	309	309

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
オープンスクール年間開催数(1校あたり)	目標		10	11	12	13	14	15
	実績	—	10	10				
(指標及びH32目標値の設定理由) 1校あたりのオープンスクールの開催回数を示しており、当初値から1.5倍増で設定。	目標数値の達成度	単年度	100%	91%				
		最終年度	67%	67%				

H28取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中・特別支援学校において、ほぼ例年どおりの日程で、地域の方々や保護者を対象としたオープンスクール(運動会、音楽会、参観日等含む)を開催しました。 ・児童生徒のありのままの姿を見ていただいた後、アンケート等で感想をもらうことで、学校改善を図るように努めました。
---------	---

課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・特に、地域の方々への周知が不十分であることから期間中の平日の来校者が少ないことが課題です。 ・周知の方法を工夫すると共に、学校から地域への情報発信をより積極的に行い、地域の方々の学校に対する興味を喚起し、開かれた学校づくりを目指します。 ・実施日数を増やすことだけにとられず、効果的なオープンスクールの方法を考えていきます。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	91%	67%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・オープンスクールの実施 ・学校評議員会の開催	・同左	
	経費(千円)	309	309	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)オープンスクール年間開催数 (定義)小・中・特支学校のオープンスクール開催 (根拠)オープンスクールの開催数 (担当者)学校教育課長 (目標値10年)当初(H22):一回/校 現状:10回/校 5年後:15回/校 (目標値3年)平成30年度:13回/校 平成31年度:14回/校 平成32年度:15回/校
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	8 裾野の広い農業の育成
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。
関連課名	農政課、人口増政策課

基本計画	1 各機関と連携して、生産者等を対象とした公開講座を開催します。		
------	----------------------------------	--	--

主管部課	部名	地域振興部	課名	農政課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・かさい農業塾の開催 ・神戸大学での小学生柿収穫体験	・かさい農業塾の開催 ・神戸大学での小学生柿収穫体験 ・学術研究機関と連携した地域活動	・かさい農業塾の開催 ・神戸大学での小学生柿収穫体験 ・学術研究機関と連携した地域活動
	経費(千円)	0	100	100

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①「かさい農業塾」の年間開催回数【4-65】	目標		1	1	1	2	2	3
	実績	0	1	1				
(指標及びH32目標値の設定理由) 主要作物毎に塾の開催を目標とする。	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	33%	33%				
②★大学等連携による農業分野での地域活動年間件数【3-60】	目標		1	1	2	2	2	2
	実績	—	1	2				
(指標及びH32目標値の設定理由) 現行の取り組み以外に学生と密に交流できる取り組みを行う。	目標数値の達成度	単年度	100%	200%				
		最終年度	50%	100%				

H28取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・JA及び民間の種苗会社や仲卸会社と連携して冬かぼちゃダークホース普及拡大のための説明会の開催し、現地圃場を2回巡回して指導の強化を図りました。 ・関西国際大学の学生が、農事組合法人あびき直売所の活性化に向けて現地調査と改善提案を行いました。
---------	--

課題と今後の取組	継続した取り組みにするための関係者どうしの結び付き強化が課題であり、今後更にマッチングを推進することにより、各機関が自発的に地域住民と交流できるよう促していきたくと考えています。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
①	②実行中	A: 予定通り進行	100%	33%	B: 目標を達成	②継続
②	②実行中	S: 予定より早く進行	200%	100%		

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・かさい農業塾の開催 ・神戸大学での小学生柿収穫体験 ・学術研究機関と連携した地域活動	・同左	
	経費(千円)	100	100	

変更する内容	
--------	--

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	8 裾野の広い農業の育成
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。
関連課名	農政課、人口増政策課

取り組みの進捗状況を確認するための数値 〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)「かさい農業塾」の年間開催回数【4-65】 (定義)新規就農者、認定農業者支援のための「かさい農業塾」の開催回数 (根拠)加西農業改良普及事業協議会活動計画 (担当者)農政課長 (目標値10年)当初(H22):0回 現状:1回 5年後:3回 (目標値3年)平成30年度:2回 平成31年度:2回 平成32年度:3回</p> <p>(指標名)★大学等連携による農業分野での地域活動年間件数【3-60】 (定義)市内学術研究機関と市民が連携した活動の取り組み件数 (根拠)加西市食育推進計画 (担当者)農政課長 (目標値10年)当初(H22):一回 現状:1回 5年後:2回 (目標値3年)平成30年度:2回 平成31年度:2回 平成32年度:2回</p>
-----------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	8 裾野の広い農業の育成
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。
関連課名	農政課、人口増政策課

基本計画	2 生産、加工、販売の一体的な6次産業化に向け、講座や研修の充実を図り、起業者への支援を行います。
------	---

主管部課	部名	地域振興部	課名	農政課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・特産品普及推進(加西ブランド協議会委託) ・アスパラガスの実験栽培支援	・特産品普及推進(加西ブランド協議会委託) ・アスパラガスの生産推進	・特産品普及推進(加西ブランド協議会委託) ・アスパラガスの生産及び加工推進
	経費(千円)	500	500	500

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★高付加価値品種育成数【2-46】	目標		2	2	2	2	3	3
	実績	—	1	3				
(指標及びH32目標値の設定理由) 加西ブランド協議会の取り組みに加え、JAによる産地形成の取り組みに協力する。	目標数値の達成度	単年度	50%	150%				
		最終年度	33%	100%				

H28取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・加西ブランド協議会による冬かぼちゃダークホースについては、販売量が前年比257%でした。 ・JA兵庫みらいぶどう部会が推進する大粒系ブラックビートの特産化に向けた初の市場出荷を行いました。 ・JA兵庫みらいがアスパラガス特産化に向けた実験栽培を行い生産者を募ることに伴い施設園芸設備の補助を行いました。
---------	--

課題と今後の取組	ブランド化や特産化については、規模拡大とともに品質の均一化が大きな課題となります。生産者と支援者の理解の下、長い年月の地道な努力が必要です。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	150%	100%	A: 目標を上回って達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・特産品普及推進(加西ブランド協議会委託) ・アスパラガスの生産及び加工推進	・同左	
	経費(千円)	500	500	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★高付加価値品種育成数【2-46】 (定義)産地化に向けて取り組む農産物の品種数 (根拠)JA兵庫みらい営農振興計画 (担当者)農政課長 (目標値10年)当初(H22):一品種 現状:2品種 5年後:3品種 (目標値3年)平成30年度:2品種 平成31年度:3品種 平成32年度:3品種
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	8 裾野の広い農業の育成
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。
関連課名	農政課、人口増政策課

基本計画	3 新規就農希望者への研修受入制度や市民農園利用について、全国的なPRに努めます。		
------	---	--	--

主管部課	部名	地域振興部	課名	農政課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・市民農園の整備(継続) ・新規就農の受け入れ促進	・市民農園の設立支援 ・新規就農の受け入れ促進	・市民農園の設立支援 ・新規就農の受け入れ促進
	経費(千円)	0	0	0

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①市民農園年間利用区画数【3-62】	目標	/	40	50	60	60	70	70
	実績	—	43	46				
(指標及びH32目標値の設定理由) H28～30は西笠原による増。H31以降は新たな園による増を想定。	目標数値の達成度	単年度	108%	92%				
		最終年度	61%	66%				
②★新規年間就農者数【2-47】	目標	/	1	2	2	2	2	2
	実績	—	3	5				
(指標及びH32目標値の設定理由) 毎年2名以上の就農認定を想定。	目標数値の達成度	単年度	300%	250%				
		最終年度	150%	250%				

H28取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 市民農園については、新たに開設された西笠原市民農園について関係機関を通じて告知を進めました。 新規就農者研修受入制度については、支援制度全体として県の就農相談会(2回)に参加するとともに、ひょうご就農支援センターや、楽農生活センター経由でのPRを行い、加西市への誘導件数を増加させました。
---------	---

課題と今後の取組	新規就農支援施策の全国的なPRを行うため、関係機関一丸となった体制作りが必要です。新たに協議会を設立して推進を図っていく予定です。市民農園については、関係機関へのPRだけでなく、それぞれの多様な取り組みを通して様々な媒体を使ったPRが必要であると考えています。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H27)	最終(H32)		
①	②実行中	B: 予定より遅延	92%	66%	B: 目標を達成	②継続
②	②実行中	S: 予定より早く進行	250%	250%		

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・市民農園の設立支援 ・新規就農促進協議会	・同左	
	経費(千円)	200	0	

変更する内容	
--------	--

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	8 裾野の広い農業の育成
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。
関連課名	農政課、人口増政策課

取り組みの進捗状況を確認するための数値 〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)市民農園年間利用区画数【3-62】 (定義)年度末時点で利用契約を締結している区画数(県市民農園概況調査) (根拠)加西市食育推進計画 (担当者)農政課長 (目標値10年)当初(H22):一区画 現状:40区画 5年後:70区画 (目標値3年)平成30年度:60区画 平成31年度:70区画 平成32年度:70区画</p> <p>(指標名)★新規年間就農者数【2-47】 (定義)年度内の青年等就農計画認定件数 (根拠)若手農業者総合対策事業計画(北播地域農業後継者育成対策協議会) (担当者)農政課長 (目標値10年)当初(H22):一人 現状:1人 5年後:2人 (目標値3年)平成30年度:2人 平成31年度:2人 平成32年度:2人</p>
-----------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	8 裾野の広い農業の育成
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。
関連課名	農政課、人口増政策課

基本計画	4 法人の設立と参入を推進するとともに、新規就農希望者の雇用の促進に努めます。
------	---

主管部課	部名	地域振興部	課名	農政課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・法人化を検討する組織との協議 ・就農プランに応じた研修誘導 ・新規就農者への各種補助	・法人化を検討する組織との協議 ・就農プランに応じた研修誘導 ・新規就農者への各種補助	・法人化を検討する組織との協議 ・就農プランに応じた研修誘導 ・新規就農者への各種補助
	経費(千円)	8,954	17,000	17,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①農業法人数	目標		9	9	9	10	10	10
	実績	1	9	9				
(指標及びH32目標値の設定理由) 指標は法人化した集落営農組織の数。農業生産法人はこれ以外にも多数あり。	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	90%	90%				
②★加西市就農研修生年間受入者数【2-49】	目標		2	2	2	2	2	2
	実績	—	3	11				
(指標及びH32目標値の設定理由) 安定して研修受入から就農に結びつけることを想定。	目標数値の達成度	単年度	150%	550%				
		最終年度	150%	550%				
③★新規就農者支援事業補助金の年間受給者数【2-50】	目標		1	2	2	2	2	2
	実績	—	5	3				
(指標及びH32目標値の設定理由) 就農認定に伴い補助制度の有効活用を図る。	目標数値の達成度	単年度	500%	150%				
		最終年度	250%	150%				

H28取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・県主催の集落営農法人化推進勉強会への積極参加等を促し、1団体が法人化を検討するに至りました。 ・就農研修生については、国「農の雇用事業」「雇用就農者独立支援事業」、県「スタートアップ支援」等を最大限活用して多くの方が研修を受けています。11人の内7人が雇用就農、4人が独立を目指した研修です。 ・新規就農者の早期の経営安定化に向けて補助制度の有効活用を推進してきました。
---------	--

課題と今後の取組	雇用の安定化に向けた指導ノウハウの蓄積と、家族経営生産者の大規模化及び法人化を推進するための施策が必要であると考えています。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
①	②実行中	A: 予定通り進行	100%	90%	A: 目標を上回って達成	②継続
②	②実行中	S: 予定より早く進行	550%	550%		
③	②実行中	S: 予定より早く進行	150%	150%		

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	8 裾野の広い農業の育成
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。
関連課名	農政課、人口増政策課

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		<ul style="list-style-type: none"> ・法人化を検討する組織との協議 ・就農プランに応じた研修誘導 ・新規就農者への各種補助 	・同左	
	経費(千円)	17,000	17,000	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)農業法人数 (定義)法人登記している集落営農組織数 (根拠)農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想 (担当者)農政課長 (目標値10年)当初(H22):1法人 現状:9法人 5年後:10法人 (目標値3年)平成30年度:10法人 平成31年度:10法人 平成32年度:10法人</p> <p>(指標名)★加西市就農研修生年間受入者数【2-49】 (定義)市内での就農を前提として市、県及び国の研修制度を適用している人数 (根拠)加西市就農研修受入農業者支援補助金交付要綱、雇用就農独立支援事業 (担当者)農政課長 (目標値10年)当初(H22):一人 現状:2人 5年後:2人 (目標値3年)平成30年度:2人 平成31年度:2人 平成32年度:2人</p> <p>(指標名)★新規就農者支援事業補助金の年間受給者数【2-50】 (定義)加西市新規就農者支援事業補助金及び青年就農給付金の受給初年度となる者の人数 (根拠)加西市新規就農者支援事業補助金交付要綱、加西市青年就農給付金交付要綱 (担当者)農政課長 (目標値10年)当初(H22):一人 現状:1人 5年後:2人 (目標値3年)平成30年度:2人 平成31年度:2人 平成32年度:2人</p>
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	8 裾野の広い農業の育成
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。
関連課名	農政課、人口増政策課

基本計画	5 認定農業者や農業法人への農地の利用集積を支援し、補助制度を充実します。			
------	---------------------------------------	--	--	--

主管部課	部名	地域振興部	課名	農政課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	認定農業者ならびに農業法人による利用集積の加速	認定農業者ならびに農業法人による利用集積の加速を図り、新たな推進施策の検討	新たな推進施策を開始
	経費(千円)	5,577	5,680	3,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
農用地利用権設定面積(ha)	目標		570	300	350	400	450	600
	実績	241	286	290				
(指標及びH32目標値の設定理由) 認定農業者と認定就農者の増に伴う設定面積増を図る。	目標数値の達成度	単年度	50%	97%				
		最終年度	48%	48%				

H28取組状況	農地集積促進のためには、経営大規模化に係る施設整備への補助が有効との判断から、農地利用集積促進補助金を終了し、担い手育成施設整備支援事業の強化を行うこととしました。
---------	--

課題と今後の取組	集落営農組織や認定農業者が存在する地域とそうでない地域の集積率の差、また集落営農組織の脆弱化が進んでいる集落など、まだまだ多くの問題があります。そのような地域での問題提起を推進していく必要があると考えています。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	97%	48%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・認定農業者ならびに農業法人による利用集積の加速を図るため、担い手育成施設整備支援事業の拡充	・同左	
	経費(千円)	6,000	6,000	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)農用地利用権設定面積 (定義)農用地利用権が設定されている農地面積 (根拠)農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想 (担当者)農政課長 (目標値10年)当初(H22):241ha 現状:570ha 5年後:600ha (目標値3年)平成30年度:400ha 平成31年度:450ha 平成32年度:600ha
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	8 裾野の広い農業の育成
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。
関連課名	農政課、人口増政策課

基本計画	6 多様な農家が共存し、安心して住み暮らせる共同体による農村環境を整備します。
------	---

主管部課	部名	地域振興部	課名	農政課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・農地維持活動 110組織 ・共同活動 109組織 ・長寿命化活動 108組織	・農地維持活動 110組織 ・共同活動 109組織 ・長寿命化活動 108組織	・農地維持活動 110組織 ・共同活動 109組織 ・長寿命化活動 108組織
	経費(千円)	288,727	290,000	290,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
多面的機能支払交付金事業への参加団体数	目標	/	110	110	110	110	110	110
	実績	—	110	110				
(指標及びH32目標値の設定理由) 市内全域の農地を地域住民が管理していく 仕組み作りのため。	目標数値の 達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	100%	100%				

H28取組状況	多面的機能支払交付金事業において、農地・農業用水等の資源と農村環境の保全活動及び農業用施設の長寿命化のための取組みとして、農地維持活動110組織、資源向上(共同)活動109組織、資源向上(長寿命化)活動108組織が事業を行いました。
---------	--

課題と今後の取組	現状、殆どの組織が多面的機能交付金事業に取り組んでいるので、事業完了予定の平成30年度までは維持継続し、平成31年度以降も継続できるよう努めます。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・農地維持活動 110組織 ・共同活動 109組織 ・長寿命化活動 108組織	・同左	
	経費(千円)	290,000	290,000	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)多面的機能支払交付金事業への参加団体数 (定義)多面的機能支払交付金事業への参加団体数 (根拠)同上 (担当者)農政課長 (目標値10年)当初(H22):一組織 現状:110組織 5年後:110組織 (目標値3年)平成30年度:110組織 平成31年度:110組織 平成32年度:110組織
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	8 裾野の広い農業の育成
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。
関連課名	農政課、人口増政策課

基本計画	7 ★ICTを利活用した施設園芸の普及に努めます。		
------	---------------------------	--	--

主管部課	部名	地域振興部	課名	農政課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	大規模施設園芸の誘致・整備支援	運営の安定化・ICTの普及	同左
	経費(千円)	7,994	7,994	7,994

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★施設園芸新設数【2-48】	目標		1	1	1	1	2	2
	実績	—	1	0				
(指標及びH32目標値の設定理由) 大規模施設園芸の開設数 投資規模(1億円以上の投資)により設定	目標数値の 達成度	単年度	100%	0%				
		最終年度	50%	0%				

H28取組状況	IT技術を活用した施設園芸を目指す新規就農者への支援を行いました。(ただし、投資予定は1億円未満。)
---------	--

課題と今後の取組	大規模施設園芸のみに拘らず、新技術の裾野を広げていくための取り組みを推進していきます。一方、味に拘り土耕栽培を行ってきた「加西とまと」「加西いちご」生産者が加西産農産物のブランドを作り上げてきました。両者のバランスを考えながら相乗効果を出せるような方向性が必要です。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	0%	0%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・大規模農業施設支援事業	・同左	
	経費(千円)	20,324	20,324	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★施設園芸新設数【2-48】 (定義)投資金額が1億円以上の施設栽培施設 (根拠)加西市農林畜産振興事業補助金交付規則 (担当者)農政課長 (目標値10年)当初(H22): 一施設 現状:1施設 5年後:2施設 (目標値3年)平成30年度:1施設 平成31年度:2施設 平成32年度:2施設
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	8 裾野の広い農業の育成
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。
関連課名	農政課、人口増政策課

基本計画	8 ★「食と農」に関連する分野等の大学のサテライトキャンパスを加西市へ誘致します。		
------	---	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課
------	----	---------	----	--------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	—	調査研究	同左
	経費(千円)	0	3,000	3,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★サテライト機能の具体化(大学数)【3-59】	目標	/	—	—	—	—	1	1
	実績	—	—	—				
(指標及びH32目標値の設定理由) サテライトキャンパス機能を加西市に有する 大学数が指標として最適である。	目標数値の 達成度	単年度	—	—				
		最終年度	—	—				

H28取組状況	人口増対策プロジェクトチームにおいて大学のサテライトキャンパス誘致についての検討を行いました。新たな大学のサテライトキャンパス誘致は困難であると考えられることから、加西市内にある神戸大学の食資源センターとの連携も含めて、引き続き検討していくこととなりました。
---------	---

課題と今後の取組	先進的に取組んでいる事例研究等を行いながら、加西市に即した形態のサテライトキャンパスの誘致について引き続き検討を行うこととします。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	—	—	—	C:目標を下回っている	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・調査研究	・誘致協議	
	経費(千円)	0	0	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★サテライト機能の具体化【3-59】 (定義)サテライト機能設置大学数 (根拠)同上 (担当者)人口増政策課長 (目標値10年)当初(H22):—大学 現状:—大学 5年後:1大学 (目標値3年)平成30年度:0大学 平成31年度:1大学 平成32年度:1大学
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	9 地域資源を活用した産業振興
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。
関連課名	農政課、産業振興課、文化・観光・スポーツ課、都市計画課、

基本計画	1 地元農産物を食材利用する事業者を支援します。
------	--------------------------

主管部課	部名	地域振興部	課名	農政課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	加西ブランド協議会及び加西市観光まちづくり協会と連携した取り組み推進。	加西ブランド協議会及び加西市観光まちづくり協会と連携した取り組み推進。	加西ブランド協議会及び加西市観光まちづくり協会と連携した取り組み推進。
	経費(千円)	500	500	500

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★加西産農産物提供店舗数【4-66】	目標		4	15	15	15	20	20
	実績	—	12	12				
(指標及びH32目標値の設定理由) 地元産の食材を使用した加西カレーのPR・販売推進と新たな特産品開発を目標とする。	目標数値の達成度	単年度	300%	80%				
		最終年度	60%	60%				

H28取組状況	平成27年度に引き続き、加西ブランド協議会によるスタンプラリー企画による提供を継続してきました。
---------	--

課題と今後の取組	加西産農産物を利用している飲食店は数多く存在するはずだが、それを公表、PRIに活用している店舗は少ない。観光まちづくり協会との連携を強化して、集客材料となるよう誘導していきたいと考えています。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	80%	60%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・加西ブランド協議会及び加西市観光まちづくり協会と連携した取り組み推進。	・同左	
	経費(千円)	500	500	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★加西産農産物提供店舗数【4-66】 (定義)加西産農産物を使用していることを公表している飲食店の数 (根拠)同上 (担当者)農政課長 (目標値10年)当初(H22): 1店 現状: 4店 5年後: 20店 (目標値3年)平成30年度: 15店 平成31年度: 20店 平成32年度: 20店
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	9 地域資源を活用した産業振興
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。
関連課名	農政課、産業振興課、文化・観光・スポーツ課、都市計画課、

基本計画	2 地元農産物の学校給食への提供等、地産地消事業を推進します。		
------	---------------------------------	--	--

主管部課	部名	地域振興部	課名	農政課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・教育委員会、生産者との調整 ・学校における食育授業の推進	・教育委員会、生産者間の調整 ・学校における食育授業の推進	・教育委員会、生産者間の調整 ・学校における食育授業の推進
	経費(千円)	540	1,480	1,480

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市内小中学校における食育授業の時間数	目標		10	10	10	10	10	10
	実績	—	10	10				
(指標及びH32目標値の設定理由) 現場で体感体験することが食育上最も効果が高いと考える。	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	100%	100%				

H28取組状況	学校給食へは、キャベツ、だいこん、ジャガイモなどを中心にJA直売所会員生産者が栽培した加西産農産物を小中学生に食べていただきました。また、食育授業は、加西とまと出荷組合、神戸大学、JA、地域の農業者等との連携により推進しました。
---------	--

課題と今後の取組	生産量の不足により、指定日に指定量が揃わずキャンセルせざるを得ないことがあります。また直売所会員も例に漏れず、高齢化及び新規会員の不足によって、供給量が伸びません。農業全体の問題と同様に担い手をどう確保していくかが大きな課題となっています。また、児童生徒の地元産野菜への理解を深めるため、生産者と直接繋がる食育授業の機会を増やしていきたいと考えています。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・教育委員会、生産者間との調整 ・学校における食育授業の推進	・同左	
	経費(千円)	1,480	1,480	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)市内小中学校における食育授業の時間数 (定義)同上 (根拠)生産者と市が連携して実施する市内小中学校の食育授業時間数 (担当者)農政課長 (目標値10年)当初(H22):一時間 現状:10時間 5年後:10時間 (目標値3年)平成30年度:10時間 平成31年度:10時間 平成32年度:10時間
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	9 地域資源を活用した産業振興
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。
関連課名	農政課、産業振興課、文化・観光・スポーツ課、都市計画課、

基本計画	3 地域ビジネス講座を拡充します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
実施スケジュール		H28 (決算額)		H29 (予算額(補正含む))			H30 (予定額)		
	取組内容	・モノづくりセミナー等 ・国・県・市の支援制度紹介セミナー等 ・補助金申請手続き等 ・創業塾		同左			同左		
	経費(千円)	1,500		1,500			1,500		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
製造品出荷額等(億円)【2-52】		目標		2,420	2,480	2,540	2,600	2,662	2,662
		実績	2,538	2,514	2,516				
(指標及びH32目標値の設定理由) 工業力の指標となる数値で、現状値から10%程度増加を設定。		目標数値の達成度	単年度	104%	101%				
			最終年度	94%	95%				
H28取組状況	商工会議所と連携を図り、商工業の振興と地域経済の活性化を目指して、各種ビジネス講座を開講しました。モノづくり実践力強化セミナー(「動作・ノウハウの伝え方と行為保障」、ISO9001・14001経営に役立つ内部監査員養成セミナー、かさい創業塾、経営計画作成支援セミナー								
課題と今後の取組	本事業については、平成29年度から加西商工会議所に設置した加西市産業活性化センター事業として拡充して実施します。地域ビジネスのあり方、その必要性について検討し、即時に役立つビジネス講座を開講していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H28)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	101%	95%	B: 目標を達成		②継続		

実施計画		H30 (予定額)		H31 (予定額)		H32 (予定額)		
	取組内容	・モノづくりセミナー等 ・国・県・市の支援制度紹介セミナー等 ・補助金申請手続き等 ・創業塾		・同左				
	経費(千円)	1,500		1,500				
変更する内容								
取組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)製造品出荷額等【2-52】 (定義)工業統計 4人以上の事業所のうち製造品出荷額等 (根拠)商業統計(毎年実施) 現状の2%増(25年度)、4%増(32年度)を見込む (担当者)産業振興課長 (目標値10年)当初(H20):2,538億円 現状:2,420億円 5年後:2,662億円(★5年間増加率10%) (目標値3年)平成30年度:2,600億円 平成31年度:2,662億円 平成32年度:2,662億円 ※実績値は推定値のため、実績値を把握次第修正します							

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	9 地域資源を活用した産業振興
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。
関連課名	農政課、産業振興課、文化・観光・スポーツ課、都市計画課、

基本計画	4 加西喝采みやげのブランド化を進め、イベントへの出展や各販売所での販売の促進に努めます。		
------	---	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	文化・観光・スポーツ課
------	----	---------	----	-------------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	物産展に積極的に参加し、加西産品をPRするとともに、市内外での取扱い店舗を増やしていく。	同左	同左
	経費(千円)	850	860	870

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①加西産品の販売店舗数	目標		35	37	39	41	43	45
	実績	27	30	30				
(指標及びH32目標値の設定理由) 加西産品を商品・食材として販売し、PRLしている小売店舗数をH32に10店舗増とする。	目標数値の達成度	単年度	86%	81%				
		最終年度	67%	67%				
②★PRブース年間開設数【3-57】	目標		12	13	14	15	17	17
	実績	—	12	13				
(指標及びH32目標値の設定理由) 物産展に参加し、加西産品を販売した回数をH32に5回増とする。	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	71%	76%				

H28取組状況	出展を行うときは、加西喝采みやげから品物を選び積極的にPRを図りました。市内外で開催される物産イベントで13回出展を行いました。
---------	--

課題と今後の取組	市内外の物産展等に参加をし、加西産品のPR、販売を市内事業者とともに行ってまいります。今後も積極的に参加し、加西の魅力ある物産品(喝采みやげ)をメインにPRしていきます。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
①	②実行中	B: 予定より遅延	81%	67%	C: 目標を下回っている	②継続
②	②実行中	A: 予定通り進行	100%	76%		

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・市内外での取扱店舗増のため、物産展への積極的参加により加西産品をPR	・同左	
	経費(千円)	870	870	

変更する内容	
--------	--

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	9 地域資源を活用した産業振興
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。
関連課名	農政課、産業振興課、文化・観光・スポーツ課、都市計画課、

取り組みの進捗状況を確認するための数値 〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)加西製品の販売店舗数 (定義)加西産品を商品・食材として販売し、PRしている小売店舗数 (根拠)加西産品を販売している小売店、直売所をカウントする 現在数の30%増(H27)及び60%増(H32) (担当者)文化・観光・スポーツ課長 (目標値10年)当初(H22):27店 現状:35店 5年後:45店 (目標値3年)平成30年度:41店 平成31年度:43店 平成32年度:45店</p> <p>(指標名)★PRブース年間開設数【3-57】 (定義)物産展に参加し、加西産品を販売した回数 (根拠)物産展へのブース出展回数をカウントする (担当者)文化・観光・スポーツ課長 (目標値10年)当初(H22):一回 現状:12回 5年後:17(6)回 (目標値3年)平成30年度:15回 平成31年度:17回 平成32年度:17回</p>
-----------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	9 地域資源を活用した産業振興
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。
関連課名	農政課、産業振興課、文化・観光・スポーツ課、都市計画課、

基本計画	5 ポイントカード事業、ネットモール運営事業を支援します。		
------	-------------------------------	--	--

主管部課	部名	地域振興部	課名	産業振興課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・ポイントカード事業、住宅リフォーム助成事業、プレミアム付市内商品券事業、ネットショップ事業		同左
	経費(千円)	13,500	13,500	13,500

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
卸売業・小売業年間販売額(億円)	目標		700	710	720	735	750	750
	実績	493	667	707				
(指標及びH32目標値の設定理由) 商業力の指標となる数値で、年間10億円程度の増加を設定。	目標数値の達成度	単年度	95%	100%				
		最終年度	89%	94%				

H28取組状況	ポイントカードや市内共通商品券の発行し市内消費の喚起に努めました。また、市内の商業者を紹介する情報誌「たまり場」を作成し、市内の商店の活性化に取り組みました。
---------	---

課題と今後の取組	ポイントカード事業、住宅リフォーム助成事業やプレミアム付市内商品券事業の支援については、市内商業活性化に寄与していると考えられます。今後は、急速な人口減少により縮小するマーケットを補完するため、さらに効果的な事業運営を図ります。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	94%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・ポイントカード事業、住宅リフォーム助成事業、プレミアム付市内商品券事業		・同左
	経費(千円)	13,000	13,000	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)卸売業・小売業年間販売額 (定義)卸売業小売業合計の年間販売額 (根拠)商業統計 (担当者)産業振興課長 (目標値10年)当初(H19):493億円 現状:700億円 5年後:750億円 (目標値3年)平成30年度:735億円 平成31年度:750億円 平成32年度:750億円 ※実績値は推定値のため、実績値を把握次第修正します</p>
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	9 地域資源を活用した産業振興
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。
関連課名	農政課、産業振興課、文化・観光・スポーツ課、都市計画課、

基本計画	6 中小企業事業資金融資制度の見直しと拡充を行います。			
------	-----------------------------	--	--	--

主管部課	部名	地域振興部	課名	産業振興課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・中小企業事業資金融資制度 ・保証料負担 ・利子補給	同左	同左
	経費(千円)	188,759	189,191	189,191

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
製造品出荷額等(億円)【4-67】	目標		2,420	2,480	2,540	2,600	2,662	2,662
	実績	2,538	2,514	2,516				
(指標及びH32目標値の設定理由) 工業力の指標となる数値で、現状値から10%程度増加を設定。	目標数値の達成度	単年度	104%	101%				
		最終年度	94%	95%				

H28取組状況	中小企業制度融資について、中小企業支援対策として市が0.4%を利子補給しました。また信用保証協会保証料の20%を市が負担しました。平成28年度の中小企業事業資金融資の状況は、実行融資額42件・206,870千円、セーフティネット保証制度による中小企業信用保険法第2条第4項に規定する5号認定を20件行いました。
---------	---

課題と今後の取組	他市町及び県の制度の動向等をみながら、創業支援メニューの開発等、制度のあり方を研究していきます。また、金融機関と調整会議を開催し、ニーズの把握に努めていきます。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	101%	95%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・中小企業事業資金融資制度 ・保証料負担 ・利子補給	・同左	
	経費(千円)	212,739	212,739	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)製造品出荷額等【4-67】 (定義)工業統計 4人以上の事業所のうち製造品出荷額等 (根拠)商業統計(毎年実施) 現状の2%増(25年度)、4%増(32年度)を見込む (担当者)産業振興課長 (目標値10年)当初(H20):2,538億円 現状:2,420億円 5年後:2,662億円(★5年間増加率10%) (目標値3年)平成30年度:2,600億円 平成31年度:2,662億円 平成32年度:2,662億円 ※実績値は推定値のため、実績値を把握次第修正します</p>
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	9 地域資源を活用した産業振興
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。
関連課名	農政課、産業振興課、文化・観光・スポーツ課、都市計画課、

基本計画	7 地元企業も進出しやすい新規産業団地を整備するとともに、市内企業の拡張の支援に努めます。		
------	---	--	--

主管部課	部名	都市整備部	課名	都市計画課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	(新産業団地関係) ・整備手法等について、県関係課と協議 ・アンケート調査及び説明会の開催 (市内企業の拡張の支援) ・工業系特別指定区域制度における加西市独自基準の策定	(新産業団地関係) ・整備手法等について、県関係課と協議 ・市街化区域編入(一部)手続き (市内企業の拡張の支援) ・特別指定区域制度及び地区計画制度の活用	(新産業団地関係) ・将来整備計画地の調査 (市内企業の拡張の支援) ・特別指定区域制度及び地区計画制度の活用
	経費(千円)	0	5,000	0

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市内総生産(名目)【2-39、4-68】	目標		1,931	1,940	1,950	1,960	1,980	1,980
	実績	1,819	1,757	1,769				
(指標及びH32目標値の設定理由) H23年度の1,796億円から10年間で10%増を目安として設定	目標数値の達成度	単年度	91%	91%				
		最終年度	89%	89%				

H28取組状況	(新産業団地関係) ・整備手法等について県関係課、検討地の地元と協議しました。 ・繁昌町国道372号沿道地区について地権者へのアンケート調査を行いました。 (市内企業の拡張の支援) ・工業系特別指定区域にて加西市独自基準を策定し、6地区の指定を進めました。 ・地区計画制度を活用し、市街化調整区域にて下宮木町南部産業集積地区地区計画を策定しました。
---------	---

課題と今後の取組	・新規産業団地については、整備手法・スケジュールについて県関係課と協議を続けます。また、地域の理解を得るために、アンケート調査・説明会等を適時開催します。 ・特別指定区域制度及び地区計画制度を活用し、地域の実情に沿った適切な制度の選択による規制緩和を行います。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	91%	89%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	(新産業団地関係) ・将来整備計画地の事業化検討・調査 (市内企業の拡張の支援) ・特別指定区域制度及び地区計画制度の活用	(新産業団地関係) ・将来整備計画地の市街化区域編入に向けた県関係課協議 (市内企業の拡張の支援) ・特別指定区域制度及び地区計画制度の活用	
	経費(千円)	0	0	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)市内総生産(名目)【2-39、4-68】 (定義)名目市内総生産(GDP) (根拠)兵庫県市町内総生産統計表(毎年)H23年度の1,796億円から10年間で10%増を目安として設定 (担当者)都市計画課長 (目標値10年)当初(H19):1,819億円 現状:1,931億円 5年後:1,980億円 (目標値3年)平成30年度:1,960億円 平成31年度:1,980億円 平成32年度:1,980億円 ※実績値は推定値のため、実績値を把握次第修正します
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	9 地域資源を活用した産業振興
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。
関連課名	農政課、産業振興課、文化・観光・スポーツ課、都市計画課、

基本計画	8 宿泊施設の充実とホテルの誘致を推進します。
------	-------------------------

主管部課	部名	地域振興部	課名	産業振興課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・公募型プロポーザルによる事業者の選定 ・基本設計、実施設計、建築手続 ・建築工事開始	・建築工事 ・開業	-
	経費(千円)	0	0	-

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★ホテル設置数	目標		-	-	1	1	1	1
	実績	-	-	-				
(指標及びH32目標値の設定理由) 宿泊施設誘致による市内へのホテル設置数。1カ所を目標に設定。	目標数値の達成度	単年度	-	-				
		最終年度	-	-				

H28取組状況	調査に基づき、関係部署による検討委員会を開催。事業者選定のための公募型プロポーザルを実施し、ビジネスタイプの宿泊施設を誘致しました。事業用地における土地賃貸契約も締結し、工事着工までを取り組みました。鉄筋コンクリート造、地上9階建て、客室152室。
---------	--

課題と今後の取組	工事完了及びホテル開業までスムーズに運べるよう取り組みます。
----------	--------------------------------

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	-	-	-	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	-	-	
	経費(千円)	-	-	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★ホテル設置数 (定義)市内ホテル設置数 (根拠)市内ホテル設置数 (担当者)産業振興課長 (目標値10年)当初(H22):一箇所 現状:一箇所 5年後:1箇所 (目標値3年)平成30年度:1箇所 平成31年度:1箇所 平成32年度:1箇所
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	9 地域資源を活用した産業振興
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。
関連課名	農政課、産業振興課、文化・観光・スポーツ課、都市計画課、

基本計画	9 ★魅力ある商業施設の誘致を図ります。		
------	----------------------	--	--

主管部課	部名	地域振興部	課名	産業振興課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・商業施設誘致についての調査研究	同左	同左
	経費(千円)	0	0	0

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
卸売業・小売業年間販売額(億円)【3-56】	目標		700	710	720	735	750	750
	実績	493	667	707				
(指標及びH32目標値の設定理由) 商業力の指標となる数値で、年間10億円程度 の増加を設定。	目標数値の 達成度	単年度	95%	100%				
		最終年度	89%	94%				

H28取組状況	事例集や事業者へのヒアリングを行うなど、商業施設誘致についての調査・研究を行いました。
---------	---

課題と今後の取組	引き続き、調査・研究を行い、商業施設の誘致を図ります。
----------	-----------------------------

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	94%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・商業施設誘致についての調査研究	・同左	
	経費(千円)	0	0	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)卸売業・小売業年間販売額【3-56】 (定義)卸売業小売業合計の年間販売額 (根拠)商業統計 (担当者)産業振興課長 (目標値10年)当初(H19):493億円 現状:700億円 5年後:750億円 (目標値3年)平成30年度:735億円 平成31年度:750億円 平成32年度:750億円 ※実績値は推定値のため、実績値を把握次第修正します
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	10 加西に住んで働ける就労支援
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。
関連課名	産業振興課、人口増政策課、ふるさと創造課

基本計画	1 新卒者等若者へ多様な媒体を通じて魅力ある市内企業就職情報を提供します。			
主管部課	部名	地域振興部	課名	産業振興課
実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・大学訪問 ・日経就職ナビ ・合同就職面接会	同左	同左
	経費(千円)	1,800	1,800	1,800

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①若者の加西市残存定住率	目標		73	75	76	77	80	80
	実績	73	74	75				
(指標及びH32目標値の設定理由) 大学就学前の若者が10年後に加西市に残存する率。年間1%の増加を目標設定。	目標数値の達成度	単年度	101%	100%				
		最終年度	93%	94%				
②★勤労者の定住促進による市内事業所従業員市内居住率(%)【2-37】	目標		42	43	44	46	50	50
	実績	—	41	43				
(指標及びH32目標値の設定理由) 市内事業所で働く従業員が市内に居住する割合。年間2%の増加を目標設定。	目標数値の達成度	単年度	98%	100%				
		最終年度	82%	86%				

H28取組状況
 兵庫労働局と雇用対策協定を締結し、関係機関と連携して若者への就職支援に取り組みました。
 兵庫県、大阪府、京都府の市内出身者の多い15大学を訪問し、Uターン、Iターンの推進に努めました。
 加西市雇用開発協議会、ハローワーク西脇と連携を図り、合同就職面接会を開催しました。
 加西市雇用開発福祉協議会と連携を図り、就職ポータルサイトに市内の企業情報や採用情報を掲載しました。

課題と今後の取組
 大手企業の求人数増加により、地方の中小企業の人材確保が厳しい状況にあります。大学訪問や様々な媒体による市内企業のPRに努めていきます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
①	②実行中	A: 予定通り進行	100%	94%	B: 目標を達成	②継続
②	②実行中	A: 予定通り進行	100%	86%		

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・大学訪問 ・加西市就職ナビ ・合同就職面接会 ・加西企業ガイドブックFit in	・同左	
	経費(千円)	1,800	1,800	
変更する内容				

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	10 加西に住んで働ける就労支援
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。
関連課名	産業振興課、人口増政策課、ふるさと創造課

取り組みの進捗 状況を確認する ための数値 〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)若者の加西市残存定住率 (定義)10年前に16～18歳であった若者における10年後(算出年度)の残存割合。新規転入者も含む。 (根拠)市人口データより算出 H22残存率(H22.3.31の26～28歳)÷(H12.3.31の16～18歳) 1,537人÷2,015人=73% H27残存率(H27.3.31の26～28歳)÷(H17.3.31の16～18歳) 1,356人÷1,808人=75% H32残存率(H32.3.31の26～28歳)÷(H22.3.31の16～18歳) 1,141人÷1,521人=75% (担当者)産業振興課長 (目標値10年)当初(H22):73% 現状:73% 5年後:80% (目標値3年)平成30年度:77% 平成31年度:80% 平成32年度:80%</p> <p>(指標名)★勤労者の定住促進による市内事業所従業員市内居住率【2-37】 (定義)市内事業所従業員の市内居住率 (根拠)従業員数20名以上の市内事業所に対する雇用状況調査より算出 (担当者)産業振興課長 (目標値10年)当初(H22):1% 現状:42% 5年後:50% (目標値3年)平成30年度:46% 平成31年度:50% 平成32年度:50%</p>
-------------------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	10 加西に住んで働ける就労支援
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。
関連課名	産業振興課、人口増政策課、ふるさと創造課

基本計画	2 働きたい仕事が見つかるよう求人情報を通勤手段別に整理し、情報量や提供範囲を広げて利用機会を高めます。		
------	--	--	--

主管部課	部名	地域振興部	課名	産業振興課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと就職支援事業 ・ふるさとハローワーク運営 ・就職支援セミナーの実施 ・企業訪問事業 	同左	同左
	経費(千円)	8,214	8,725	8,725

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
ふるさとハローワークにおける就職者数	目標		568	620	640	660	680	700
	実績	—	600	506				
(指標及びH32目標値の設定理由) ふるさとハローワークからの紹介による就職者数。年間20名の増加を目標設定。	目標数値の達成度	単年度	106%	82%				
		最終年度	86%	72%				

H28取組状況	<p>兵庫労働局と雇用対策協定を締結し、求職者の就職支援に取り組みました。</p> <p>小学生の親子を対象に夏休み産業観光ツアーを開催し、子どもたちに「市内のモノづくり優良企業」への興味や関心を高めてもらい、将来の加西への定住促進を図りました。</p> <p>ふるさとハローワークを運営し、市民の就職の促進と生活の安定を図りました。また、就労支援員による相談を実施しました。</p> <p>利用者と就職件数の増加を目指して、就職支援セミナーを月1回開催しました。</p>
---------	--

課題と今後の取組	<p>全国的に求職者が減少しており、それに伴いふるさとハローワークの来所者やふるさとハローワークからの紹介による就職者も減少しました。</p> <p>案内看板やパンフレットの設置、SNSによる情報発信等により利用者の増加を図るとともに、利用者に適したマッチングや就職支援セミナーの充実を図り、就職者の増を目指します。</p>
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	82%	72%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと就職支援事業 ・ふるさとハローワーク運営 ・就職支援セミナーの実施 ・企業訪問事業 ・SNSによる情報発信 	・同左	
	経費(千円)	9,976	9,976	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)ふるさとハローワークにおける就職者数 (定義)ふるさとハローワークの紹介による就職者数 (根拠)ふるさとハローワークの紹介による就職者数 (担当者)産業振興課長 (目標値10年)当初(H22):一人 現状:568人 5年後:700人 (目標値3年)平成30年度:660人 平成31年度:680人 平成32年度:700人</p>
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	10 加西に住んで働ける就労支援
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。
関連課名	産業振興課、人口増政策課、ふるさと創造課

基本計画	3 若者が働きたくなる産業の創出、誘致を推進します。
------	----------------------------

主管部課	部名	地域振興部	課名	産業振興課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・新規採用等雇用現況調査 ・各産業(工業)団地連絡協議会への参加 ・商工会議所と連携し、若者が働きたくなるような産業創出を検討	同左	同左
	経費(千円)	16	16	16

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①市内企業における住民就労率(%)	目標		35	36	37	38	39	40
	実績	30	36	37				
(指標及びH32目標値の設定理由) 市内産業団地において就労する市民の割合を示す数値で、年間1%の増加を目標設定。	目標数値の達成度	単年度	103%	103%				
	最終年度	90%	93%					
②★若者就職支援事業による市内事業所従業員市内居住率(%)【2-34】	目標		42	43	44	46	50	50
	実績	—	41	42				
(指標及びH32目標値の設定理由) 市内事業所において就労する市民の割合を示す数値で、年間2%の増加を目標設定。	目標数値の達成度	単年度	98%	98%				
	最終年度	82%	84%					

H28取組状況	産業(工業)団地を含む市内企業を対象に雇用アンケート調査を行い、若年者の新規雇用の状況及び就業形態、労働者の居住地域などの分析を行います。また県土地開発公社や商工会議所、各産業(工業)団地連絡協議会と連携を図りました。市内雇用を高めるため、各産業(工業)団地や市内企業に対して積極的に住民採用を働きかけました。
---------	---

課題と今後の取組	アンケートの調査結果を分析し、新たな定住促進施策を立案していく必要があります。また、施策立案に当たっては、産業(工業)団地連絡協議会と連携を図り、様々なニーズ調査等を行う必要があります。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
①	②実行中	S: 予定より早く進行	103%	93%	B: 目標を達成	②継続
②	②実行中	B: 予定より遅延	98%	84%		

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・新規採用等雇用現況調査 ・各産業(工業)団地連絡協議会への参加 ・商工会議所と連携し、若者が働きたくなるような産業創出を検討	・同左	
	経費(千円)	53	53	

変更する内容	
--------	--

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	10 加西に住んで働ける就労支援
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。
関連課名	産業振興課、人口増政策課、ふるさと創造課

<p>取り組みの進捗状況を確認するための数値 〔再掲〕</p>	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)市内企業における住民就労率 (定義)市内4産業団地の企業に勤務する従業員における加西市民の割合 (根拠)各企業に聞き取り調査を行い、年1%増を見込む (担当者)産業振興課長 (目標値10年)当初(H22):30% 現状:35% 5年後:40% (目標値3年)平成30年度:38% 平成31年度:39% 平成31年度:40%</p> <p>(指標名)★若者就職支援事業による市内事業所従業員市内居住率【2-34】 (定義)市内事業所従業員の市内居住率 (根拠)従業員数20名以上の市内事業所に対する雇用状況調査より算出 (担当者)産業振興課長 (目標値10年)当初(H22):—% 現状:42% 5年後:50% (目標値3年)平成30年度:46% 平成31年度:50% 平成32年度:50%</p>
-------------------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	10 加西に住んで働ける就労支援
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。
関連課名	産業振興課、人口増政策課、ふるさと創造課

基本計画	4 ハローワークとの連携を強化し、再就職をめざす女性に情報提供や再就職講座を実施します。		
------	--	--	--

主管部課	部名	地域振興部	課名	産業振興課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール	取組内容	H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
		同左		
	経費(千円)	429	900	900

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★就職支援助成年間件数【2-38】	目標		1	2	4	6	10	10
	実績	—	1	0				
(指標及びH32目標値の設定理由) 再就職をめざす女性の講座受講を示す数値で、年間2件の増加を目標設定。	目標数値の達成度	単年度	100%	0%				
		最終年度	10%	0%				

H28取組状況	兵庫労働局と雇用対策協定を締結し、女性の再就職支援に取り組みました。求職者に対する就職支援セミナーを月1回開催するとともに、子育て女性を対象とした働き方を考えるセミナーを開催しました。関係機関との連携により、女性や社会的弱者に対する相談体制を構築しました。出産や子育てのために就業していない女性が就職のために受講する講座の経費の一部を助成する子育てママ就職支援補助制度を実施しました。
---------	--

課題と今後の取組	関係機関との連携により、さらに女性の再就職支援に取り組んでいきます。子育てママ就職支援補助制度の利用を図るため、さらなる周知を図っていきます。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	0%	0%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		同左		
	経費(千円)	900	900	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★就職支援助成年間件数【2-38】 (定義)出産や子育てのために就業していない女性が就職のために受講する講座の経費の一部を助成する制度の助成件数 (根拠)出産や子育てのために就業していない女性が就職のために受講する講座の経費の一部を助成する制度の助成件数 (担当者)産業振興課長 (目標値10年)当初(H22):一件 現状:1件 5年後:10件 (目標値3年)平成30年度:6件 平成31年度:10件 平成32年度:10件
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	10 加西に住んで働ける就労支援
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。
関連課名	産業振興課、人口増政策課、ふるさと創造課

基本計画	5 ★市内企業への高校生の就職を支援します。			
------	------------------------	--	--	--

主管部課	部名	地域振興部	課名	産業振興課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・企業訪問 ・ハローワーク等の関係機関の連携	同左	同左
	経費(千円)	0	0	0

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★市内事業所高校新卒正規社員年間採用者数【2-32】	目標		71	75	80	85	100	100
	実績	—	—	72				
(指標及びH32目標値の設定理由) 市内事業所による高校生採用人数を示す数値で、年間5名の増加を目標設定。	目標数値の達成度	単年度	—	96%				
		最終年度	—	72%				

H28取組状況	兵庫労働局と雇用対策協定を締結し、高校生を含む若者の就職支援を行いました。 ハローワーク西脇と連携し、市内10事業所への求人要請を行いました。 高校生の職業意識の醸成を図るため、市内県立高校2校の高校2年生を対象に職業講話を実施しました。
---------	---

課題と今後の取組	関係機関と連携し、さらに高校生の就職支援に取り組みます。 加西市企業ガイドブックFIT IN等を活用し、高校生に対して市内企業情報の提供を行います。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	96%	72%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・企業訪問 ・ハローワーク等の関係機関の連携	・同左	
	経費(千円)	0	0	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★市内事業所高校新卒正規社員年間採用者数【2-32】 (定義)従業員数20名以上の市内事業所における高校新卒採用者数 (根拠)従業員数20名以上の市内事業所に対する雇用状況調査より算出 (担当者)産業振興課長 (目標値10年)当初(H22):一人 現状:71人 5年後:100人 (目標値3年)平成30年度:85人 平成31年度:100人 平成32年度:100人
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	10 加西に住んで働ける就労支援
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。
関連課名	産業振興課、人口増政策課、ふるさと創造課

基本計画	6 ★働く女性の雇用を推進します。
------	-------------------

主管部課	部名	地域振興部	課名	産業振興課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・就職支援セミナーの定期開催 ・子育てママ就職支援補助制度 ・国県等の助成制度の調査研究	・就職支援セミナーの定期開催 ・子育てママ就職支援補助制度 ・助成制度の検討	同左
	経費(千円)	429	900	900

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★市内事業所女性従業員正社員率(%)【2-33】	目標		43	43	45	47	50	50
	実績	—	41	46				
(指標及びH32目標値の設定理由) 市内事業所に勤務する女性従業員のうち正社員の割合。年間2%の増加を目標設定。	目標数値の達成度	単年度	95%	107%				
		最終年度	82%	92%				

H28取組状況	兵庫労働局と雇用対策協定を締結し、女性の再就職支援に取り組みました。求職者に対する就職支援セミナーを月1回開催するとともに、子育て女性を対象とした働き方考えるセミナーを開催しました。関係機関との連携により、女性や社会的弱者に対する相談体制を構築しました。出産や子育てのために就業していない女性が就職のために受講する講座の経費の一部を助成する子育てママ就職支援補助制度を実施しました。
---------	---

課題と今後の取組	関係機関との連携により、さらに女性の再就職支援に取り組んでいきます。子育てママ就職支援補助制度の利用を図るため、さらなる周知を図っていきます。女性の正規雇用の拡充を推進する企業に対する助成制度等を検討していきます。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	107%	92%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・就職支援セミナーの定期開催 ・子育て女性向けセミナーの開催 ・雇用対策協定運営協議会、ふるさとハローワーク担当者の活用 ・子育てママ就職支援補助制度 ・助成制度の検討	・同左	
	経費(千円)	900	900	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★市内事業所女性従業員正社員率【2-33】 (定義)市内事業所の女性従業員数に占める正社員の割合 (根拠)従業員数20名以上の市内事業所に対する雇用状況調査より算出 (担当者)産業振興課長 (目標値10年)当初(H22):—% 現状:43% 5年後:50% (目標値3年)平成30年度:47% 平成31年度:50% 平成32年度:50%
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	10 加西に住んで働ける就労支援
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。
関連課名	産業振興課、人口増政策課、ふるさと創造課

基本計画	7 ★返還している奨学金への助成により、UJIターンによる定住を促進します。		
------	--	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課
------	----	---------	----	--------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	Uターン等により加西市に定住している者が返還した奨学金の1/3を補助	同左	同左
	経費(千円)	9,065	11,400	15,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★UJIターン者数【2-36】	目標		123	170	228	288	350	410
	実績	—	123	158				
(指標及びH32目標値の設定理由) 「UJIターン促進補助金」の交付を受けたUJIターン者を指標とし、年間60名程度の増加を想定。	目標数値の達成度	単年度	100%	93%				
		最終年度	30%	39%				

H28取組状況	平成28年度は、継続申請者数が106人、新規申請者数が52人、合計158人のUJIターン者に対し当該補助金を交付しました。
---------	---

課題と今後の取組	大学進学者の半数以上が奨学金の貸与を受けており、その返還問題が社会的に大きく取り上げられている状況の中、今後もその返還を支援することによりUJIターンを促進する必要があります。一方、補助金額が年々大きくなっているため、事業の効果検証を行いながら、制度の改正等について検討していく必要があります。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	93%	39%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・Uターン等により加西市に定住している者が返還した奨学金の1/3を補助	・同左	
	経費(千円)	15,000	18,600	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★UJIターン者数【2-36】 (定義)UJIターン促進補助金の交付を受ける者 (根拠)同上 (担当者)人口増政策課長 (目標値10年)当初(H22):一人 現状:123人 5年後:410人 (目標値3年)平成30年度:288人 平成31年度:350人 平成32年度:410人
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	10 加西に住んで働ける就労支援
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。
関連課名	産業振興課、人口増政策課、ふるさと創造課

基本計画	8 ★若者の夢の実現や地域活性化、定住促進を図るための支援に努めます。		
------	-------------------------------------	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	ふるさと創造課
------	----	---------	----	---------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	若者チャレンジ事業	若者チャレンジ事業	若者チャレンジ事業
	経費(千円)	760	750	750

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①★若者チャレンジ事業助成制度による支援年間件数【2-41】	目標		5	5	5	5	5	5
	実績	—	5	5				
(指標及びH32目標値の設定理由) 若者事業予算に即して5とする。	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	100%	100%				
②コンサート等の入場者数	目標		—	500	900	1,110	1,110	1,110
	実績	—	—	508				
(指標及びH32目標値の設定理由) はりま縁の芸術家の育成と芸術文化鑑賞機会の創出のため、はりま縁の人による芸術文化イベントへの入場者数を3年間で1000人増を目指す。	目標数値の達成度	単年度	—	102%				
		最終年度	—	46%				

H28取組状況	弱視児童早期発見プロジェクト・・・桃山学院大学の高橋ひとみ教授とタイアップして8カ所の施設に弱視キットを配布。播農農業クラブ・・・全国高校生そば打ち選手権大会出場。地域交流への参加。そば打ち段位認定会(初段・2段)全員合格。加西収穫祭・・・原始人会の会場を借り、無償でもち・神楽・はりまるを提供開催。150人程度の人が来て加西市のPRにつながった。ミニコンサート・・・アステリアかさい3Fホールを使用し、学生音楽家の発表の場となり、お昼のひとときをピアノ等の生演奏を聴くことで音楽に対する関心を高め文化レベルの向上につながった。PR動画作成・・・加西市の特産化を目指す「はりまる」に関してPBL事業で加西市の地域活性化に取り組む近畿大学生と連携し、彼らの活動を映像記録にし、若者主役計画のPRを図り加西市の活性化ツールを制作した。
---------	---

課題と今後の取組	若者が地域貢献活動を初めて行うための資金や場を援助することにより、チャレンジできる社会の構築と次代を担う人材育成を目的としており、今後も継続していく必要がある。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
①	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続
②	②実行中	S: 予定より早く進行	102%	46%		

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	10 加西に住んで働ける就労支援
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。
関連課名	産業振興課、人口増政策課、ふるさと創造課

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		・若者チャレンジ事業 ・音楽・芸術のまちはりまプロジェクト		・同左
	経費(千円)	1,750	1,750	
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)★若者チャレンジ事業助成制度による支援年間件数【2-41】 (定義)若者誘致と自己実現 (根拠)自己実現可能なサードプレイスづくりとして機能する事業であるため。 (担当者)ふるさと創造課長 (目標値10年)当初(H22):一件 現状: 5件 5年後: 5件 (目標値3年)平成30年度:5件 平成31年度:5件 平成32年度:5件</p> <p>(指標名)コンサート等の入場者数 (定義)はりま縁の芸術家の育成と芸術文化鑑賞機会の創出 (根拠)はりま縁の人による芸術文化イベントへの入場者数 (担当者)ふるさと創造課長 (目標値10年)当初(H22):一人 現状:110人 5年後:1,110人 (目標値3年)平成30年度:1,110件 平成31年度:1,110件 平成32年度:1,110件</p>			

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	10 加西に住んで働ける就労支援
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。
関連課名	産業振興課、人口増政策課、ふるさと創造課

基本計画	9 ★若者等の起業支援や後継者育成のための支援に努めます。		
------	-------------------------------	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	ふるさと創造課
------	----	---------	----	---------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	若者起業調査助成事業	同左	同左
	経費(千円)	150	750	750

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★若者起業支援年間件数【2-42】	目標		4	5	5	5	5	5
	実績	—	4	1				
(指標及びH32目標値の設定理由) 予算・人員に伴い、全体で5件程度が限界であるため。	目標数値の達成度	単年度	100%	20%				
		最終年度	80%	20%				

H28取組状況	飲食店(やきとり)の開業を志す若者に調査費を助成します。(創業計画書の作成、取り扱い商品の研究、仕入れ先の確保)
---------	--

課題と今後の取組	いきなり若者が起業するのは難しいため、創業計画書の作成や店の立地調査、コンサルタントへの委託料など様々な事前調査費が必要となり、その費用の一部を助成することにより、少しでも初期投資の費用を軽減できるため、今後も継続していく必要があります。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	20%	20%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	経費(千円)	750	750	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値 〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)★若者起業支援年間件数【2-42】 (定義)若者起業者誘致と起業化 (根拠)加西市における起業マーケット調査を推進する事で起業の実現性を調査し、ウィークポイントに関してサポートして起業に繋げる。 (担当者)ふるさと創造課長 (目標値10年)当初(H22):一件 現状:4件 5年後:5件 (目標値3年)平成30年度:5件 平成31年度:5件 平成32年度:5件</p>
-----------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	10 加西に住んで働ける就労支援
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。
関連課名	産業振興課、人口増政策課、ふるさと創造課

基本計画	10 ★創業希望者に対する支援体制を構築します。		
------	--------------------------	--	--

主管部課	部名	地域振興部	課名	産業振興課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール	取組内容	H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
		・ワンストップ相談窓口 ・かさい創業塾 ・創業支援相談窓口 ・創業支援施策の調査研究	同左	同左
経費(千円)		656	500	500

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★年間創業者数【2-45】	目標		3	5	5	7	7	7
	実績	—	5	5				
(指標及びH32目標値の設定理由) 創業支援事業を受けて創業した人数で、最終年度に年間7名(倍増)の創業を目標設定。	目標数値の達成度	単年度	167%	100%				
		最終年度	71%	71%				

H28取組状況	産業競争力強化法に基づく創業支援計画により、ワンストップ相談窓口(産業振興課)、かさい創業塾(加西商工会議所)、創業支援相談窓口(加西商工会議所)等の創業希望者に対する支援を行いました。
---------	---

課題と今後の取組	さらなる創業の促進を図るため、創業者向けの融資制度等の支援策を検討していきます。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	71%	B: 目標を達成	②継続

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		・ワンストップ相談窓口 ・かさい創業塾 ・創業支援相談窓口 ・創業支援施策の調査研究 ・産業活性化センター事業	同左	同左
経費(千円)		4,000	4,000	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★年間創業者数【2-45】 (定義)創業支援事業による年間創業者数 (根拠)創業支援事業による年間創業者数 (担当者)産業振興課長 (目標値10年)当初(H22):一件 現状:3件 5年後:7件 (目標値3年)平成30年度:7件 平成31年度:7件 平成32年度:7件
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	11 加西らしい観光サービス
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。
関連課名	生涯学習課、文化・観光・スポーツ課、人口増政策課、

基本計画	1 地域文化財保存会や研究会等の団体による歴史文化遺産を継承・活用する活動を支援します。		
------	--	--	--

主管部課	部名	教育委員会	課名	生涯学習課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	住吉神社歴史的建造物群の文化財指定 文化財等看板設置 特別展の開催	五百羅漢石仏追加指定 文化財等看板設置 特別展の開催	文化財等看板設置 特別展の開催
	経費(千円)	173	400	400

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
文化財の新規指定・登録件数	目標		10	11	12	13	14	15
	実績	5	8	17				
(指標及びH32目標値の設定理由) H32までに3倍増の累計15件を指定する。	目標数値の達成度	単年度	80%	155%				
		最終年度	53%	113%				

H28取組状況	住吉神社歴史的建造物群を市指定文化財に指定(9件)しました。うち7件が県指定文化財に指定されました。文化財説明看板を1基、標柱を1本新設しました。
---------	---

課題と今後の取組	平成29年度に「加西市歴史文化基本構想」を策定するので、今後は同構想に基づき包括的な文化財の指定を進めていきます。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	155%	113%	A: 目標を上回って達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・文化財等看板設置	・同左	
	経費(千円)	400	400	

変更する内容	
--------	--

取組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)文化財の新規指定・登録件数 (定義)新規に指定・登録する国・県・市の文化財件数 (根拠)過去の実績データから算出 (担当者)生涯学習課長 (目標値10年)当初(H22):5件 現状:10件 5年後:15件 (目標値3年)平成30年度:13件 平成31年度:14件 平成32年度:15件
------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	11 加西らしい観光サービス
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。
関連課名	生涯学習課、文化・観光・スポーツ課、人口増政策課、

基本計画	2 ★歴史文化基本構想を策定し、歴史文化を活かしたまちづくりと観光資源化を図ります。			
------	--	--	--	--

主管部課	部名	教育委員会	課名	生涯学習課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	歴史文化基本構想策定のための基礎調査実施	歴史文化基本構想策定シンポジウムの開催	日本遺産申請
	経費(千円)	3,830	5,000	

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★歴史文化遺産の調査	目標		0	10	15	18	20	20
	実績	—	—	27				
(指標及びH32目標値の設定理由) 歴史文化遺産20件の調査を実施する	目標数値の達成度	単年度	—	270%				
		最終年度	—	135%				

H28取組状況	地蔵菩薩立像の悉皆調査(市域)、建造物実測調査等調査(24ヶ所)、青野原俘虜収容所調査、宇仁地区仏堂調査(1地域)等、当初計画を上回る件数の調査を実施した。
---------	--

課題と今後の取組	平成29年度に「加西市歴史文化基本構想」を策定します。
----------	-----------------------------

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	270%	135%	B: 目標を達成	②継続

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	経費(千円)	0	0	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★歴史文化遺産の調査 (定義)石仏及び古史料の調査と記録 (根拠)市内10地区×2物件 (担当者)生涯学習課長 (目標値10年)当初(H22):一件 現状:0件 5年後:20件 (目標値3年)平成30年度:18件 平成31年度:20件 平成32年度:20件
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	11 加西らしい観光サービス
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。
関連課名	生涯学習課、文化・観光・スポーツ課、人口増政策課、

基本計画	3 ツーリズムによる地域資源をつなげる観光ツアーや着地型のふるさと再発見ツアーを実施し、市内外に魅力を情報発信します。
------	---

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	文化・観光・スポーツ課
実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	同左		同左
	経費(千円)	900	1,000	1,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①観光まちづくり協会と連携する観光ツアー等の参加者数	目標		2,000	2,200	2,400	2,600	2,800	3,000
	実績	1,450	1,990	2,146				
(指標及びH32目標値の設定理由) H32の参加者数を1000人増の3000人を想定	目標数値の達成度	単年度	100%	98%				
		最終年度	66%	72%				
②★フェイスブック「いいね！」件数【3-58】	目標		736	1,100	1,200	1,300	1,400	1,500
	実績	—	1,011	1,434				
(指標及びH32目標値の設定理由) H32の目標値をH27に達成したため、倍増の目標に変更する	目標数値の達成度	単年度	137%	130%				
		最終年度	67%	96%				

H28取組状況	・H28は、大河ドラマが真田丸であり、後藤又兵衛として出演する哀川さんを招いてトークショーを企画しました。ボランティアガイド、神鉄との共催ハイキングは年約1,600人が参加。バス助成金制度を利用したツアーは15団体470名。 ・フェイスブックはほぼ毎日更新を行い、多くの方に「いいね！」をしていただきました。
---------	---

課題と今後の取組	ハイキングとバスツアー助成は好評で今後も継続して行い、加西への訪問者を増やします。フェイスブックを活用して、タイムリーな情報提供を行います。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
①	②実行中	B: 予定より遅延	98%	72%	A: 目標を上回って達成	②継続
②	②実行中	S: 予定より早く進行	130%	96%		

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	11 加西らしい観光サービス
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。
関連課名	生涯学習課、文化・観光・スポーツ課、人口増政策課、

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		<ul style="list-style-type: none"> ・ハイキングなど企画・開催(加西市歴史街道ボランティアガイドらと共催) ・FaceBookで加西の旬な情報を発信 ・外国人向けモニターツアーの実施 ・バスラッピング 		<ul style="list-style-type: none"> ・ハイキングなど企画・開催(加西市歴史街道ボランティアガイドらと共催) ・facebookで加西の旬な情報を発信
経費(千円)		4,000	1,000	
変更する内容	フェイスブックは、当初のH32目標値をH27で達成したため、1000件→1500件に目標値変更			
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)観光まちづくり協会と連携する観光ツアー等の参加者数 (定義)加西市観光まちづくり協会が主催、共催、後援、協力等を行う観光ツアーの参加者数 協会及び市が把握しているツアーの累計 (根拠)平成27年度 観光入込予測数(100万人)の0.2% 平成32年度 観光入込予測数(100万人)の0.5%</p> <p>(担当者)文化・観光・スポーツ課長 (目標値10年)当初(H22):1,450人 現状:2,000人 5年後:3,000人 (目標値3年)平成30年度:2,600人 平成31年度:2,800人 平成32年度:3,000人</p> <p>(指標名)★フェイスブック「いいね！」件数【3-58】 (定義)年度末時点の加西市観光まちづくり協会の「いいね！」数 (根拠)3月末日時点での加西市観光まちづくり協会facebookの「いいね！」数をカウント (担当者)文化・観光・スポーツ課長 (目標値10年)当初(H22):一件 現状:736件 5年後:1,500(1,000)件 (目標値3年)平成30年度:1,300件 平成31年度:1,400件 平成32年度:1,500件</p>			

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	11 加西らしい観光サービス
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。
関連課名	生涯学習課、文化・観光・スポーツ課、人口増政策課、

基本計画	4 特色ある観光サービスを推進し、住民との協働により観光推進基本計画による事業展開を図ります。		
------	---	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	文化・観光・スポーツ課
------	----	---------	----	-------------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	物産展等で加西喝采みやげブースを出展する	同左	加西喝采みやげを更新する
	経費(千円)	50	50	500

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
加西喝采ブランド品数	目標		30	30	30	35	35	35
	実績	—	30	30				
(指標及びH32目標値の設定理由) 加西喝采みやげ数を増やすため現状の30品をH32に35品に増やします。	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	86%	86%				

H28取組状況	イベント出展では、加西喝采みやげを中心にPRを行いました。
---------	-------------------------------

課題と今後の取組	PRを行い、それぞれの認知度の向上と定着を図ります。加西喝采みやげとして、喜ばれる製品を発掘、開発していきます。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	86%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・加西喝采みやげの更新	・物産展等での加西喝采みやげブースの出展	
	経費(千円)	500	50	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)加西喝采ブランド品数 (定義)加西喝采ブランド事業を創設し、加西おすすめ物産品を増やしていく。 (根拠)加西喝采みやげ認定数をカウント (担当者)文化・観光・スポーツ課長 (目標値10年)当初(H22):一品 現状:30品 5年後:35品 (目標値3年)平成30年度:35品 平成31年度:35品 平成32年度:35品
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	11 加西らしい観光サービス
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。
関連課名	生涯学習課、文化・観光・スポーツ課、人口増政策課、

基本計画	5 ★田舎体験の実施により、地域振興を図るとともに、地域の魅力を発掘し高めることにより、交流を促進します。		
------	---	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	文化・観光・スポーツ課
------	----	---------	----	-------------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	かさいまちあそび体験交流プログラムの開催	同左	同左
	経費(千円)	1,773	1,500	1,500

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★かさいまちあそび年間参加人数【6-92】 ★田舎体験プログラム年間参加人数【2-51】	目標		400	850	900	950	1,000	1,050
	実績	—	843	836				
(指標及びH32目標値の設定理由) H32の目標値をH27に達成したため、約倍増の目標に変更する	目標数値の達成度	単年度	211%	98%				
		最終年度	80%	80%				

H28取組状況	H28年度も市内の各団体が開催していたイベントや体験プログラムを1冊のガイドブックに取りまとめ、プログラム数も昨年より2つ増え44となり、「かさいまちあそび2016秋」として10/1～10/31の1ヶ月間に集中して実施しました。
---------	--

課題と今後の取組	加西市の魅力を発見する新たなプログラムの発掘と体験交流プログラムづくりに取り組む団体の育成を行います。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	98%	80%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・かさいまちあそび体験交流プログラムの開催	・同左	
	経費(千円)	1,800	1,800	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★かさいまちあそび年間参加人数【6-92】、★田舎体験プログラム年間参加人数【2-51】 (定義)「かさいまちあそび」及び「田舎体験プログラム」の各プログラムへの参加人数 (根拠)「かさいまちあそび」及び「田舎体験プログラム」の各プログラムへの参加人数をカウント (担当者)文化・観光・スポーツ課長 (目標値10年)当初(H22):一人 現状:400人 5年後:1,050(500)人 (目標値3年)平成30年度:950人 平成31年度:1,000人 平成32年度:1,050人
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	11 加西らしい観光サービス
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。
関連課名	生涯学習課、文化・観光・スポーツ課、人口増政策課、

基本計画	6 ★観光拠点のネットワーク化を図ります。		
------	-----------------------	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	文化・観光・スポーツ課
------	----	---------	----	-------------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	観光拠点10ヵ所程度にWi-Fi施設を整備	観光拠点10ヵ所程度にWi-Fi施設を運営	同左
	経費(千円)	2,100	600	600

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★観光施設Wi-Fiスポット数【3-54】	目標		1	1	4	6	10	10
	実績	—	1	10				
(指標及びH32目標値の設定理由) 観光施設の利便性向上のため現状1箇所を10箇所に増やします。	目標数値の達成度	単年度	100%	1000%				
		最終年度	10%	100%				

H28取組状況	兵庫県ツーリズム協会の補助金を活用し、市内観光関連施設10箇所にwi-fi施設を設置完了した。
---------	---

課題と今後の取組	継続運用を行い、発展した展開をしていく。
----------	----------------------

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	1000%	100%	S: 目標を大きく上回って達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・観光拠点10ヵ所のWi-Fi施設の運営	同左	
	経費(千円)	120	120	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★観光施設Wi-Fiスポット数【3-54】 (定義)観光動態調査で対象となっている観光施設にWi-Fi環境を整備 (根拠)Wi-Fi環境が整備されている観光施設数をカウントする。 (担当者)文化・観光・スポーツ課長 (目標値10年)当初(H22):一ヵ所 現状:1ヵ所 5年後:10ヵ所 (目標値3年)平成30年度:6ヵ所 平成31年度:10ヵ所 平成32年度:10ヵ所
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	11 加西らしい観光サービス
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。
関連課名	生涯学習課、文化・観光・スポーツ課、人口増政策課、

基本計画	7 ★緑豊かな森の中に、市のキャラクターをモチーフとするアート空間の整備を推進します。		
------	---	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課
------	----	---------	----	--------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	検討	調査研究	同左
	経費(千円)	0	3,000	3,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★根日女の森整備構想とりまとめ【3-55】	目標		-	-	-	-	1	1
	実績	-	-	-				
(指標及びH32目標値の設定理由) 整備推進の前段となる基本構想のとりまとめ が第1段階の目標となる。	目標数値の 達成度	単年度	-	-				
		最終年度	-	-				

H28取組状況	—
---------	---

課題と今後の取組	根日女の森整備基本構想策定に向けた調査研究の前段階として、事例等の資料収集を行います。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	①未着手	—	-	-	C:目標を下回っている	②継続

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	経費(千円)	0	3,000	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★根日女の森整備構想とりまとめ【3-55】 (定義)根日女の森整備構想策定数 (根拠)同上 (担当者)人口増政策課長 (目標値10年)当初(H22):一か所 現状:一か所 5年後:1か所 (目標値3年)平成30年度:0か所 平成31年度:1か所 平成32年度:1か所
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	12 魅力ある中心市街地の形成
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。
関連課名	管財課、都市計画課、産業振興課、人口増政策課

基本計画	1 市所有未利用地の住宅開発を促進するとともに、効果的な活用方法について検討します。								
主管部課	部名	総務部			課名	管財課			
実施スケジュール		H28 (決算額)		H29 (予算額(補正含む))		H30 (予定額)			
	取組内容	売却の広報		北条町東南医師住宅解体		消防署跡地売却			
	経費(千円)	0		5,000		0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市所有未利用地の住宅開発年間箇所数		目標	/	-	-	-	1	-	2
		実績	0	-	-				
(指標及びH32目標値の設定理由) 計画期間内に市有未利用地の解消を目標とする。		目標数値の達成度	単年度	-	-				
			最終年度	-	-				
H28取組状況	近畿財務局や市のホームページで情報の発信を行っています。旧消防署跡地については、公共事業の代替え地として売却の協議を行いました。契約成立には至りませんでした。その他の市有地についても、現在売却に向けての協議を進めています。								
課題と今後の取組	旧消防署跡地については、丸山バイパス改良工事や西高室区画整理事業の動向も見極めながら、土地鑑定評価を行い公募による売却事務を進めます。東南住宅跡地についても、近隣の開発計画を見ながら売却方法を検討します。旧庁舎については、ホテル開業による周辺土地利用の需要を考慮し効果的な活用方法を検討します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H28)	最終(H32)					
	②実行中	-	-	-	C: 目標を下回っている		②継続		

実施計画		H30 (予定額)		H31 (予定額)		H32 (予定額)	
	取組内容	・消防署跡地売却		・北条東南医師住宅解体			
	経費(千円)	0		5,000			
変更する内容							
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)市所有未利用地の住宅開発箇所数 (定義)市所有未利用地を分譲開発した住宅数 (根拠)平成23年3月時点で市が所有する未利用地の内、住宅開発が見込める箇所数 (担当者)管財課長 (目標値10年)当初(H22):0箇所 現状:0箇所 5年後:2箇所 (目標値3年)平成30年度:1箇所 平成31年度:0箇所 平成31年度:2箇所						

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	12 魅力ある中心市街地の形成
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。
関連課名	管財課、都市計画課、産業振興課、人口増政策課

基本計画	2 住宅供給会社等と連携し、土地区画整理事業済み地内の住宅化を促進支援します。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
実施スケジュール		H28 (決算額)		H29 (予算額(補正含む))		H30 (予定額)			
	取組内容	・測量業務 ・造成工事 ・保留地販売業務		・測量業務 ・造成工事 ・保留地販売業務 ・換地計画業務		・換地計画、処分業務 ・登記業務			
	経費(千円)	101,087		85,515		3,500			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
西高室地区区画整理事業により整備された住宅戸数【1-31】		目標		—	—	30	40	50	50
		実績	0	—	—				
(指標及びH32目標値の設定理由)		目標数値の達成度	単年度	—	—				
保留地において整備された住宅戸数を指標としているが、完売には日数が必要なため、7割を設定(目標値は延べ件数)			最終年度	—	—				
H28取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年11月より保留地発売を開始し、71区画中56区画を販売しました。 チラシの配布、市ホームページへの掲載など、販売促進活動を行いました。 								
課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 早期の保留地販売に向けて販売促進活動に取り組みます。 区画整理事業区域の工事の完成に向けて努めます。 								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H28)	最終(H32)					
	②実行中	—	—	—	B: 目標を達成		②継続		

実施計画		H30 (予定額)		H31 (予定額)		H32 (予定額)	
	取組内容	・測量業務 ・換地計画業務 ・保留地販売業務		・換地処分・登記業務 ・組合解散認可業務			
	経費(千円)	730		0			
変更する内容							
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)西高室地区区画整理事業により整備された住宅戸数【1-31】 (定義)西高室地区土地区画整理事業完了後の区域内住宅建築戸数 (根拠)保留地販売目標件数 (担当者)都市計画課長 (目標値10年)当初(H22):0戸 現状:0戸 5年後:50戸 (目標値3年)平成30年度:40戸 平成31年度:50戸 平成32年度:50戸						

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	12 魅力ある中心市街地の形成
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。
関連課名	管財課、都市計画課、産業振興課、人口増政策課

基本計画	北条地区(旧市街地)の街道筋で、歴史的な街並みを残している区域について、地域住民と行政の協働で、県の景観形成地区 や文化財の指定を受け、規制、誘導方策によって旧市街地の歴史的街並みを継承、保全します。		
------	--	--	--

主管部課	部名	都市整備部	課名	都市計画課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・地区及び制度のPR ・歴史的景観形成建築物修景助成のPR	・地区及び制度のPR ・歴史的景観形成建築物修景助成のPR	・地区及び制度のPR ・歴史的景観形成建築物修景助成のPR
	経費(千円)	0	0	0

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①景観形成に関する条例届出年間受付件数	目標		20	20	20	20	20	20
	実績	—	16	5				
(指標及びH32目標値の設定理由) 区域内での建築確認申請見込み件数より設定	目標数値の達成度	単年度	80%	25%				
		最終年度	80%	25%				
②景観形成支援事業修景助成金年間交付件数	目標		1	1	1	1	1	1
	実績	—	1	1				
(指標及びH32目標値の設定理由) リフォーム、耐震改修なども兼ねて工事を行う見込み件数より設定	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	100%	100%				

H28取組状況	・北条地区歴史的景観形成地区における助成制度のPRや県景環条例の指導を行いました。
---------	---

課題と今後の取組	・北条地区歴史的景観形成地区における助成制度のPRを行うなど、北条旧市街地の景観保全に努めます。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
①	②実行中	B: 予定より遅延	25%	25%	C: 目標を下回っている	②継続
②	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%		

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・地区及び制度のPR ・歴史的景観形成建築物修景助成のPR	・同左	
	経費(千円)	0	0	

変更する内容	
--------	--

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	12 魅力ある中心市街地の形成
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。
関連課名	管財課、都市計画課、産業振興課、人口増政策課

取り組みの進捗状況を確認するための数値 〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)景観形成に関する条例届出年間受付件数 (定義)同上 (根拠)区域内での建築確認申請見込み件数より設定 (担当者)都市計画課長 (目標値10年)当初(H22):一件 現状:20件 5年後:20件 (目標値3年)平成30年度:20件 平成31年度:20件 平成32年度:20件</p> <p>(指標名)景観形成支援事業修景助成金年間交付件数 (定義)同上 (根拠)リフォーム、耐震改修なども兼ねて工事を行う見込み件数より設定 (担当者)都市計画課長 (目標値10年)当初(H22):一件 現状:1件 5年後:1件 (目標値3年)平成30年度:1件 平成31年度:1件 平成32年度:1件</p>
-----------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	12 魅力ある中心市街地の形成
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。
関連課名	管財課、都市計画課、産業振興課、人口増政策課

基本計画	4 空き店舗やオフィス補助制度をはじめとした創業支援を実施します。			
主管部課	部名	地域振興部	課名	産業振興課
実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・店舗・オフィス立地補助 ・空き店舗活用補助 ・創業支援事業	同左	同左
	経費(千円)	3,407	7,400	7,400

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①市街化区域内の商業店舗立地件数	目標		250	250	250	250	250	250
	実績	244	211	211				
(指標及びH32目標値の設定理由) 中心市街地に立地する商業店舗数で、当初数値並の店舗数維持を目標設定。	目標数値の達成度	単年度	84%	84%				
		最終年度	84%	84%				
②★宅地供給促進補助制度を活用した新設店舗数【2-40】	目標		0	1	2	3	5	5
	実績	—	0	0				
(指標及びH32目標値の設定理由) 市街地区域の土地の流動化を図ることにより年間1件程度の店舗新設を想定。	目標数値の達成度	単年度	0%	0%				
		最終年度	0%	0%				
③★店舗等立地促進補助金受給件数【2-43】	目標		—	1	2	3	5	5
	実績	—	—	1				
(指標及びH32目標値の設定理由) 補助金を活用して立地した件数で、年間1件の増加を目標設定。	目標数値の達成度	単年度	—	100%				
		最終年度	—	20%				
④★空き店舗活用補助金受給件数【2-44】	目標		4	3	6	9	15	15
	実績	—	4	2				
(指標及びH32目標値の設定理由) 補助金を活用して立地した件数で、年間1件の増加を目標設定。	目標数値の達成度	単年度	100%	67%				
		最終年度	27%	13%				

H28取組状況 空き店舗補助制度及び店舗・オフィス立地補助制度の周知及び運用に取り組みました。また、創業支援事業計画(平成27年度策定)に基づき、創業希望者に対する支援を実施しています。

課題と今後の取組 空き店舗補助制度及び店舗・オフィス立地補助制度について、更なる制度周知を図るとともに、創業支援事業についても、関係機関と連携した取り組みを進めていきます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H27)	最終(H32)		
①	②実行中	B: 予定より遅延	84%	84%	C: 目標を下回っている	②継続
②	②実行中	B: 予定より遅延	0%	0%		
③	②実行中	A: 予定通り進行	100%	20%		
④	②実行中	B: 予定より遅延	67%	13%		

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	12 魅力ある中心市街地の形成
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。
関連課名	管財課、都市計画課、産業振興課、人口増政策課

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		・店舗・オフィス立地補助 ・空き店舗活用補助 ・創業支援事業 ・産業活性化センター事業 ・空き店舗・空き工場バンク	・同左	
	経費(千円)	11,600	11,600	
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)市街化区域内の商業店舗立地件数 (定義)同上 (根拠)商業統計(H24、29予定)における市街化区域内の調査票配布枚数(※商業統計は、平成26年度実施。) (担当者)産業振興課長 (目標値10年)当初(H19):244件 現状:250件 5年後:250件 (目標値3年)平成30年度:250件 平成31年度:250件 平成32年度:250件</p> <p>(指標名)★宅地供給促進補助制度を活用した新設店舗数【2-40】 (定義)宅地供給促進補助制度を活用した新設店舗数 (根拠)宅地供給促進補助制度を活用した新設店舗数 (担当者)人口増政策課長 (目標値10年)当初(H22):一件 現状:0件 5年後:5件 (目標値3年)平成30年度:3件 平成31年度:5件 平成32年度:5件</p> <p>(指標名)★店舗等立地促進補助金受給件数【2-43】 (定義)店舗等立地促進補助金受給件数 (根拠)店舗等立地促進補助金受給件数 (担当者)産業振興課長 (目標値10年)当初(H22):一件 現状:一件 5年後:5件 (目標値3年)平成30年度:3件 平成31年度:5件 平成32年度:5件</p> <p>(指標名)★空き店舗活用補助金受給件数【2-44】 (定義)空き店舗活用補助金受給件数 (根拠)空き店舗活用補助金受給件数 (担当者)産業振興課長 (目標値10年)当初(H22):一件 現状:4件 5年後:15件 (目標値3年)平成30年度:9件 平成31年度:15件 平成32年度:15件</p>			

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	12 魅力ある中心市街地の形成
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。
関連課名	管財課、都市計画課、産業振興課、人口増政策課

基本計画	5 空き家バンク制度の定着を図り、情報提供に努めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
実施スケジュール		H28 (決算額)		H29 (予算額(補正含む))		H30 (予定額)			
	取組内容	固定資産税納付者への空き家バンク制度のPRを実施 空き家バンクHPの保守		固定資産税納付者への空き家バンク制度のPRを実施 空き家バンクHPの保守		固定資産税納付者への空き家バンク制度のPRを実施 空き家バンクHPの保守			
	経費(千円)	130		130		130			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
空き家バンクの年間登録数【4-77】		目標		2	5	5	5	5	5
		実績	3	2	6				
(指標及びH32目標値の設定理由) 空き家バンクへの年間登録物件数について、約倍増を想定		目標数値の達成度	単年度	100%	120%				
			最終年度	40%	120%				
H28取組状況	市外在住の固定資産税納付通知書の封筒に、空き家バンクに係るPRチラシを同封し制度周知を行った。								
課題と今後の取組	利用者の選択肢が増えるよう物件登録を増やす必要があります。引き続きPRに努めるとともに、市内全域の空き家調査を進めて参ります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H28)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	120%	120%	B: 目標を達成		②継続		

実施計画		H30 (予定額)		H31 (予定額)		H32 (予定額)	
	取組内容	・固定資産税納付者への空き家バンク制度のPRを実施 ・空き家バンクHPの保守		・同左			
	経費(千円)	130		130			
変更する内容							
取り組みの進捗状況を確認するための数値【再掲】	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)空き家バンク年間登録数【4-77】 (定義)空き家バンクに登録した物件の年間件数 (根拠)空き家バンクに登録した物件の年間件数 (担当者)人口増政策課長 (目標値10年)当初(H22):3件 現状:2件 5年後:5件 (目標値3年)平成30年度:3件 平成31年度:5件 平成32年度:5件						

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	12 魅力ある中心市街地の形成
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。
関連課名	管財課、都市計画課、産業振興課、人口増政策課

基本計画	6 ★新たな土地区画整理事業等を推進します。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
実施スケジュール		H28 (決算額)		H29 (予算額(補正含む))		H30 (予定額)			
	取組内容	・まちづくり勉強会の開催 ・土地利用に関するアンケートの実施 ・具体的なまちづくり手法の検討		・まちづくり勉強会の開催 ・土地利用計画の作成 ・地域住民の合意形成		・測量・設計			
	経費(千円)	0		0		0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★新たな土地区画整理事業等の推進により確保した住宅戸数【1-25】		目標	/	-	-	-	-	70	70
		実績	-	-	-				
(指標及びH32目標値の設定理由) 中野地区にある一団の未利用地の面積より設定		目標数値の達成度	単年度	-	-				
			最終年度	-	-				
H28取組状況	・候補地の調査を行うとともに、地域の課題を把握するための地元と協議を行いました。 ・土地利用に関するアンケート調査を実施し、地域住民の合意形成が得られる用途地域の見直しの提案、土地利用計画の作成・提案や整備手法の検討を行いました。								
課題と今後の取組	・平成29年度は用途地域の定期見直し年に当たるため、アンケート調査より大枠の賛同を得た用途地域の見直しを進めます。それと並行して地域住民の合意形成を図りながら地区計画見直しによる新たなまちづくりルールの作成を進めます。また、引き続き低未利用地における整備手法の検討を行います。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H28)	最終(H32)					
	②実行中	-	-	-	B: 目標を達成		②継続		

実施計画		H30 (予定額)		H31 (予定額)		H32 (予定額)	
	取組内容	・将来整備計画地の事業化検討・調査 ・地区計画道路の測量・設計 ・地権者の合意形成		・地区計画道路用地取得 ・開発事業者の募集			
	経費(千円)	10,000		20,000			
変更する内容							
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★新たな土地区画整理事業等の推進により確保した住宅戸数【1-25】 (定義)同上 (根拠)中野地区にある一団の未利用地の面積より設定 (担当者)都市計画課長 (目標値10年)当初(H22):-戸 現状:0戸 5年後:70戸 (目標値3年)平成30年度:0戸 平成31年度:70戸 平成32年度:70戸						

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	12 魅力ある中心市街地の形成
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。
関連課名	管財課、都市計画課、産業振興課、人口増政策課

基本計画	7 ★市街化区域において土地利用を推進し、住宅地等の整備と確保に努めます。 8 ★市街化区域での低未利用地の利用促進による土地の流動化を図り、住宅地の供給量を確保します。
------	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課
------	----	---------	----	--------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	住宅建築等のために自己の所有する市街化区域内の土地を売却した者に対して、譲渡所得の3%相当額を補助。	同左	—
	経費(千円)	2,904	4,000	0

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★宅地供給促進補助制度を活用した宅地供給面積(m ²)【1-27】	目標		10,000	13,000	15,000	15,000	15,000	15,000
	実績	—	10,028	15,803				
(指標及びH32目標値の設定理由) 「住宅建築のための宅地供給促進補助金」の交付を受けた対象土地の面積を指標とし、補助制度の期限のH29年度まで面積が増加する見込み。	目標数値の達成度	単年度	100%	122%				
		最終年度	67%	105%				

H28取組状況	平成28年度は9件の宅地供給を目的とした土地売却に対し補助を行い、市街化区域内の低未利用地の流動化の促進を図りました。
---------	---

課題と今後の取組	当該補助制度は平成28年中の宅地供給を目的とした土地売却に対する補助をもって終了となります。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	122%	105%	A: 目標を上回って達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	—	—	
	経費(千円)	0	0	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★宅地供給促進補助制度を活用した宅地供給面積【1-27】 (定義)住宅建築のための宅地供給促進補助金の交付を受けた対象土地の面積 (根拠)同上 (担当者)人口増政策課長 (目標値10年)当初(H22):—m ² 現状:10,000m ² 5年後:15,000m ² (目標値3年)平成30年度:15,000m ² 平成31年度:15,000m ² 平成32年度:15,000m ²
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	12 魅力ある中心市街地の形成
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。
関連課名	管財課、都市計画課、産業振興課、人口増政策課

基本計画	9 ★賃貸共同住宅の建設促進による供給戸数の増加を図ります。		
------	--------------------------------	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課
------	----	---------	----	--------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	賃貸共同住宅を建設した者に対し当該建物に係る固定資産税等を5年間(単身用については10年間)補助	同左	同左
	経費(千円)	8,725	8,137	8,137

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★賃貸共同住宅等建設促進補助制度を活用した賃貸供給戸数【1-28】	目標		110	200	300	300	300	300
	実績	—	106	216				
(指標及びH32目標値の設定理由) 定住促進を推進するため、賃貸共同住宅建設促進補助制度を活用した賃貸供給戸数を現状の約3倍増を想定	目標数値の達成度	単年度	96%	108%				
		最終年度	35%	72%				

H28取組状況	平成28年度は、12件の新規申請及び13件の継続申請の合計25件に対して補助金の交付を行いました。25件の内訳としては、世帯用の賃貸共同住宅が21件、単身者用が4件となっています。
---------	--

課題と今後の取組	賃貸共同住宅等建設促進補助制度の新規申請については、平成29年1月1日完成分までを対象とし、今後は継続申請分のみに対する補助金交付となります。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	108%	72%	A: 目標を上回って達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・賃貸共同住宅を建設した者に対し当該建物に係る固定資産税等を5年間(単身用については10年間)補助	・同左	
	経費(千円)	16,100	14,700	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★賃貸共同住宅等建設促進補助制度を活用した賃貸供給戸数【1-28】 (定義)賃貸共同住宅等建設促進補助金の交付対象となった賃貸共同住宅の戸数 (根拠)同上 (担当者)人口増政策課長 (目標値10年)当初(H22): 〇戸 現状: 110戸 5年後: 300戸 (目標値3年)平成30年度: 300戸 平成31年度: 300戸 平成32年度: 300戸
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	12 魅力ある中心市街地の形成
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。
関連課名	管財課、都市計画課、産業振興課、人口増政策課

基本計画	10 ★空き家・空き店舗を幅広く活用したまちづくりを進めます。		
------	---------------------------------	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課
------	----	---------	----	--------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・空き家・空き店舗助成 ・プロモーション方針 ・ビジョン作成	・先行事業実施 ・改修助成検討	・事業実施
	経費(千円)	17,712	17,820	17,820

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★空き家・空き店舗年間助成数【4-74】	目標		-	-	-	1	1	1
	実績	-	-	-				
(指標及びH32目標値の設定理由) 28年度中に、ブランディングの方針を定め、 29年度に助成施策を決定し30年度以降1件 の助成を目指す。	目標数値の 達成度	単年度	-	-				
		最終年度	-	-				

H28取組状況	平成29年2月に地方創生加速化交付金を活用し北条旧市街地ビジョンを策定、同年3月には、地方創生推進交付金を活用し北条旧市街地におけるリノベーション実施計画を策定しました。策定にあたっては、全6回の町屋くらし再生塾(住民WS)の協議・検討を踏まえ取りまとめました。
---------	---

課題と今後の取組	平成29年度は、空き家・空き店舗を改修し、北条旧市街地でのモデルとすべく交流拠点とチャレンジショップの整備と周知のため、プロモーション活動を進める予定としています。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	—	-	-	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・空き店舗整備 ・街歩きにかかる整備情報発信	・街歩き・滞在にかかる情報発信	
	経費(千円)	17,820	5,000	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★空き家・空き店舗年間助成数【4-74】 (定義)地域活性化のために必要な空き家・空き店舗の活用に必要な助成を行った件数 (根拠)同上 (担当者)人口増政策課長 (目標値10年)当初(H22): 1件 現状: 1件 5年後: 1件 (目標値3年)平成30年度: 1件 平成31年度: 1件 平成32年度: 1件
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	12 魅力ある中心市街地の形成
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。
関連課名	管財課、都市計画課、産業振興課、人口増政策課

基本計画	11 ★住環境整備による定住促進を図ります。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
実施スケジュール		H28 (決算額)		H29 (予算額(補正含む))		H30 (予定額)			
	取組内容	・まちづくり勉強会の開催 ・空き家除却 ・狭あい道路整備		・まちづくり勉強会の開催 ・空き家及び支障物除却 ・狭あい道路整備		・まちづくり勉強会の開催 ・空き家及び支障物除却 ・狭あい道路整備			
	経費(千円)	20,150		26,150		26,150			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★北条市街地の住環境整備を図った住宅戸数【4-78】		目標		2	9	16	23	30	30
		実績	—	4	7				
(指標及びH32目標値の設定理由) 年間の空き家除却及び狭あい道路整備件数から推測した数値を設定(目標値、実績値は延べ戸数)		目標数値の達成度	単年度	200%	78%				
			最終年度	13%	23%				
H28取組状況	・危険空家の除却や狭隘道路の拡幅を行うことで、市街地の安全・安心のまちづくりに努めました。								
課題と今後の取組	・助成制度と事業についての住民への周知を行い、より一層の安全・安心のまちづくりに努めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H28)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	78%	23%	B: 目標を達成		②継続		

実施計画		H30 (予定額)		H31 (予定額)		H32 (予定額)	
	取組内容	・制度のPR ・空き家及び支障物除却 ・狭あい道路整備		・同左			
	経費(千円)	14,800		14,800			
変更する内容							
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★北条市街地の住環境整備を図った住宅戸数【4-78】 (定義)空き家除却又は狭あい道路整備を図った住宅戸数 (根拠)年間の空き家除却及び狭あい道路整備件数から推測した数値を設定 (担当者)都市計画課長 (目標値10年)当初(H22): 一戸 現状: 2戸 5年後: 30戸 (目標値3年)平成30年度: 23戸 平成31年度: 30戸 平成32年度: 30戸						

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	13 周辺地域の定住促進
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課、都市計画課、産業振興課、ふるさと創造課

基本計画	1 移住体験施設(お試し住宅)の整備に取り組み、定住促進に結び付けます。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課
実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	お試し住居の整備 創造会議等にお試し住居運営の 打診	同左	同左
	経費(千円)	0		

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①★お試し滞在施設数【3-63】	目標		—	1	1	2	3	3
	実績	—	—	0				
(指標及びH32目標値の設定理由) 市北部、市街地、南部の3ヶ所で、創造会議 による立ち上げを目指す	目標数値の 達成度	単年度	—	0%				
		最終年度	—	0%				
②★移住マッチング支援相談年間件数【3-64】	目標		5	25	30	35	50	50
	実績	—	20	31				
(指標及びH32目標値の設定理由) 移住相談会等への参加体制を整えることで 年間50件の相談を受けることを目指す	目標数値の 達成度	単年度	400%	124%				
		最終年度	40%	62%				
③★空き家改修年間助成数【4-76】	目標		1	3	3	3	5	5
	実績	—	1	2				
(指標及びH32目標値の設定理由) 制度の周知を図り、登録物件を増やし、マッ チングの成果を年間5件と設定	目標数値の 達成度	単年度	100%	67%				
		最終年度	20%	40%				

H28取組状況
市街地においては、空き家・空き店舗の活用に向け、町屋くらし再生塾(住民WS)を計6回開催し、その協議・検討を踏まえ北条旧市街地ビジョンや北条旧市街地におけるリノベーション実施計画をとりまとめました。また、ふるさとひょうごワーキングホリデーを活用し、都市部在住の学生3名を受入し次世代施設園芸モデル団地での勤労体験の場を提供しました。

課題と今後の取組
市内全域での空き家の基礎調査を行う必要があります。その上で、利活用可能な空き家を抽出し、ふるさと創造会議での運営に理解いただきながら機運を高めるとともに、必要な行政の施策・支援策を検討します。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
①	②実行中	B: 予定より遅延	0%	0%	B: 目標を達成	②継続
②	②実行中	S: 予定より早く進行	124%	62%		
③	②実行中	B: 予定より遅延	67%	40%		

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	13 周辺地域の定住促進
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課、都市計画課、産業振興課、ふるさと創造課

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		・お試し住居の整備 ・創造会議等にお試し住居運営の打診		・同左
	経費(千円)	0	0	
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)★お試し滞在施設数【3-63】 (定義)お試し滞在を希望する移住希望者が数か月滞在できる施設 (根拠)お試し住居の必要性を認識いただくよう努め、年間1件の増を目指す (担当者)ふるさと創造課長 (目標値10年)当初(H22):一棟 現状:一棟 5年後:3棟 (目標値3年)平成30年度:2棟 平成31年度:3棟 平成32年度:3棟</p> <p>(指標名)★移住マッチング支援相談年間件数【3-64】 (定義)移住希望者の相談を受けた件数 (根拠)年間3~5回の出張相談会を実施し、各回10件程度の相談を受けることを目指す (担当者)人口増政策課長 (目標値10年)当初(H22):一件 現状:5件 5年後:50件 (目標値3年)平成30年度:35件 平成31年度:50件 平成32年度:50件</p> <p>(指標名)★空き家改修年間助成数【4-76】 (定義)利用が決まった空き家への改修補助の実施件数 (根拠)移住マッチングの増加と空き家の活用意義の普及により年間3件の空き家活用を目指す (担当者)人口増政策課長 (目標値10年)当初(H22):一件 現状:1件 5年後:5件 (目標値3年)平成30年度:3件 平成31年度:5件 平成32年度:5件</p>			

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	13 周辺地域の定住促進
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課、都市計画課、産業振興課、ふるさと創造課

基本計画	2 県の特別指定区域制度 における「新規居住者の住宅区域」の地区指定を支援します。		
------	---	--	--

主管部課	部名	都市整備部	課名	都市計画課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・まちづくりコンサルタント派遣による地元の合意形成 ・公共施設整備助成	・まちづくりコンサルタント派遣による土地利用計画の策定	・宇仁地区新規居住者の住宅区域の見直し案及び宇仁小跡地土地利用計画に沿った特別指定区域を指定する。
	経費(千円)	881	750	0

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
新規居住者地区住宅戸数	目標		3	4	4	6	8	10
	実績	0	3	1				
(指標及びH32目標値の設定理由) 宇仁地区新規居住者の住宅区域の見直しによる区域拡大等の販売を見込んで設定(目標値、実績値は延べ戸数)		目標数値の達成度	単年度	100%	25%			
			最終年度	30%	10%			

H28取組状況	・宇仁地区新規居住者の住宅区域の見直しと宇仁小グラウンド跡地活用土地利用計画検討のためのまちづくり勉強会を開催し、住民主体によるまちづくりの機運を高めました。 ・定住促進まちづくり助成制度に基づく公共施設整備助成を行いました。
---------	--

課題と今後の取組	・宇仁地区新規居住者の住宅区域の見直し検討のためのまちづくり勉強会の開催と住民主体による土地利用計画の策定を進めます。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	25%	10%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・宇仁地区新規居住者の住宅区域の見直し案及び宇仁小跡地土地利用計画に沿った特別指定区域を指定 ・宇仁小跡地事業化検討・調査 ・公共施設整備助成	・開発事業者の募集 ・公共施設整備助成	
	経費(千円)	800	800	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)新規居住者地区住宅戸数 (定義)特別指定区域制度における新規居住者の住宅区域の住宅建築戸数 (根拠)宇仁地区新規居住者の住宅区域の見直しによる区域拡大を見込んで設定 (担当者)都市計画課長 (目標値10年)当初(H22):0戸 現状:3戸 5年後:10戸 (目標値3年)平成30年度:6戸 平成31年度:8戸 平成32年度:10戸
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	13 周辺地域の定住促進
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課、都市計画課、産業振興課、ふるさと創造課

基本計画	3 若者向けの持ち家促進のための取り組みを推進します。		
------	-----------------------------	--	--

主管部課	部名	地域振興部	課名	産業振興課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・若者世帯定住促進補助制度 ・新婚世帯向け家賃補助制度	同左	同左
	経費(千円)	44,276	43,550	43,550

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①加西市若者世帯持家促進補助制度の受給者数【1-26】	目標		35	40	40	45	50	50
	実績	7	37	76				
(指標及びH32目標値の設定理由) 市内に持家を取得した若者世帯の数で、平成27年度の1.5倍を目標設定。	目標数値の達成度	単年度	106%	190%				
		最終年度	74%	152%				
②★新婚世帯向け家賃補助金の年間新規受給者数【1-30】	目標		52	60	60	65	70	70
	実績	—	57	65				
(指標及びH32目標値の設定理由) 将来市内に持家を取得する可能性のある新婚世帯の数で、平成27年度の1.5倍を目標設定	目標数値の達成度	単年度	110%	108%				
		最終年度	81%	93%				

H28取組状況	新婚世帯向け家賃補助制度、若者世帯持家補助制度を継続実施しました。定住促進施策として、産業(工業)団地及び市外在住者等へ制度の周知を図りました。
---------	--

課題と今後の取組	新婚世帯向け家賃補助制度及び若者世帯定住促進住宅補助制度を活用し、若者世帯の流出を防ぐとともに、加西市への定住促進施策として、産業(工業)団地及び市外在住者等へ周知徹底していきます。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
①	②実行中	S: 予定より早く進行	190%	152%	A: 目標を上回って達成	②継続
②	②実行中	S: 予定より早く進行	108%	93%		

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・若者世帯定住促進補助制度 ・新婚世帯向け家賃補助制度	・同左	
	経費(千円)	47,450	47,450	

変更する内容	
--------	--

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	13 周辺地域の定住促進
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課、都市計画課、産業振興課、ふるさと創造課

取り組みの進捗状況を確認するための数値 〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)加西市若者世帯持家促進補助制度の受給者数【1-26】 (定義)加西市若者世帯持家促進補助制度の受給者数 (根拠)加西市若者世帯持家促進補助制度の受給者数 (担当者)産業振興課長 (目標値10年)当初(H22):7件 現状:35件 5年後:50件 (目標値3年)平成30年度:45件 平成31年度:50件 平成32年度:50件</p> <p>(指標名)★新婚世帯向け家賃補助金の年間新規受給者数【1-30】 (定義)新婚世帯向け家賃補助金の年間新規受給者数 (根拠)新婚世帯向け家賃補助金の年間新規受給者数 (担当者)産業振興課長 (目標値10年)当初(H22):一件 現状:52件 5年後:70件 (目標値3年)平成30年度:65件 平成31年度:70件 平成32年度:70件</p>
-----------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	13 周辺地域の定住促進
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課、都市計画課、産業振興課、ふるさと創造課

基本計画	4 交通の要所として、市民と協働で加西インター周辺の土地利用計画を作成します。		
------	---	--	--

主管部課	部名	都市整備部	課名	都市計画課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール	取組内容	H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
		<ul style="list-style-type: none"> ・加西インター周辺の土地利用規制状況調査と既存事業所の意向調査を並行して進め、需要に合った土地活用促進を図ることが可能な特別指定区域制度の活用を検討する。 ・ほ場整備事業で創出可能な非農地を活用した土地利用を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・加西インター周辺の土地利用規制状況調査と既存事業所の意向調査を並行して進め、需要に合った土地活用促進を図ることが可能な特別指定区域制度の活用を検討する。 ・ほ場整備事業で創出可能な非農地を活用した土地利用を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・加西インター周辺の土地利用規制状況調査と既存事業所の意向調査を並行して進め、需要に合った土地活用促進を図ることが可能な特別指定区域制度の活用を検討する。 ・ほ場整備事業で創出可能な非農地を活用した土地利用を検討する。
経費(千円)		0	0	0

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★加西インター周辺の土地利用計画の作成数【4-75】	目標		-	-	-	-	1	1
	実績	-	-	-				
(指標及びH32目標値の設定理由) 土地利用計画の策定数	目標数値の達成度	単年度	-	-				
	最終年度	-	-					

H28取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・県担当課とほ場整備事業と整合した土地利用のあり方について協議しました。 ・地元と協議を行いました。
---------	---

課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ほ場整備事業と整合を図りつつ具体的な土地利用についての検討を進めます。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	-	-	-	B: 目標を達成	②継続

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		<ul style="list-style-type: none"> ・ほ場整備事業で創出可能な非農地を活用した土地利用の検討 ・事業化検討・調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・同左 	
経費(千円)		0	0	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★加西インター周辺の土地利用計画の作成数【4-75】 (定義)同上 (根拠)土地利用計画の策定数 (担当者)都市計画課長 (目標値10年)当初(H22):一件 現状:一件 5年後:1件 (目標値3年)平成30年度:0件 平成31年度:1件 平成32年度:1件
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	13 周辺地域の定住促進
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課、都市計画課、産業振興課、ふるさと創造課

基本計画	5 鶉野飛行場跡地周辺の有効活用を進めます。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
実施スケジュール	取組内容	H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))			H30 (予定額)			
		<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画に基づく事業実施 交流のまちづくり促進事業に基づく(仮称)鶉野ミュージアム及び地域活性化施設の基本計画策定及び戦争遺産調査委託 	<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画に基づく事業実施 交流のまちづくり促進事業 	<ul style="list-style-type: none"> 都市再生生命計画に基づく事業実施 交流のまちづくり促進事業 					
	経費(千円)	174,498	252,235			162,277			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★鶉野飛行場跡地周辺整備による観光誘客年間数【3-53】		目標		8,000	8,000	8,000	8,000	16,000	16,000
		実績	—	8,000	8,000				
(指標及びH32目標値の設定理由) 都市再生整備計画の目標値(現状の倍増)を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
			最終年度	50%	50%				
H28取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画に基づく散策用歩道整備、防災施設・展望広場・展示施設の実施設設計を行いました。 交流のまちづくり促進事業に基づく鶉野ミュージアム・地域活性化施設の基本計画策定などを行いました。 								
課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 整備事業を早急に進めることにより、観光誘客数増の早期実現に向けた取り組みを進めます。 								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(H28)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	50%	B: 目標を達成			②継続	

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画に基づく事業実施 交流のまちづくり促進事業 鶉野ミュージアム等整備連携事業 		・同左	
	経費(千円)	163,138	291,500	
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★鶉野飛行場跡地周辺整備による観光誘客年間数【3-53】 (定義)同上 (根拠)都市再生整備計画の目標値(現状の倍増)を設定 (担当者)都市計画課長 (目標値10年)当初(H22):一人 現状:8,000人 5年後:16,000人 (目標値3年)平成30年度:8,000人 平成31年度:16,000人 平成32年度:16,000人			

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	13 周辺地域の定住促進
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課、都市計画課、産業振興課、ふるさと創造課

基本計画	6 住民が住まい物件の情報を適切に得られるよう、不動産情報の発信や各種制度の周知に努めます。		
------	--	--	--

主管部課	部名	都市整備部	課名	都市計画課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・住宅区域のPR ・定住促進まちづくり活動助成金制度のPR	・同左	・同左
	経費(千円)	0	0	0

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市街化調整区域における新築住宅戸数	目標		40	40	40	40	40	40
	実績	—	43	63				
(指標及びH32目標値の設定理由) 周辺地域の定住促進の状況を示すもので、 過去5年の平均値を設定	目標数値の 達成度	単年度	108%	158%				
		最終年度	108%	158%				

H28取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・要望があった1地区において、地縁者の住宅区域及び地縁者の小規模事業所区域の指定を進めました。 ・市ホームページで、地縁者の住宅区域や新規居住者の住宅区域のPRを行いました。 ・市ホームページで、定住促進まちづくり活動助成金制度のPRを行いました。
---------	--

課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・近い将来に地縁者の住宅区域の見直しを行うための準備を進めます。 ・市ホームページで、地縁者の住宅区域や新規居住者の住宅区域のPRを行います。 ・市ホームページで定住促進まちづくり活動助成金制度のPRを行います。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	158%	158%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・住宅区域のPR ・定住促進まちづくり活動助成金制度のPR	・同左	
	経費(千円)	0	0	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)市街化調整区域における新築住宅戸数 (定義)同上 (根拠)建築許可等による新築住宅建築戸数 (担当者)都市計画課長 (目標値10年)当初(H22): 一戸 現状: 40戸 5年後: 40戸 (目標値3年)平成30年度: 40戸 平成31年度: 40戸 平成32年度: 40戸</p>
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	13 周辺地域の定住促進
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課、都市計画課、産業振興課、ふるさと創造課

基本計画	7 ★若者世帯が住みやすい住宅分譲地の整備を進めます。		
------	-----------------------------	--	--

主管部課	部名	都市整備部	課名	都市計画課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・ベルデしもさと第2弾換補地を決定し、特別指定区域制度又は地区計画制度を活用して、市街化調整区域の建築制限の緩和を図る。 ・民間住宅団地開発事業について開発調整条例に基づいた協議の実施 ・市街化調整区域内の各小学校区における住宅団地開発可能性の調査を行う。	・ベルデしもさと第2弾の販売支援 ・民間住宅団地開発事業について開発調整条例に基づいた協議の実施 ・市街化調整区域内の各小学校区における住宅団地開発換補地の選定	・ベルデしもさと第2弾の販売支援 ・民間住宅団地開発事業について開発調整条例に基づいた協議の実施 ・市街化調整区域内の各小学校区における住宅団地開発事業者の募集、決定
	経費(千円)	7,215	5,000	5,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★住宅分譲地の整備により確保した住宅戸数【1-24】	目標		28	60	100	150	200	200
	実績	—	28	35				
(指標及びH32目標値の設定理由) 市街化区域内での開発見込み戸数+市街化調整区域内の各小学校区毎での開発目標戸数※実績はH27からの合計戸数です(目標値、実績値は延べ戸数)	目標数値の達成度	単年度	100%	58%				
		最終年度	14%	18%				

H28取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 市街化調整区域における住宅地について、民間資金活用と自治会、事業者、行政の3者連携の手法により、尾崎町北条高校前地区での事業実施が決まりました。 民間住宅団地開発事業について開発調整条例に基づく協議を行いました。 その他、市街化調整区域の各小学校区における住宅地整備の調査を進めました。
---------	---

課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 尾崎町北条高校前地区における住宅地整備事業について、地区計画の策定を行い、事業を進めます。 市街化調整区域内の各小学校区における住宅地整備可能性について調査を行います。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	58%	18%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・ベルデしもさと第2弾の販売支援 ・民間住宅団地開発事業について開発調整条例に基づいた協議の実施 ・市街化調整区域内の各小学校区における住宅団地開発事業者の募集、決定	・民間住宅団地開発事業について開発調整条例に基づいた協議の実施 ・市街化調整区域内の各小学校区における住宅団地開発事業者の募集、決定	
	経費(千円)	5,000	5,000	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)★住宅分譲地の整備により確保した住宅戸数【1-24】 (定義)同上 (根拠)市街化区域内での開発見込み戸数+市街化調整区域内の各小学校区ごとでの開発目標戸数 (担当者)都市計画課長 (目標値10年)当初(H22): 一戸 現状: 28戸 5年後: 200戸 (目標値3年)平成30年度: 150戸 平成31年度: 200戸 平成32年度: 200戸</p>
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	13 周辺地域の定住促進
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課、都市計画課、産業振興課、ふるさと創造課

基本計画	8 ★定住先の決まっていないカップルを対象に市内の不動産情報の提供等を通じて定住促進を図ります。			
------	--	--	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	ふるさと創造課
------	----	---------	----	---------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	他県の民泊制度を参考にした市内導入を検討	まちづくり会社(仮)を創設し、民泊制度を活用して空き家対策を兼ねた移住制度を構築する。	同左
	経費(千円)	0	1,000	1,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★かさいふたリズム推進事業年間利用件数【1-29】	目標		6	6	6	6	10	10
	実績	—	6	0				
(指標及びH32目標値の設定理由) 現状6件の利用件数を5か年で10件に増加させる	目標数値の達成度	単年度	100%	0%				
		最終年度	60%	0%				

H28取組状況	未実施
---------	-----

課題と今後の取組	平成27年度事業を実施し、6件の活用はあったが、加西市に住むことはなく、効果はみられなかった。28年度は事業者と契約していた部屋も貸し出され、事業としては収束した状態である。今後は空き家バンクと連携して、若者に限らず、移住者への情報提供を活発に行っていく必要がある。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	①未着手	B: 予定より遅延	0%	0%	D: 目標を大きく下回っている	④廃止

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・まちづくり会社(仮)を創設し、民泊制度を活用して空き家対策を兼ねた移住制度を構築	・同左	
	経費(千円)	1,000	1,000	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★かさいふたリズム推進事業年間利用件数【1-29】 (定義)かさいふたリズム推進事業年間利用件数 (根拠)同上 (担当者)ふるさと創造課長 (目標値10年)当初(H22):一件 現状:6件 5年後:10件 (目標値3年)平成30年度:6件 平成31年度:10件 平成32年度:10件
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	13 周辺地域の定住促進
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課、都市計画課、産業振興課、ふるさと創造課

基本計画	9 ★近隣市町等と連携し情報発信の強化を図り、便利な田舎としての魅力のPRに努めます。		
------	---	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課
------	----	---------	----	--------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	大阪及び東京にて相談会に参加	大阪及び東京にて相談会に参加	大阪及び東京にて相談会に参加
	経費(千円)	42	220	220

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★出張相談会年間参加数【2-35】	目標		1	3	3	3	3	3
	実績	—	2	3				
(指標及びH32目標値の設定理由) 移住希望者に対する相談・PRを神戸・大阪・東京の3箇所で開催することを想定	目標数値の達成度	単年度	200%	100%				
		最終年度	67%	100%				

H28取組状況	移住相談会は、カムバックひょうごセンターやひょうご田舎くらし・多自然居住支援協議会の一員として、ひょうごの田舎暮らし臨時相談所(5/28・神戸)、ふるさと回帰フェア2016 in 大阪(8/6、大阪)、ひょうごキッチン(11/5、東京)の3回参加しました。地方創生加速化交付金を活用して、加西暮らしガイドブック「イーナカサイ」、シティプロモーションサイト「イーナカサイ」、移住・定住PR動画を作成しました。
---------	---

課題と今後の取組	イーナカサイ(冊子・サイト)やPR動画を効果的に活用するため、京阪神地区を中心にPR活動を行います。また、移住相談会へ積極的に参加し、加西市の魅力を発信してまいります。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・大阪及び東京にて相談会に参加	・同左	
	経費(千円)	220	220	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★出張相談会年間参加数【2-35】 (定義)出張相談会年間参加数 (根拠)出張相談会年間参加数(神戸・大阪・東京の3回) (担当者)人口増政策課長 (目標値10年)当初(H22):一回 現状:1回 5年後:3回 (目標値3年)平成30年度:3回 平成31年度:3回 平成32年度:3回
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	14 公共交通網の構築
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課

基本計画	1 都市核と地域核を結ぶ市内幹線路線の効率化を図ります。 2 市内幹線交通網へ接続する地域主体型公共交通の導入を進めます。 6 交通結節点(駅・バス停)の整備を進めます。 9 ★北条鉄道各駅へのアクセスの改善を図るため、コミュニティバスの再編等を実施し、公共交通ネットワークを構築します。
------	---

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課
------	----	---------	----	--------

実施スケジュール	取組内容	H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
		加西市公共交通活性化協議会において、コミバスの状況を確認・検証する。	加西市公共交通活性化協議会において、コミバスの状況を確認・検証する。 公共交通網形成計画の策定検討。	加西市公共交通活性化協議会において、コミバスの状況を確認・検証する。 公共交通網形成計画の策定検討。
経費(千円)		1,472	3,000	3,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
コミバス等の年間利用者数(千人) 【1-1、4-71】	目標		19	20	22	24	30	30
	実績	14.7	18	22.8				
(指標及びH32目標値の設定理由) 公共交通の利用頻度としてコミバスの利用者数を設定しました。	目標数値の達成度	単年度	95%	114%				
		最終年度	60%	76%				
②北条鉄道の年間利用者数(千人)【4-69】	目標		360	364	368	372	380	380
	実績	306	351	340				
(指標及びH32目標値の設定理由) 公共交通の利用頻度として北条鉄道の利用者数を設定しました。	目標数値の達成度	単年度	98%	93%				
		最終年度	92%	89%				

H28取組状況	コミバスの利用者に対する聞き取り調査を行い、利用状況の調査・分析を実施しました。 はっぴーバス沿線の高齢者への訪問活動を実施しました。
---------	--

課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地域主体型交通の導入検討に向け、地域への支援体制を整備します。 ・網形成計画を前倒して策定し、面的な公共交通ネットワークの構築を図ります。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
①	②実行中	S: 予定より早く進行	114%	76%	B: 目標を達成	②継続
②	②実行中	B: 予定より遅延	93%	89%		

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		・地域公共交通網形成計画の策定。 ・交通結節点の整備	地域公共交通網形成計画推進事業の実施	
経費(千円)		3,000	3,000	
変更する内容				

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	14 公共交通網の構築
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)コミバス等の年間利用者数【1-1、4-71】 (定義)市営コミュニティバス及び住民運営バスの年間乗客数 (根拠)事業者からの乗降調査データ集計値 (担当者)人口増政策課長 (目標値10年)当初(H21):14.7千人 現状:19千人 5年後:30千人 (目標値3年)平成30年度:24千人 平成31年度:30千人 平成32年度:30千人</p> <p>(指標名)北条鉄道の年間利用者数【4-69】 (定義)北条鉄道の年間乗客数 (根拠)事業者からの実績データ集計値 (担当者)人口増政策課長 (目標値10年)当初(H21):306千人 現状:360千人 5年後:380千人 (目標値3年)平成30年度:372人 平成31年度:380人 平成32年度:380人</p>
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	14 公共交通網の構築
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課

基本計画	3 民間事業者が運行する広域幹線路線バスを維持します。		
------	-----------------------------	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課
------	----	---------	----	--------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	バス対策費補助	同左	同左
	経費(千円)	22,559	23,000	23,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
コミバス等の年間利用者数(千人) 【1-1、4-71】	目標		19	20	22	24	30	30
	実績	14.7	18	22.8				
(指標及びH32目標値の設定理由) 広域幹線のフィーダー路線となるコミバスの 利用者数を設定しました。	目標数値の 達成度	単年度	95%	114%				
		最終年度	60%	76%				

H28取組状況	民間路線バスを支援し、広域的な移動の確保を図りました。
---------	-----------------------------

課題と 今後の取組	・広域幹線バスのフィーダー路線となるコミバスの利用促進や地域主体型交通の導入を推進します。
--------------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	114%	76%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・バス対策費補助	・同左	
	経費(千円)	26,000	26,000	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗 状況を確認する ための数値 〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)コミバス等の年間利用者数【1-1、4-71】 (定義)市営コミュニティバス及び住民運営バスの年間乗客数 (根拠)事業者からの乗降調査データ集計値 (担当者)人口増政策課長 (目標値10年)当初(H21):14.7千人 現状:19千人 5年後:30千人 (目標値3年)平成30年度:24千人 平成31年度:30千人 平成32年度:30千人
-------------------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	14 公共交通網の構築
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課

基本計画	4 公共交通のわかりやすい情報提供に努めるとともに、利用促進を図ります。			
------	--------------------------------------	--	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課
------	----	---------	----	--------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	公共交通活性化協議会補助 ・総合時刻表の作成	公共交通活性化協議会補助 ・総合時刻表の作成	公共交通活性化協議会補助 ・総合時刻表の作成
	経費(千円)	3,175	1,847	1,847

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①コミバス等の年間利用者数(千人) 【1-1、4-71】	目標		19	20	22	24	30	30
	実績	14.7	18	22.8				
(指標及びH32目標値の設定理由) 公共交通の利用頻度としてコミバスの利用者 数を設定しました。	目標数値の 達成度	単年度	95%	114%				
		最終年度	60%	76%				
②北条鉄道の年間利用者数(千人)【4-69】	目標		360	364	368	372	380	380
	実績	306	351	340				
(指標及びH32目標値の設定理由) 公共交通の利用頻度として北条鉄道の利用 者数を設定しました。	目標数値の 達成度	単年度	98%	93%				
		最終年度	92%	89%				

H28取組状況	公共交通ガイド「かさいおでかけナビ」を作成し、コミバス・北条鉄道・路線バス・高速バスなどの時刻表や京阪神・関西3空港への行き方や市内の公共施設・医療施設・商業施設などへの交通機関でのアクセスを掲載するなど、分かりやすい情報提供に努め、公共交通の利用促進を図りました。
---------	---

課題と今後の取組	各交通機関の時刻改正にあわせて交通ガイドの更新を行い、市内の施設情などの充実を図ります。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
①	②実行中	S: 予定より早く進行	114%	76%	B: 目標を達成	②継続
②	②実行中	B: 予定より遅延	93%	89%		

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・総合時刻表の作成 ・公共交通の利用促進	・同左	
	経費(千円)	1,000	1,000	
変更する内容				

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	14 公共交通網の構築
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)コミバス等の年間利用者数【1-1、4-71】 (定義)市営コミュニティバス及び住民運営バスの年間乗客数 (根拠)事業者からの乗降調査データ集計値 (担当者)人口増政策課長 (目標値10年)当初(H21):14.7千人 現状:19千人 5年後:30千人 (目標値3年)平成30年度:24千人 平成31年度:30千人 平成32年度:30千人</p> <p>(指標名)北条鉄道の年間利用者数【4-69】 (定義)北条鉄道の年間乗客数 (根拠)事業者からの実績データ集計値 (担当者)人口増政策課長 (目標値10年)当初(H21):306千人 現状:360千人 5年後:380千人 (目標値3年)平成30年度:372人 平成31年度:380人 平成32年度:380人</p>
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	14 公共交通網の構築
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課

基本計画	5 北条鉄道の経営支援と利用促進策を実施します。			
------	--------------------------	--	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課
------	----	---------	----	--------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	北条鉄道設備等整備補助	同左	同左
	経費(千円)	8,086	5,000	5,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
北条鉄道の年間利用者数(千人)【4-69】	目標		360	364	368	372	380	380
	実績	306	351	340				
(指標及びH32目標値の設定理由) 北条鉄道の利用促進効果をはかるため利用者数を設定しました。	目標数値の達成度	単年度	98%	93%				
		最終年度	92%	89%				

H28取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道安全輸送設備の整備に対する支援を行いました。 ・駅舎の改修など鉄道施設の整備に対する支援を行いました。
---------	---

課題と今後の取組	老朽化している鉄道施設や安全輸送設備を適切に整備更新していきます。
----------	-----------------------------------

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	93%	89%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・北条鉄道設備等整備補助 ・駅舎等WiFi整備負担金 ・公共交通相互連携事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・北条鉄道設備等整備補助 ・駅舎等WiFi整備負担金 	
	経費(千円)	8,000	5,000	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)北条鉄道の年間利用者数【4-69】 (定義)北条鉄道の年間乗客数 (根拠)事業者からの実績データ集計値 (担当者)人口増政策課長 (目標値10年)当初(H21):306千人 現状:360千人 5年後:380千人 (目標値3年)平成30年度:372人 平成31年度:380人 平成32年度:380人
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	14 公共交通網の構築
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課

基本計画	7・8 自動車を気軽に利用できない人の移動にかかる運賃軽減を実施します。 ★子育て世帯等の移動手段を確保するため、妊婦及び未就学の子どもの保護者について、コミュニティバスの運賃を無料化します。		
------	---	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課
------	----	---------	----	--------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・制度検討 ・コミバス・路線バス運賃軽減	コミバス・路線バス運賃軽減	同左
	経費(千円)	882	2,500	2,500

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①コミバス等の年間利用者数(千人) 【1-1、4-71】	目標		19	20	22	24	30	30
	実績	14.7	18	22.8				
(指標及びH32目標値の設定理由) 運賃軽減による効果をコミバスの利用者数で測ります。	目標数値の達成度	単年度	95%	114%				
		最終年度	60%	76%				
②北条鉄道の年間利用者数(千人)【4-69】	目標		360	364	368	372	380	380
	実績	306	351	340				
(指標及びH32目標値の設定理由) コミバスの運賃軽減による北条鉄道への波及効果を利用者数で測ります。	目標数値の達成度	単年度	98%	93%				
		最終年度	92%	89%				

H28取組状況	・運賃軽減に向けた制度設計を行い、H28.11月より高齢者や子育て世帯を対象にコミバス等の運賃を無料化しました。
---------	--

課題と今後の取組	・コミバス利用者の新規開拓として特に子育て世帯への利用促進を行います。
----------	-------------------------------------

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
①	②実行中	S: 予定より早く進行	114%	76%	B: 目標を達成	②継続
②	②実行中	B: 予定より遅延	93%	89%		

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・コミバス・路線バス運賃軽減	・同左	
	経費(千円)	2,100	2,100	

変更する内容	
--------	--

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	14 公共交通網の構築
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課

<p>取り組みの進捗状況を確認するための数値 〔再掲〕</p>	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)コミバス等の年間利用者数【1-1、4-71】 (定義)市営コミュニティバス及び住民運営バスの年間乗客数 (根拠)事業者からの乗降調査データ集計値 (担当者)人口増政策課長 (目標値10年)当初(H21):14.7千人 現状:19千人 5年後:30千人 (目標値3年)平成30年度:24千人 平成31年度:30千人 平成32年度:30千人</p> <p>(指標名)北条鉄道の年間利用者数【4-69】 (定義)北条鉄道の年間乗客数 (根拠)事業者からの実績データ集計値 (担当者)人口増政策課長 (目標値10年)当初(H21):306千人 現状:360千人 5年後:380千人 (目標値3年)平成30年度:372人 平成31年度:380人 平成32年度:380人</p>
-------------------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	15 住みよい住環境
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。
関連課名	都市計画課、生涯学習課、土木課

基本計画	1 都市公園等の計画的な管理と保全により、活用を促進します。		
------	--------------------------------	--	--

主管部課	部名	都市整備部	課名	都市計画課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者の活用による適切な公園管理 都市再生整備計画に基づく整備事業の実施設設計 イベント開催等 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者の活用による適切な公園管理 都市再生整備計画に基づく整備事業工事 イベント開催等 	・同左
	経費(千円)	25,958	29,870	30,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
都市公園利用者数	目標		27,500	28,000	28,500	29,000	29,500	30,000
	実績	—	27,500	32,568				
(指標及びH32目標値の設定理由) 安心・快適な施設の目安としてH22年度の都市公園の利用者数を越えることを目標に設定した	目標数値の達成度	単年度	100%	116%				
		最終年度	92%	109%				

H28取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 市関連事業による民間団体主催の集客イベントを開催することで利用者数増加に取り組みました。 指定管理者を活用した適切な公園管理に努めました。 施設の経年劣化に対処した修繕を適時実施しました。
---------	--

課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と共に、利用者数の更なる増加に向けての取り組みを進めます。 遊具等施設の経年劣化に対する迅速な修繕対応を行い、更新についての検討を進めます。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	116%	109%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者の活用による適切な公園管理 イベント開催等 公園長寿命化計画に基づく基本計画策定 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者の活用による適切な公園管理 イベント開催等 公園長寿命化計画に基づく実施設計策定 	
	経費(千円)	26,000	26,000	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)都市公園利用者数 (定義)同上 (根拠)安心・快適な施設の目安として都市公園の利用者数を設定した (担当者)都市計画課長 (目標値10年)当初(H22):一人 現状:27,500人 5年後:30,000人 (目標値3年)平成30年度:29,000人 平成31年度:29,500人 平成32年度:30,000人</p>
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	15 住みよい住環境
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。
関連課名	都市計画課、生涯学習課、土木課

基本計画	2 史跡を計画的に整備し、活用を図ります。		
------	-----------------------	--	--

主管部課	部名	教育委員会	課名	生涯学習課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール	取組内容	H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
		史跡整備実施設計策定費算出国費要望	笹塚古墳 史跡整備実施設計策定 第一期工事(伐採等)	笹塚古墳 第二期工事(本工事) マンジウ古墳 史跡整備実施設計策定 第一期工事(伐採等)
		経費(千円)	0	6,003

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
史跡玉丘古墳群における整備する古墳の基数	目標		-	-	1	2	3	4
	実績	-	-	-				
(指標及びH32目標値の設定理由) 史跡整備基本計画による整備スケジュールに基づく	目標数値の達成度	単年度	-	-				
		最終年度	-	-				

H28取組状況	29年度の概算経費を算出し、国庫補助金の申請を行いました。
---------	-------------------------------

課題と今後の取組	今後は、史跡整備基本計画による整備スケジュールに基づき整備を進めていく予定です。補助事業のため、国・県の状況によりスケジュール変更の要が発生する可能性があります。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	-	-	-	B:目標を達成	②継続

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		・笹塚古墳 第二期工事(本工事) ・玉丘古墳 史跡整備実施設計策定 第一期工事	玉丘古墳第二期工事	
	経費(千円)	55,800	46,000	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)史跡玉丘古墳群における整備する古墳の基数 (定義)整備する古墳の基数 (根拠)史跡玉丘古墳群整備基本計画による整備スケジュール (担当者)生涯学習課長 (目標値10年)当初(H22):-基 現状:-基 5年後:4基 (目標値3年)平成30年度:2基 平成31年度:3基 平成32年度:4基
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	15 住みよい住環境
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。
関連課名	都市計画課、生涯学習課、土木課

基本計画	3 国道372号や主要幹線道をはじめとする道路網を整備します。		
------	---------------------------------	--	--

主管部課	部名	都市整備部	課名	土木課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・西谷坂元線、鶉野飛行場線、都市計画2号線、窪田吸谷線、山下鎮岩線外	・西谷坂元線、鶉野飛行場線、豊倉日吉線、窪田吸谷線、山下鎮岩線、大村笠原線外	・鶉野飛行場線、豊倉日吉線、山下鎮岩線、中野網引線、中野家塚線、畑窪田線外
	経費(千円)	43,118	412,789	509,500

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①基幹道路網の整備延長距離(km)【4-70】	目標		0.2	1.0	1.7	2.5	4.0	4.5
	実績	—	0.2	0.3				
(指標及びH32目標値の設定理由) 事業実施計画に基づき、基幹道路の計画整備延長を目標値に設定	目標数値の達成度	単年度	100%	30%				
		最終年度	4%	7%				
②集落道路の改良延長距離(km)【4-70】	目標		0.5	0.9	1.2	2.4	4.5	4.5
	実績	—	0.5	0.8				
(指標及びH32目標値の設定理由) 事業実施計画に基づき、集落道路の計画改良延長を目標値に設定	目標数値の達成度	単年度	100%	89%				
		最終年度	11%	18%				

H28取組状況	地域の生活や産業を支える基盤となっている基幹道路網整備と集落道路の改良工事に取り組みました。
---------	--

課題と今後の取組	「安心・安全で利便性の高い道路づくり」を目標に、計画的に道路網整備を実施していくとともに、現道の適切な維持管理に努めてまいります。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
①	②実行中	B: 予定より遅延	30%	7%	C: 目標を下回っている	②継続
②	②実行中	B: 予定より遅延	89%	18%		

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・鶉野飛行場線、豊倉日吉線、山下鎮岩線、中野網引線、中野家塚線、畑窪田線外	・同左	
	経費(千円)	509,500	190,500	

変更する内容	
--------	--

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	15 住みよい住環境
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。
関連課名	都市計画課、生涯学習課、土木課

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)基幹道路網の整備延長距離【4-70】 (定義)同上 (根拠)事業実施計画に基づく (担当者)土木課長 (目標値10年)当初(H22):—km 現状:0.2km 5年後: 4.5km (目標値3年)平成30年度:2.5km 平成31年度:4.0km 平成32年度:4.5km</p> <p>(指標名)集落道路の改良延長距離【4-70】 (定義)同上 (根拠)事業実施計画に基づく (担当者)土木課長 (目標値10年)当初(H22):—km 現状:0.5km 5年後: 4.5km (目標値3年)平成30年度:2.4km 平成31年度:4.5km 平成32年度:4.5km</p>
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	15 住みよい住環境
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。
関連課名	都市計画課、生涯学習課、土木課

基本計画	4 自転車歩行者道やガードレール等の安全施設の整備を行います。			
------	---------------------------------	--	--	--

主管部課	部名	都市整備部	課名	土木課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・西谷坂元線、鶉野飛行場線、都市計画2号線、玉丘常吉線	・西谷坂元線、鶉野飛行場線、豊倉日吉線	・鶉野飛行場線、豊倉日吉線
	経費(千円)	28,794	116,000	145,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
歩道設置総延長(m)	目標		34,500	34,820	35,140	35,460	35,780	36,100
	実績	32,808	34,500	34,699				
(指標及びH32目標値の設定理由) 事業実施計画に基づき、基幹道路整備に伴う計画歩道整備延長を目標値に設置	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	96%	96%				

H28取組状況	基幹道路を利用する自転車歩行者の安全確保のため、歩道整備に取り組みました。 なお、鶉野飛行場線は用地買収を行うため予定を変更し平成29年度に実施予定、都市計画2号線につきましては、平成28年度で完了となります。
---------	--

課題と今後の取組	「安心・安全で利便性の高い道路づくり」を目標に、計画的に歩道整備を実施していくとともに、交通反則金充当事業を活用し、ガードレール等の安全施設整備に積極的に取り組んでまいります。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	96%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・鶉野飛行場線、豊倉日吉線	・同左	
	経費(千円)	145,000	600	

変更する内容	事業実施計画に基づき、主要幹線道路整備に伴う歩道設置延長を追加する。
--------	------------------------------------

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)歩道設置総延長 (定義)国道・県道・市道における歩道設置総延長 (根拠)歩道整備計画及び事業実施計画に基づく (担当者)土木課長 (目標値10年)当初(H22):32,808m 現状:34,500m 5年後:36,100m (目標値3年)平成30年度:35,460m 平成31年度:35,780m 平成32年度:36,100m
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	15 住みよい住環境
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。
関連課名	都市計画課、生涯学習課、土木課

基本計画	5 長寿命化計画を作成して計画的な維持補修を行います。		
------	-----------------------------	--	--

主管部課	部名	都市整備部	課名	土木課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・橋梁修繕(4橋)	・橋梁修繕(4橋)	・橋梁修繕(4橋)
	経費(千円)	8,587	25,000	25,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
修繕工事を実施する橋梁数(橋)	目標		5	9	13	17	21	25
	実績	—	9	13				
(指標及びH32目標値の設定理由) 長寿命化計画に基づき、計画橋梁修繕工事箇所数を目標値に設定	目標数値の達成度	単年度	180%	144%				
		最終年度	36%	52%				

H28取組状況	橋梁利用者の安全確保のため、橋梁修繕工事に取り組みました。
---------	-------------------------------

課題と今後の取組	長寿命化計画に基づき、計画的に橋梁修繕工事を実施してまいります。
----------	----------------------------------

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	144%	52%	A: 目標を上回って達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・橋梁修繕(4橋)	・同左	
	経費(千円)	25,000	25,000	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)修繕工事を実施する橋梁数 (定義)同上 (根拠)橋梁長寿命化計画に基づく (担当者)土木課長 (目標値10年)当初(H22):一橋 現状:5橋 5年後:25橋 (目標値3年)平成30年度:17橋 平成31年度:21橋 平成32年度:25橋
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	15 住みよい住環境
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。
関連課名	都市計画課、生涯学習課、土木課

基本計画	6 河川の維持管理の強化と未改修河川を整備します。		
------	---------------------------	--	--

主管部課	部名	都市整備部	課名	土木課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・河川浚渫等	・同左	・同左
	経費(千円)	1,000	1,000	1,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
河川修繕工事及び河川浚渫の実施(箇所)	目標		2	3	4	5	6	7
	実績	—	2	5				
(指標及びH32目標値の設定理由) 標準的な年間浚渫要望箇所数を目標値に設定	目標数値の達成度	単年度	100%	167%				
		最終年度	29%	71%				

H28取組状況	予定していた河川浚渫に加え、若井川、猪野川、佐谷川の河川修繕工事に取り組みました。
---------	---

課題と今後の取組	河川修繕工事及び河川浚渫を実施してまいります。
----------	-------------------------

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	167%	71%	A: 目標を上回って達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・河川浚渫等	・同左	
	経費(千円)	1,000	1,000	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)河川修繕工事及び河川浚渫の実施(箇所) (定義)同上 (根拠)河川修繕、浚渫の要望に基づく、実施箇所数 (担当者)土木課長 (目標値10年)当初(H22):一箇所 現状:2箇所 5年後:7箇所 (目標値3年)平成30年度:5箇所 平成31年度:6箇所 平成32年度:7箇所
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	15 住みよい住環境
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。
関連課名	都市計画課、生涯学習課、土木課

基本計画	7 公共施設等に関するわかりやすい案内表示板等、ユニバーサルデザイン の導入を推進します。		
------	---	--	--

主管部課	部名	都市整備部	課名	土木課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・案内表示板等 1箇所	・同左	・同左
	経費(千円)	100	100	100

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
案内表示板等、ユニバーサルデザインの導入(箇所)	目標		0	1	2	3	4	5
	実績	—	0	1				
(指標及びH32目標値の設定理由) 1箇所/年(必要に応じて適宜実施)	目標数値の達成度	単年度	0%	100%				
		最終年度	0%	20%				

H28取組状況	都市計画2号線において歩道のバリアフリー化を行った。
---------	----------------------------

課題と今後の取組	必要に応じて、計画的に実施してまいります。
----------	-----------------------

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	20%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・案内表示板等 1箇所	・同左	
	経費(千円)	100	100	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)案内表示板等、ユニバーサルデザインの導入の実施(箇所) (定義)同上 (根拠)必要に応じて適宜実施 (担当者)土木課長 (目標値10年)当初(H22):一箇所 現状:0箇所 5年後:5箇所 (目標値3年)平成30年度:3箇所 平成31年度:4箇所 平成32年度:5箇所
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	16 社会参加を通じた生きがいがづくり
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。
関連課名	生涯学習課、長寿介護課、地域福祉課、人口増政策課

基本計画	1 定年退職世代の技能を役立てる情報提供や就労講座を実施します。		
------	----------------------------------	--	--

主管部課	部名	教育委員会	課名	生涯学習課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・高齢者学級・講座の充実	・同左	・同左
	経費(千円)	690	850	850

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
高齢者講座年間受講者数	目標		460	470	470	480	490	500
	実績	426	493	533				
(指標及びH32目標値の設定理由) 「かしの木学園」「生き生き元氣塾」受講者実数。当初から2割増加と設定。	目標数値の達成度	単年度	107%	113%				
		最終年度	99%	107%				

H28取組状況	昨年度に比べ、高齢者学級の受講者数が増加しました。運営委員会の自主運営で事業を実施したり、企画に参画するなど、活性化が進んでいます。
---------	--

課題と今後の取組	引き続き、魅力ある講座の開催や情報提供を図るとともに、高齢者の知識や技能を活かし、社会参加や地域貢献の一助となる講座を開催し、学習や仲間づくりに終始しない学級運営を目指します。「生き生き元氣塾」は参加者も増え、高齢者の健康増進に資する役割を果たしているが、ボランティアの確保が難しくなっています。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	113%	107%	A: 目標を上回って達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・高齢者学級・講座の充実	・同左	
	経費(千円)	880	880	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)高齢者講座年間受講者数 (定義)市内4公民館のかしの木学園等受講者数 (根拠)市内4公民館のかしの木学園等受講者数から算定 (担当者)生涯学習課長 (目標値10年)当初(H22):426人 現状:460人 5年後:500人 (目標値3年)平成30年度:480人 平成31年度:490人 平成32年度:500人
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	16 社会参加を通じた生きがいづくり
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。
関連課名	生涯学習課、長寿介護課、地域福祉課、人口増政策課

基本計画	2 シルバー人材センターとの事業連携を進め、高齢者の就業機会の開拓、拡充を支援します。		
------	---	--	--

主管部課	部名	健康福祉部	課名	長寿介護課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	シルバー人材センター運営補助	同左	同左
	経費(千円)	9,541	11,501	11,501

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
シルバー人材センター会員数	目標		440	425	445	465	485	500
	実績	517	404	393				
(指標及びH32目標値の設定理由) H27年度の数値を基準として目標値を設定		目標数値の達成度	単年度	92%	92%			
			最終年度	81%	79%			

H28取組状況	平成27年度に創設した「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」にもとづき従来の除草や剪定等だけでなく、企画提案方式による「育児支援、福祉・家事援助サービス事業」を一般請負として継続実施しました。その他独自事業として「正月用しめ飾り」、「モップカバー」事業も継続実施しました。
---------	---

課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 少子高齢化による労働力人口減少の中、65歳までの定年延長や継続雇用制度の義務化など、高齢者就業形態の多様化が進んでおり、シルバー人材センターの新規会員の獲得のために多角的経営視点や消費者ニーズにあわせた事業展開が課題となっています。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	92%	79%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・シルバー人材センター運営補助	・同左	
	経費(千円)	9,641	9,641	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)シルバー人材センター会員数 (定義)シルバー人材センター会員登録数実績 (根拠)会員減少傾向のため、5年後数値は10年前会員数を設定、10年後数値は50増を設定 (担当者)長寿介護課長 (目標値10年)当初(H22):517人 現状:440人 5年後:500人 (目標値3年)平成30年度:465人 平成31年度:485人 平成32年度:500人
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	16 社会参加を通じた生きがいづくり
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。
関連課名	生涯学習課、長寿介護課、地域福祉課、人口増政策課

基本計画	3 高齢者自身が企画運営を進める事業を支援します。
------	---------------------------

主管部課	部名	健康福祉部	課名	長寿介護課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・介護予防リーダー養成講座 ・生活支援・介護サポーター養成講座 ・介護ボランティアポイント制導入	・介護予防リーダー養成講座 ・生活支援・介護サポーター養成講座 ・介護ボランティアポイント制運営	同左
	経費(千円)	340	1,900	1,900

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
高齢者ボランティア数	目標		450	485	520	575	610	650
	実績	350	453	404				
(指標及びH32目標値の設定理由) 高齢者ボランティア数を当初の約倍増となる 300人増を設定	目標数値の 達成度	単年度	101%	83%				
		最終年度	70%	62%				

H28取組状況	ボランティアの育成や地域相互による介護予防を目的とした生活支援サポーターの育成を図るために、介護予防リーダー養成講座や生活支援・介護サポーター養成講座を実施し延べ300名以上の参加がありました。介護ボランティアポイント事業については、介護施設に対しボランティアの受け入れ調査を行い平成29年度稼働を目指します。
---------	---

課題と今後の取組	高齢者ボランティアだけでなく地域を形成する老若男女がボランティア事業に参画できるよう、学校や企業へのボランティア活動の働きかけが必要です。また、社会課題が多様化し、ボランティアに対するニーズも高まる中でボランティアの能力を最大限に発揮できるよう、マッチングやコーディネートするが力が必要です。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	83%	62%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・介護予防リーダー養成講座 ・生活支援・介護サポーター養成講座 ・生活支援サポートセンター運営 ・介護ボランティアポイント制運営	・同左	
	経費(千円)	6,260	6,260	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)高齢者ボランティア数 (定義)ボランティア活動を行っている高齢者の数 (根拠)社会福祉協議会に登録しているボランティア数より目標年次の見込数を設定 (担当者)長寿介護課長 (目標値10年)当初(H22):350人 現状:450人 5年後:650人 (目標値3年)平成30年度:575人 平成31年度:610人 平成32年度:650人
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	16 社会参加を通じた生きがいづくり
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。
関連課名	生涯学習課、長寿介護課、地域福祉課、人口増政策課

基本計画	4 障がい者団体の活動活性化と支援を拡充します。		
------	--------------------------	--	--

主管部課	部名	健康福祉部	課名	地域福祉課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	障がい者社会参加促進事業(サロン事業)の実施	同左	同左
	経費(千円)	600	700	700

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
障がい者サロン年間参加者数	目標		450	460	470	480	490	500
	実績	430	540	717				
(指標及びH32目標値の設定理由) 事業の浸透とともに参加者が徐々に増加しているため、さらに50人増を設定	目標数値の達成度	単年度	120%	156%				
		最終年度	108%	143%				

H28取組状況	6団体・事業所による取り組みがありました。今年度はふれあいコンサートで大人数の集客があったため、参加者数が大幅に増加しました。
---------	---

課題と今後の取組	参加団体・事業所が固定化しつつありますが、内容に工夫を凝らし、多くの方に参加してもらっています。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	156%	143%	S: 目標を大きく上回って達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・障がい者社会参加促進事業(サロン事業)の実施	・同左	
	経費(千円)	700	700	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)障がい者サロン年間参加者数 (定義)障がい者の社会参加の場として実施された事業への参加者数 (根拠)同上 (担当者)地域福祉課長 (目標値10年)当初(H22):430人 現状:450人 5年後:500人 (目標値3年)平成30年度:480人 平成31年度:490人 平成32年度:500人
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	16 社会参加を通じた生きがいづくり
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。
関連課名	生涯学習課、長寿介護課、地域福祉課、人口増政策課

基本計画	5 社会参画機会の拡大と環境づくりを進めます。		
------	-------------------------	--	--

主管部課	部名	健康福祉部	課名	地域福祉課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール	取組内容	H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
		・企業や事業所への障害者雇用の啓発、相談支援	同左	同左
経費(千円)		24,365	24,365	24,365

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
就労系サービス利用者数(延月人数)	目標		1,445	1,520	1,640	1,760	1,880	2,000
	実績	—	1,445	1,456				
(指標及びH32目標値の設定理由) 就労系サービス人数を示すもので、H27年度から5年間で555人増の数値を設定	目標数値の達成度	単年度	100%	96%				
		最終年度	72%	73%				

H28取組状況	障害者就労支援員と連携し、窓口での就労支援のほか、ハローワークや特別支援学校、関係事業所と連携しての就労支援、定着支援を行いました。また、市役所内外における職業訓練事業による就労支援や庁内バザーを継続して実施しました。
---------	---

課題と今後の取組	障害者雇用に不安を持つ企業も存在するため、そのような企業に対し、一般就労の拡大や雇用継続を図る支援を行っていきます。就労支援員と連携し、特別支援学校の生徒の進路指導を支援します。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度	今後の方針	
		区分	単年(H28)			最終(H32)
	②実行中	B: 予定より遅延	96%	73%	B: 目標を達成	②継続

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		・企業や事業所への障害者雇用の啓発、相談支援 ・自立支援協議会の運営	同左	同左
経費(千円)		26,802	26,802	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)就労系サービス利用者数(延月人数) (定義)障がい者の就労の場として就労系サービス(就労移行支援、就労継続支援A型、就労継続支援B型)の利用者数 (根拠)利用者数 (担当者)地域福祉課長 (目標値10年)当初(H22):一人 現状:1,445人 5年後:2,000人 (目標値3年)平成30年度:1,760人 平成31年度:1,880人 平成32年度:2,000人
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	16 社会参加を通じた生きがいづくり
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。
関連課名	生涯学習課、長寿介護課、地域福祉課、人口増政策課

基本計画	6 ★シニア世代の定住化の推進の一環として、地域資源を活かした加西市に相応しいCCRC構想の具体化を図ります。		
------	---	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課
------	----	---------	----	--------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	検討	調査研究	同左
	経費(千円)	0	5,000	5,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★CCRC整備構想とりまとめ【3-61】	目標		-	-	-	-	1	1
	実績	-	-	-				
(指標及びH32目標値の設定理由) 構想推進のための基本構想のとりまとめが 第1段階の目標となる	目標数値の 達成度	単年度	-	-				
		最終年度	-	-				

H28取組状況	人口増対策プロジェクトチームにおいて、全国の先進的な取組や国の動向、さらには統計データによる高齢者の社会移動の状況等を踏まえて検討した結果、継続して検討していくこととなりました。
---------	---

課題と今後の取組	中高齢者の人口移動状況だけでなく、既存ストックの活用方策、さらには民間活力の有効活用の可能性等についても十分に検証し、併せて、今後国が提示する予定の参考となるビジネスモデルや参考事例、経済効果・自治体財政への影響の分析結果等も踏まえながら、施策の検討を進めていきます。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	-	-	-	B:目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・調査研究	・構想策定	
	経費(千円)	0	5,000	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★CCRC整備構想とりまとめ【3-61】 (定義)CCRC整備構想策定数 (根拠)同上 (担当者)人口増政策課長 (目標値10年)当初(H22):一施設 現状:一施設 5年後:1施設 (目標値3年)平成30年度:0施設 平成31年度:1施設 平成32年度:1施設
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	17 ことごとからだの健康づくり
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。
関連課名	健康課、国保医療課

基本計画	1 特定健診やがん検診、歯周疾患検診等の受診率向上のための制度を充実します。		
------	--	--	--

主管部課	部名	健康福祉部	課名	健康課、国保医療課
------	----	-------	----	-----------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診無料クーポン券発行と未利用者への受診勧奨 ・無料クーポン券対象者に「がん検診受診意向調査」を実施 ・土日の町ぐるみ健診で託児を実施 ・公民館・JAでの乳がん検診実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診無料クーポン券発行と未利用者への受診勧奨 ・土日の町ぐるみ健診で託児を実施 ・公民館・JAでの乳がん検診実施 	・同左
	経費(千円)	35,267	40,839	40,839

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①がん検診受診率(%)	目標	胃 9.3 大腸 23.4 肺 29.6 子宮 13.9 乳 16.0	胃 11.0 大腸 25.0 肺 30.0 子宮 13.9 乳 16.6	胃 13.0 大腸 25.5 肺 30.0 子宮 14.0 乳 18.0	胃 15.0 大腸 25.5 肺 30.0 子宮 16.0 乳 20.0	胃 17.0 大腸 26.0 肺 30.0 子宮 18.0 乳 22.0	胃 19 大腸 26 肺 30 子宮 21 乳 23	
	実績	胃 12.6 大腸 22.4 肺 28.2 子宮 13.3 乳 11.6	胃 9.4 大腸 23.8 肺 31.2 子宮 11.1 乳 14.9	胃 7.9 大腸 22.3 肺 30.7 子宮 14.4 乳 14.5				
(指標及びH32目標値の設定理由) 健康かさい21計画(国の目標値に準拠)	目標数値の達成度	単年度	98%	93%				
		最終年度	76%	76%				
②★がん検診の無料クーポン利用率(%) 【5-80】	目標	男14.8 女36.0	男15.0 女37.0	男16.5 女38.0	男18.0 女39.0	男20.0 女40.0	男20 女40	
	実績	—	男15.8 女45.5	男15.7 女45.6				
(指標及びH32目標値の設定理由) 市重点事業として5%の増を目指す	目標数値の達成度	単年度	120%	118%				
		最終年度	87%	102%				
③特定健診受診率	目標	—	—	40.0	44.0	48.0	52.0	
	実績	29.7	—	34.5				
(指標及びH32目標値の設定理由) 特定健診受診率の向上を図るため、年4%増を設定	目標数値の達成度	単年度	—	—				
		最終年度	—	66%				

H28取組状況	41歳(男:3がん・女5がん)子宮がん(21・26・31・36歳) 乳がん(46・51・56. 61歳)にクーポンを配布すると共に未受診者の再勧奨を行いました。
---------	--

課題と今後の取組	今後も市民が健診を受けやすい体制を整備していきます。 がん検診無料クーポンの配布とともにがん検診の受診を啓発し、継続的に受診していただけるよう取り組みます。
----------	---

平成28年度評価

基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	17 ことごとからだの健康づくり
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。
関連課名	健康課、国保医療課

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H27)	最終(H32)		
①	②実行中	B: 予定より遅延	93%	76%	B: 目標を達成	②継続
②	②実行中	S: 予定より早く進行	118%	102%		
③	②実行中	S: 予定より早く進行	—	66%		

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診無料クーポン券発行と未利用者への受診勧奨 ・土日の町ぐるみ健診で託児を実施 ・国保加入者の特定健診料金の無料化 ・39歳以下で国保加入者以外の特定基本健診の無料化 ・胃がんリスク検診の実施 	・同左	
経費(千円)		48,605	48,905	

変更する内容	平成29年度より指標として「特定健診受診率」を追加
--------	---------------------------

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)がん検診受診率 (定義)平成17年度国勢調査に基づく指針対象者数(暫定推計対象者数)を用いた受診率(～H22) 平成22年度国勢調査に基づく指針対象者数(暫定推計対象者数)を用いた受診率(H23～)</p> <p>(根拠)がん検診実績により算出・設定 (担当者)健康課長 (目標値10年)当初(H22):胃12.6% 大腸22.4% 肺28.2% 子宮13.3% 乳11.6% 現状:胃9.3% 大腸23.4% 肺29.6% 子宮13.9% 乳16.0% 5年後:胃19% 大腸26% 肺30% 子宮21% 乳23% (目標値3年)平成30年度:胃15% 大腸25.5% 肺30% 子宮16% 乳20% 平成31年度:胃17% 大腸26% 肺30% 子宮18% 乳22% 平成32年度:胃19% 大腸26% 肺30% 子宮21% 乳23%</p> <p>(指標名)★がん検診の無料クーポン利用率【5-80】 (定義)41歳がん検診無料クーポン券配布事業 (根拠)41歳がん検診無料クーポン券を利用し、1項目以上がん検診を受診した者 (担当者)健康課長 (目標値10年)当初(H22):男—% 女—% 現状:男14.8% 女36% 5年後:男20% 女40% (目標値3年)平成30年度:男18% 女39% 平成31年度:男20% 女40% 平成32年度:男20% 女40%</p> <p>(指標名)特定健診受診率 (定義)特定健診法定報告値 (根拠)特定健診実績により算出・設定 (担当者)国保医療課長 (目標値10年)当初(H22):29.7% 現状(H27法定報告値): 5年後(H32):52.0% (目標値3年)平成30年度:44.0% 平成31年度:48.0% 平成32年度:52.0%</p>
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	17 ころとからだの健康づくり
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがころもからだも健康で元気なまちをめざします。
関連課名	健康課、国保医療課

基本計画	2 予防接種の助成制度を拡充します。
------	--------------------

主管部課	部名	健康福祉部	課名	健康課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	乳幼児期の任意予防接種の接種状況を4ヵ月3歳児健診にてアンケートで確認(3ヶ月間)し市内乳幼児の接種状況を把握する。 近隣先進市の助成等の状況把握	アンケート結果を踏まえ助成対象の予防接種種類や助成の方法などを検討 医師会との調整	実施予定
	経費(千円)	0	10	1,002

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★接種助成制度の創設数【1-2】	目標		-	-	-	1	1	1
	実績	-	-	-				
(指標及びH32目標値の設定理由) 当面は、種類の追加を目指す	目標数値の達成度	単年度	-	-				
		最終年度	-	-				

H28取組状況	高齢者肺炎球菌ワクチンの任意予防接種者への助成を引き続き実施したが乳幼児健診受診者へのアンケートは実施できませんでした。 近隣先進地として、加古川市、西脇市の助成状況及接種状況の把握を行いました。
---------	---

課題と今後の取組	平成29年度早期に4ヵ月児健診・3歳児健診において現状の任意予防接種の接種状況を把握したうえで、医師会との調整や助成方法等の具体的な検討に入り平成30年度からの助成を実施します。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	-	-	-	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	経費(千円)	1,002	1,002	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★接種助成制度の創設数【1-2】 (定義)助成の実施状況 (根拠)年度当初実施決定予防接種数 (担当者)健康課長 (目標値10年)当初(H22): 一疾病 現状: 一疾病 5年後: 1疾病 (目標値3年)平成30年度: 1疾病 平成31年度: 1疾病 平成32年度: 1疾病
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	17 ことごとからだの健康づくり
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。
関連課名	健康課、国保医療課

基本計画	3 健診後の結果を生活に活かせるように食生活、運動の相談支援体制を充実します。		
------	---	--	--

主管部課	部名	健康福祉部	課名	健康課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール	取組内容	H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
		<ul style="list-style-type: none"> ・「健診のお知らせ」(全戸配布)に健診後の健康相談場の情報提供 ・町ぐるみ健診会場での個別相談 ・スマイル健康相談の実施 24回/年 ・健診結果説明会 2回/年 ・病態別教室の実施 ・運動短期教室での実施 ・運動ポイント事業の開始 	同左	同左
経費(千円)		2,577	2,530	2,530

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①運動を心がけている人の割合(%)	目標		31.4	(5年に1回の調査)			35	
	実績	34	-	-				
(指標及びH32目標値の設定理由) 第2次健康かさい21	目標数値の達成度	単年度	-	-				
		最終年度	-	-				
②健康相談事業の利用者数	目標		574	1,000	1,025	1,050	1,075	1,100
	実績	-	574	962				
(指標及びH32目標値の設定理由) スマイル健康相談、町ぐるみ健診結果説明会、町ぐるみ健診個別相談利用者数	目標数値の達成度	単年度	100%	96%				
		最終年度	52%	87%				

H28取組状況	健康相談や健康教育の機会をチラシや広報で周知するように努め、運動ポイント事業と併せて実施することができました。町ぐるみ健診でも特定検診受診者のうち一定条件に該当するものを対象に個別相談を実施しました。また、短期教室でも参加者に季節に合わせたテーマで健康教育を実施しました。
---------	--

課題と今後の取組	今後も継続的に取り組み、市民ひとりひとりの健康意識を高めるとともに家族・地域の健康づくりにつながるよう取り組みます。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
①	②実行中	-	-	-	B: 目標を達成	②継続
②	②実行中	B: 予定より遅延	96%	87%		

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		<ul style="list-style-type: none"> ・「健診のお知らせ」(全戸配布)に健診後の健康相談場の情報提供 ・町ぐるみ健診会場での個別相談 ・スマイル健康相談の実施 24回/年 ・健診結果説明会 2回/年 ・運動短期教室での実施 	同左	同左
経費(千円)		2,530	2,530	

平成28年度評価

基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	17 ころとからだの健康づくり
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがころもからだも健康で元気なまちをめざします。
関連課名	健康課、国保医療課

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)運動を心がけている人の割合 (定義)健康かさい21策定時の市民意識調査(5年に1回調査) (根拠)市民意識調査、或いは事業内でのアンケート調査により算出・設定 (担当者)健康課長 (目標値10年)当初(H22):34% 現状:31.4% 5年後:35% (目標値3年)平成30・31年度:評価が困難なため設定不可 平成32年度:35%</p> <p>(指標名)健康相談等の利用者数 (定義)スマイル健康相談、健診結果説明会、特定保健指導直営教室、病態別教室、運動短期教室の利用者数、運動ポイント事業参加者 (根拠)各事業の利用実績 (担当者)健康課長 (目標値10年)当初(H22):一人 現状:574人 5年後:1,100人 (目標値3年)平成30年度:1,050人 平成31年度:1,075人 平成32年度:1,100人</p>

平成28年度評価

基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	17 ころとからだの健康づくり
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがころもからだも健康で元気なまちをめざします。
関連課名	健康課、国保医療課

基本計画	4 地域の健康づくりを目的とした自主的な地区組織活動を支援します。		
------	-----------------------------------	--	--

主管部課	部名	健康福祉部	課名	健康課・国保医療課
------	----	-------	----	-----------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	いずみ会は地域での活動において、より多くの方にバランスのとれた朝食の摂取を普及啓発する。 ゆうゆう会は健康福祉まつりでの運動普及を継続する。	同左	同左
	経費(千円)	169	91	91

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
自主組織(いずみ会・ゆうゆう会)による健康づくり普及実績数(健康課との共同実施した事業)	目標		2,499	2,550	2,600	2,650	2,700	2,750
	実績	—	2,499	2851				
(指標及びH32目標値の設定理由) 健康づくり普及実績数の増減がみられるため維持向上を目標とする。	目標数値の達成度	単年度	100%	112%				
		最終年度	91%	104%				

H28取組状況	・いずみ会は3歳児健診会場での手作りおやつづくりと配布のほか、子育て世代・小学生、大学生・男性など様々な市民を対象に料理教室を開くなど、様々な対象に向けて食の大切さを発信しました。 ゆうゆう会は健康福祉まつりにおいて多くの方へ運動効果の普及啓発に努めました。
---------	--

課題と今後の取組	いずみ会は、会員を増員する活動によりさらに会の強化を図り、引き続き、食の大切さを市民に啓発する活動を実施していきます。 ゆうゆう会は、活動の場は少なくなってきたため、運動効果の普及啓発の場を提案するなど、会員の活動の場を広げていくようにします。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	112%	104%	A: 目標を上回って達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・いずみ会による地域での活動において、より多くの方へのバランスのとれた朝食の摂取を普及啓発 ・ゆうゆう会による健康福祉まつりでの運動普及を継続	・同左	
	経費(千円)	91	91	

変更する内容	
--------	--

取組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)自主組織(いずみ会・ゆうゆう会)による健康づくり普及実績数(健康課との共同実施した事業) (定義)いずみ会、ゆうゆう会活動のうち、市と共同して実施した事業の参加者数 (根拠)各事業の実績(日報による把握) (担当者)健康課長 (目標値10年)当初(H22):-人 現状:2,499人 5年後:2,750人 (目標値3年)平成30年度:2,650人 平成31年度:2,700人 平成32年度:2,750人
------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	17 ころとからだの健康づくり
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがころもからだも健康で元気なまちをめざします。
関連課名	健康課、国保医療課

基本計画	5 健康づくりのための拠点施設を充実します。
------	------------------------

主管部課	部名	健康福祉部	課名	健康課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	運動事業の推進、保健事業の実施 会館修繕計画策定の委託	運動事業の推進、保健事業の実施	運動事業の推進、保健事業の実施
	経費(千円)	66,990	61,990	61,990

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
運動事業参加者実人員	目標		364	380	400	420	440	460
	実績	—	364	403				
(指標及びH32目標値の設定理由) 健康福祉会館事業のため。毎年5%の利用者増	目標数値の達成度	単年度	100%	106%				
		最終年度	79%	88%				

H28取組状況	・土曜日、日曜日にストレッチやウォーキングなどの教室を開催することで新規運動事業参加者の獲得に取り組みました。
---------	---

課題と今後の取組	・運動事業参加者が自主的な健康づくりに取り組む意識を高めることを目指し、運動事業を展開していきます。 ・20～60歳代を中心とする健康づくりに無関心な市民への健康づくりの普及啓発に取り組みます。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	106%	88%	A: 目標を上回って達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・運動事業の推進、保健事業の実施	・同左	
	経費(千円)	61,851	61,851	

変更する内容	
--------	--

取組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)運動事業参加者実人数 (定義)健康福祉会館で実施する運動事業(通年教室・自主トレ・短期教室)の参加者実人数 (根拠)運動事業参加者名簿記載人数 (担当者)健康課長 (目標値10年)当初(H22):一人 現状:364人 5年後:460人 (目標値3年)平成30年度:420人 平成31年度:440人 平成32年度:460人
------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	17 ころとからだの健康づくり
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがころもからだも健康で元気なまちをめざします。
関連課名	健康課、国保医療課

基本計画	6 ころの健康についての理解を深め、ころの問題を早期に対応できるよう、支援体制を整えます。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課			
実施スケジュール		H28 (決算額)		H29 (予算額(補正含む))		H30 (予定額)			
	取組内容	・自殺対策強化週間・月間の普及啓発に庁外にも場を設ける。 ・睡眠・休養の講座でころの健康づくりについて周知する。		同左		同左			
	経費(千円)	560		600		600			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
自殺率の減少(3か年・人口10万対) 【減少指標】※H28年実績は見込み		目標		24.7	24.0	23.0	22.0	21.0	20.0
		実績	29.5	24.7	18.0				
(指標及びH32目標値の設定理由) ・加西市は自殺率が県下でも高く推移していた。現在は減少傾向にあるが、動向を確認していく必要がある。 ・自殺率は3か年ごとに評価。1年前のデータが最新となるため1年前の数値とする。		目標数値の達成度	単年度	100%	75%				
			最終年度	124%	90%				
H28取組状況	健康福祉まつりでは、睡眠に関する講座、3月の強化月間にはセミナーを開催、ころの健康づくりに関する普及啓発に努めました。また強化月間や成人式には、横断幕の掲示や庁内関係部署、商業施設での媒体配布等、普及啓発を行いました。パソコンや携帯から利用できるメンタルチェックシステム「ころの体温計」は、12,092件のアクセスがあり、併せて掲載している相談先の普及にもなっています。								
課題と今後の取組	H28年の実績は見込みであり、変動する可能性もあります。目標は達成していますが、これまで多かった高齢者層以外にも、自殺が増えてきつつあることから、今後の動向をみつつ、対策を継続していく必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H28)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	75%	90%	A: 目標を上回って達成		②継続		

実施計画		H30 (予定額)		H31 (予定額)		H32 (予定額)		
	取組内容	・自殺対策強化週間・月間の庁外への普及啓発 ・睡眠・休養講座でころの健康づくりを周知		同左				
	経費(千円)	600		600				
変更する内容								
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)自殺率の減少(3か年・人口10万対)【減少指標】 (定義)人口動態統計での3か年比較、1年前のデータが最新となるため1年前の値で評価する。 (根拠)県のち対策室からのデータ (担当者)健康課長 (目標値10年)当初(H22):(H19-21)29.5 現状:(H24-26)24.7 5年後:(H29-31)20.0 (目標値3年)平成30年度:(H27-29)22.0 平成31年度:(H28-30)21.0 平成32年度:(H28-30)20.0							

平成28年度評価

基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	17 ころもからだの健康づくり
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがころもからだも健康で元気なまちをめざします。
関連課名	健康課、国保医療課

基本計画	7 健診や教室を通じて各世代に望ましい食習慣確立のための支援を行います。		
------	--------------------------------------	--	--

主管部課	部名	健康福祉部	課名	健康課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール	取組内容	H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
		<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代への正しい食習慣についての教育等を継続。 加西市野菜を食べようプロジェクトは料理教室を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代への正しい食習慣についての教育等を継続。 加西市野菜を食べようプロジェクトは料理教室を実施。 食育に関する市民意識調査アンケート実施・食育計画改訂 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代への正しい食習慣についての教育等を継続。 加西市野菜を食べようプロジェクトは料理教室を実施。
経費(千円)		3,445	6,700	3,700

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①朝食を欠食する人の割合(%)	目標		20歳代－ 30歳代－ 40歳代－	20歳代－ 30歳代－ 40歳代－	20歳代27 30歳代15 40歳代14	20歳代－ 30歳代－ 40歳代－	20歳代－ 30歳代－ 40歳代－	20歳代20 30歳代10 40歳代8
	実績		20歳代32.8 30歳代18.1 40歳代16.9	20歳代－ 30歳代－ 40歳代－	20歳代－ 30歳代－ 40歳代－			
(指標及びH32目標値の設定理由) 若い世代での朝食欠食者が増えているため、減少を目指す。(加西市食育推進計画の目標値)		目標数値の達成度	単年度	－	－			
			最終年度	－	－			
②★野菜を毎食食べる人(%)の割合	目標		13.3	－	15	－	－	18
	実績		－	－				
(指標及びH32目標値の設定理由) 生活習慣病予防に欠かせない野菜の摂取量の増加を目指す。(健康かさい21の目標値)		目標数値の達成度	単年度	－	－			
			最終年度	－	－			
③栄養相談実施人数	目標		545	570	600	630	660	700
	実績		－	545	559			
(指標及びH32目標値の設定理由) 望ましい食習慣確立のためには個別の相談で食生活の助言をしていく必要がある。		目標数値の達成度	単年度	100%	98%			
			最終年度	78%	80%			

H28取組状況	28年度は、野菜を食べようプロジェクト料理教室を3回実施し、計55名の参加はありました。また、第1次食育推進計画に基づき、ネットワーク委員の助言を得ながら、食育チラシの作成など具体的な活動を行いました。朝食・野菜等の摂取者割合は、アンケート実施年ではないため調査を行っていません。
---------	--

課題と今後の取組	平成29年度は第2次食育推進計画策定年度であるので、食生活アンケートを実施し、実情を確認、計画に反映させることで、より市民の実情に応じた食育克層を推進していきます。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
①	②実行中	－	－	－	B: 目標を達成	②継続
②	②実行中	－	－	－		
③	②実行中	B: 予定より遅延	98%	80%		

平成28年度評価

基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	17 ころとからだの健康づくり
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがころもからだも健康で元気なまちをめざします。
関連課名	健康課、国保医療課

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代への正しい食習慣についての教育等を継続 ・加西市野菜を食べようプロジェクトは料理教室を実施。 		・同左
経費(千円)		1,387	1,387	
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値 〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)朝食を欠食する人の割合 (定義)食育推進計画 策定時の市民意識調査 (根拠)市民意識調査により算出・設定 (担当者)健康課長 (目標値10年)当初(H22):20歳代32.8% 30歳代18.1% 40歳代16.9% 現状:20歳代-% 30歳代-% 40歳代-% 5年後:20歳代20% 30歳代10% 40歳代8% (目標値3年)平成30年度:20歳代-% 30歳代-% 40歳代-% 平成31年度:20歳代-% 30歳代-% 40歳代-% 平成32年度:20歳代20% 30歳代10% 40歳代8%</p> <p>(指標名)★野菜を毎食食べる人の割合 (定義)健康かさい21策定時の市民意識調査 (根拠)市民意識調査により算出・設定 (担当者)健康課長 (目標値10年)当初(H22):-% 現状:13.3% 5年後:18% (目標値3年)平成30年度:-% 平成31年度:-% 平成32年度:18%</p> <p>(指標名)栄養相談実施人数 (定義)栄養相談利用者延べ人数 (母子:すくすく相談、健診教室後の相談 成人:電話・窓口相談、スマイル相談、教育後相談) (根拠)相談利用者記録データ (担当者)健康課長 (目標値10年)当初(H22):一人 現状:545人 5年後:700人 (目標値3年)平成30年度:630人 平成31年度:660人 平成32年度:700人</p>			

平成28年度評価

基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	17 ころとからだの健康づくり
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがころもからだも健康で元なまをめざします。
関連課名	健康課、国保医療課

基本計画	8 ★特定不妊治療に対する支援を行います。		
------	-----------------------	--	--

主管部課	部名	健康福祉部	課名	健康課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール	取組内容	H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
		兵庫指定医療機関で体外受精及び顕微授精(特定不妊治療)を受けられる夫婦に対し、医療費の助成を行う。(上限5万円)	同左	同左
経費(千円)		3,000	3,000	3,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★特定不妊治療助成年間件数【1-19】	目標		45	40	51	54	60	60
	実績	—	44	40				
(指標及びH32目標値の設定理由) 補助実績件数による推計(約25%増)	目標数値の達成度	単年度	98%	83%				
		最終年度	73%	67%				

H28取組状況	兵庫指定医療機関で体外受精及び顕微授精(特定不妊治療)を受け、兵庫指定不妊治療の助成を受けている夫婦に対し、その治療費から県の1回あたりの助成額を控除した額の助成を行いました。(上限5万円) 平成27年度までは助成回数に制限(6回まで)を設けていましたが、撤廃をしました。
---------	---

課題と今後の取組	平成28年度から実施を開始した不育症治療費の助成事業の周知と利用の促進も進めていく必要があります。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	83%	67%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		兵庫指定医療機関で体外受精及び顕微授精(特定不妊治療)を受けられる夫婦に対し、医療費を助成(上限5万円)	同左	
経費(千円)		3,000	3,000	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★特定不妊治療助成年間件数【1-19】 (定義)助成の実施状況 (根拠)特定不妊治療助成年間件数 (担当者)健康課長 (目標値10年)当初(H22): 一件 現状: 45件 5年後: 60件 (目標値3年)平成30年度: 54件 平成31年度: 60件 平成32年度: 60件
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	17 ころとからだの健康づくり
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがころもからだも健康で元気なまちをめざします。
関連課名	健康課、国保医療課

基本計画	9 ★歩くまちづくりの推進のため、市民の誰もが歩いて暮らす健康づくりの環境整備を進めます。		
------	---	--	--

主管部課	部名	健康福祉部	課名	健康課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール	取組内容	H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
		ポイント付与システムを導入し、歩くことでポイントが付与され、ポイントと電子マネーや地元商品券等と交換できる。	同左	同左
経費(千円)		16,321	16,321	16,321

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★健幸ポイント事業参加者数【5-79】	目標		250	500	750	1,000	1,000	1,000
	実績	—	250	500				
(指標及びH32目標値の設定理由) 500人定員とし、徐々に増やし倍増を想定	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	25%	50%				

H28取組状況	既存の健康づくりに関する講座やウォーキング教室、運動ポイント事業に合わせて企画したイベント等をポイント対象とし、健康づくりに取り組む機会への参加を促しました。また、歩数ランキングを取り入れ、歩く意欲の向上を図りました。運動ポイント事業を実施したことで、新たに運動を始めた参加者や歩数を意識して歩く参加者が増え、結果的に参加者の健康意識を高めることに繋がりました。
---------	---

課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 歩数ランキングに執着し、歩き過ぎて膝を痛めたケースがあったため、H29年度は各々の体力に合ったウォーキングを実践するよう注意を促していきます。 参加者が運動ポイント事業実施期間に取り組んだウォーキング等の健康づくりを、ポイントが付与されない運動ポイント事業の実施期間外や事業終了後も継続出来るよう、健康づくりに取り組みやすい環境整備を図り、自主的な健康づくりの習慣化を目指します。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	50%	B: 目標を達成	②継続

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		・運動ポイント事業の実施・拡充	・事業の在り方について見直し検討	
経費(千円)		16,321	-	

変更する内容

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★健幸ポイント事業参加者数【5-79】 (定義)健幸ポイント事業実施状況 (根拠)健幸ポイント事業参加者数 (担当者)健康課長 (目標値10年)当初(H22):一人 現状:250人 5年後:1,000人 (目標値3年)平成30年度:1,000人 平成31年度:1,000人 平成32年度:1,000人
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	18 地域医療体制の充実
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。
関連課名	加西病院、健康課、福祉企画課、長寿介護課、人口増政策課

基本計画	1 医療者の確保と安全な医療体制を構築し、新病院改革プランの策定と着実な病院の運営を実施します。		
------	--	--	--

主管部課	部名	加西病院	課名	
実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・地域医療フォーラムの共催、小・中学生向けの救急救命講習の実施。住民向けの医療講習会への医師等の派遣。ワークライフバランスの推進。就職説明会へ参加、実習・見学者の受入。積極的に医師確保を図る。・地域包括ケア病棟の運営、新内科専門医研修プログラムの認可を受けて、募集開始。	・地域医療フォーラムの共催、小・中学生向けの救急救命講習の実施。住民向けの医療講習会への医師等の派遣。ワークライフバランスの推進。就職説明会へ参加、実習・見学者の受入。積極的に医師確保を図る。・地域包括ケア病棟の運営、医療制度改革への対応、新内科専門医研修プログラムによる専門医の育成。病院改革プランの策定	同左
	経費(千円)	73	80	80

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
地域医療市民フォーラムの参加者数	目標		230	250	280	300	320	350
	実績	—	232	110				
(指標及びH32目標値の設定理由) 一人でも多くの市民の方々に関心を持ってもらい、愛着をもって病院を応援して頂く方を増やすため。		目標数値の達成度	単年度	101%	44%			
			最終年度	66%	31%			

H28取組状況	地域医療市民フォーラムを共催し、山邊院長・地域医療室山中室長がフォーラムに参加しました。中学生向けの救急救命講習会を4中学校で実施し、小学校でも1校初めて実施。住民向けの講習会として、病院出前講座を開始し、小谷区において薬剤師が講師を実施しました。ワークライフバランスWGを開催し仕事と生活の両立を推進。看護師・研修医の就職説明会に積極的に参加し、医師・看護師医療技術職員の研修を積極的に受け入れました。地域包括ケア病棟の本格運用を実施。制度が一部改正となり、改正内科専門医研修プログラムを作成し、認可申請を行いました。医師の減少を受けて、独自医師の採用に積極的に対応。加西市病院改革プランを策定・公表しました。
---------	--

課題と今後の取組	※平成28年度の地域病院市民フォーラムにおいては、参加者が十分ではありませんでした。来年度以降は参加者増加の取り組みの強化を行う予定です。 また、医師の異動による減に伴い、入院患者受入体制が縮小しており、神大からの医師の異動を待つだけでなく、独自に医師の採用を図ってゆく必要があります。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	44%	31%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・地域医療フォーラムの共催、小・中学生向けの救急救命講習の実施。住民向けの病院出前講座への医師等の派遣。ワークライフバランスの推進。就職説明会へ参加、実習・見学者の受入。緊急に医師確保を図る。地域包括ケア病棟の運営、医療制度改革への対応、新内科専門医研修プログラムによる専門医の募集・育成。新病院改革プランの着実な実施と適時見直しの実施。	同左	
	経費(千円)	80	80	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名) 地域医療市民フォーラムの参加者数 (定義) フォーラムの参加者数 (根拠) 安心して医療にかかれるまちづくりを目指すために、市民病院の経営の安定が必要であり、病院に関心を持つ方を増やし、愛着をもって応援して頂ける方を増やすことが必要のため。 (担当者) 加西病院事務局総務課 (目標値10年) 当初(H22): 一人 現状: 230人 5年後: 350人 (目標値3年) 平成30年度: 300人 平成31年度: 320人 平成32年度: 350人</p>
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	18 地域医療体制の充実
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。
関連課名	加西病院、健康課、福祉企画課、長寿介護課、人口増政策課

基本計画	2 高度医療の充実と、近隣病院、診療所との連携を強化します。								
主管部課	部名	加西病院			課名				
実施スケジュール		H28 (決算額)		H29 (予算額(補正含む))		H30 (予定額)			
	取組内容	開業医へのホットラインの運用継続と循環器内科のホットラインの検討・実施。近隣市開業医・病院訪問、近隣市診療所への情報提供、きずなネットの利用促進。近隣消防署の訪問。医療機器の着実な更新。照会患者の受け入れ促進と逆紹介の促進		同左		同左			
	経費(千円)	139,000		100,000		100,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
加西病院への年間紹介患者数		目標		6,900	7,000	紹介率43%、逆紹介率55% (7,100)	紹介率45%、逆紹介率60% (7,200)	紹介率47%、逆紹介率65% (7,500)	紹介率50%、逆紹介率70% (7,900)
		実績	6,100	6,782	6,452				
(指標及びH32目標値の設定理由) 診療所等から加西病院への紹介患者数を後期5か年で1,000人増を目指す		目標数値の達成度	単年度	98%	92%				
			最終年度	90%	82%				
H28取組状況	開業医へのホットラインの運用継続と、循環器内科の開業医・救急向けホットラインを開設し運用開始しました。近隣市開業医・病院訪問、近隣市診療所への情報提供、きずなネットの利用促進。医療機器の着実な更新。照会患者の受け入れ促進と逆紹介の促進を行いました。								
課題と今後の取組	地域診療所との連携強化により紹介患者増を目指しているが、医師の減少に伴う入院患者数の減から実績は昨年度を下回りました。さらに市内開業医との連携を深めて、依頼患者を断らない体制を作ってゆく必要があります。また、目標数値については、従来紹介患者数を目標として設定してきましたが、新病院改革プランにおいて、地域医療支援病院の認定を受けるために、紹介率50%、逆紹介率70%の認可基準を目指すこととなりました。そのため、数値目標についても、紹介患者数から、紹介率、逆紹介率を数値目標として掲げるものです。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H28)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	92%	82%	C: 目標を下回っている		②継続		

実施計画		H30 (予定額)		H31 (予定額)		H32 (予定額)	
	取組内容	・開業医へのホットラインの運用継続と循環器内科のホットラインの運用。近隣市開業医・病院訪問の促進、近隣市診療所への情報提供、きずなネットの利用促進。近隣消防署の訪問。医療機器の着実な更新(カルテシステム含む)。紹介患者の受入促進と逆紹介の促進		・開業医へのホットラインの運用継続と循環器内科のホットラインの運用。近隣市開業医・病院訪問の促進、近隣市診療所への情報提供、きずなネットの利用促進。近隣消防署の訪問。医療機器の着実な更新(CT含む)。紹介患者の受入促進と逆紹介の促進			
	経費(千円)	410,000		253,000			
変更する内容	目標数値について、新病院改革プランでは、地域中核病院として地域医療支援病院を目指すため、患者紹介率、逆紹介率を数値目標として設定。そのため、目標数値を変更。(地域医療支援病院の認定には、かかりつけ医から紹介を受ける患者紹介率50%以上、治療の終了した患者さんをかかりつけ医に紹介する逆紹介率70%以上)						
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)加西病院への年間紹介患者数 (定義)診療所からの患者紹介率と診療所への患者逆紹介率(診療所等から加西病院への紹介患者数) (根拠)市立加西病院改革プランに基づく周辺診療所等との医療連携体制を踏まえた数値を設定 (担当者)加西病院地域医療室長 (目標値10年)当初(H27)紹介率37%、逆紹介率50%5年度 紹介率50%、逆紹介率70% ((22):6,100人 現状:6,900人 5年後:7,900人) (目標値3年)平成30年度 紹介率45%、逆紹介率60%、平成31年度 紹介率47%逆紹介率65%、平成32年度 紹介率50%逆紹介率70% (平成30年度:7,200人 平成31年度:7,500人 平成32年度:7,900人)						

平成28年度評価

基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	18 地域医療体制の充実
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。
関連課名	加西病院、健康課、福祉企画課、長寿介護課、人口増政策課

基本計画	3 県、医師会、病院との連携を強化します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課・福祉企画課			
実施スケジュール		H28 (決算額)		H29 (予算額(補正含む))			H30 (予定額)		
	取組内容	・地域医療市民フォーラムの継続開催 ・保健事業検討会の継続開催		同左			同左		
	経費(千円)	20		20			20		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
病院・診療所数		目標		32	32	32	33	34	35
		実績	27	32	32				
(指標及びH32目標値の設定理由) 地域医療の維持の観点から設定。医療機関が不足しているため。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
			最終年度	91%	91%				
H28取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療フォーラムを開催して、地域医療の課題を共有しました。 ・保健事業検討会を開催して、連携強化に努めました。 								
課題と今後の取組	既存の取り組みを継続しつつ、医師会等と連携し他の効果的な取り組みも検討していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H28)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	91%	B: 目標を達成		②継続		

実施計画		H30 (予定額)		H31 (予定額)		H32 (予定額)	
	取組内容	・地域医療市民フォーラムの継続開催 ・保健事業検討会の継続開催		・同左			
	経費(千円)	20		20			
変更する内容							
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)病院・診療所数 (定義)病院・診療所数 (根拠)加東健康福祉事務所把握数 (担当者)健康課長 (目標値10年)当初(H22):27件 現状:32件 5年後:35件 (目標値3年)平成30年度:33件 平成31年度:34件 平成32年度:35件						

平成28年度評価

基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	18 地域医療体制の充実
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。
関連課名	加西病院、健康課、福祉企画課、長寿介護課、人口増政策課

基本計画	4 保健、医療、福祉、介護等との連携を密にし、これらのサービスが適切に受けられる体制を確保します。		
------	---	--	--

主管部課	部名	健康福祉部	課名	福祉企画課、健康課、長寿介護課
------	----	-------	----	-----------------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	保健福祉推進協議会の開催及び地域包括ケアシステム推進部会の設置	同左	同左
	経費(千円)	354	440	440

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
地域医療市民フォーラム参加者数	目標		320	340	360	380	400	420
	実績	—	320	110				
(指標及びH32目標値の設定理由) 保健、医療、福祉、介護等各サービスの現状や課題、展望についてフォーラムにて周知を行うため。	目標数値の達成度	単年度	100%	32%				
		最終年度	76%	26%				

H28取組状況	地域包括ケアシステム推進部会を立ち上げ、保健・医療・福祉・介護等が包括的に提供される体制構築に向けての検討を行うとともに、地域医療市民フォーラムを開催し、地域医療の現状や課題を共有しました。
---------	---

課題と今後の取組	地域包括ケアシステムの構築に向けて、引き続き推進部会において医療と介護の連携のあり方について協議し、施策の具体化を図っていきます。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	32%	26%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・保健福祉推進協議会の開催及び地域包括ケアシステム推進部会における医療介護連携等の推進	・同左	
	経費(千円)	598	598	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)地域医療市民フォーラム参加者数 (定義)地域医療市民フォーラム当日の来場者 (根拠)地域医療市民フォーラム参加者数をカウント (担当者)福祉企画課長 (目標値10年)当初(H22): 一人 現状:320人 5年後:420人 (目標値3年)平成30年度:380人 平成31年度:400人 平成32年度:420人
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	18 地域医療体制の充実
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。
関連課名	加西病院、健康課、福祉企画課、長寿介護課、人口増政策課

基本計画	5 医師会、歯科医師会による休日や年末年始の医療体制を確保します。
------	-----------------------------------

主管部課	部名	健康福祉部	課名	健康課
実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	休日・年末年始の診療体制の維持 医療のかかり方、及び小児救急について、医療電話相談センターの周知	同左	同左
	経費(千円)	4,880	4,880	4,880

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
休日及び年末年始の医療体制・加西市医師会・加西市歯科医師会2団体の維持	目標		2	2	2	2	2	2
	実績	1	2	2				
(指標及びH32目標値の設定理由) 医療体制確保の実績のため	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	100%	100%				

H28取組状況	加西市医師会・加西市歯科医師会の2団体と協議し休日及び年末年始の医療体制を維持しました。
---------	--

課題と今後の取組	今後も医療体制の維持ができるように取り組みを継続します。
----------	------------------------------

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・休日・年末年始の診療体制の維持 ・医療のかかり方、及び小児救急について、医療電話相談センターの周知	・同左	
	経費(千円)	4,880	4,880	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)休日及び年末年始の医療体制・加西市医師会・加西市歯科医師会2団体の維持 (定義)市民が安心して過ごせるように、休日・年末年始の診療体制を維持する (根拠)市内で休日・年末年始の診療業務実施団体数 (担当者)健康課長 (目標値10年)当初(H22):1団体 現状:2団体 5年後:2団体 (目標値3年)平成30年度:2団体 平成31年度:2団体 平成32年度:2団体
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	18 地域医療体制の充実
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。
関連課名	加西病院、健康課、福祉企画課、長寿介護課、人口増政策課

基本計画	6 ★開設費用に対する補助を行うことにより、市内に新たに産婦人科医院等を誘致し、安心して出産できる環境を整備します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
実施スケジュール		H28 (決算額)		H29 (予算額(補正含む))		H30 (予定額)			
	取組内容	・補助制度の検討 ・補助金交付要綱の制定		産婦人科医院等の誘致		産婦人科医院等へ補助			
	経費(千円)	0		0		20,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★産婦人科医院等の開設【1-4】		目標		-	-	-	-	1	1
		実績	-	-	-				
(指標及びH32目標値の設定理由) 産婦人科医院等の開設数が指標として適当であり、現在市内にない産婦人科医院をまず1施設開設させることが必要である。		目標数値の達成度	単年度	-	-				
			最終年度	-	-				
H28取組状況	人口増対策プロジェクトチームにおいて、他市事例等を参考にしながら検討した結果、引き続き検討することとなりました。								
課題と今後の取組	市立加西病院産婦人科の医師確保及び利用状況並びに今後の出生者数の動向等を踏まえ、民間の産婦人科医院等の開設の必要性及び費用対効果等を念頭に置きつつ検討を進める必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H28)	最終(H32)					
	②実行中	-	-	-	B: 目標を達成		②継続		

実施計画		H30 (予定額)		H31 (予定額)		H32 (予定額)	
	取組内容	・誘致検討		・誘致協議			
	経費(千円)	0		0			
変更する内容							
取り組みの進捗状況を確認するための数値【再掲】	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★産婦人科医院等の開設【1-4】 (定義)産婦人科医院等の開設数 (根拠)産婦人科医院等の開設に係る補助制度利用実績数 (担当者)人口増政策課長 (目標値10年)当初(H22):一か所 現状:一か所 5年後:1か所 (目標値3年)平成30年度:0か所 平成31年度:1か所 平成32年度:1か所						

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	19 地域で支え合う安心の暮らし
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。
関連課名	長寿介護課、地域福祉課

基本計画	1 高齢者や障がい者、及びその介護者を支援するため、総合的な支援体制を強化します。			
主管部課	部名	健康福祉部	課名	長寿介護課、地域福祉課
実施スケジュール	取組内容	H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
		<ul style="list-style-type: none"> 生活介護サービスの充実 一時相談窓口業務委託 協議体の設置 生活支援コーディネーターの設置 		同左
	経費(千円)	35,539	37,397	37,397

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①生活介護サービス利用者数(延月人数)	目標		1,547	1,560	1,620	1,680	1,740	1,800
	実績	—	1,547	1,639				
(指標及びH32目標値の設定理由) 生活介護サービスの利用者数を示すもので、 H27年度の数値を基準として設定	目標数値の 達成度	単年度	100%	105%				
		最終年度	86%	91%				
②一時相談窓口寄せられた相談者数	目標		2,235	2,300	2,370	2,440	2,510	2,580
	実績	—	2,235	2,692				
(指標及びH32目標値の設定理由) 一時相談窓口への年間延べ相談者を指標とし、 H27年度の数値を基準として設定	目標数値の 達成度	単年度	100%	117%				
		最終年度	87%	104%				

H28取組状況

- 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていける地域づくりの核となるための地域ケアシステム立ち上げのため、地域資源の発掘と地域サービスの創出をコーディネートする生活支援コーディネーターを設置し、地域団体や事業所等による協議体を設置しました。
- 障がい者の日中の居場所提供となるサービスにおいて、地域活動支援センターに対して支援を行いました。また、生活介護サービス及び地域移行支援の拠点となるグループホーム整備に補助金を出し、施設整備を進めました。

課題と今後の取組

- 市民に同システムの主旨を理解いただくために地域ケア会議のモデル地区を立ち上げ、第一層から第三層それぞれ地域の実情にあったケアシステムを構築する事が課題です。
- 今後は、平成28年度に設置した協議体をサポート機関として第一層での資源発掘とサービス開発をコーディネートします。
- 高齢化する障害者に対し、介護保険制度にスムーズにつなげる仕組みを実施します。
- 高齢者支援については、地域包括支援センターと一時相談窓口との連携を密にし対応していきたいと考えます。
- 地域包括ケアシステムの実現のため、協議体を設置し、生活支援コーディネーターを配置することにより様々な生活支援サービスの充実を図ります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
①	②実行中	S: 予定より早く進行	105%	91%	B: 目標を達成	②継続
②	②実行中	S: 予定より早く進行	117%	104%	B: 目標を達成	②継続

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	19 地域で支え合う安心の暮らし
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。
関連課名	長寿介護課、地域福祉課

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		・生活介護サービスの充実 ・一時相談窓口業務委託 ・協議体・生活支援コーディネーターによる生活支援サービスの企画立案	・同左	
	経費(千円)	40,724	40,724	
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)生活介護サービス利用者数(延月人数) (定義)生活の場として、生活介護サービスの利用者数 (根拠)利用者数 (担当者)地域福祉課長 (目標値10年)当初(H22):一人 現状:1,547人 5年後:1,800人 (目標値3年)平成30年度:1,680人 平成31年度:1,740人 平成32年度:1,800人</p> <p>(指標名)一時相談窓口寄せられた相談者数 (定義)一時相談窓口寄せられた相談件数 (根拠)同上 (担当者)長寿介護課長 (目標値10年)当初(H22):一人 現状:2,235人 5年後:2,580人 (目標値3年)平成30年度:2,440人 平成31年度:2,510人 平成32年度:2,580人</p>			

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	19 地域で支え合う安心の暮らし
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。
関連課名	長寿介護課、地域福祉課

基本計画	2 ひとり暮らしや高齢者夫婦世帯へ地域に密着した配食サービスを拡充します。		
------	---------------------------------------	--	--

主管部課	部名	健康福祉部	課名	長寿介護課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	配食サービスの実数	配食サービスの実数	配食サービスの実数
	経費(千円)	7,399	8,107	8,107

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
配食サービス配食数	目標		400	400	400	400	400	400
	実績	—	295	305				
(指標及びH32目標値の設定理由) 理論上最大配食数を目標値として設定	目標数値の達成度	単年度	74%	76%				
		最終年度	74%	76%				

H28取組状況	おおむね65歳以上の高齢者でや調理が困難なひとり暮らし及び高齢者世帯を対象に 調理・配達ボランティアさんの協力を得て定期的に、栄養バランスのとれた食事を配達するとともに、対象者の安否確認をしました。管理を的確に行うよう努めました但し休止者や当日キャンセル等があり理論上、利用者の最大配食数(400食)にはつながっていません。
---------	--

課題と今後の取組	民間サービスや介護事業所サービスの参入が期待される分野です。地域包括ケアシステム構築の中でPO(民間)・GO(行政)・NPOセクターごとの配食サービスを開発している多様なサービスを提供する事で行政コスト削減にも繋げていきます。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	76%	76%	B: 目標を達成	②継続

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		・配食サービス	・同左	
	経費(千円)	8,107	8,107	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)配食サービス配食数 (定義)1日平均配食数 (根拠)年間総配食数を年間配食日数で割り出し算出 (担当者)長寿介護課長 (目標値10年)当初(H22):一食 現状:400食 5年後:400食 (目標値3年)平成30年度:400食 平成31年度:400食 平成32年度:400食
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	19 地域で支え合う安心の暮らし
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。
関連課名	長寿介護課、地域福祉課

基本計画	3 要介護高齢者の通院等外出支援のために移送サービスを充実します。		
------	-----------------------------------	--	--

主管部課	部名	健康福祉部	課名	長寿介護課、地域福祉課
------	----	-------	----	-------------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	高齢者等外出支援サービス	高齢者等外出支援サービス	高齢者等外出支援サービス
	経費(千円)	957	1,501	1,501

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
高齢者外出支援サービス事業年間利用延べ件数	目標		300	300	300	300	300	300
	実績	—	291	237				
(指標及びH32目標値の設定理由) 開庁日稼働件数を目標値として設定	目標数値の達成度	単年度	97%	79%				
		最終年度	97%	79%				

H28取組状況	加西市社会福祉協議会に委託しおおむね65歳以上の車イスを利用している高齢者や障害者の方で、一般の交通機関では移動が困難な方を対象に、リフト付ワゴン車で利用者の居宅と医療機関などとの間の送迎を行いました。また、制度の広報に努め利用者の拡大を図りました。
---------	---

課題と今後の取組	介護事業所や民間企業による移送サービスの多様化のほか、移動販売車サービスのニーズも高まっているため、本事業については全体的な利用も低減傾向にあるため公共交通施策も含めた総合的な移動サービスの検討をしていきます。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	79%	79%	C: 目標を下回っている	③見直し

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		・高齢者等外出支援サービス	・同左	
	経費(千円)	1,711	1,711	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名) 高齢者外出支援サービス事業年間利用延べ件数 (定義) 高齢者外出支援サービス事業利用延べ件数 (根拠) 同上 (担当者) 長寿介護課長 (目標値10年) 当初(H22): 一件 現状: 300件 5年後: 300件 (目標値3年) 平成30年度: 300件 平成31年度: 300件 平成32年度: 300件
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	19 地域で支え合う安心の暮らし
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。
関連課名	長寿介護課、地域福祉課

基本計画	4 地域の介護予防リーダーの養成とその活動を支援します。		
------	------------------------------	--	--

主管部課	部名	健康福祉部	課名	長寿介護課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・前期、後期それぞれ4回コースの講座を開催予定	・前期、後期それぞれ4回コースの講座を開催予定	・前期、後期それぞれ4回コースの講座を開催予定
	経費(千円)	340	300	300

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
介護予防リーダー養成数	目標		300	340	380	420	460	500
	実績	73	301	301				
(指標及びH32目標値の設定理由) 前期、後期にそれぞれ4回コースの講座を開催	目標数値の達成度	単年度	100%	89%				
		最終年度	60%	60%				

H28取組状況	社会福祉協議会と共催して講座を開催した。前期講座として7月～8月にかけて4回、後期は12月に3回の講座を実施し述べ164人が講座を受講しました。参加者は、「あったか推進のつどい」や「いきいきサロン」など高齢者が地域で集まる機会に学んだことを実践するなど介護予防の普及啓発に努めました。
---------	--

課題と今後の取組	リーダーを軸とした地域活動のコーディネートが必要です。特に組織づくりや活動資金調達、リーダーやグループ間の情報共有やネットワーク化が課題です。今後は生活支援コーディネーターを中心に地域包括ケアシステムの中心的役割として介護予防に活躍していただけるシステムを構築していきます。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	89%	60%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・4回コースの講座を開催予定	・同左	
	経費(千円)	60	60	

変更する内容	生活支援サポーター養成講座と共通カリキュラムの設定により、講師謝礼及び開催回数の減。
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)介護予防リーダー養成数 (定義)介護予防リーダー養成講座修了者数 (根拠)介護予防リーダー養成講座修了者見込延べ人数 (担当者)長寿介護課長 (目標値10年)当初(H22):73人 現状:300人 5年後:500人 (目標値3年)平成30年度:420人 平成31年度:460人 平成32年度:500人
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	19 地域で支え合う安心の暮らし
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。
関連課名	長寿介護課、地域福祉課

基本計画	5 ★大学等との連携による高齢者の介護支援(介護予防)を進めます。		
------	-----------------------------------	--	--

主管部課	部名	健康福祉部	課名	長寿介護課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	認知症カフェやサロンへの大学生や子育て中の母親などの連携を支援	同左	同左
	経費(千円)	0	150	300

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★連携カフェ年間開催数【5-81】	目標		—	2	4	8	16	16
	実績	—	—	0				
(指標及びH32目標値の設定理由) 大学生や子育て中の母親と連携したカフェをH32に16回開催を目指します。	目標数値の達成度	単年度	—	0%				
		最終年度	—	0%				

H28取組状況	連携可能な大学等の資源調査を実施しました。
---------	-----------------------

課題と今後の取組	学生等によるカフェは一過性になってしまうため学生や子育てママグループと市内飲食店との協働コラボ事業として、認知症カフェをデザインする事を目指します。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	0%	0%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・認知症カフェやサロンへの大学生や子育て中の母親などの連携を支援	・同左	
	経費(千円)	300	300	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★連携カフェ年間開催数【5-81】 (定義)連携カフェ年間開催数 (根拠)大学生や子育て中の母親と連携したカフェの年間開催数 (担当者)長寿介護課長 (目標値10年)当初(H22):一回 現状:一回 5年後:16回 (目標値3年)平成30年度:8回 平成31年度:16回 平成32年度:16回
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	19 地域で支え合う安心の暮らし
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。
関連課名	長寿介護課、地域福祉課

基本計画	6 ★あったか声かけ作戦を推進します。		
------	---------------------	--	--

主管部課	部名	健康福祉部	課名	長寿介護課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール	取組内容	H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
		あったか声かけ作戦の実施	同左	同左
	経費(千円)	330	330	330

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
あったか声かけ作戦の実施地区数	目標		8	11	11	11	11	11
	実績	—	10	11				
(指標及びH32目標値の設定理由) 全校区においてあったか声かけ作戦を実施	目標数値の達成度	単年度	125%	100%				
		最終年度	91%	100%				

H28取組状況	社会福祉協議会に委託し、小学校区全地区で実施できました。
---------	------------------------------

課題と今後の取組	地域住民間の声かけ運動は認知症を正しく理解し、対応する上で非常に有効であり、その他悩み事相談や防犯機能など副次的効果も大きいため引き続き継続実施し地域全体で認知症高齢者等を見守る体制整備を図ります。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		・あったか声かけ作戦の実施	・同左	
	経費(千円)	330	330	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)あったか声かけ作戦の実施地区数 (定義)あったか声かけ作戦を実施した地区数 (根拠)同上 (担当者)長寿介護課長 (目標値10年)当初(H22):一回 現状:10地区 5年後:11地区 (目標値3年)平成30年度:11地区 平成31年度:11地区 平成32年度:11地区
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	20 防犯・防災のまちづくり
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。
関連課名	危機管理課

基本計画	1 災害時要援護者の登録推進を図ります。								
主管部課	部名	総務部			課名	危機管理課			
実施スケジュール		H28 (決算額)		H29 (予算額(補正含む))		H30 (予定額)			
	取組内容	・要援護者台帳の更新 ・個別支援計画の策定		・同左		・同左			
	経費(千円)	360		360		360			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
災害時要援護者台帳登載率(%)		目標		61.5	63.0	64.0	65.0	66.0	67.0
		実績	—	61.5	61.1				
(指標及びH32目標値の設定理由) 支援希望の有無について回答のない方198名のうち2/3を台帳に搭載すると想定		目標数値の達成度	単年度	100%	97%				
			最終年度	92%	91%				
H28取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護度3以上及び重度障がい者で災害時要援護者でない者に対して申請書類を送付しました。 ・社会福祉協議会に委託して福祉委員(民生委員)により訪問調査を実施しました。 ・災害時要援護者台帳を作成し、自治会、民生委員、社会福祉協議会及び消防署に配布しました。 								
課題と今後の取組	H29.2時点で災害時要援護者数は1,351人(+7)ですが、支援不要と回答があった未登録災害時要援護者が693名(+50)のため、台帳登載率は下がっています。ただし、指標である支援希望の有無について回答がない潜在災害時要援護者については167名(-31)と減少していますので、今後も福祉委員(民生委員)の協力を得ながら、取り組んでいきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H28)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	97%	91%	B: 目標を達成		②継続		

実施計画		H30 (予定額)		H31 (予定額)		H32 (予定額)	
	取組内容	・要援護者台帳の更新 ・個別支援計画の策定		・同左			
	経費(千円)	360		360			

変更する内容								
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)災害時要援護者台帳登載率(%) (定義)災害時要援護者の対象者(要介護度3以上、重度障がい者)のうち、台帳に登載されている人数の割合 (根拠)加西市災害時要援護者避難支援計画 (担当者)危機管理課長 (目標値10年)当初(H22):—% 現状:61.5% 5年後:67% (目標値3年)平成30年度:65% 平成31年度:66% 平成32年度:67%							

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	20 防犯・防災のまちづくり
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。
関連課名	危機管理課

基本計画	2 北はりま消防組合との連携や自主防災組織、消防団を支援により強化し、地域防災力の向上に努めます。		
------	---	--	--

主管部課	部名	総務部	課名	危機管理課
------	----	-----	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・自主防災訓練費補助40地区 ・資器材整備費補助3地区 ・土のうづくり訓練 ・図上訓練	・同左	・同左
	経費(千円)	2,387	2,324	2,324

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
① ★防災訓練・研修年間開催数【5-89】	目標		35	44	53	62	71	71
	実績	—	34	37				
(指標及びH32目標値の設定理由) 自主防災組織が2年に1度は訓練実施するように設定	目標数値の達成度	単年度	97%	84%				
		最終年度	48%	52%				
② ★資器材補助団体数	目標		10	12	14	16	18	20
	実績	—	26	51				
(指標及びH32目標値の設定理由) 資器材補助団体数の倍増	目標数値の達成度	単年度	260%	425%				
		最終年度	130%	255%				

H28取組状況	資器材整備補助制度を見直し、毎年50,000円を上限に補助(1/2)することとしました。(H28.1からの変更)出水期前に土のう作り訓練を実施し、地震発生を想定した図上訓練を2小学校区で実施しました。
---------	--

課題と今後の取組	訓練を実施する自主防災組織が固定化しているため、実施していない地域への普及啓発を行いたいと考えます。資器材補助団体数は、補助制度を見直したこともあり、当初の目標を既に達成していますが、今後も維持又は増加するように啓発していきたいと考えます。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
①	②実行中	B: 予定より遅延	84%	52%	B: 目標を達成	②継続
②	②実行中	S: 予定より早く進行	425%	255%		

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	20 防犯・防災のまちづくり
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。
関連課名	危機管理課

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		経費(千円)	2,324	2,700
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)★防災訓練・研修年間開催数【5-89】 (定義)市主催防災訓練回数、自主防災訓練実施数 (根拠)市主催防災訓練実施回数と自主防災訓練補助申請数の合計 (担当者)危機管理課長 (目標値10年)当初(H22):一回 現状:35回 5年後:71回 (目標値3年)平成30年度:62回 平成31年度:71回 平成32年度:71回</p> <p>(指標名)★資器材補助団体数 (定義)消防防災施設等整備事業補助金申請数 (根拠)消防防災施設等整備事業補助金交付要綱 (担当者)危機管理課長 (目標値10年)当初(H22):一団体 現状:10団体 5年後:20団体 (目標値3年)平成30年度:16団体 平成31年度:18団体 平成32年度:20団体</p>			

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	20 防犯・防災のまちづくり
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。
関連課名	危機管理課

基本計画	3 通学路防犯灯を増設し、児童の安全対策を図ります。		
------	----------------------------	--	--

主管部課	部名	総務部	課名	危機管理課
------	----	-----	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	地元の要望に対応しつつ、通学路に積極的に設置します。	・同左	・同左
	経費(千円)	15,846	16,000	16,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
LED防犯灯設置数	目標		3,700	3,800	3,900	4,000	4,100	4,200
	実績	—	3,776	3,915				
(指標及びH32目標値の設定理由) 通学路のLED防犯灯を増設して児童の安全を図るために各中学校区に100灯程度を目標に設置	目標数値の達成度	単年度	102%	103%				
		最終年度	90%	93%				

H28取組状況	地元要望55本に加えて、中学校通学路84本、合計139本のLED防犯灯の設置を行いました。
---------	---

課題と今後の取組	関電柱、NTT柱の建っていない箇所の防犯灯要望があるため、工事においてポール設置も進めて行きます。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	103%	93%	A: 目標を上回って達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・地元の要望に対応しつつ、通学路に積極的に設置	・同左	
	経費(千円)	16,000	16,000	

変更する内容	
--------	--

取組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)LED防犯灯設置数 (定義)市が設置するLED防犯灯数 (根拠)年間100灯を目指す (担当者)危機管理課長 (目標値10年)当初(H22):一灯 現状:3,700灯 5年後:4,200灯 (目標値3年)平成30年度:4,000灯 平成31年度:4,100灯 平成32年度:4,200灯
------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	20 防犯・防災のまちづくり
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。
関連課名	危機管理課

基本計画	4 青色防犯パトロールによる巡回活動を充実します。		
------	---------------------------	--	--

主管部課	部名	総務部	課名	危機管理課
------	----	-----	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・登下校時の見守り ・防犯パトロール	・同左	・同左
	経費(千円)	0	0	0

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
年間のパトロール実施回数	目標		190	190	190	190	190	190
	実績	—	190	190				
(指標及びH32目標値の設定理由) 毎日計画的に青色防犯パトロールを実施します。	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	100%	100%				

H28取組状況	毎日小学校の下校ルートを考慮し、ローテーションによるパトロール経路を作成後、パトロールを実施しました。
---------	---

課題と今後の取組	即座に不審者情報等に対応するように、パトロールを強化します。
----------	--------------------------------

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・登下校時の見守り ・防犯パトロール	・同左	
	経費(千円)	0	0	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)年間のパトロール実施回数 (定義)登下校時の児童の安全と防犯に繋げる (根拠)パトロール員の勤務日数 (担当者)危機管理課長 (目標値10年)当初(H22):一人 現状:190人 5年後:190人 (目標値3年)平成30年度:190人 平成31年度:190人 平成32年度:190人
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	20 防犯・防災のまちづくり
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。
関連課名	危機管理課

基本計画	5 警察や交通安全協会等との連携を強化し、免許返納制度を推進します。		
------	------------------------------------	--	--

主管部課	部名	総務部	課名	危機管理課
------	----	-----	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・免許更新時、交通安全講習会の際に啓発する	・同左	・同左
	経費(千円)	0	0	0

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
高齢者における人身事故加害者率(%) 【減少指標】	目標		0.44	0.43	0.43	0.43	0.43	0.43
	実績	0.49	0.44	0.43				
(指標及びH32目標値の設定理由) 高齢者の運転免許保持者が人身事故を起こす割合を現在の水準より上げない	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	102%	100%				

H28取組状況	高齢者運転免許自主返納サポート協議会へ加盟し、自主返納の推進を行いました。
---------	---------------------------------------

課題と今後の取組	警察、安全協会等と連携し、自主返納のを推進して行きます。
----------	------------------------------

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・免許更新時、交通安全講習会の際に啓発	・同左	
	経費(千円)	0	0	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)高齢者における人身事故加害者率【減少指標】 (定義)65歳以上免許保有人口における人身事故加害者の割合 (根拠)65歳以上人身事故加害者数(H26.1~12) 40/65歳以上人口(H26.12) 13,404=0.30% (担当者)危機管理課長 (目標値10年)当初(H22):0.49% 現状:0.44% 5年後:0.43% (目標値3年)平成30年度:0.43% 平成31年度:0.43% 平成32年度:0.43%
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	20 防犯・防災のまちづくり
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。
関連課名	危機管理課

基本計画	6 ★老朽危険空き家問題に取り組み、安全安心のまちづくりを推進します。		
------	-------------------------------------	--	--

主管部課	部名	総務部	課名	危機管理課
------	----	-----	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	空き家の実態調査 所有者への助言・指導 自治会への除却補助	空き家対策計画策定 所有者への助言・指導 自治会への除却補助	所有者への助言・指導 自治会への除却補助
	経費(千円)	1,808	2,000	2,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
老朽危険空き家所有者への年間助言・指導数	目標		5	5	5	5	5	5
	実績	—	5	3				
(指標及びH32目標値の設定理由) 危険空き家の増加を抑制する。	目標数値の達成度	単年度	100%	60%				
		最終年度	100%	60%				

H28取組状況	谷、鍛冶屋、下道山の各町、合計3件の対応を行った。また、その他数件の案件についての相談を行いました。
---------	--

課題と今後の取組	地元とも連携し、老朽危険空き家における事故を未然に防ぐことに努めます。
----------	-------------------------------------

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	60%	60%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	経費(千円)	2,000	2,000	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)老朽危険空き家所有者への年間助言・指導数 (定義)倒壊等保安上危険となる、衛生上有害、著しく景観を損なっているなど周辺の生活環境に悪影響がある(根拠)加西市空き家等の適正管理に関する条例 (担当者)危機管理課長 (目標値10年)当初(H22):一回 現状:5回 5年後:5回 (目標値3年)平成30年度:5回 平成31年度:5回 平成32年度:5回
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	20 防犯・防災のまちづくり
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。
関連課名	危機管理課

基本計画	7 ★防犯カメラの設置により、犯罪の未然防止に努めます。		
------	------------------------------	--	--

主管部課	部名	総務部	課名	危機管理課
------	----	-----	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	主要交差点に重点的に設置し、必要とする自治会に設置補助	同左	同左
	経費(千円)	1,400	2,000	2,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
防犯カメラ設置台数	目標		7	15	20	30	40	50
	実績	—	8	22				
(指標及びH32目標値の設定理由) 主要な交差点20カ所 30団体の設置を支援	目標数値の達成度	単年度	114%	147%				
		最終年度	16%	44%				

H28取組状況	町主体の設置5件、市単独の設置を9件行いました。 今後も主要交差点等必要箇所に設置を行っていきます。
---------	---

課題と今後の取組	警察署等と連携し、効率的な防犯カメラの設置を行います。
----------	-----------------------------

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	147%	44%	A: 目標を上回って達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・主要交差点に重点的に設置し、必要とする自治会に設置補助	・同左	
	経費(千円)	5,000	5,000	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)防犯カメラ設置台数 (定義)市と自治会が設置する総数 (根拠)主要交差点20カ所に設置 30団体の設置を支援 (担当者)危機管理課長 (目標値10年)当初(H22): 一台 現状: 7台 5年後: 50台 (目標値3年)平成30年度: 30台 平成31年度: 40台 平成32年度: 50台
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21 安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	1 ★加西市の子ども・子育ての総合的な拠点施設として、未来型児童館を設置します。		
------	--	--	--

主管部課	部名	教育委員会	課名	こども未来課
------	----	-------	----	--------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・ひろば事業の充実 ・利用者支援事業の実施	同左	同左
	経費(千円)	40,774	40,774	40,774

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
子育てひろば事業・児童館の充実【1-6】	目標		5	6	6	6	5	5
	実績	—	5	5				
(指標及びH32目標値の設定理由) 子ども・子育て支援事業計画に基づく数値 H28年からひろば1ヶ所増	目標数値の達成度	単年度	100%	83%				
		最終年度	100%	100%				

H28取組状況	・子育てに関する相談・援助の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育てに関する講習等の実施を行いました。 ・各ひろばの特色を活かした親子交流の場の提供に努めました。
---------	--

課題と今後の取組	・子育てに関する相談・援助の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育てに関する講習等の充実を進めます。 ・「ねひめキッズ」「ぜんぼうキッズ」「ほくぶキッズ」のひろばを集約し、子育て世代のニーズに合わせ開園時間の延長などひろば事業の充実を図り、新たな利用者を増やしていきます。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	83%	100%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・ひろば事業の充実 ・利用者支援事業の実施	・同左	
	経費(千円)	44,602	44,602	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)子育てひろば事業・児童館の充実【1-6】 (定義)子育てひろば事業・児童館数 (根拠)子ども・子育て支援事業計画に基づく数値 (担当者)こども未来課長 (目標値10年)当初(H22):一か所 現状:5か所 5年後:5か所 (目標値3年)平成30年度:6か所 平成31年度:5か所 平成32年度:5か所
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21 安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	2 健やかな発達の支援のため、乳幼児健診や相談を充実します。		
------	--------------------------------	--	--

主管部課	部名	健康福祉部	課名	健康課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・すくすく相談窓口(子育て世代包括支援センター)の立ち上げ ・プレママ教室、パパママクラブ	・すくすく相談窓口の充実 ・プレママ教室、パパママクラブ	・同左
	経費(千円)	23,640	28,430	28,515

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★妊婦健診の年間受診延べ件数【1-20】	目標		3,664	3,682	3,699	3,716	3,750	3,750
	実績	—	3,493	4,551				
(指標及びH32目標値の設定理由) 妊婦数及び妊娠期の健康管理の状況を示す もので、増加を目指す。	目標数値の 達成度	単年度	95%	124%				
		最終年度	93%	121%				

H28取組状況	すくすく相談窓口を開設により妊娠期から切れ目ない子育て支援を行うようPRIに努め、ハイリスク妊婦への妊娠期からの支援により健診受診の勧奨を行いました。
---------	---

課題と今後の取組	妊娠期からの継続的な支援を必要とする妊婦が増加傾向にあり、引き続き支援を行うとともに相談支援体制の充実に努めます。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	124%	121%	A: 目標を上回って達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・すくすく相談窓口の充実 ・プレママ教室、パパママクラブ	・同左	
	経費(千円)	28,600	28,600	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★妊婦健診の年間受診延べ件数【1-20】 (定義)妊婦健診の年間受診延べ件数 (根拠)妊婦健診助成券使用状況及び償還払い件数 (担当者)健康課長 (目標値10年)当初(H22):一件 現状:3,664件 5年後:3,750件 (目標値3年)平成30年度:3,716件 平成31年度:3,750件 平成32年度:3,750件
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21 安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	3 教育と福祉、保健部門とのネットワークを活かした子育て支援や療育相談の機能を高めます。		
------	--	--	--

主管部課	部名	教育委員会	課名	こども未来課
------	----	-------	----	--------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・児童療育室と他部署との連携強化	・同左	同左
	経費(千円)	20,527	20,527	20,527

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
子育てひろば事業・児童館の充実【1-6】	目標		5	6	6	6	5	5
	実績	—	5	5				
(指標及びH32目標値の設定理由) 子ども・子育て支援事業計画に基づく数値 H28年からひろば1ヶ所増	目標数値の達成度	単年度	100%	83%				
		最終年度	100%	100%				

H28取組状況	・発達支援児個別の指導計画を基に個々の支援ファイルを作成し、研修会や特別支援ネットワーク会議で、保幼小職員相互で支援ファイルをもとに情報伝達を行うことで支援の継承を図りました。
---------	--

課題と今後の取組	・療育機関等の関係機関との連携を密にすることで情報を早期に共有化し、個々の発達状況を客観性をもって把握し、より適切な支援ができるように保育者の資質向上に努める必要があります。 ・特別支援児支援担当職員を臨時職員で対応しているが、まだ職員は恒常的に不足状態であり、職員確保が喫緊の課題です。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	83%	100%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・児童療育室と他部署との連携強化	・同左	
	経費(千円)	20,527	20,527	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)子育てひろば事業・児童館の充実【1-6】 (定義)子育てひろば事業・児童館数 (根拠)子ども・子育て支援事業計画に基づく数値 (担当者)こども未来課長 (目標値10年)当初(H22):一か所 現状:5か所 5年後:5か所 (目標値3年)平成30年度:6か所 平成31年度:5か所 平成32年度:5か所
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21 安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	4 地域ぐるみの子育て支援により児童虐待防止を推進します。
------	-------------------------------

主管部課	部名	健康福祉部	課名	地域福祉課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	相談窓口啓発カードの作成・配布。 相談体制整備、充実。 養護児童対策地域協議会の充実。	相談窓口啓発カードの作成・配布。 相談体制整備、充実。 養護児童対策地域協議会の充実。	相談窓口啓発カードの作成・配布。 相談体制整備、充実。 養護児童対策地域協議会の充実。
	経費(千円)	6,747	10,790	10,790

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
相談窓口啓発カードの配布枚数	目標		350	400	500	600	700	800
	実績	29	350	360				
(指標及びH32目標値の設定理由) 相談窓口の周知は早期発見・対応に不可欠であり、配布枚数は啓発の進捗状況を示す。		目標数値の達成度	単年度	100%	90%			
			最終年度	44%	45%			

H28取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 相談窓口啓発カードを作成、配布しました。(こんにちは赤ちゃん事業、各種会議等) 認定こども園をはじめとする学校関係、公共施設等に児童虐待防止の啓発のためのリーフレット等を配布し、相談窓口に周知を行いました。 こんにちは赤ちゃん事業を通じて、民生委員児童委員に早期発見・早期対応、発生予防の重要性を知っていただくよう努めました。
---------	---

課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 現在は、身近に相談者・協力者がいない家庭が多く、子育て経験の浅い保護者にとっては、ささいなことでも追い詰められやすい環境となっています。保護者にとって、“身近で相談しやすい窓口”をめざし、相談窓口の周知、相談体制の充実に図り、育児の孤立化、育児不安の防止、虐待の早期発見・早期対応に努めていきます。また、子ども向けのカードも新たに作成します。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	90%	45%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	相談窓口啓発カードの作成・配布 相談体制整備、充実 要保護児童対策地域協議会の充実	同左	
	経費(千円)	13,301	13,301	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)相談窓口啓発カードの配布枚数 (定義)家庭児童相談室における配布枚数 (根拠)家庭児童相談室における配布枚数 (担当者)地域福祉課長 (目標値10年)当初(H22):29枚 現状:350枚 5年後:800枚 (目標値3年)平成30年度:600枚 平成31年度:700枚 平成32年度:800枚</p>
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21 安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	5 学校との連携を強化し、学童保育を充実します。			
------	--------------------------	--	--	--

主管部課	部名	教育委員会	課名	こども未来課
------	----	-------	----	--------

実施スケジュール	取組内容	H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
		・11園の運営	同左	同左
経費(千円)		78,327	78,327	78,327

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
学童保育受入率(%)【1-23】	目標		100	100	100	100	100	100
	実績	82.9	100	97				
(指標及びH32目標値の設定理由) 11園で運営し受入枠を拡充	目標数値の達成度	単年度	100%	97%				
		最終年度	100%	97%				

H28取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年4月1日時点で293人から平成28年は335人に児童数が増えました。(平成27年度までは対象者は3年生までであったが、平成28年度から全学年が対象となりました) 手狭となった富合小学校には学童保育専用棟を平成29年3月に整備し、利用の確保を行いました。 指導員の確保・充実を図るため、毎月の連絡会を活用した指導や新人研修への参加機会を拡充しました。
---------	---

課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 各校区とも学童保育の利用者が増加し、定員に空きがないため、入園受入を保留する児童も発生しています。 小学校内の空き教室も乏しく、旧幼稚園舎等を利活用するなど園舎と指導員の確保が課題です。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	97%	97%	B: 目標を達成	②継続

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		・富合学童保育園分園 14園(各校1園、北条・北条東・富合各2園)	・同左	
経費(千円)		79,781	79,781	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)学童保育受入率【1-23】 (定義)学童保育受入率 (根拠)学童保育希望者における受入児童の割合 総申込数で入園決定を行った数で割ったもの $\frac{\text{平成22年155人(決定数)}}{\text{187人(申込数)}} = 82.9\%$ (担当者)こども未来課長 (目標値10年)当初(H22): 82.9% 現状: 100% 5年後: 100% (目標値3年)平成30年度: 100% 平成31年度: 100% 平成32年度: 100%</p>
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21 安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	6 認定こども園の整備による幼保一体化を促進し、民間活用も含めた保育・教育の拡充を進めます。		
------	--	--	--

主管部課	部名	教育委員会	課名	こども未来課
------	----	-------	----	--------

実施スケジュール	取組内容	H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
		・認定こども園の普及	・(仮称)加西こども園の開設	・北条西保育所と北条幼稚園を統合し、認定こども園として開設
	経費(千円)	29,371	565,000	30,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
認定こども園の普及(園)【1-22】	目標		5	5	6	7	7	7
	実績	—	5	5				
(指標及びH32目標値の設定理由) H29年に1ヶ所、H30年に1ヶ所認定こども園を開設	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	71%	71%				

H28取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年4月加西こども園開設に向け、保護者や地域との協議を重ね園舎の整備を実施しました。 平成30年4月北条地区こども園開設に向け、仮設園舎の整備に着手しました。
---------	---

課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年4月北条西保育所と北条幼稚園を統合し、認定こども園開設に向け整備を進めていきます。 泉中学校区におけるこども園整備は、地域事情、児童数の推移等、慎重に協議を進める必要があります。 公設による施設整備には建設に係る財源確保が必要です。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	71%	B: 目標を達成	②継続

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		・(仮称)北条西こども園の開設	—	
	経費(千円)	46,000	—	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)認定こども園の普及【1-22】 (定義)認定こども園の開設数 (根拠)認定こども園の開設数 (担当者)こども未来課長 (目標値10年)当初(H22):一園 現状:5園 5年後:7園 (目標値3年)平成30年度:7園 平成31年度:7園 平成32年度:7園
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21 安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	7 保育料の無料化等、保護者の負担軽減を図ります。
------	---------------------------

主管部課	部名	教育委員会 ふるさと創造部	課名	こども未来課 人口増政策課
------	----	------------------	----	------------------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・4・5歳児の保育料の無料化 ・子育て応援券の検討	・4・5歳児の保育料の無料化 ・子育て応援券の配布	同左
	経費(千円)	—	10,000	12,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★保育料等の無料化対象年齢【1-12】	目標		—	4・5歳	4・5歳	4・5歳	4・5歳	4・5歳
	実績	—	4・5歳	4・5歳				
(指標及びH32目標値の設定理由) 4・5歳児保護者の負担軽減を維持する	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	100%	100%				
②★子育て応援券制度対象者数【1-7】	目標		—	—	900	1,300	1,300	1,500
	実績	—	—	—				
(指標及びH32目標値の設定理由) 子育て応援券制度対象者の増加を図る	目標数値の達成度	単年度	—	—				
		最終年度	—	—				

H28取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・保育料の負担軽減を図るため、4・5歳児の保育所保育料を5千円に引き下げ、実質的な保育料の無料化を継続で実施しました。 ・多子世帯に対する保育料軽減は、第2子146名、第3子90名の申請を受理し、負担軽減を行いました。
---------	--

課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の保育料の設定については近隣市の動向と国の動向を注視する必要があります。 ・対象年齢を3歳以下に広げるには、保育利用の児童数増加が見込まれるため、設備や保育士の確保が課題です。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H27)	最終(H32)		
①	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続
②	①未着手	—	—	—		

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・4・5歳児の保育料の無料化 ・子育て応援券の検討	・同左	
	経費(千円)	170,000	170,000	

変更する内容	
--------	--

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21 安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)★保育料等の無料化対象年齢【1-12】 (定義)保育料等の無料化対象年齢 (根拠)保育料等の無料化対象年齢 (担当者)こども未来課長 (目標値10年)当初(H22):— 現状:— 5年後:4・5歳 (目標値3年)平成30年度:4・5歳 平成31年度:4・5歳 平成32年度:4・5歳</p> <p>(指標名)★子育て応援券制度対象者数【1-7】 (定義)子育て応援券制度対象者数 (根拠)同上 (担当者)人口増政策課長 (目標値10年)当初(H22):一人 現状:一人 5年後:1,500人 (目標値3年)平成30年度:1,300人 平成31年度:1,300人 平成32年度:1,500人</p>
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21 安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	8 子育てひろば事業や病児・病後児保育等の利用を促進します。			
------	--------------------------------	--	--	--

主管部課	部名	教育委員会	課名	こども未来課
------	----	-------	----	--------

実施スケジュール	取組内容	H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
		・病児保育の実施	・同左	・同左
経費(千円)		11,228	11,228	11,228

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
病児病後児保育施設年間利用者数【1-13】	目標		300	400	400	400	500	500
	実績	—	411	475				
(指標及びH32目標値の設定理由) H27年の実績を基に目標を設定する	目標数値の達成度	単年度	137%	119%				
		最終年度	82%	95%				

H28取組状況	・市内の子育てひろばや保育所入所説明会時に、病児保育事業の周知を図りました。 ・病児・病後児保育園の利用者は平成27年度411人から平成28年度には475人となり、制度の周知によって利用人数が増加しました。
---------	--

課題と今後の取組	・病児・病後児保育事業は、病気の流行により利用者の人数が左右されやすく、継続的な利用が見込みにくいが、引き続きPRに努め、安心して子育てができる環境づくりを推進していきます。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	119%	95%	A: 目標を上回って達成	②継続

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		・病児保育の実施	・同左	
経費(千円)		11,378	11,378	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)病児病後児保育施設年間利用者数【1-13】 (定義)病児病後児保育施設年間利用者数 (根拠)病児病後児保育施設年間利用者数 (担当者)こども未来課長 (目標値10年)当初(H22): 一人 現状: 300人 5年後: 500人 (目標値3年)平成30年度: 400人 平成31年度: 500人 平成32年度: 500人
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21 安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	9 地域の保育サポーターやプレイリーダーを養成します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	地域福祉課			
実施スケジュール	取組内容	H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))			H30 (予定額)			
		会員養成講座、会員交流会の充実。会報発行等を通じて活動の周知を図る。	会員養成講座、会員交流会の充実。会報発行等を通じて活動の周知を図る。			会員養成講座、会員交流会の充実。会報発行等を通じて活動の周知を図る。			
	経費(千円)	2,833	3,300			3,300			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
ファミリーサポートセンター協力会員数【1-21】		目標		60	61	62	63	65	65
		実績	29	60	61				
(指標及びH32目標値の設定理由) 協力会員数は、地域の保育サポーターを示すもの。現状より会員増(約1人/年)を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
			最終年度	92%	94%				
H28取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・会報(ファミサポだより)発行による活動状況等の周知に努めました。 ・安心して活動が行えるよう会員養成講座を開催、協力会員の資質向上を図りました。また、ファミサポ活動への理解と会員増、利用増を図るため、会員交流会を開催しました。 								
課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーサポートクラブ活動の周知、啓発に努めます。 ・協力会員の増を図り、実働に繋げていきます。また、養成講座を充実させ、会員の資質向上を図ります。 								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H28)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	94%	B: 目標を達成		②継続		

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	・会員養成講座、会員交流会の充実 ・会報発行等を通じた活動の周知	・同左		
	経費(千円)	3,756	3,756	
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)ファミリーサポートセンター協力会員数【1-21】 (定義)ファミリーサポートセンターの協力会員の数 (根拠)ファミリーサポートセンター登録会員数 (担当者)地域福祉課長 (目標値10年)当初(H22): 29人 現状: 60人 5年後: 65人 (目標値3年)平成30年度: 63人 平成31年度: 65人 平成32年度: 65人			

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21 安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	10 中学3年生までの医療費自己負担無料化について、継続して実施します。
------	--------------------------------------

主管部課	部名	健康福祉部	課名	国保医療課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール	取組内容	H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
		・中学3年生までの医療費無料化及び公費負担医療助成事業の継続実施	・同左	・同左
経費(千円)		157,284	174,699	174,699

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
中学3年生までの医療受診件数【1-18】	目標		82,496	83,000	83,500	84,000	84,500	85,000
	実績	—	81,456	84,042				
(指標及びH32目標値の設定理由) 子どもの増加に伴い、受診件数が増えることが予想されるため、受診件数を評価指標としています。	目標数値の達成度	単年度	99%	101%				
		最終年度	96%	99%				

H28取組状況	事業内容は前年度より変更はありませんが、特に出生による新規対象者について、確実に助成をうけていただけるよう受給者証交付時には、使用方法についての丁寧な説明を行いました。また、公費負担医療費助成については、施行2年目を迎え、制度がより周知されたことにより申請件数が増加しました。
---------	--

課題と今後の取組	県内では、所得制限を撤廃する自治体が増加傾向にあり、今後も他市町の動向に注視していきます。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	101%	99%	B: 目標を達成	②継続

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		・中学3年生までの医療費無料化及び公費負担医療助成事業の継続実施	・同左	
経費(千円)		174,319	174,319	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値【再掲】	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名) 中学3年生までの医療受診件数【1-18】 (定義) 乳幼児等、こども医療費助成の対象者における受診件数 (根拠) 年度末の月報における各助成事業対象者の受診件数 (担当者) 国保医療課長 (目標値10年) 当初(H22): 一人 現状: 82,496人 5年後: 85,000人 (目標値3年) 平成30年度: 84,000人 平成31年度: 84,500人 平成32年度: 85,000人
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21 安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	11 ★妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない相談や産後ケア等の支援体制を整備します。		
------	--	--	--

主管部課	部名	健康福祉部	課名	健康課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール	取組内容	H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
		産後ケア事業を新規実施	産後ケア事業の継続	同左
	経費(千円)	343	1,500	1,500

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★産後ケア事業の利用率(%)【1-3】	目標		—	3	6	8	10	10
	実績	—	—	16.7				
(指標及びH32目標値の設定理由) 事業についての周知が広がることで利用者が増加することを見込む	目標数値の達成度	単年度	—	557%				
		最終年度	—	167%				

H28取組状況	市内外の4機関に委託し、産後ケア事業を開始しました。 妊娠期から支援の必要な妊婦に介入をしました。産後に協力者がおらず、心身の不調や強い負担がある方に対し、産後ケアの利用を勧奨しました
---------	---

課題と今後の取組	妊娠期から継続した介入を行うことで、必要な対象者の産後ケア利用につながることができました。 今後も継続し、産後ケアを実施していきます。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	557%	167%	S: 目標を大きく上回って達成	②継続

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		・産後ケア事業の継続 ・乳房ケア事業の継続	・同左	
	経費(千円)	1,714	1,714	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★産後ケア事業の利用率【1-3】 (定義)特定妊婦の産後ケア事業利用率 (根拠)すくすく相談窓口(子育て世代包括支援センター)でのケース把握(担当者)健康課長 (目標値10年)当初(H22):—% 現状:—% 5年後:10% (目標値3年)平成30年度:8% 平成31年度:10% 平成32年度:10%
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21 安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	12 ★ひとり親家庭の支援を行います。		
------	---------------------	--	--

主管部課	部名	健康福祉部	課名	地域福祉課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・現行事業の実施。 ・ひとり親家庭のニーズ調査実施。	・現行事業の実施。 ・ニーズ調査を踏まえ、支援制度整備。	・現行事業の実施。 ・ニーズ調査を踏まえ、支援制度整備。
	経費(千円)	1,413	3,141	3,141

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★ひとり親家庭の支援制度のメニューの充実【1-5】	目標	/	-	-	-	-	1	1
	実績	-	-	-				
(指標及びH32目標値の設定理由) ひとり親家庭の支援施策整備のための追加メニュー数	目標数値の達成度	単年度	-	-				
		最終年度	-	-				

H28取組状況	・現行事業を実施しました。 ・児童扶養手当現況届時にニーズ調査をし、必要な支援を検討しました。
---------	--

課題と今後の取組	・現行事業の実施とともに、昨年実施したひとり親家庭のニーズ調査を踏まえ、具体的に制度の整備を行います。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	-	-	-	B:目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・現行事業(児童扶養手当、母子父子寡婦福祉資金貸付、母子家庭等自立支援給付金事業、ファミリーサポートクラブ利用料助成事業)の実施。 ・ニーズ調査を踏まえ、支援制度整備。	・同左	
	経費(千円)	2,707	2,707	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★ひとり親家庭の支援制度のメニューの充実【1-5】 (定義)ひとり親家庭の子育て環境整備 (根拠)ひとり親家庭の支援制度のメニューの充実 (担当者)地域福祉課長 (目標値10年)当初(H22):-メニュー 現状:-メニュー 5年後:1メニュー (目標値3年)平成30年度:0メニュー 平成31年度:1メニュー 平成32年度:1メニュー
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21 安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	13 ★子育て応援企業の支援を行います。			
------	----------------------	--	--	--

主管部課	部名	地域振興部	課名	産業振興課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・実態把握	・セミナーの実施	・セミナーの実施
	経費(千円)	0	50	50

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★子育て応援企業セミナー年間参加者数【1-8】	目標		-	-	30	30	30	30
	実績	-	-	-				
(指標及びH32目標値の設定理由) 子育て応援に取り組む企業の支援数で、年間30名の参加を目標設定。	目標数値の達成度	単年度	-	-				
		最終年度	-	-				

H28取組状況	平成29年度より実施します。
---------	----------------

課題と今後の取組	子育て世帯にやさしいサービスの実施や、子育てしやすい職場の環境整備に取り組む企業を支援するため、関係機関と連携し、アンケート等により実態把握のうえ、育休等の取得を促進するセミナー等を開催します。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	①未着手	-	-	-	B:目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・セミナーの実施	・同左	
	経費(千円)	50	50	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★子育て応援企業セミナー年間参加者数【1-8】 (定義)子育て応援企業セミナー年間参加者数 (根拠)子育て応援企業セミナー年間参加者数 (担当者)産業振興課長 (目標値10年)当初(H22):一人 現状:一人 5年後:30人 (目標値3年)平成30年度:30人 平成31年度:30人 平成32年度:30人
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21 安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	14 ★「赤ちゃんの駅」の指定を行い、子育て支援を行います。		
------	--------------------------------	--	--

主管部課	部名	健康福祉部	課名	地域福祉課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・必要設備設置済の公共施設について「赤ちゃんの駅」に指定する。 ・民間施設への説明、協力依頼。	・公共施設の「赤ちゃんの駅」指定。 ・民間施設への協力依頼。	・同左
	経費(千円)	50	50	50

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★「赤ちゃんの駅」設置数【1-9】	目標		—	5	7	10	13	15
	実績	—	—	0				
(指標及びH32目標値の設定理由) 子育て家庭の外出支援の充実を図るもの。	目標数値の達成度	単年度	—	0%				
		最終年度	—	0%				

H28取組状況	・公共施設の授乳室、おむつ交換台等の設置状況調べをもとに、各施設への依頼準備をしました。
---------	--

課題と今後の取組	・公共施設の「赤ちゃんの駅」を早急に進めます。そのための所管課との協議を行い、整備します。 ・民間施設への制度説明を具体的に進め、「赤ちゃんの駅」指定へつなげていきます。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	0%	0%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・公共施設の「赤ちゃんの駅」指定。 ・民間施設への協力依頼及び指定。	・同左	
	経費(千円)	50	50	

変更する内容	
--------	--

取組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★「赤ちゃんの駅」設置数【1-9】 (定義)子育て世帯の外出支援 (根拠)「赤ちゃんの駅」設置数 (担当者)地域福祉課長 (目標値10年)当初(H22):一か所 現状:一か所 5年後:15か所 (目標値3年)平成30年度:10か所 平成31年度:13か所 平成32年度:15か所
------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21 安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	15 ★遊びながら学べる屋内遊具施設を誘致し、雨の日でも遊べる環境を整備します。		
------	--	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課
------	----	---------	----	--------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	検討	調査研究	誘致
	経費(千円)	0	2,000	0

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★屋内遊具施設の誘致【1-10】	目標		-	-	-	-	1	1
	実績	-	-	-				
(指標及びH32目標値の設定理由) 屋内遊具施設の誘致数が指標に適している。	目標数値の達成度	単年度	-	-				
		最終年度	-	-				

H28取組状況	市内大手ショッピングセンターに屋内遊具施設等の設置について協議をしました。
---------	---------------------------------------

課題と今後の取組	屋内遊具については集客力のある店舗等での設置が最も効果的であることから、市内大手ショッピングセンターに継続して協議する。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	-	-	-	C:目標を下回っている	②継続

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	経費(千円)	2,000	0	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★屋内遊具施設の誘致【1-10】 (定義)屋内遊具施設の設置数 (根拠)同上 (担当者)人口増政策課長 (目標値10年)当初(H22):一か所 現状:一か所 5年後:1か所 (目標値3年)平成30年度:一か所 平成31年度:1か所 平成32年度:1か所
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21 安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	16 ★空き家を活用した子育て支援を行います。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	こども未来課			
実施スケジュール		H28 (決算額)		H29 (予算額(補正含む))		H30 (予定額)			
	取組内容	検討		・ニーズや受け皿に関する情報 収集		同左			
	経費(千円)	—		—		—			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★空き家を活用した子育て支援施設数【1-11】		目標	/	—	—	—	—	1	1
		実績	—	—	—				
(指標及びH32目標値の設定理由) 必要が生じた時点で目標年度を設定する		目標数値の 達成度	単年度	—	—				
			最終年度	—	—				
H28取組状況	なし								
課題と 今後の取組	空き家に限定せず、子育て施設の活用を図るため、見直しを行う予定です。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H28)	最終(H32)					
	①未着手	—	-	-	C:目標を下回っている		③見直し		

実施計画		H30 (予定額)		H31 (予定額)		H32 (予定額)	
	取組内容	・ニーズや受け皿に関する情報 収集		・同左			
	経費(千円)	0		0			

変更する内容	
取り組みの進捗 状況を確認する ための数値 〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★空き家を活用した子育て支援施設数【1-11】 (定義)空き家を活用した子育て支援施設数 (根拠)空き家を活用した子育て支援施設数 (担当者)こども未来課長 (目標値10年)当初(H22):一か所 現状:一か所 5年後:1か所 (目標値3年)平成30年度:0か所 平成31年度:1か所 平成32年度:1か所

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21 安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	17 ★子育て情報の発信に努めます。			
------	--------------------	--	--	--

主管部課	部名	教育委員会	課名	こども未来課
------	----	-------	----	--------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・子育てNAVIIによる子育て情報の発信	同左	同左
	経費(千円)	713	713	713

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★「子育てNAVII」1日平均閲覧数【1-14】	目標	/	60	60	100	150	300	300
	実績	—	50	273				
(指標及びH32目標値の設定理由) 登録数により5倍増を設定	目標数値の達成度	単年度	83%	455%				
		最終年度	17%	91%				

H28取組状況	・子育てハンドブックのリニューアルを行い、最新の子育て情報や写真に改め、視覚的にわかりやすい情報発信に努めました。 あわせてメール配信サービスの配信頻度を高め、子育て広場に関する情報発信の強化に努め、閲覧件数が大幅に増加しました。
---------	--

課題と今後の取組	・加西市ならではの子育て支援情報を発信していき、引続き登録者を増やすしていきます。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	455%	91%	A: 目標を上回って達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・子育てNAVIIによる子育て情報の発信	・同左	
	経費(千円)	713	713	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★「子育てNAVII」1日平均閲覧数【1-14】 (定義)「子育てNAVII」1日平均閲覧数 (根拠)「子育てNAVII」1日平均閲覧数 (担当者)こども未来課長 (目標値10年)当初(H22): 一件 現状: 60件 5年後: 300件 (目標値3年)平成30年度: 150件 平成31年度: 300件 平成32年度: 300件
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21 安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	18 ★多子世帯及びひとり親家庭の下水道基本料金を減免し、子育ての経済的負担の軽減を図ります。		
------	---	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課
------	----	---------	----	--------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	就学前の子どもがいるひとり親家庭及び第3子以降が小学生以下の家庭の下水道基本料金を減免。	同左	同左
	経費(千円)	10,945	10,700	10,800

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★下水道基本料金の減免年間世帯数【1-15】	目標		560	590	620	650	700	700
	実績	—	630	624				
(指標及びH32目標値の設定理由) 様々な子育て支援策を講じることにより多子世帯数を年々30名程度増加させる。	目標数値の達成度	単年度	113%	106%				
		最終年度	90%	89%				

H28取組状況	就学前の子どもがいるひとり親家庭及び第3子以降が小学生以下の家庭の下水道基本料金を減免しました。
---------	--

課題と今後の取組	加西市における多子世帯の状況を踏まえ、第3子以降が適当なのか、第2子以降が適当なのか等を考慮しながら、制度の見直しや減免の範囲等について検討する必要があります。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	106%	89%	A: 目標を上回って達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・就学前の子どもがいるひとり親家庭及び第3子以降が小学生以下の家庭の下水道基本料金を減免。	・同左	
	経費(千円)	10,800	11,000	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★下水道基本料金の減免年間世帯数【1-15】 (定義)下水道基本使用料の減免世帯数 (根拠)同上 (担当者)人口増政策課長 (目標値10年)当初(H22):一世帯 現状:560世帯 5年後:700世帯 (目標値3年)平成30年度:650世帯 平成31年度:700世帯 平成32年度:700世帯
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21 安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	19 ★乳幼児のいる世帯等に市指定ごみ袋を配布し、経済的負担の軽減を図ります。		
------	---	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課
------	----	---------	----	--------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	乳幼児保護者世帯(3歳未満の乳幼児と生計を一にする世帯)や生活保護世帯等に対し指定ごみ袋の支給を行う。	同左	同左
	経費(千円)	1,331	1,600	1,650

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★ごみ袋年間支給枚数(万枚)【1-16】	目標		12	12.5	13	13.5	15	15
	実績	—	10	11.2				
(指標及びH32目標値の設定理由) 様々な子育て支援施策等の実施により乳幼児保護者世帯を年々増加させ、支給枚数を2割増加させる。	目標数値の達成度	単年度	83%	90%				
		最終年度	67%	75%				

H28取組状況	乳幼児保護者世帯(3歳未満の乳幼児と生計を一にする世帯)や生活保護世帯等に対し指定ごみ袋の支給を行いました。
---------	--

課題と今後の取組	ごみ処理の広域化等によるごみ袋の販売金額、出生者数の状況及び生活保護世帯への支援内容等を踏まえながら制度の見直しを行う必要があります。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	90%	75%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・乳幼児保護者世帯(3歳未満の乳幼児と生計を一にする世帯)や生活保護世帯等に対し指定ごみ袋を支給	・同左	
	経費(千円)	1,650	1,800	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★ごみ袋年間支給枚数【1-16】 (定義)乳幼児保護者世帯や生活保護世帯等に対する指定ごみ袋の年間支給枚数 (根拠)5か年で2割増加を想定 (担当者)人口増政策課長 (目標値10年)当初(H22):一万枚 現状:12万枚 5年後:15万枚 (目標値3年)平成30年度:13.5万枚 平成31年度:15万枚 平成32年度:15万枚
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり
施策	22 自然と共生する里地里山づくり
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。
関連課名	農政課、環境課

基本計画	1 住民参加による地域の里山整備を支援します。		
------	-------------------------	--	--

主管部課	部名	地域振興部	課名	農政課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	里山の雑木等の皆伐、間伐などによる維持管理	同左	同左
	経費(千円)	900	1,000	1,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
里山整備箇所数(毎年)	目標		10	10	10	10	10	10
	実績	0	8	9				
(指標及びH32目標値の設定理由) 予算の範囲内で小学校区に1つ程度の整備を想定	目標数値の達成度	単年度	80%	90%				
		最終年度	80%	90%				

H28取組状況	9団体(町単位:5団体、森林ボランティア単位:4団体)が取組む里山整備に対して補助金を交付しました。
---------	--

課題と今後の取組	市内各町および森林ボランティア団体への事業内容の周知により、地元が主体となった里山整備の推進を図ります。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	③完了	B: 予定より遅延	90%	90%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・里山の雑木等の皆伐、間伐などによる維持管理	・同左	
	経費(千円)	1,000	1,000	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)里山整備箇所数(毎年) (定義)里山整備に関する経費 定額(上限10万円) 助成回数は、同一の団体・申請者に対し3回まで (根拠)加西市農林畜産振興事業補助金交付規則第2条 (担当者)農政課長 (目標値10年)当初(H22):0箇所 現状:10箇所 5年後:10箇所 (目標値3年)平成30年度:10箇所 平成31年度:10箇所 平成32年度:10箇所
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり
施策	22 自然と共生する里地里山づくり
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。
関連課名	農政課、環境課

基本計画	2 企業や都市住民を募り、里山ふれあいの森、企業の森として都市部との相互交流を進めます。		
------	--	--	--

主管部課	部名	地域振興部	課名	農政課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	森づくり活動協定締結 企業による森づくり活動	企業による森づくり活動	同左
	経費(千円)	0	0	0

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
企業の森面積(ha)	目標		4	8	8	8	8	8
	実績	0	0	8				
(指標及びH32目標値の設定理由) 市内の活動フィールド候補地面積	目標数値の達成度	単年度	0%	100%				
		最終年度	0%	100%				

H28取組状況	関西電力労働組合が、いこいの村はりま内のHyogo関労ふれあいの森で加西市と協定を結び、企業の森づくり活動を開始しました。
---------	---

課題と今後の取組	環境保全等社会貢献に関心の高い企業による加西市内の森林活動を推進・支援します。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	③完了	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・企業による森づくり活動	・同左	
	経費(千円)	0	0	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)企業の森面積 (定義)企業と連携して行う里山整備(企業の森)の面積 (根拠)兵庫県の「企業の森づくり」についての政策上の位置付けにより、兵庫県緑化推進協会が決定 (担当者)農政課長 (目標値10年)当初(H22):0ha 現状:4ha 5年後:8ha (目標値3年)平成30年度:8ha 平成31年度:8ha 平成32年度:8ha
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり
施策	22 自然と共生する里地里山づくり
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。
関連課名	農政課、環境課

基本計画	3 市内の自然環境に生息する多様な生物を調査、把握し、保全、回復と利活用を推進します。		
------	---	--	--

主管部課	部名	生活環境部	課名	環境課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール	取組内容	H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
		・あびき湿原の保全活動及び地域活性化への活用への支援 ・兵庫県立人と自然の博物館と連携した普及啓発事業		
	経費(千円)	4,264	439	439

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
兵庫県立人と自然の博物館と連携した普及啓発事業の参加人数(親子向けに夏休み等に実施している環境を学ぶバスツアー)	目標		108	54	54	54	54	54
	実績	—	108	54				
(指標及びH32目標値の設定理由) ・自然環境の保全の関心を喚起した人数としました。目標値は参加可能人数としています(マイクロバス2台分)。	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	200%	100%				

H28取組状況	【あびき湿原関係】あびき湿原保存会に市・県が補助を行い、保存会が第1湿原の周囲に防護柵をしました。設置延長は300mとなりました。同様に補助を行い、保存会が第2湿原、第3湿原の周囲の約7,500㎡にわたって、低中高木の皆伐、除伐、間伐を実施しました。 【兵庫県立人と自然の博物館関係】夏休みに「環境ものづくりと昆虫を学ぶバスツアー」を実施しました。博物館で特注セミナー、ヤクルト本社兵庫三木工場で工場見学を行いました。計54名の参加がありました。
---------	--

課題と今後の取組	【あびき湿原関係】ハード面、ソフト面と保全・活用体制が整備され、全国的に評価があがっています。バイオマストイレ整備補助、市・県天然記念物指定に向けて取り組んでいます。あびき湿原だけでなく、他の自然資源についても保全・活用を推進する仕組みが必要となっています。 【兵庫県立人と自然の博物館関係】毎回、参加希望者が参加可能人数を大幅に超過し、抽選となっています。しかし、①レンタルバス料金も値上がりし(H25は26,250円/台→H27は58,320円/台)、実施回数を減らしています。②一回の受入施設の上限人数が決まっていることから、より多くの方に参加していただくための工夫が必要となっています。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		・あびき湿原の保全活動及び地域活性化への活用への支援 ・普及啓発事業(人と自然の博物館へのバスツアー、パンフレット作成)		
	経費(千円)	840	840	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値[再掲]	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)兵庫県立人と自然の博物館と連携した普及啓発事業の参加人数(親子向けに夏休み等に実施している環境を学ぶバスツアー) (定義)親子向けに夏休み等に実施している環境を学ぶバスツアーの参加人数(根拠)自然環境について関心を喚起した人数とした。 (担当者)環境課長 (目標値10年)当初(H22):一人 現状:108人(H27実績) 5年後:54人 (目標値3年)平成30年度:54人 平成31年度:54人 平成32年度:54人
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり
施策	22 自然と共生する里地里山づくり
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。
関連課名	農政課、環境課

基本計画	4 老朽化による決壊等、危険度の高いため池を順次改修します。		
------	--------------------------------	--	--

主管部課	部名	地域振興部	課名	農政課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・県営ため池改修 3池着工	・県営ため池改修 4池着工	・県営ため池改修 3池着工
	経費(千円)	82,376	169,000	132,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
ため池改修箇所数(件)	目標		1	4	8	11	13	15
	実績	—	1	2				
(指標及びH32目標値の設定理由) 危険ため池が21箇所あり、H32までに半数以上を改修する。	目標数値の達成度	単年度	100%	50%				
		最終年度	7%	13%				

H28取組状況	県営土地改良事業のガイドラインに基づき、3池の実施設計と2池の改修工事に着工しました。
---------	---

課題と今後の取組	平成24～26年にかけて実施した、ため池定期点検・一斉点検において「要改修」の点検結果が出ている18箇所のため池を地元住民と協議して計画的に改修していきます。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	③完了	B: 予定より遅延	50%	13%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・県営ため池改修 3池着工	・県営ため池改修 2池着工	
	経費(千円)	163,000	25,500	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)ため池改修箇所数 (定義)県営土地改良事業におけるため池改修事業費 (根拠)事業管理計画 (担当者)農政課長 (目標値10年)当初(H22): 一件 現状: 1件 5年後: 15件 (目標値3年)平成30年度: 11件 平成31年度: 13件 平成32年度: 15件
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり
施策	22 自然と共生する里地里山づくり
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。
関連課名	農政課、環境課

基本計画	5 有害鳥獣対策による農作物の被害を防ぐために関係機関との連携を図ります。		
------	---------------------------------------	--	--

主管部課	部名	地域振興部	課名	農政課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・獣害防護柵の設置 ・有害鳥獣駆除委託事業の強化 ・シカ緊急捕獲対策事業	・獣害防護柵の設置 ・有害鳥獣駆除委託事業の強化 ・シカ緊急捕獲対策事業	・獣害防護柵の設置 ・有害鳥獣駆除委託事業の強化 ・シカ緊急捕獲対策事業
	経費(千円)	40,051	45,000	45,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
有害鳥獣年間被害額(千円) 【減少指標】	目標		25,000	24,000	23,000	22,000	21,000	20,000
	実績	27,284	18,963	17,819				
(指標及びH32目標値の設定理由) 農業被害額を5年間で2割削減を目指す。	目標数値の達成度	単年度	76%	74%				
		最終年度	95%	89%				

H28取組状況	獣害防護柵を14.109km/15町に渡って設置しました。また特定外来生物(アライグマ・ヌートリア)を285匹駆除しました。
---------	--

課題と今後の取組	獣害防止策の設置推進、維持管理及び狩猟者の世代交代が課題です。
----------	---------------------------------

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	③完了	S: 予定より早く進行	74%	89%	A: 目標を上回って達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・獣害防護柵の設置 ・有害鳥獣駆除委託事業の強化 ・シカ緊急捕獲対策事業	・同左	
	経費(千円)	45,000	45,000	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)有害鳥獣年間被害額【減少指標】 (定義)有害鳥獣による経済的被害額 (根拠)加西市鳥獣被害防止計画に基づき鳥獣駆除件数や捕獲檻貸出時の聞き取りにより、被害額を算出 (担当者)農政課長 (目標値10年)当初(H22): 27,284千円 現状: 25,000千円 5年後: 20,000千円 (目標値3年)平成30年度: 22,000千円 平成31年度: 21,000千円 平成32年度: 20,000千円
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり
施策	22 自然と共生する里地里山づくり
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。
関連課名	農政課、環境課

基本計画	6 耕作放棄地の解消と農地の有効利用を進めます。		
------	--------------------------	--	--

主管部課	部名	地域振興部	課名	農政課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・耕作放棄地調査の実施 ・農地利用集積円滑化事業 ・農業委員会耕作放棄地解消活動	・耕作放棄地調査の実施 ・農地利用集積円滑化事業 ・農業委員会耕作放棄地解消活動	・耕作放棄地調査の実施 ・農地利用集積円滑化事業 ・農業委員会耕作放棄地解消活動
	経費(千円)	0	0	0

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
耕作放棄地面積(ha) 【減少指標】	目標		10	10	9	9	8	8
	実績	16	11	11				
(指標及びH32目標値の設定理由) 農地パトロールの結果と営農組合組織率から設定。		目標数値の達成度	単年度	110%	110%			
			最終年度	138%	138%			

H28取組状況	放棄地の発生を未然に防ぐため、集落営農組織化、新規就農者の参入等を積極的に推進しました。
---------	--

課題と今後の取組	果樹就農希望者の増に伴う耕作放棄樹園地の再整備を検討したいと考えています。
----------	---------------------------------------

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	110%	138%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・耕作放棄地調査の実施 ・農地利用集積円滑化事業 ・農業委員会耕作放棄地解消活動	・同左	
	経費(千円)	0	0	

変更する内容	
--------	--

取組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)耕作放棄地面積【減少指標】 (定義)耕作放棄地の面積 (根拠)農業委員会の農地パトの結果より算出、10年後に25%削減をめざす (担当者)農政課長 (目標値10年)当初(H22):16ha 現状:10ha 5年後:8ha (目標値3年)平成30年度:9ha 平成31年度:8ha 平成32年度:8ha
------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり
施策	23 加西の風土を活かした景観づくり
到達目標	地域固有の生活文化や豊かな自然環境を守り育て、住民が誇りを持って次の時代に受け継いでいくまちをめざします。
関連課名	文化・観光・スポーツ課、都市計画課

基本計画	1 市内の観光資源をガイドブック化して、周知を強化します。		
------	-------------------------------	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	文化・観光・スポーツ課
------	----	---------	----	-------------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・観光ガイドブックの更新 ・加西ふーど記Ⅲの作成 ・定住自立圏ドライブマップの作成 ・赤穂義士関連パンフレットの作成	・加西ふーど記Ⅳの作成 ・定住自立圏ガイドブックの作成等	・定住自立圏ガイドブックの作成等
	経費(千円)	1,500	1,500	1,500

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
観光関連パンフレット、ガイドブック作成数	目標		5	6	7	8	9	10
	実績	—	5	6				
(指標及びH32目標値の設定理由) 毎年一種類は新しく掘り起こしたガイドブックを作成することを目標とする。	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	50%	60%				

H28取組状況	平成29年度に開催する義士サミットに向けたリーフレットを作成しました。
---------	-------------------------------------

課題と今後の取組	グルメガイドを刷新します。 定住自立圏では、共同でサイクリングマップを作成して誘客を図ります。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	60%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・定住自立圏ガイドブックの作成等 ・多言語パンフレットの作成	・加西ふーど記Ⅴの作成 ・定住自立圏ガイドブックの作成等	
	経費(千円)	2,250	1,250	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)観光関連パンフレット、ガイドブックの作成数 (定義)観光関連パンフレット、ガイドブックの作成状況 (根拠)観光関連パンフレット、ガイドブックの作成数をカウントする (担当者)文化・観光・スポーツ課長 (目標値10年)当初(H22):一種類 現状:5種類 5年後:10種類 (目標値3年)平成30年度:8種類 平成31年度:9種類 平成32年度:10種類
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり
施策	23 加西の風土を活かした景観づくり
到達目標	地域固有の生活文化や豊かな自然環境を守り育て、住民が誇りを持って次の時代に受け継いでいくまちをめざします。
関連課名	文化・観光・スポーツ課、都市計画課

基本計画	2 ふるさと加西の魅力再発見事業を展開します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
実施スケジュール		H28 (決算額)		H29 (予算額(補正含む))		H30 (予定額)			
	取組内容	ふるさと加西「あなたに伝えたい景色」フォトコンテストを年3回開催。優秀賞を集めてフォトカレンダーを作成		テーマを決めて、年3回フォトコンテストを開催するとともに、カレンダーを作成する。		テーマを決めて、年3回フォトコンテストを開催するとともに、カレンダーを作成する。			
	経費(千円)	500		500		500			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
フォトコンテストへの出品数		目標	/	190	200	210	220	230	240
		実績	—	190	173				
(指標及びH32目標値の設定理由) 加西市の良さを発見してもらふフォトコンテストを行い、出品数の3割増を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	87%				
			最終年度	79%	72%				
H28取組状況	加西の残したい風景をテーマにフォトコンテストを計4回開催。展示会を行うとともに、市民の方々に投票をしていただきました。最優秀賞の写真を使用したカレンダーも作成し、販売を行いました。								
課題と今後の取組	毎年テーマを決め、フォトコンテストを開催する。入賞作品は、来年のカレンダーに掲載を行います。コンテストの周知と、高校など学生へ出品をお願いします。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(H28)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	87%	72%	C: 目標を下回っている			②継続	

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		・テーマを決めた年3回フォトコンテストの開催 ・カレンダーの作成 ・こども狂言塾の支援 ・播磨国風土記探訪講座	・テーマを決めた年3回フォトコンテストを開催 ・カレンダーを作成	
	経費(千円)	1,500	500	
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)フォトコンテストへの出品数 (定義) 年3回開催するフォトコンテストに参加する人を増やしていく (根拠) フォトコンテストへの出品数をカウントする (担当者)文化・観光・スポーツ課長 (目標値10年)当初(H22): 一点 現状: 190点 5年後: 240点 (目標値3年)平成30年度: 220点 平成31年度: 230点 平成32年度: 240点			

平成28年度評価

基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり
施策	23 加西の風土を活かした景観づくり
到達目標	地域固有の生活文化や豊かな自然環境を守り育て、住民が誇りを持って次の時代に受け継いでいくまちをめざします。
関連課名	文化・観光・スポーツ課、都市計画課

基本計画	3 広告物の表示については、景観との調和に努めます。		
------	----------------------------	--	--

主管部課	部名	都市整備部	課名	都市計画課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・屋外広告物の新規申請時及び更新手続き時に、屋外広告物条例に基づく指導により、景観との調和に努める	・同左	・同左
	経費(千円)	5,455	5,500	5,500

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
屋外広告物手続き件数	目標		40	100	60	120	80	140
	実績	95	55	97				
(指標及びH32目標値の設定理由) 手続き件数を増加することで広告物と景観との調和を図ることを目標に設定	目標数値の達成度	単年度	138%	97%				
		最終年度	39%	69%				

H28取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 違反広告物パトロールを北播地区合同で実施しました。 新規申請及び更新手続きを遅滞無く行いました。
---------	---

課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 建築物の許可・確認申請等を利用し、新規申請の増加に努めます。 違反広告物の指導に努めます。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	97%	69%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・屋外広告物の新規申請時及び更新手続き時に、屋外広告物条例に基づき指導	・同左	
	経費(千円)	5,100	5,100	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)屋外広告物手続き件数 (定義)同上 (根拠)手続き件数を増加することで景観との調和に努める。 (担当者)都市計画課長 (目標値10年)当初(H22):95件 現状:40件 5年後:140件 (目標値3年)平成30年度:120件 平成31年度:80件 平成32年度:140件
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり
施策	23 加西の風土を活かした景観づくり
到達目標	地域固有の生活文化や豊かな自然環境を守り育て、住民が誇りを持って次の時代に受け継いでいくまちをめざします。
関連課名	文化・観光・スポーツ課、都市計画課

基本計画	4 開発調整条例に基づく景観に配慮した適正な土地利用を推進します。			
------	-----------------------------------	--	--	--

主管部課	部名	都市整備部	課名	都市計画課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・開発調整条例に基づき、実態に即した適切な指導と助言により、景観や環境に配慮した土地利用に努める	・同左	・同左
	経費(千円)	0	0	0

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
開発調整条例に基づく事前協議件数	目標		30	30	30	30	30	30
	実績	—	35	38				
(指標及びH32目標値の設定理由) 近年の協議件数の動向から設定	目標数値の達成度	単年度	117%	127%				
		最終年度	117%	127%				

H28取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・開発事業の事前調整を図ることで、周辺住民とのトラブルの防止に努めました。 ・関係各課への手続きの照会等、各種法令上の手続きとの連携を迅速に行いました。
---------	---

課題と今後の取組	・継続して事前調整と適切な指導に努めます。
----------	-----------------------

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	127%	127%	A: 目標を上回って達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・開発調整条例に基づき、実態に即した適切な指導・助言	・同左	
	経費(千円)	0	0	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)開発調整条例に基づく事前協議件数 (定義)同上 (根拠)開発事業に対し適切な助言及び指導を行うことで景観や環境に配慮した土地利用に努める。 (担当者)都市計画課長 (目標値10年)当初(H22): 一件 現状:30件 5年後:30件 (目標値3年)平成30年度:30件 平成31年度:30件 平成32年度:30件
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり
施策	23 加西の風土を活かした景観づくり
到達目標	地域固有の生活文化や豊かな自然環境を守り育て、住民が誇りを持って次の時代に受け継いでいくまちをめざします。
関連課名	文化・観光・スポーツ課、都市計画課

基本計画	5 花咲くまちづくりを推進します。			
------	-------------------	--	--	--

主管部課	部名	都市整備部	課名	都市計画課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・花づくりボランティア(フラワーセンター)にて花苗5万ポット、市老連(播磨農高)にて花苗6万ポットを育成する。	・同左	・同左
	経費(千円)	2,100	2,100	2,100

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
住民ボランティアによる植栽ポット数(万ポット)	目標		11	11	11	11	11	11
	実績	11	11	11				
(指標及びH32目標値の設定理由) 配布し花を植ええられる施設数より設定	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	100%	100%				

H28取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・フラワーセンター、播磨農高での育苗を行い、公共施設、老人会花壇等に配布を行うことで、花咲くまちづくりに努めました。 ・育苗作業に取り組むボランティアの募集、育成に取り組みました。
---------	---

課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・花咲くまちづくりを応援する花と緑の協会の会員数の増加施策について検討します。 ・資材等が高騰しておりますが、花の配布数の確保に努めます。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・花づくりボランティア(フラワーセンター)にて花苗5万ポット、市老連(播磨農高)にて花苗6万ポットを育成	・同左	
	経費(千円)	2,100	2,100	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)	
	(指標名)住民ボランティアによる植栽ポット数	
	(定義)同上	
	(根拠)住民ボランティアによって育成し、公共施設等に植栽された植栽ポット(苗)の数	
	(担当者)都市計画課長	
	(目標値10年)当初(H22):11万ポット	現状:11万ポット 5年後:11万ポット
	(目標値3年)平成30年度:11万ポット	平成31年度:11万ポット 平成32年度:11万ポット

平成28年度評価

基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	24 省エネ・蓄エネ・創エネの推進
到達目標	温室効果ガスの削減等、環境負荷を軽減する取り組みと、加西で生産した再生可能エネルギーを加西で蓄え、加西で消費する「エネルギーの地産地消」が進められるまちをめざします。
関連課名	環境課、都市計画課

基本計画	1 公共施設の新築、改築の計画、設計等に省エネルギー基準やガイドラインを設け、適用します。		
------	---	--	--

主管部課	部名	生活環境部	課名	環境課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・デマンド監視システムの運用	・デマンド監視システムの運用	・デマンド監視システムの運用
	経費(千円)	0	0	0

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市庁舎の電気使用量(kwh) 【減少指標】	目標		906,925	897,856	888,877	879,988	871,189	862,477
	実績	953,664	900,100	852,000				
(指標及びH32目標値の設定理由) ・デマンド監視システムを運用している市庁舎の電気使用量を指標としました。目標値は省エネ法に基づき年1%削減となる数値としています。	目標数値の達成度	単年度	99%	95%				
		最終年度	104%	99%				

H28取組状況	デマンド監視システムを適切に運用し、夏場・冬場の空調運転の際に、一度に全空調を稼働させずに、順次移動させて、電力負荷が上がらないように努めました。特に議会会期中は、空調稼働が集中することから市庁舎の稼働を控えるなどの対策を講じました。また、ヒートポンプチャラーの温度を夏場は高めに、冬場は低めに設定することで、加熱・冷却に要する消費電力量の削減に努めました。
---------	---

課題と今後の取組	現行の取組みを継続していきます。ただし、気候によって電気使用量が増加することもあります。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	95%	99%	S: 目標を大きく上回って達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・デマンド監視システムの運用 ・環境マネジメントシステムの運用と自治体間相互環境監査の実施	・同左	
	経費(千円)	0	0	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値【再掲】	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)市庁舎の電気使用量(kwh)【減少指標】 (定義)市庁舎の電気使用量(kwh) (根拠)省エネ法でH22年度実績を基準として年1%削減が求められていることから (担当者)環境課長 (目標値10年)当初(H22): 953,664kwh 現状: 906,925kwh(H27目標) 5年後: 862,477kwh (目標値3年)平成30年度: 879,988kwh 平成31年度: 871,189kwh 平成32年度: 862,477kwh
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	24 省エネ・蓄エネ・創エネの推進
到達目標	温室効果ガスの削減等、環境負荷を軽減する取り組みと、加西で生産した再生可能エネルギーを加西で蓄え、加西で消費する「エネルギーの地産地消」が進められるまちをめざします。
関連課名	環境課、都市計画課

基本計画	2 民間による環境技術、新製品研究開発及び環境産業を行うための施設整備への助成、融資を行います。		
------	--	--	--

主管部課	部名	都市整備部	課名	都市計画課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・グリーンハウス建築促進補助 受付業務	・新たな制度設計の検討	・新たな制度設計の検討
	経費(千円)	6,000	0	0

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
グリーンハウス建築促進補助金受付件数	目標		10	28	28	28	28	28
	実績	—	10	25				
(指標及びH32目標値の設定理由) グリーンエネルギーシティ構想に基づいた住宅 団地における建築の見込み件数にて設定	目標数値の 達成度	単年度	100%	89%				
		最終年度	36%	89%				

H28取組状況	・グリーンハウス建築促進補助金の受付業務を遅滞無く行いました。
---------	---------------------------------

課題と 今後の取組	・グリーンハウス建築促進補助金の受付業務を遅滞無く行います。
--------------	--------------------------------

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	89%	89%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	—	—	
	経費(千円)	—	—	

変更する内容	
--------	--

取組みの進捗 状況を確認する ための数値 〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)グリーンハウス建築促進補助金受付件数 (定義)グリーンエネルギーシティ構想に基づく住宅団地における再生可能エネルギーの活用に配慮した住宅建築促進のための補助金 (根拠)グリーンエネルギーシティ構想に基づく住宅団地における建築の見込み件数にて設定 (担当者)都市計画課長 (目標値10年)当初(H22): 一件 現状: 10件 5年後: 28件 (目標値3年)平成30年度: 28件 平成31年度: 28件 平成32年度: 28件</p>
------------------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	24 省エネ・蓄エネ・創エネの推進
到達目標	温室効果ガスの削減等、環境負荷を軽減する取り組みと、加西で生産した再生可能エネルギーを加西で蓄え、加西で消費する「エネルギーの地産地消」が進められるまちをめざします。
関連課名	環境課、都市計画課

基本計画	3 住宅用太陽光発電システム、電気自動車、蓄電池等の導入を促進支援します。		
------	---------------------------------------	--	--

主管部課	部名	生活環境部	課名	環境課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・加西市住宅用太陽光発電システム設置補助金 ・加西市電気自動車・PHEV等導入補助金	・同左	・加西市電気自動車・PHEV等導入補助金
	経費(千円)	3,929	4,000	1,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
加西市内の太陽光発電導入容量(kw)	目標		37,285	55,000	60,000	65,000	70,000	75,000
	実績	—	52,758	63,099				
(指標及びH32目標値の設定理由) ・創エネの指標として導入が続いている太陽光発電の導入容量としました。目標値は、経済産業省発表の導入予定量の半分程度を見込んだ数値としました。	目標数値の達成度	単年度	141%	115%				
		最終年度	70%	84%				

H28取組状況	加西市住宅用太陽光発電システム設置補助金、加西市電気自動車導入補助金を実施し、創エネ・蓄エネの取組みを支援しました。また、大規模太陽光発電施設の設置について、事業者へ指導、助言を行い、地域の住環境に配慮した創エネの導入に努めました。
---------	--

課題と今後の取組	地域の住環境に配慮した大規模太陽光発電施設の導入が進むよう、新たなルール作りが必要となっています。また、H29年度より住宅用太陽光とともに新たに蓄エネ設備である蓄電池も補助対象に加え、民生部門における創エネ・蓄エネを推進します。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	115%	84%	S: 目標を大きく上回って達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・加西市創エネ・蓄エネ設備導入補助事業 ・加西市電気自動車・PHEV等導入補助金	・同左	
	経費(千円)	1,500	1,500	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)加西市内の太陽光発電導入容量 (定義)加西市内に設置された太陽光発電の電力(出力)の合計値 (根拠)資源エネルギー庁公表データ (担当者)環境課長 (目標値10年)当初(H22): —kw 現状: 37,285kw(H27.3末実績:後期計画策定時点で把握可能であった数値を上げています) 5年後: 75,000kw (目標値3年)平成30年度: 65,000kw 平成31年度: 70,000kw 平成32年度: 75,000kw</p>
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	25 水環境のまちづくり
到達目標	安全安心で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で、人が元気に暮らせるまちをめざします。
関連課名	上下水道課、上下水道管理課、土木課

基本計画	1 上下水道の施設や設備について費用の平準化を図り、計画的に整備を行います。			
------	--	--	--	--

主管部課	部名	生活環境部	課名	上下水道課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	配水管の耐震化 L=3,000m	配水管の耐震化 L=3,000m	配水管の耐震化 L=3,000m
	経費(千円)	0	160,000	160,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
水道管路耐震化率(%)	目標		82	82.6	83.2	83.8	84.4	85
	実績	78	82	82.4				
(指標及びH32目標値の設定理由) 上水道施設アセットマネジメントによる	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	96%	97%				

H28取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 配水管布設替 5地区 L=1.96km を実施しました。(広原地区、栄地区、山下地区、都染地区、繁昌地区) 配水管布設 2地区 L=1.24km を実施しました。(西高室地区 1工区、鴨谷地区 1工区)
---------	--

課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 市域の配水計画の見直しによる新配水地整備及びその関連工事に係る建設事業に要する経費により、非耐震管の耐震管への更新スケジュールが当初計画からは遅延するため、H28年度に計画の見直しを行いました。H32年度に新配水地整備事業が完了すれば非耐震管更計画を見直す必要があります。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	97%	B: 目標を達成	③見直し

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	配水管の耐震化 L=1,400m	配水管の耐震化 L=800m	
	経費(千円)	213,000	131,000	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)水道管路耐震化率 (定義)水道管路における耐震化完了管路の割合 (根拠)耐震管及び耐震適合管延長÷総管路延長で算出、各年3,000mの更新を目標とする (担当者)上下水道課長 (目標値10年)当初(H22):78.0% 現状:82.0% 5年後:85.0% (目標値3年)平成30年度:83.8% 平成31年度:84.4% 平成32年度:85.0%
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	25 水環境のまちづくり
到達目標	安全安心で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で、人が元気に暮らせるまちをめざします。
関連課名	上下水道課、上下水道管理課、土木課

基本計画	2 下水道の接続促進や合併浄化槽の普及を促進し、水洗化率を高めます。
------	------------------------------------

主管部課	部名	生活環境部	課名	上下水道管理課
------	----	-------	----	---------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・職員による戸別訪問の実施 ・水洗化促進補助金の交付	・職員による戸別訪問の実施 ・水洗化促進補助金の交付	・職員による戸別訪問の実施 ・水洗化促進補助金の交付
	経費(千円)	7,000	18,500	18,500

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
水洗化率(%)	目標		87.5	88.4	89.3	90.2	91.1	92
	実績	76.1	87.9	89.2				
(指標及びH32目標値の設定理由) 過去5年間の水洗化率の伸び率を勘案して設定	目標数値の達成度	単年度	100%	101%				
		最終年度	96%	97%				

H28取組状況	7月に各町区長様に自町の水洗化率のお知らせと、町内での水洗化の推進を依頼しました。北部地域、富田・富合地区において、水洗化率が80%に達していない町の未接続家庭への戸別訪問を7月及び11月に実施しました。
---------	--

課題と今後の取組	合併浄化槽設置家庭の下水道接続が進みにくいことから、合併浄化槽設置家庭には、水道メーターの検針時に水洗化促進補助金制度のお知らせと下水道接続のお願いのチラシを配布するとともに、戸別訪問を継続し、水洗化促進補助金制度の周知を図ります。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	101%	97%	A: 目標を上回って達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・職員による戸別訪問の実施 ・水洗化促進補助金の交付	・同左	
	経費(千円)	17,000	17,000	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)水洗化率 (定義)全世帯における水洗化(公共下水・コミプラ・農集・合併浄化槽の割合) (根拠)水洗化人口÷整備人口で算出、年間約3%程度を目標とした。5年後は90% 他都市の状況も90%以上は伸びが見込めないため10年後は92%の目標値とする。 (担当者)上下水道管理課長 (目標値10年)当初(H22):76.1% 現状:87.5% 5年後:92.0% (目標値3年)平成30年度:90.2% 平成31年度:91.1% 平成32年度:92.0%</p>
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	25 水環境のまちづくり
到達目標	安全安心で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で、人が元気に暮らせるまちをめざします。
関連課名	上下水道課、上下水道管理課、土木課

基本計画	3 効率的な生活排水処理計画を策定し、計画的な施設の統廃合や改修を行います。		
------	--	--	--

主管部課	部名	生活環境部	課名	上下水道課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・コミプラ(加西北部地区)、農集(芥田地区)統合事業 工事施行		公共下水道接続実施設計業務
	経費(千円)	50,000		20,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
統合施設数 (x/3)	目標		0	1	1	1	2	3
	実績	—	0	1				
(指標及びH32目標値の設定理由) 生活排水処理計画による	目標数値の達成度	単年度	0%	100%				
		最終年度	0%	33%				

H28取組状況	・コミプラ(加西北部地区)、農集(芥田地区)統合事業 工事を施行しました。
---------	---------------------------------------

課題と今後の取組	・生活排水処理計画に基づき公共下水道と生活排水処理施設の接続及び生活排水処理施設同士の統廃合事業を実施します。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	33%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・公共下水道接続実施設計業務 ・公共下水道接続工事	・同左	
	経費(千円)	70,000	205,000	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)統合施設数 (定義)統合施設の数 (根拠)生活排水処理計画による (担当者)上下水道課長 (目標値10年)当初(H22): 一施設 現状:0施設 5年後:3施設 (目標値3年)平成30年度:1施設 平成31年度:2施設 平成32年度:3施設
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	25 水環境のまちづくり
到達目標	安全安心で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で、人が元気に暮らせるまちをめざします。
関連課名	上下水道課、上下水道管理課、土木課

基本計画	4 企業努力による上下水道事業の効率化、安定化、適正化を進め、持続可能な経営を行います。			
------	--	--	--	--

主管部課	部名	生活環境部	課名	上下水道管理課
------	----	-------	----	---------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・市川町からの受水単価引き下げ交渉	・兵庫県企業庁への値下げ要望 ・市川町からの受水単価引き下げ交渉	・同左
	経費(千円)	0	0	0

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
給水原価(円/㎡) 【減少指標】	目標		208.9	208.4	207.9	207.4	206.9	206.5
	実績	—	208.9	204.8				
(指標及びH32目標値の設定理由) 有収水量あたりの給水にかかる費用の割合、H28年から大規模事業が始まるためH32目標値はH27の約1%減とする。	目標数値の達成度	単年度	100%	98%				
		最終年度	99%	99%				

H28取組状況	市川町との受水費交渉を行い、責任水量を4,100㎡/日から100㎡引下げ、4,000㎡/日とすることで合意しました。
---------	--

課題と今後の取組	責任水量は年度ごとに受水状況を見ながら協議することとなっていることから、引き続き、受水費の削減につながるよう交渉を継続します。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	98%	99%	S: 目標を大きく上回って達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・兵庫県企業庁への値下げ要望 ・市川町からの受水単価引き下げ交渉	・同左	
	経費(千円)	0	0	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値【再掲】	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)給水原価【減少指標】 (定義)有収水量あたりの給水にかかる費用の割合 (根拠)経常経費(円)÷有収水量(㎡)で算出 (担当者)上下水道管理課長 (目標値10年)当初(H22): -円/㎡ 現状: 208.9円/㎡ 5年後: 206.5円/㎡ (目標値3年)平成30年度: 207.4円/㎡ 平成31年度: 206.9円/㎡ 平成32年度: 206.5円/㎡
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	25 水環境のまちづくり
到達目標	安全安心で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で、人が元気に暮らせるまちをめざします。
関連課名	上下水道課、上下水道管理課、土木課

基本計画	5 公道の透水性舗装を推進します。			
------	-------------------	--	--	--

主管部課	部名	都市整備部	課名	土木課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・西谷坂元線、鶉野飛行場線、都市計画2号線、玉丘常吉線	・西谷坂元線、鶉野飛行場線、豊倉日吉線	・鶉野飛行場線、豊倉日吉線
	経費(千円)	6,415	11,600	14,500

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
透水性舗装の実施(m)	目標		229	1,000	1,700	2,500	3,200	4,000
	実績	—	229	823				
(指標及びH32目標値の設定理由) 事業実施計画に基づき、透水性舗装の計画整備延長を目標値に設定	目標数値の達成度	単年度	100%	82%				
		最終年度	6%	21%				

H28取組状況	歩道施微に伴い、透水性舗装整備に取り組みました。 なお、鶉野飛行場線は用地買収を行うため予定を変更し平成29年度に実施予定、都市計画2号線につきましては平成28年度で完了となります。
---------	--

課題と今後の取組	計画的に透水性舗装整備に取り組んでまいります。
----------	-------------------------

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	82%	21%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・鶉野飛行場線、豊倉日吉線	・同左	
	経費(千円)	14,500	600	

変更する内容	事業実施計画に基づき、主要幹線道路歩道整備に伴う、透水性舗装を実施する。
--------	--------------------------------------

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)透水性舗装の実施(m) (定義)同左 (根拠)事業実施計画に基づく (担当者)土木課長 (目標値10年)当初(H22): ーm 現状: 229m 5年後: 4,000m (目標値3年)平成30年度: 2,500m 平成31年度: 3,200m 平成32年度: 4,000m
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	26 ゴミ減量と資源リサイクルの推進
到達目標	資源再利用の手段が住民に情報提供され、ゴミ発生の抑制やリサイクルが当たり前になっているまちをめざします。
関連課名	環境課

基本計画	1 レジ袋の有料化や無料配布の中止、グリーンコンシューマーを推奨する事業者の割合を増やします。		
------	---	--	--

主管部課	部名	生活環境部	課名	環境課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・新規量販店への協力依頼 ・マイバッグ(エコバック)作成 ・チラシ等による啓発	・同左	同左
	経費(千円)	482	450	450

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
レジ袋削減協力事業者数 (量販店のみ)	目標		9	9	9	9	9	10
	実績	9	9	9				
(指標及びH32目標値の設定理由) 新規量販店協力依頼は経営に影響を及ぼすため10を設定	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	90%	90%				

H28取組状況	播磨風土記をデザインしたマイバッグ(エコバック)を作成・配布し、消費者側からのレジ袋削減への取組みを実施しました。 平成28年度はマイバッグ(エコバック)600枚を補充作成しました。また、配布実績は398枚でした。
---------	--

課題と今後の取組	新規出店の量販店への協力依頼の実施とマイバッグ(エコバック)を利用してもらう習慣の啓発を併せて行います。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	90%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・新規量販店への協力依頼 ・マイバッグ(エコバック)作成 ・チラシ等による啓発	・同左	
	経費(千円)	432	432	

変更する内容	
--------	--

取組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)レジ袋削減協力事業者数(量販店のみ) (定義)加西市レジ袋削減に向けた取組みに関する協力事業者(量販店)の数 (根拠)同上 (担当者)環境課長 (目標値10年)当初(H22):9社 現状:9社 5年後:10社 (目標値3年)平成30年度:9社 平成31年度:9社 平成32年度:10社
------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	26 ゴミ減量と資源リサイクルの推進
到達目標	資源再利用の手段が住民に情報提供され、ゴミ発生の抑制やリサイクルが当たり前になっているまちをめざします。
関連課名	環境課

基本計画	2 ごみの分別(現23分類)、リサイクルを推進し、ゴミ処理の効率化、適正化を進めます。		
------	---	--	--

主管部課	部名	生活環境部	課名	環境課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・剪定枝リサイクル事業継続 ・古繊維リサイクル事業継続 ・小型家電収集委託業務継続 ・リサイクルプラザ運営業務	・同左	・同左 ・新規リサイクル事業の拡充
	経費(千円)	8,710	8,710	12,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①住民1人1日あたりのゴミ 排出量(g) 【減少指標】	目標		783	780	776	773	769	766
	実績	794	793	779				
(指標及びH32目標値の設定理由) 当初値より、ごみ排出量500tの減量を設定	目標数値の達成度	単年度	101%	100%				
		最終年度	104%	102%				
②ゴミのリサイクル率(%)	目標		21	21	21	21	21	22
	実績	20	20	19				
(指標及びH32目標値の設定理由) ごみ搬出量を減量し、搬入リサイクル量を増加	目標数値の達成度	単年度	95%	90%				
		最終年度	91%	86%				

H28取組状況	剪定枝リサイクル事業、古繊維リサイクル事業、小型家電収集委託業務を継続して実施しました。 なお、リサイクルプラザ運営業務は、8月にリサイクル品の販売イベントを実施しました。
---------	---

課題と今後の取組	3Rの啓発(リデュース「廃棄物の発生抑制」・リユース「再使用」・リサイクル「再資源化」)に努めます。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
①	②実行中	A: 予定通り進行	100%	102%	B: 目標を達成	②継続
②	②実行中	B: 予定より遅延	90%	86%		

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・剪定枝リサイクル事業継続 ・古繊維リサイクル事業継続 ・小型家電収集委託業務継続 ・新規リサイクル事業の拡充	・同左	
	経費(千円)	12,000	12,000	

変更する内容	
--------	--

平成28年度評価

基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	26 ゴミ減量と資源リサイクルの推進
到達目標	資源再利用の手段が住民に情報提供され、ゴミ発生の抑制やリサイクルが当たり前になっているまちをめざします。
関連課名	環境課

<p>取り組みの進捗 状況を確認する ための数値 〔再掲〕</p>	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)住民1人1日あたりのゴミ 排出量【減少指標】 (定義)クリーンセンターの年間ゴミ処理量から算出する加西市民1人1日あたりのゴミ排出量 (根拠)平成21年度住民1人1日ゴミ排出量＝ $(H21\text{年度のごみ総収集量} + \text{直接搬入量} + \text{資源集団回収量}) \div \text{加西市総人口} \div 365\text{日} = 794\text{g}$ 平成26年度末までに普及啓発に努め、ゴミ排出量を減量(予定数量200トﾝ) $(12,108\text{トﾝ} + 2,034\text{トﾝ} - 200\text{トﾝ}) \div (48,774\text{人}) \div 365\text{日} \approx 783\text{g}$ 平成31年度末までに更なるリサイクルにより減量(予定数量300トﾝ) $(12,108\text{トﾝ} + 2,034\text{トﾝ} - 500\text{トﾝ}) \div (48,774\text{人}) \div 365\text{日} \approx 766\text{g}$ (担当者)環境課長 (目標値10年)当初(H22):794g 現状:783g 5年後:766g (目標値3年)平成30年度:773g 平成31年度:769g 平成32年度:766g</p> <p>(指標名)ゴミのリサイクル率 (定義)市全体のゴミ処理量の内、リサイクルされた物の割合(重量換算) (根拠)平成21年ゴミのリサイクル率 $= (\text{総資源化量} + \text{資源集団回収量}) \div (\text{総ゴミ処理量} + \text{資源集団回収量}) \times 100 \approx 20\%$ 平成27年度までに普及啓発に努め、ゴミ排出量を減量(予定数量200トﾝ) H27ゴミのリサイクル率 $= (847\text{トﾝ} + 2,034\text{トﾝ}) \div (12,108\text{トﾝ} + 2,034\text{トﾝ} - 200\text{トﾝ}) \approx 21\%$ 平成32年度までに搬入外リサイクルを開始しゴミ処理量の減量を図る。 (搬入外数量100トﾝ ゴミ処理数量200トﾝ) H32ゴミのリサイクル率 $= (847\text{トﾝ} + 2,034\text{トﾝ} + 100\text{トﾝ}) \div (12,108\text{トﾝ} + 2,034\text{トﾝ} - 400\text{トﾝ}) \approx 22\%$ (担当者)環境課長 (目標値10年)当初(H22):20% 現状:21% 5年後:22% (目標値3年)平成30年度:21% 平成31年度:21% 平成32年度:22%</p>
---	---

平成28年度評価

基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	26 ゴミ減量と資源リサイクルの推進
到達目標	資源再利用の手段が住民に情報提供され、ゴミ発生の抑制やリサイクルが当たり前になっているまちをめざします。
関連課名	環境課

基本計画	3 剪定枝や廃食用油等のバイオマス資源を回収し、薬用ハンドソープやリサイクル堆肥等の原料として有効活用を推進します。
------	--

主管部課	部名	生活環境部	課名	環境課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・放置竹林を間伐しチップ・炭等への活用 ・広葉樹等を間伐し、薪等へ利用促進 ・一般家庭からの廃食用油回収の継続	・同左	・同左
	経費(千円)	516	691	691

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
廃食用油の回収量(千ℓ)	目標		13.0	13.3	13.6	13.9	14.2	14.5
	実績	—	12.6	10.8				
(指標及びH32目標値の設定理由) 一般家庭で手軽に実行できて、水環境の改善につながるので指標として設定し、1割増を目指す。		目標数値の達成度	単年度	97%	81%			
			最終年度	87%	74%			

H28取組状況	家庭用の廃食用油を回収し、リサイクル会社へ販売する事業を実施しました。H28年度の回収実績は10,768ℓ、廃食用油売捌収入は19,887円でした。「与作プロジェクト」の一環としては、市内間伐ボランティアや市内福祉法人(ゆたか会希望の郷)と協力し、10tの間伐材が薪に加工されました。「かぐや姫プロジェクト」では、放置竹林の整備の実施に伴い、樹木粉砕機の貸出しを行いました(10団体)。
---------	---

課題と今後の取組	H25年度をもって市外回収、BDF生産を終了した結果、回収量が減少しました。しかし、一方で市内の一般家庭からの廃食用油の回収は市民に浸透しており、リサイクル意識の啓発にも繋がっているため、継続して実施していきます。家庭での中食が多くなっており、食用油の利用が一層減少していくことが想定される中で、いかに回収量を増やしていくか、広報、回収方法などの再検討が必要であると思われます。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	81%	74%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・放置竹林を間伐しチップ・炭等への活用 ・広葉樹等を間伐し、薪等へ利用促進 ・一般家庭からの廃食用油回収の継続	・同左	
	経費(千円)	840	840	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)廃食用油の回収量 (定義)廃食用油回収システムに基づく回収量 (根拠)廃食用油地区回収実績 (担当者)環境課長 (目標値10年)当初(H22):一千ℓ 現状:13千ℓ 5年後:14.5千ℓ (目標値3年)平成30年度:13.9千ℓ 平成31年度:14.2千ℓ 平成32年度:14.5千ℓ
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	26 ゴミ減量と資源リサイクルの推進
到達目標	資源再利用の手段が住民に情報提供され、ゴミ発生の抑制やリサイクルが当たり前になっているまちをめざします。
関連課名	環境課

基本計画	4 美パースへの補助金を継続します。		
------	--------------------	--	--

主管部課	部名	生活環境部	課名	環境課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・改正後単価での奨励金の交付を継続	・同左	・同左
	経費(千円)	1,454	2,500	2,500

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
資源物集団回収登録団体による年間回収量(t)	目標		1,506	1,510	1,515	1,520	1,525	1,530
	実績	—	1,506	1,520				
(指標及びH32目標値の設定理由) 資源物集団回収物の減少傾向に歯止めをかけ、資源物回収の増量(毎年5t増)を目指す。	目標数値の達成度	単年度	100%	101%				
		最終年度	98%	99%				

H28取組状況	要綱改正後の「資源物1kgあたり1円」及び「売り払い金額が5円未満の場合は、5円との差額」を回収量に応じて交付し事業の促進を図りました。
---------	--

課題と今後の取組	市内全域に無料回収BOXが設置され、美パース事業での回収量が年々減少傾向にあり、リサイクル率が下がる要因にもなっています。 引続き本事業の啓発に努め、地域におけるごみ減量とリサイクルの推進を図ります。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	101%	99%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・改正後単価での奨励金の交付を継続	・同左	
	経費(千円)	1,998	1,998	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)資源物集団回収団体登録の年間回収量 (定義)資源物集団回収団体登録の年間回収量 (根拠)資源物集団回収団体登録者の奨励金交付決定集計値 (担当者)環境課長 (目標値10年)当初(H22):-t 現状:1,506t 5年後:1,530t (目標値3年)平成30年度:1,520t 平成31年度:1,525t 平成32年度:1,530t
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	27 環境学習の推進
到達目標	誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、行政と住民、企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。
関連課名	生涯学習課、学校教育課、環境課、総合教育センター

基本計画	1 親子で参加できる環境学習を推進します。		
------	-----------------------	--	--

主管部課	部名	教育委員会	課名	生涯学習課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・こども環境講座の実施	・同左	・同左
	経費(千円)	5	50	50

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
公民館におけるこども環境学習の受講者数	目標		100	130	160	190	220	250
	実績	51	25	93				
(指標及びH32目標値の設定理由) 生涯学習の中核機関である公民館のこども対象の環境学習講座延受講者数。当初の5倍と設定。	目標数値の達成度	単年度	25%	72%				
		最終年度	10%	37%				

H28取組状況	公民館等で子供向け環境学習講座を実施しました。
---------	-------------------------

課題と今後の取組	公民館講座だけでは講座数の確保が困難なことから、引き続き公民館以外の施設や地域と連携した環境講座を開催していきます。 また、親子で参加となると開催日が休日に限定されており、開催日に苦慮しています。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	72%	37%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・こども環境講座の実施	・同左	
	経費(千円)	50	50	

変更する内容	リーダー養成講座として開催した「あびき湿原レンジャー養成講座」は、地域住民や受講生があびき湿原の地域環境保護団体の自主活動を始めたため、平成29年度で終了し、今後は市民の団体活動への参画を推進します。 また関係機関と連携し、環境講座を開催していきます。
--------	---

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名) 公民館におけるこども環境学習の受講者数 (定義) こども環境講座の受講者数 (根拠) こども環境講座の受講者数から算定 (担当者) 生涯学習課長 (目標値10年) 当初(H22): 51人 現状: 100人 5年後: 250人 (目標値3年) 平成30年度: 190人 平成31年度: 220人 平成32年度: 250人
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	27 環境学習の推進
到達目標	誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、行政と住民、企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。
関連課名	生涯学習課、学校教育課、環境課、総合教育センター

基本計画	2 環境学習リーダーを養成し、その活動を推進します。
------	----------------------------

主管部課	部名	教育委員会	課名	生涯学習課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール	取組内容	H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
		・環境講座の開催 ・リーダー養成講座の開催	・同左	・同左
経費(千円)	92	110	110	

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
公民館における環境学習リーダー養成講座の受講者数	目標		200	210	220	230	240	250
	実績	123	115	317				
(指標及びH32目標値の設定理由) 公民館の環境学習の延受講者数。当初の倍増と設定。	目標数値の達成度	単年度	58%	151%				
		最終年度	46%	127%				

H28取組状況	高齢者学級で環境学習を開催し、265人が身近な環境問題を学習しました。地域と連携し、貴重な自然環境を守る環境保全ボランティア養成講座「あびき湿原レンジャー養成講座」を開催。52人が8回にわたり、環境講座や視察、保全活動実習を学習しました。
---------	---

課題と今後の取組	今後も継続して、毎年異なるテーマで環境講座を開催します。
----------	------------------------------

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	151%	127%	A: 目標を上回って達成	②継続

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		・環境講座の開催	・同左	
経費(千円)	60	60		

変更する内容	リーダー養成講座として開催した「あびき湿原レンジャー養成講座」は、地域住民や受講生があびき湿原の地域環境保護団体の自主活動を始めたため、平成29年度で終了し、今後は市民の団体活動への参画を推進します。また関係機関と連携し、環境講座を開催していきます。
--------	---

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名) 公民館における環境学習リーダー養成講座の受講者数 (定義) 環境講座の受講者数 (根拠) 環境講座の受講者数から算定 (担当者) 生涯学習課長 (目標値10年) 当初(H22): 123人 現状: 200人 5年後: 250人 (目標値3年) 平成30年度: 230人 平成31年度: 240人 平成32年度: 250人
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	27 環境学習の推進
到達目標	誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、行政と住民、企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。
関連課名	生涯学習課、学校教育課、環境課、総合教育センター

基本計画	3 様々な組織や団体により取り組まれた環境学習のノウハウを他の学校や団体が活用できるよう支援します。		
------	--	--	--

主管部課	部名	教育委員会	課名	学校教育課
------	----	-------	----	-------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・環境体験学習(小学3年生) ・環境学習(小・中学校)	・同左	・同左
	経費(千円)	1,942	1,942	1,942

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
環境学習実施学校数	目標		15	15	15	15	15	15
	実績	—	15	15				
(指標及びH32目標値の設定理由) 環境学習を実施している学校数を示しており、全小・中学校の学校数で設定。	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	100%	100%				

H28取組状況	市内小中学校全15校で環境体験学習を実施しました。校区の特性を生かした里山保全活動、希少生物調査活動、稲作等の農業体験などを通して、身近にある自然やそれを取り巻く環境について、充実した学習を展開することができました。特に、小学校全校で「あびき湿原」についての環境学習に取り組み、実地での体験を通して、ふるさとの環境について考えることができました。
---------	---

課題と今後の取組	兵庫県教育委員会の推進する「兵庫型体験学習」の一環として、小学校3年生の環境体験学習を中心に今後も継続していきます。そのためにも、小中9年間を見通した環境学習の実施や各校区の特色を踏まえたカリキュラム整備、人材バンク等の情報の蓄積などが必要です。現在の事業の継続に加えて、各校区での体験をともなう新たな学習教材や人材発掘に努めていきます。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・環境体験学習(小学3年生) ・環境学習(小・中学校)	・同左	
	経費(千円)	1,942	1,942	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)環境学習実施学校数 (定義)各校における環境学習の推進 (根拠)各校の教育課程に位置づけられた環境学習の実施実態 (担当者)学校教育課長 (目標値10年)当初(H22): 1校 現状: 15校 5年後: 15校 (目標値3年)平成30年度: 15校 平成31年度: 15校 平成32年度: 15校
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	27 環境学習の推進
到達目標	誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、行政と住民、企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。
関連課名	生涯学習課、学校教育課、環境課、総合教育センター

基本計画	4 環境に配慮したまちづくりに資するテーマで、住民や小学生を対象に、定期的な学習会を開催します。		
------	--	--	--

主管部課	部名	生活環境部	課名	環境課
------	----	-------	----	-----

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・事業者が環境経営システムの認証を受けるための助言	・同左	・同左
	経費(千円)	0	0	0

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
ISO14001、エコアクション21取得企業団体数	目標		53	53	53	53	53	53
	実績	32	52	46				
(指標及びH32目標値の設定理由) ・普及啓発の効果として環境経営に努める事業者の数としました。目標値は取得できる事業者が限られていることから、現状維持の数値としました。	目標数値の達成度	単年度	98%	87%				
		最終年度	98%	87%				

H28取組状況	エコアクション21地域事務局ひょうごEMSセンターと連携して実施してきたエコアクション21自治体イニシャティブプログラムについて、平成28年度から広域実施の方針となったことから、加西市では実施しないこととなったため、取組み内容を変更し、事業者が環境経営システムの認証を受けるための問い合わせ等への助言を行っています。代替となる新たな普及啓発の方法を検討する必要があります。
---------	--

課題と今後の取組	環境経営システムは、認証取得に数十万円から百数十万円の費用がかかることから、取り組める事業者が限られています。また、一度認証を受けても、次回更新しない事業者が増えています。このため、実績として認証事業の総数が横ばい傾向となっており、少ない費用負担で環境に配慮した経営を継続してもらえる仕組みの検討が必要となっています。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	87%	87%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・事業者が環境経営システムの認証を受けるための助言 ・環境普及啓発	・同左	
	経費(千円)	0	0	

変更する内容	エコアクション21地域事務局ひょうごEMSセンターと連携して実施してきたエコアクション21自治体イニシャティブプログラムについて、平成28年度から広域実施の方針となったことから、加西市では実施しないこととなったため、取組み内容を変更し、事業者が環境経営システムの認証を受けるための問い合わせ等への助言を行っています。代替となる新たな普及啓発の方法を検討する必要があります。
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)ISO14001、エコアクション21取得企業団体数 (定義)ISO14001・エコアクション21を認証・取得した企業の数 (根拠)ISO14001は(財)日本適合性認定協会、エコアクション21は一般財団法人持続性推進機構のホームページ (担当者)環境課長 (目標値10年)当初(H22):32件 現状:53件 5年後:53件 (目標値3年)平成30年度:53件 平成31年度:53件 平成32年度:53件
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	27 環境学習の推進
到達目標	誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、行政と住民、企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。
関連課名	生涯学習課、学校教育課、環境課、総合教育センター

基本計画	5 教員を対象とした環境学習に関する研修を実施します。		
------	-----------------------------	--	--

主管部課	部名	教育委員会	課名	学校教育課、総合教育センター
------	----	-------	----	----------------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	教職員研修講座における環境教育講座の充実	教職員研修講座における環境教育講座の充実	教職員研修講座における環境教育講座の充実
	経費(千円)	12	15	15

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
教員を対象とした環境学習に関する研修の年間開催数	目標		2	2	3	4	4	5
	実績	—	2	2				
(指標及びH32目標値の設定理由) 教員を対象とした環境学習に関する研修講座の回数を示し、当初値の倍増を設定	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	40%	40%				

H28取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「余剰食品のリサイクル施設」の見学を実施し、食の循環型社会についての理解を深め、教材化について考える機会としました。 ・「あびき湿原」の見学を実施し、守り伝えるべきふるさとの自然に触れ、教材化について考える機会としました。
---------	---

課題と今後の取組	各学校の環境教育担当者以外にも広く受講を促すとともに、地域と連携した研修内容を検討します。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	40%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・教職員研修講座における環境教育講座の充実	・同左	
	経費(千円)	15	15	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)教員を対象とした環境学習に関する研修の年間開催数 (定義)教員を対象にした研修の開催 (根拠)教員を対象にした研修会の開催数 (担当者)総合教育センター所長 (目標値10年)当初(H22):一回 現状:2回 5年後:5回 (目標値3年)平成30年度:4回 平成31年度:4回 平成32年度:5回
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西
施策	28 情報公開と住民自治のまちづくり
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。
関連課名	ふるさと創造課、秘書課

基本計画	1 自立的な地域づくりのために、地域おこし協力隊等の採用を進めます。		
------	------------------------------------	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	ふるさと創造課
------	----	---------	----	---------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	地域おこし協力隊を採用し、地域活性化に取り組みさせる。	地域おこし協力隊を採用し、地域活性化に取り組みさせる。	地域おこし協力隊を採用し、地域活性化に取り組みさせる。
	経費(千円)	10,612	10,043	14,063

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①地域づくりコーディネーター数	目標		2	2	4	4	4	4
	実績	—	0	2				
(指標及びH32目標値の設定理由) 地域おこし協力隊の活動の内、コーディネーターとして配置する人員数。	目標数値の達成度	単年度	0%	100%				
		最終年度	0%	50%				
②★地域おこし協力隊員数【6-91】	目標		2	4	6	6	6	6
	実績	—	2	4				
(指標及びH32目標値の設定理由) 最大6名体制を2年取り組んだ後、事業の収束をはかる。	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	33%	67%				

H28取組状況	新たに2名の協力隊を採用し、平成27年度から活動している隊員2名に対し、地域づくりコーディネーターとして創造会議や各種団体、市の各種検討委員会等に参加しています。
---------	---

課題と今後の取組	市の単独事業であり、予算が他市町の地域おこし協力隊と比べ、予算が少ないことあり、積極的な採用計画になっていません。 平成27年度採用の隊員は、平成29年度に3年の任期が終了する為、平成29年度中に新たな隊員の採用を実施していく予定です。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H27)	最終(H32)		
①	②実行中	A: 予定通り進行	100%	50%	B: 目標を達成	②継続
②	②実行中	A: 予定通り進行	100%	67%		

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	経費(千円)	14,063	14,063	

変更する内容	
--------	--

平成28年度評価

基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西
施策	28 情報公開と住民自治のまちづくり
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。
関連課名	ふるさと創造課、秘書課

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)地域づくりコーディネーター数 (定義)地域コーディネーター数 (根拠)専門化・細分化した地域づくりに対応するために加西市の人材を生かした自前のコーディネーターの発掘と連携が重要 (担当者)ふるさと創造課長 (目標値10年)当初(H22):一人 現状:2人 5年後:4人 (目標値3年)平成30年度:4人 平成31年度:4人 平成32年度:4人</p> <p>(指標名)★地域おこし協力隊員数【6-91】 (定義)地域おこし協力隊数 (根拠)ふるさと創造会議と連携を進め、地域資源を活用した地域活性化事業を進める。 (担当者)ふるさと創造課長 (目標値10年)当初(H22):一人 現状:2人 5年後:6人 (目標値3年)平成30年度:6人 平成31年度:6人 平成32年度:6人</p>
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西
施策	28 情報公開と住民自治のまちづくり
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。
関連課名	ふるさと創造課、秘書課

基本計画	2 社会活動の促進を図るため、各種法人や個人起業家の育成を進めます。			
------	------------------------------------	--	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	ふるさと創造課
------	----	---------	----	---------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・若者ターミナルスポット運営事業 ・起業支援	同左	・マチホメ事業 ・起業支援
	経費(千円)	3,750	3,750	3,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①NPO法人数	目標		21	20	25	25	25	35
	実績	11	19	20				
(指標及びH32目標値の設定理由) NPO法人立ち上げ支援等により着実に増えており、今後は、ふるさと創造会議の受け皿としても期待できるため当初の3倍を想定。	目標数値の達成度	単年度	90%	100%				
	最終年度	54%	57%					
②★加西サポーター登録者数【6-90】	目標		24	100	150	200	300	300
	実績	—	24	50				
(指標及びH32目標値の設定理由) 総務省とともに行ったマチホメコミュニティによる都市部のファンづくりが好評で毎年50名のコミュニティが期待できるため。	目標数値の達成度	単年度	100%	50%				
	最終年度	8%	17%					

H28取組状況	平成28年度のNPO発足団体は1団体でした。マチホメかさい交流事業については、「はりまる」を題材に、東京にて15回ミーティングや試食会を行うとともに、有志を集め加西市ツアーを開催。播磨農高と連携しながらはりまるメニューを開発しました。H28年度マチホメメンバーは26名。
---------	---

課題と今後の取組	加西市を知らない都市部の方々が、マチホメかさい交流事業に参加することによって、新しい目でみた加西市を発見していただき、共感人口を増やし、そこから交流、定住へとつなげていく事業として今後も継続していきます。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H27)	最終(H32)		
①	②実行中	A: 予定通り進行	100%	57%	C: 目標を下回っている	②継続
②	②実行中	B: 予定より遅延	50%	17%		

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・マチホメ事業 ・起業支援	・同左	
	経費(千円)	3,000	3,000	

変更する内容	平成30年より、メイン事業として「マチホメ」「起業支援(ビジコン)」等に取り組み内容をシフトさせる。
--------	--

平成28年度評価

基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西
施策	28 情報公開と住民自治のまちづくり
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。
関連課名	ふるさと創造課、秘書課

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)NPO法人数 (定義)内閣府データ・内閣府NPO 法人検索システム登録数 (根拠)北播磨最大の三木市が15~20 で推移すると仮定し、同様のセクター機能を担保する (担当者)ふるさと創造課長 (目標値10年)当初(H22):11法人 現状:21法人 5年後:35法人 (目標値3年)平成30年度:25法人 平成31年度:25法人 平成32年度:35法人</p> <p>(指標名)★加西サポーター登録者数【6-90】 (定義)マチホメコミュニティ参加者数 (根拠)総務省との合同事業 マチホメに基づく (担当者)ふるさと創造課長 (目標値10年)当初(H22):一人 現状:24人 5年後:300人 (目標値3年)平成30年度:200人 平成31年度:300人 平成32年度:300人</p>
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西
施策	28 情報公開と住民自治のまちづくり
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。
関連課名	ふるさと創造課、秘書課

基本計画	3 ボランティア活動希望者と支援を受けたい人との調整を図ります。		
------	----------------------------------	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	ふるさと創造課
------	----	---------	----	---------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・ボランティアサポート	・同左	・同左
	経費(千円)	0	0	0

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
ボランティア活動希望登録者数	目標		-	20	100	200	200	200
	実績	-	-	0				
(指標及びH32目標値の設定理由) ボランティア活動の充実を図るため登録者数の増加を目指す。	目標数値の達成度	単年度	-	0%				
		最終年度	-	0%				

H28取組状況	未実施
---------	-----

課題と今後の取組	今後は地域交流センターの登録団体を増やし、団体間同士でコラボしたイベント等を開催することによって、市民の方に活動の場を提供して、増やしていく取り組みを行っていくことを目標とします。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	①未着手	B: 予定より遅延	0%	0%	D: 目標を大きく下回っている	③見直し

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・ボランティアサポート	・同左	
	経費(千円)	0	0	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)ボランティア活動希望登録者数 (定義)ボランティア数、マッチング件数 (根拠)指標増=目的のため (担当者)ふるさと創造課長 (目標値10年)当初(H22):一人 現状:一人 5年後:200人 (目標値3年)平成30年度:200人 平成31年度:200人 平成32年度:200人
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西
施策	28 情報公開と住民自治のまちづくり
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。
関連課名	ふるさと創造課、秘書課

基本計画	4 ふるさと創造会議の立ち上げとともに小規模多機能自治への発展を進めます。		
------	---------------------------------------	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	ふるさと創造課
------	----	---------	----	---------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	立ち上がっている創造会議には、引き続き地域担当職員と共に支援し、立ち上がっていない地域については、担当課が積極的に関わる。	同左	同左
	経費(千円)	10,800	13,200	13,200

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
ふるさと創造会議設置数【4-73】	目標		7	9	11	11	11	11
	実績	—	8	9				
(指標及びH32目標値の設定理由) 小学校区の数。ただし、北条は2校区を一本化。	目標数値の達成度	単年度	114%	100%				
		最終年度	73%	82%				

H28取組状況	9小学校区(8創造会議)は、取組内容に地域差があるものの順調に取組んでいます。
---------	---

課題と今後の取組	2小学校区については、1地区については兵庫県の事業である県民交流広場事業がH28年度で終了する為、引き続き創造会議への移行を依頼しました。もう1地区については、準備会が地区区長会を中心に結成され、地域住民を交えた意見交換会等を実施しています。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	82%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・創造会議の運営及び立上支援	・同左	
	経費(千円)	13,200	13,200	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)ふるさと創造会議設置数【4-73】 (定義)地域ふるさと創造会議 (根拠)各小学校区に設置 (担当者)ふるさと創造課長 (目標値10年)当初(H22):一箇所 現状:7箇所 5年後:11箇所 (目標値3年)平成30年度:11箇所 平成31年度:11箇所 平成32年度:11箇所
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西
施策	28 情報公開と住民自治のまちづくり
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。
関連課名	ふるさと創造課、秘書課

基本計画	5 住民から寄せられる提案、要望、意見に対する回答について、ウェブ情報等を活用して住民との情報共有を図ります。
------	---

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	秘書課
------	----	---------	----	-----

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	タウンミーティングでの意見・回答のホームページへの掲載	・同左	・同左
	経費(千円)	0	0	0

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
HP掲載件数	目標		2	2	2	2	2	2
	実績	—	2	2				
(指標及びH32目標値の設定理由) タウンミーティングが2回程度/年開催されるため	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	100%	100%				

H28取組状況	4/16～28に行った「加西ふるさとミーティング2016春」と、10/27～11/30に行った「かさい地域づくりミーティング2016秋」での意見・回答を市ホームページに掲載しました。
---------	---

課題と今後の取組	タウンミーティング終了後、意見・回答の集約に時間がかかり、開催最終日から1～2カ月経ってからの掲載となりました。スピーディーに情報共有を図る必要があるため、地域担当職員より意見・回答を早急に集約し、開催最終日から1カ月以内には掲載するようにしたいと思います。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	③完了	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・タウンミーティングでの意見・回答のホームページへの掲載	・同左	
	経費(千円)	0	0	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)HP掲載件数 (定義)タウンミーティングでの意見・回答のホームページへの掲載件数 (根拠)同上 (担当者)秘書課長 (目標値10年)当初(H22):一件 現状:2件 5年後:2件 (目標値3年)平成30年度:2件 平成31年度:2件 平成32年度:2件
-------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西
施策	28 情報公開と住民自治のまちづくり
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。
関連課名	ふるさと創造課、秘書課

基本計画	6 ★集落支援員の配置を進めます。		
------	-------------------	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	ふるさと創造課
------	----	---------	----	---------

実施スケジュール	取組内容	H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)	
		ふるさと創造会議運営交付金の内容について検討を進める。	ふるさと創造会議運営交付金の中に、集落支援員(創造会議内の事務局職員等)の経費を計上する。	ふるさと創造会議運営交付金の中に、集落支援員(創造会議内の事務局職員等)の経費を計上する。	0
	経費(千円)	0	31,500	31,500	

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★集落支援員数【4-72】	目標		0	9	11	11	11	11
	実績	—	0	0				
(指標及びH32目標値の設定理由) 各小学校区に1名を配置する計画	目標数値の達成度	単年度	—	0%				
		最終年度	—	0%				

H28取組状況	未実施
---------	-----

課題と今後の取組	平成29年度に行う新交付金制度の中で、集落支援員の導入について議論し、交付金に加算する仕組み作りを進めます。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	①未着手	B: 予定より遅延	0%	0%	D: 目標を大きく下回っている	②継続

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		・ふるさと創造会議運営交付金による集落支援員(創造会議内の事務局職員等)の経費支援	・同左	
	経費(千円)	31,500	31,500	

変更する内容	
--------	--

取組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★集落支援員数【4-72】 (定義)今後、要綱等作成 (根拠)今後、要綱等作成 (担当者)ふるさと創造課長 (目標値10年)当初(H22):一人 現状:0人 5年後:11人 (目標値3年)平成30年度:11人 平成31年度:11人 平成32年度:11人
------------------------	---

平成28年度評価

基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西
施策	29 自己実現と共生のまちづくり
到達目標	家庭、学校、地域、職場において、住民一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮できるこころ豊かな社会をめざします。
関連課名	ふるさと創造課、総務課、ふるさと創造課、人権推進課

基本計画	1 男女共同参画社会に関する学習機会を拡充します。		
------	---------------------------	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	ふるさと創造課
------	----	---------	----	---------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	女性・若者起業調査助成金制度	同左	同左
	経費(千円)	150	750	750

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
男女の労働力率の格差是正 女性の労働力率(%)	目標		50	50	50	50	50	60
	実績	—	24	24				
(指標及びH32目標値の設定理由) 加西市は第二次産業が多く、女性が働く場はある。子育てが終わった女性の就業を想定した。	目標数値の達成度	単年度	48%	48%				
		最終年度	40%	40%				

H28取組状況	女性・若者起業調査助成金制度利用者数1件 農産加工(6次産業化)・・・レーズン、ドライフルーツの試食を行いました。パッケージのデザインの提供を行いました。
---------	--

課題と今後の取組	国調は5年に1回であるため、実績が5年間不明である。目標値を、女性・若者起業調査助成金制度を利用した件数に変更すべきと考えます。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	①未着手	B: 予定より遅延	48%	40%	C: 目標を下回っている	③見直し

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・女性・若者起業調査助成金制度	・同左	
	経費(千円)	750	750	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)男女の労働力率の格差是正 女性の労働力率 (定義)女性の社会進出、ワークライフバランスの達成 (根拠)女性の社会進出については就労数の増によりその達成度が図れるため。 (担当者)ふるさと創造課長 (目標値10年)当初(H22): -% 現状: 50% 5年後: 60% (目標値3年)平成30年度: 50% 平成31年度: 50% 平成32年度: 60%
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西
施策	29 自己実現と共生のまちづくり
到達目標	家庭、学校、地域、職場において、住民一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮できるこころ豊かな社会をめざします。
関連課名	ふるさと創造課、総務課、ふるさと創造課、人権推進課

基本計画	2 女性の声を地域の組織や団体に反映させる制度を構築します。		
------	--------------------------------	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	ふるさと創造課
------	----	---------	----	---------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	女性チャレンジ事業	同左	同左
	経費(千円)	0	400	400

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市の女性管理職登用率(%)	目標		10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	15.0
	実績	7	3.4	3.9				
(指標及びH32目標値の設定理由) 政府目標数値30%に対して、加西市は第二次産業が多く、自治会でも男性中心で慣例があるため、政府目標の半分の数値を目標とした。	目標数値の達成度	単年度	34%	39%				
		最終年度	23%	26%				

H28取組状況	市内の女性によって自主的に組織された団体が行うコミュニティ活動への助成事業の申請団体がありませんでした。
---------	--

課題と今後の取組	目標数値については、女性のコミュニティ助成事業を活用した件数に変更すべきだと考えます。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	39%	26%	C: 目標を下回っている	③見直し

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・女性チャレンジ事業	・同左	
	経費(千円)	400	400	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)市の女性管理職登用率 (定義)市管理職における女性管理職の割合 (根拠)女性職員の経験年数等を考慮し、将来の女性管理職登用数の展望を数値化 (担当者)ふるさと創造課長 (目標値10年)当初(H22):7.0% 現状:10.0% 5年後:15.0% (目標値3年)平成30年度:10.0% 平成31年度:10.0% 平成32年度:15.0%
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西
施策	29 自己実現と共生のまちづくり
到達目標	家庭、学校、地域、職場において、住民一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮できるこころ豊かな社会をめざします。
関連課名	ふるさと創造課、総務課、ふるさと創造課、人権推進課

基本計画	3 在住外国人のための学習支援や生活情報の多言語化を推進するとともに、教育分野との連携を進めます。
------	---

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	ふるさと創造課
------	----	---------	----	---------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・外国人児童の学習サポート ・支援者育成	・外国人児童の学習サポート ・支援者育成	・外国人児童の学習サポート ・支援者育成
	経費(千円)	150	200	200

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市内における日本語講座の実施教室数	目標		2	3	4	4	5	5
	実績	—	2	2				
(指標及びH32目標値の設定理由) 今後市内に外国人の増加が見込まれるため、受け入れ教室を増やす必要がある。	目標数値の達成度	単年度	100%	67%				
		最終年度	40%	40%				

H28取組状況	日本語教室ボランティア支援者研修を実施しました。 宿題教室など外国人家庭地域生活サポート事業を実施しました。
---------	---

課題と今後の取組	日本語支援者、ボランティアの人材育成が継続的に必要です。
----------	------------------------------

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	67%	40%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・外国人児童の学習サポート ・支援者育成	・同左	
	経費(千円)	200	200	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)市内における日本語講座の実施教室数 (定義)市内における日本語教室 (根拠)市内のNPOやグループとネットワークを図り、幅広い日本語クラスの運営を促進する。 (担当者)ふるさと創造課長 (目標値10年)当初(H22):一教室 現状:2教室 5年後:5教室 (目標値3年)平成30年度:4教室 平成31年度:5教室 平成32年度:5教室
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西
施策	29 自己実現と共生のまちづくり
到達目標	家庭、学校、地域、職場において、住民一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮できるこころ豊かな社会をめざします。
関連課名	ふるさと創造課、総務課、ふるさと創造課、人権推進課

基本計画	4 国際交流協会のNPO化により活動範囲を広め、市民レベルの交流を進めます。		
------	--	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	ふるさと創造課
------	----	---------	----	---------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 国際理解と情報発信 ブルマン市への中学生等の派遣 スワン市からの高校生等の受入 	<ul style="list-style-type: none"> 国際理解と情報発信 ブルマン市からの中学生等の受入 スワン市への高校生等の派遣 	<ul style="list-style-type: none"> 国際理解と情報発信 ブルマン市への中学生等の派遣 スワン市からの高校生等の受入
	経費(千円)	5,597	5,800	6,000

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市内における各種外国文化関係団体の会員数	目標		30	33	35	40	45	50
	実績	—	13	30				
(指標及びH32目標値の設定理由) NPO法人に委託すると同時に会員が激減し、再度PRをし、会員増を目指す。	目標数値の達成度	単年度	43%	91%				
		最終年度	26%	60%				

H28取組状況	姉妹都市ブルマン市に中学生親善訪問団8名を派遣し、同行しました。 外国人のための無料生活相談会、通訳、翻訳など、外国人が暮らしやすいサービスをきめ細かく提供しました。 市内で開催される催しに、外国人も地域住民の一員として参加しました。 国際理解講座「世界のとびら」をスタートしました。
---------	---

課題と今後の取組	会員増と、会員を巻き込んだ国際交流事業を行います。 国際理解の促進。外国人サービスの充実を図っていきます。 ブルマン市との連携として交流を今後も続け、次はこちらに来てもらえるように調整を行っていきます。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	B: 予定より遅延	91%	60%	C: 目標を下回っている	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 国際理解と情報発信 ブルマン市への中学生等の派遣 スワン市からの高校生等の受入 	<ul style="list-style-type: none"> 国際理解と情報発信 ブルマン市からの中学生等の受入 スワン市への高校生等の派遣 	
	経費(千円)	6,000	6,000	

変更する内容	
--------	--

取組みの進捗状況を再掲するための数値	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)市内における各種外国文化関係団体の会員数 (定義)国際交流に関心のある市民会員 (根拠)市民交流の普及、拡大 (担当者)ふるさと創造課長 (目標値10年)当初(H22):一人 現状:30人 5年後:50人 (目標値3年)平成30年度:40人 平成31年度:45人 平成32年度:50人
--------------------	---

平成28年度評価

基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西
施策	29 自己実現と共生のまちづくり
到達目標	家庭、学校、地域、職場において、住民一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮できるこころ豊かな社会をめざします。
関連課名	ふるさと創造課、総務課、ふるさと創造課、人権推進課

基本計画	5 家庭や学校、地域、職場等、あらゆる場と機会を通じて、人権尊重の理念を踏まえ、様々な人権課題に対する教育、啓発を進め、お互いを認め合い、差別を許さないまちづくりを推進します。
------	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人権推進課
実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・人権文化をすすめる市民のつどい ・地区人権学習会、まちかどフォーラム ・公民館コラボ講座 ・加西市人権教育協議会や公民館と連携した講演会、映画上映やフィールドワーク等 ・企業、団体等での人権学習会	同左	同左
	経費(千円)	8,966	9,500	9,500

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
人権学習会参加者数	目標		2,400	2,600	2,700	2,800	2,900	3,000
	実績	2,700	2,592	3,787				
(指標及びH32目標値の設定理由) 住民一人ひとりがお互いの人権を尊重するまちづくりのため、様々な人権課題を学習する機会を広げていきます。		目標数値の達成度	単年度	108%	146%			
			最終年度	86%	126%			

H28取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・人権文化をすすめる市民のつどいを開催し、「愛の詩」等の表彰や講演会を実施しました。(参加者230人) ・地区人権学習会(6地区)、まちかどフォーラム(47町)を開催し、合計1,180人が参加しました。 ・自主参加型の学習機会として、公民館コラボ事業や加西市人権教育協議会と連携した人権映画上映会、ハンセン病啓発事業の映画「あん」上映とゲストトーク会などを開催し、687人の参加がありました。 ・自治会、事業所、団体等が自主開催する研修会に講師派遣、資機材の貸出等の実施援助をおこない、1,026人の参加がありました。 ・その他、公民館活動グループや市職員等を対象に人権研修会を実施し、664人の参加がありました。
---------	---

課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地区人権学習会、まちかどフォーラム(町別学習会)の内容、進行について、参加者から「マンネリ化している」「意見発表を求められるので参加したくない」などの意見がだされたり、町の役員の責任出席化している状況などから、内容、進行方法等について音楽を取り入れるなど、楽しみながら学習できる手法を取り入れる等の工夫をしています。 ・自主参加型の学習機会を多く実施し、また、事業所、団体等による自主的な研修会実施に対する講師派遣、資機材貸出などの支援策を充実し、市民自らが人権について関心を持ち、考えていただけるよう努めています。
----------	--

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	S: 予定より早く進行	146%	126%	A: 目標を上回って達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・人権文化をすすめる市民のつどい ・地区人権学習会、まちかどフォーラム ・公民館コラボ講座 ・加西市人権教育協議会や公民館と連携した講演会、映画上映やフィールドワーク等 ・企業、団体等での人権学習会 ・自主参加型学習会の開催	・同左	
	経費(千円)	9,500	9,500	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)人権学習会参加者数 (定義)人権学習会への参加のべ人数 (根拠)同上 (担当者)人権推進課長 (目標値10年)当初(H22):2,700人 現状:2,400人 5年後:3,000人 (目標値3年)平成30年度:2,800人 平成31年度:2,900人 平成32年度:3,000人</p>
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	10 健全な行財政運営の確立
施策	30 行政サービスの向上と効率経営
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。
関連課名	総務課、人口増政策課、管財課、財政課、税務課

基本計画	1 定員適正化計画に基づき、必要な部門に職員を重点配置します。								
主管部課	部名	総務部			課名	総務課			
実施スケジュール		H28 (決算額)		H29 (予算額(補正含む))		H30 (予定額)			
	取組内容	・早期退職勧奨の実施 ・再任用制度の活用		・早期退職勧奨の実施 ・再任用制度の活用		・早期退職勧奨の実施 ・再任用制度の活用			
	経費(千円)	0		0		0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市役所の正規職員総数 (消防、医療職員除く) 【減少指標】		目標		332	332	330	330	328	326
		実績	350	332	332				
(指標及びH32目標値の設定理由) 組織の見直しや必要な部門に職員を重点配置しつつ、職員数の純減(△6名)に取り組む。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
			最終年度	102%	102%				
H28取組状況	勧奨による退職者2名に加え、再任用制度により新規5名を含む計15名の任用を行いました。								
課題と今後の取組	地方分権一括法による地方への権限移譲や、新たな行政ニーズへの対応などから、行政職を中心に業務量は年々増大しており、ワークライフバランスに配慮した人員体制の確保が必要です。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H28)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	102%	B: 目標を達成		②継続		

実施計画		H30 (予定額)		H31 (予定額)		H32 (予定額)	
	取組内容	・早期退職勧奨の実施 ・再任用制度の活用		・同左			
	経費(千円)	0		0			
変更する内容							
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)市役所の正規職員総数(消防、医療職員除く)【減少指標】 (定義)市役所の正規職員数(消防、医療職除く) (根拠)5年後の人数見込 (担当者)総務課長 (目標値10年)当初(H22):350人 現状:332人 5年後:326人 (目標値3年)平成30年度:330人 平成31年度:328人 平成32年度:326人						

平成28年度評価

基本政策	10 健全な行財政運営の確立
施策	30 行政サービスの向上と効率経営
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。
関連課名	総務課、人口増政策課、管財課、財政課、税務課

基本計画	2 職員の能力や士気を向上させる職員研修を拡充します。								
主管部課	部名	総務部	課名	総務課					
実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))			H30 (予定額)			
	取組内容	職員研修成果発表会の開催 内部研修の充実	職員研修成果発表会の開催 内部研修の充実			職員研修成果発表会の開催 内部研修の充実			
	経費(千円)	0	0			0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
職員研修成果発表回数		目標		2	2	2	2	3	3
		実績	2	2	2				
(指標及びH32目標値の設定理由) 人事評価による成果発表会の実施対象の拡大を図る。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
			最終年度	67%	67%				
H28取組状況	人事評価の結果に基づく管理職員による成果発表会のほか、文書事務研修などを実施しました。また、公務員倫理指導者の研修を受講した職員が、兵庫県自治研修所の講師を務めるなど、指導者としての職員資質の向上を図りました。								
課題と今後の取組	管理職員を対象に実施している成果発表会を、監督職(課長補佐・係長級)に拡大します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H28)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	67%	B: 目標を達成		②継続		

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・職員研修成果発表会の開催 ・内部研修の充実	・同左	
	経費(千円)	0	0	
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)職員研修成果発表回数 (定義)職員研修成果発表会の開催数 (根拠)幹部職員による目標管理成果発表と各部の取組発表の合計回数 (担当者)総務課長 (目標値10年)当初(H22):2回 現状:2回 5年後:3回 (目標値3年)平成30年度:2回 平成31年度:3回 平成32年度:3回			

平成28年度評価

基本政策	10 健全な行財政運営の確立
施策	30 行政サービスの向上と効率経営
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。
関連課名	総務課、人口増政策課、管財課、財政課、税務課

基本計画	3 民間活力の導入と広域化を推進し、行政サービスの質的向上に努めます。 8 ★定住自立圏において圏域内の暮らしを整備するとともに、連携中枢都市に基づいて広域的な視点から地域の活力向上に努める等、事務処理の共同化を進めることにより関係団体と連携・協力して効率化を図ります。		
------	--	--	--

主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課
------	----	---------	----	--------

実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	・加西市元気なまちづくり市民会議の設立及び会議の開催 ・評価検証手法の検討・実施 ・行財政改革プランの策定 ・共生ビジョン懇談会の開催	・加西市元気なまちづくり市民会議の開催 ・行財政改革プランの策定 ・共生ビジョン懇談会の開催	・同左
	経費(千円)	0	0	0

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★定住自立圏構想の連携事業年間件数【6-95】	目標		28	28	28	29	30	30
	実績	—	28	28				
(指標及びH32目標値の設定理由) 広域的に連携協力し効率的な行政サービスを推進するため連携事業数の増加を設定	目標数値の達成度	単年度	100%	100%				
		最終年度	93%	93%				

H28取組状況	第5次総合計画及び地域創生戦略の評価検証を行うため、地域の産学官金労言老若女の有識者による加西市元気なまちづくり市民会議を設置し、計3回の会議を開催しました。定住自立圏においては、8月に北播磨広域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催し、外部委員による評価検証を行いました。また、共生ビジョンへKPI(成果指標)を設定するため、3月にも書面による共生ビジョン懇談会を開催し、共生ビジョンの見直しを行いました。
---------	--

課題と今後の取組	加西市元気なまちづくり市民会議においては、平成29年度は回数を増やし部会での評価検証を充実させ、実りある市民会議の運営に取り組めます。
----------	---

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H28)	最終(H32)		
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	93%	B: 目標を達成	②継続

実施計画		H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
	取組内容	・加西市元気なまちづくり市民会議の開催 ・行財政改革プランの策定 ・共生ビジョン懇談会の開催(共生ビジョン改定) ・次期総合計画策定に向けたアンケート調査 ・総合計画審議会の設置準備		
	経費(千円)	0	0	

変更する内容	
--------	--

取り組みの進捗状況を確認するための数値【再掲】	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★定住自立圏構想の連携事業年間件数【6-95】 (定義)北播磨広域定住自立圏共生ビジョンに掲げる連携事業数 (根拠)北播磨広域定住自立圏共生ビジョン (担当者)人口増政策課長 (目標値10年)当初(H22): 一事業 現状: 28事業 5年後: 30事業 (目標値3年)平成30年度: 29事業 平成31年度: 30事業 平成32年度: 30事業
-------------------------	--

平成28年度評価

基本政策	10 健全な行財政運営の確立
施策	30 行政サービスの向上と効率経営
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。
関連課名	総務課、人口増政策課、管財課、財政課、税務課

基本計画	4 公共施設等総合管理計画を作成し、公共施設のあり方について検討を進めます。								
主管部課	部名	総務部			課名	管財課			
実施スケジュール		H28 (決算額)		H29 (予算額(補正含む))		H30 (予定額)			
	取組内容	公共施設等総合管理計画にかかるパブリックコメント実施及び計画策定		維持管理実施		同左			
	経費(千円)	9,018							
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市の公有財産の把握と管理運営方針の策定		目標	計画策定	計画策定	維持管理				
		実績	-	-	-				
(指標及びH32目標値の設定理由)		目標数値の達成度	単年度	-	-				
			最終年度	-	-				
H28取組状況	平成28年度において、公共施設総合管理計画を公表し、将来の目標設定を行いました。今後、30年間に施設の建て替えを行う場合には、30%延床面積の削減を目指します。また、耐震性が確保されていない老朽化施設については廃止し、機能の統合を目指します。								
課題と今後の取組	個別施設については、総合管理計画方針に沿った実施計画を策定し、維持管理を行うことが必要となります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H28)	最終(H32)					
	②実行中	-	-	-	B:目標を達成		②継続		

実施計画		H30 (予定額)		H31 (予定額)		H32 (予定額)		
	取組内容	・維持管理実施		・同左				
	経費(千円)	0		0				
変更する内容								
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)市の公有財産の把握と管理運営方針の決定 (定義)固定資産台帳整備及び管理運営コストの試算 (根拠)同上 (担当者)管財課長 (目標値10年)当初(H22): - 5年後:維持管理 (目標値3年)平成30年度以降:維持管理							

平成28年度評価

基本政策	10 健全な行財政運営の確立
施策	30 行政サービスの向上と効率経営
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。
関連課名	総務課、人口増政策課、管財課、財政課、税務課

基本計画	5 行財政改革プランの見直しを行い、持続可能な財政運営に向けて取り組みを進めます。			
主管部課	部名	総務部	課名 財政課	
実施スケジュール		H28 (決算額)	H29 (予算額(補正含む))	H30 (予定額)
	取組内容	長期財政収支見通しに基づく計画的な財政運営	同左	同左
	経費(千円)	—	—	—

指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①基金残高(財政調整+減債)(億円)	目標		26	23	24	24	24	24
	実績	18	26.5	21				
	目標数値の達成度	単年度	102%	91%				
(指標及びH32目標値の設定理由) 行財政改革プランに基づき、最終年度において標準財政規模の2割程度の基金を維持		最終年度	110%	88%				
②全会計市債残高(億円) 【減少指標】	目標		435	436	443	439	433	423
	実績	457	427	422				
	目標数値の達成度	単年度	98%	97%				
(指標及びH32目標値の設定理由) 公債費負担適正化計画に基づき、最終年度においてH26の市債残高を下回る数値設定		最終年度	101%	100%				
③実質公債費比率(%) 【減少指標】	目標		10.5	9.5	8	8	8	8
	実績	20.3	10.3	未確定				
	目標数値の達成度	単年度	98%	—				
(指標及びH32目標値の設定理由) 行財政改革プランに基づき、最終年度においてH26の実質公債費比率を下回る数値設定		最終年度	129%	—				
④★将来負担比率(%)【6-94】 【減少指標】	目標		70	70	70	70	67	65
	実績	—	61.6	未確定				
	目標数値の達成度	単年度	88%	—				
(指標及びH32目標値の設定理由) 行財政改革プランに基づき、最終年度においてH26の将来負担比率を下回る数値設定		最終年度	95%	—				

H28取組状況
前年度の決算を踏まえ、第2章 これまでの財政再建と今後の財政見通しの見直しを行いました。ふるさと納税推進事業の強化により前年度の2.7倍超の寄附を受け入れることができたものの、医師不足に伴い悪化した市立加西病院の経営を支援するため、追加で2.5億円の繰り出しを行ったことで、目標より2億円基金が減少しました。

課題と今後の取組
今後、人口減少・高齢化が進行するなか、社会保障、子育て支援、教育、社会資本整備、病院支援など、多様化し増大する住民ニーズに対する的確な対応が求められています。歳出の重点化・効率化に取り組み、最終年度において標準財政規模の2割程度の基金を維持することで、持続可能な財政運営を目指します。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H27)	最終(H32)		
①	②実行中	B: 予定より遅延	91%	88%	B: 目標を達成	②継続
②	②実行中	S: 予定より早く進行	97%	100%		
③	②実行中	—	—	—		
④	②実行中	—	—	—		

平成28年度評価

基本政策	10 健全な行財政運営の確立
施策	30 行政サービスの向上と効率経営
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。
関連課名	総務課、人口増政策課、管財課、財政課、税務課

実施計画	取組内容	H30 (予定額)	H31 (予定額)	H32 (予定額)
		経費(千円)	—	—
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	<p>※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き)</p> <p>(指標名)基金残高(財政調整+減債) (定義)財政調整基金と減債基金の各年度末合計残高 (根拠)財政収支見通し (担当者)財政課長 (目標値10年)当初(H22):18億円 現状:26億円 5年後:24億円 (目標値3年)平成30年度:24億円 平成31年度:24億円 平成32年度:24億円</p> <p>(指標名)全会計市債残高【減少指標】 (定義)企業会計を含む年度末市債残高 (根拠)公債費負担適正化計画 (担当者)財政課長 (目標値10年)当初(H22):457億円 現状:435億円 5年後:423億円 (目標値3年)平成30年度:439億円 平成31年度:433億円 平成32年度:423億円</p> <p>(指標名)実質公債費比率【減少指標】 (定義)実質公債費比率 各年度確定数値(前3ヵ年平均) (根拠)公債費負担適正化計画 (担当者)財政課長 (目標値10年)当初(H22):20.3% 現状:10.5% 5年後:8.0% (目標値3年)平成30年度:8.0% 平成31年度:8.0% 平成32年度:8.0%</p> <p>(指標名)★将来負担比率【6-94】【減少指標】 (定義)標準財政規模に対する一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の割合 (根拠)健全化判断比率 (担当者)財政課長 (目標値10年)当初(H22):-% 現状:70.0% 5年後:65.0% (目標値3年)平成30年度:70% 平成31年度:67% 平成32年度:65%</p>			

平成28年度評価

基本政策	10 健全な行財政運営の確立
施策	30 行政サービスの向上と効率経営
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。
関連課名	総務課、人口増政策課、管財課、財政課、税務課

基本計画	6 自主財源確保のため、市税及び公共料金の収納体制を強化し、収納の向上を図ります。							
主管部課	部名	総務部			課名	税務課		
実施スケジュール	取組内容	H28 (決算額)		H29 (予算額(補正含む))		H30 (予定額)		
	経費(千円)	8,350		8,000		8,000		
指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
収納率 上段:現年分 下段:過年分	目標		98.8 18.0	98.8 18.0	98.8 18.1	98.8 18.2	98.8 18.3	98.8 18.4
	実績	—	98.8 17.9	98.8 17.6				
(指標及びH32目標値の設定理由) 現年分は高い収納率を保ちつつ、過年分の率0.1%/年を伸ばす。		目標数値の達成度	単年度	100%	98%			
			最終年度	97%	96%			
H28取組状況	催告書の送付、一斉徴収、夜間電話催告、分納誓約者の履行状況の監視等の徴収体制強化、事業者訪問等による特別徴収の推進、口座振替推進事業、悪質な滞納者に対する積極的な差押等滞納処分を行いました。また、納付困難者については早い段階で財産調査等を行ったうえで執行停止・不納欠損処理を行い、滞納繰越額の減少に努めました。							
課題と今後の取組	現年徴収率の維持向上を図り滞納繰越額の増加を抑制します。現年滞納者だけでなく過年度滞納者に対しても催告書の送付や電話催告といった大きな労力を要せずとも効果的な徴収を行っていきます。また徴収・滞納処分だけでなく執行停止・不納欠損による滞納繰越額の減額にも力を入れます。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針	
		区分	単年(H28)	最終(H32)				
	②実行中	B:予定より遅延	98%	96%	C:目標を下回っている		②継続	

実施計画	取組内容	H30 (予定額)		H31 (予定額)		H32 (予定額)		
	経費(千円)	8,000		8,000				
変更する内容								
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)収納率 (定義)市税等の収納率 (根拠)各年度収納見込み (担当者)税務課長 (目標値10年)当初(H22):— 現状:98.8%(現年分)、18.0%(過年分) 5年後:98.8%(現年分)、18.4% (目標値3年)平成30年度:98.8%、18.2% 平成31年度:98.8%、18.3% 平成32年度:98.8%、18.4%							

平成28年度評価

基本政策	10 健全な行財政運営の確立
施策	30 行政サービスの向上と効率経営
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。
関連課名	総務課、人口増政策課、管財課、財政課、税務課

基本計画	7 国・県の動向を踏まえ、入札制度について随時見直しを実施し、適正かつ効率的な事務の執行を図ります。								
主管部課	部名	総務部			課名	管財課			
実施スケジュール		H28 (決算額)		H29 (予算額(補正含む))		H30 (予定額)			
	取組内容	社会保険等未加入業者の入札参加排除、入札参加資格登録の更新、最低制限価格の算出式見直し							
	経費(千円)	0							
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
一般競争入札の割合(%)		目標		19.2	21.0	22.0	22.0	22.0	22.0
		実績	—	19.2	21.2				
(指標及びH32目標値の設定理由) 入札制度の改正により一般競争入札割合の3%増を目指す		目標数値の達成度	単年度	100%	101%				
			最終年度	87%	96%				
H28取組状況	入札登録更新に合わせ、社会保険等への加入を必須要件とし、未加入業者の登録を不許可としました。入札におけるダンピング防止を図るため、最低制限価格の算定係数を平成28年度版に更新しました。								
課題と今後の取組	最低制限価格の算出係数については、平成29年3月に再更新されているため、その適用時期について調整を図る必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H28)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	101%	96%	B: 目標を達成		②継続		

実施計画		H30 (予定額)		H31 (予定額)		H32 (予定額)	
	取組内容	事業者への立ち入り調査、指導		同左			
	経費(千円)						
変更する内容							
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)一般競争入札の割合 (定義)全入札件数に占める一般競争入札件数の割合 (根拠)入札実績 (担当者)管財課長 (目標値10年)当初(H22):—% 現状:19.2% 5年後:22.0% (目標値3年)平成30年度:22.0% 平成31年度:22.0% 平成32年度:22.0%						

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
 【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く進行、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。
 【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
 【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価(1次評価)										市民会議意見(2次評価)	
					進捗状況	課名	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	最終とりまとめ		総合評価	課題と今後の取組	総合評価	意見・提案等	
							区分	単年(H28)	最終(H32)			H28取組状況	課題と今後の取組					
1	誰もが学べる学習環境づくり	1	5-88	5	教育委員会	生涯学習課	②	B	93	78	B	②	C 公民館活動の活性化を図り、新たに2小学校区(富合小・宇仁小)で土曜日に教育活動事業等を実施するほか、図書館では学校図書館と連携して学校送迎や読み聞かせの出前講座等を継続しました。 また、文化ホールが9か月間改修中で使用できませんでしたが、各事業の開催方法を見直したり工夫したりすることによって、加西市文化祭の参加人数が増加しました。 学校休業日の教育活動は、さらに新しい校区での実施等を目指すほか、アステシアがさいと連携しながら図書館の来館者増を図ります。また、文化連盟の会員の固定化・高齢化により自律・発展的な活動が困難な状況ですので、より一層の指導・支援が必要となっております。	S:目標を大きく上回って達成 A:目標を上回って達成 B:目標を達成 C:目標を下回っている D:目標を大きく下回っている	2次評価での意見・提案等			
		2		6	生涯学習課	生涯学習課	②	B	83	48	C	②						
		3		7	図書館	図書館	②	B	96	88	C	②						
		4		8	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	S	116	116	B	②						
		5	5-83	9	教育委員会	生涯学習課	②	A	100	100	B	②						
1	主体的な青少年活動	1		11	教育委員会	総合教育センター	②	B	71	50	C	②	各施策に対する自己評価コメント S:目標を大きく上回って達成 A:目標を上回って達成 B:目標を達成 C:目標を下回っている D:目標を大きく下回っている	2次評価による総合評価 S:目標を大きく上回って達成 A:目標を上回って達成 B:目標を達成 C:目標を下回っている D:目標を大きく下回っている				
		2		12	教育委員会	総合教育センター	②	A	100	60	B	②						
1	地域で楽しめる体力づくり	1		13	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	94	93	C	②	各施策に対する自己評価 S:目標を大きく上回って達成 A:目標を上回って達成 B:目標を達成 C:目標を下回っている D:目標を大きく下回っている	2次評価による総合評価 S:目標を大きく上回って達成 A:目標を上回って達成 B:目標を達成 C:目標を下回っている D:目標を大きく下回っている				
		2		14	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	89	74	C	②						
		3		15	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	S	122	98	A	②						
1	出会いを求める若者の応援	1	1-17	17	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	15	15	C	②	各施策に対する自己評価 S:目標を大きく上回って達成 A:目標を上回って達成 B:目標を達成 C:目標を下回っている D:目標を大きく下回っている	2次評価による総合評価 S:目標を大きく上回って達成 A:目標を上回って達成 B:目標を達成 C:目標を下回っている D:目標を大きく下回っている				
		2		18	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	A	100	50	B	④						

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了

【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く進行、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。

【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止

【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価(1次評価)							市民会議意見(2次評価)			
					部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	最終とりまとめ		総合評価	意見・提案等
								区分	単年(H28)	最終(H32)				H28取組状況			
1	誰もが学べる学習環境づくり	1	5-88	5	教育委員会	生涯学習課	②	B	93	78	B	②	B	公民館活動の活性化を図り、新たに2小学校区(富合小・宇仁小)で土曜日に教育活動事業等を実施するほか、図書館では学校図書館と連携して学校貸送や読み聞かせの出前講座等を継続しました。 また、文化ホールが9ヵ月間改修中で使用できませんでしたが、各事業の開催方法を見直したり工夫したりすることによって、加西市文化祭の参加人数が増加しました。	学校休業日の教育活動は、さらに新しい校区での実施等を指すほか、アステアがさいと連携しながら図書館の来館者増を図ります。また、文化連盟の会員の固定化・高齢化により自律・発展的な活動が困難な状況です。より一層の指導・支援が必要となっています。		
		2		6	教育委員会	生涯学習課	②	B	83	48	C	②					
		3		7	教育委員会	図書館	②	B	96	88	C	②					
		4		8	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	S	116	116	B	②					
		5	5-83	9	教育委員会	生涯学習課	②	A	100	100	B	②					
1	主体的な青少年活動	1		11	教育委員会	総合教育センター	②	B	71	50	C	②	C	市外の若者団体との交流や各種イベントに参加するとともに、加西サイサイまつり・成人式等の企画運営に携わるほか、ジュニアリーダー教室等の指導者として参加しました。平成28年度の加西サイサイまつりでは「お花け屋敷大作戦2016」を実施し、約1,000名が来場しました。	青年連絡会の会員数の減少に伴い、参画する事業の数が減少していますので、会員数の増加と事業の活性化を図ります。また、就職等によりジュニアリーダー活動から離れた若者が、再加入できるような継続的な情報提供をするとともに、新規メンバーの獲得のため、広報活動の充実を図ります。		
		2		12	教育委員会	総合教育センター	②	A	100	60	B	②					
1	地域で楽しめる体力づくり	1		13	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	94	93	C	②	B	市民グラウンド防球ネット設置、アラジスタジアム・テニスコート自家用電気工作物修繕、アラジスタジアムカウント掲示板修繕等を実施し、利用者の利便性向上を図りました。また、理太平洋大学による指導者養成講座や各種スポーツ教室を開催し、スポーツ教室では予定よりも多くの方に参加してもらえました。	体育施設の利用率向上を図るため、市内スポーツ団体や指定管理者と連携し、子どもから大人まで、幅広い年代が参加できるスポーツ教室やイベントを開催することや、市民が参加しやすい環境整備を行うとともに、指導者不足を解消するための講習会や研修が必要となっています。		
		2		14	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	89	74	C	②					
		3		15	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	S	122	98	A	②					
1	出会いを求める若者の応援	1	1-17	17	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	15	15	C	②	B	市の単独事業ではなく、官民連携による婚活イベントの実施によって、良質な事業をリスクなく効率的に進めることができました。また、オーグタウンや市内の製造会社での活動を行うことによって加西市の資源を有効活用することができ、加西市のPRを行うことができました。	残念ながら成立カップルが市外在住者ばかりであったため、加西市在住者の参加料金を低額にするなどの対応や新たなアイデアが必要となっています。今後も官民連携によって様々な工夫や取組を行うため、婚活推進に民間活力の導入をさらに進めます。		
		2		18	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	A	100	50	B	④					

【進捗状況】…①未着手、②実行中、③完了
 【目標数値の達成度】…S:予定より早く進行、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。
 【事業の到達度】…S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている
 【今後の方針】…①完了、②継続、③見直し、④廃止
 【総合評価(施策単位)】…S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価(1次評価)										市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	最終とりまとめ		総合評価	意見・提案等	
								区分	単年(H28)	最終(H32)				H28取組状況	課題と今後の取組			
2	5	特色ある教育	1	5-82	19	教育委員会	総合教育センター	②	A	100	33	B	②	B	小中連携の取組の充実を図るため、小中合同研修会、相互授業参観、研修講座等を実施したほか、外国人語学指導助手(ALT)を6名確保し、英語科・外国語活動の充実を図りました。 また、北条高校活性化協議会を実施主体に河合塾や兵庫教育大学の学生を講師としたアフタースクールゼミを受講者の学力に応じたよりきめ細やかな学習支援を行いました。	小中連携による9年間のカリキュラムの検討など、小中連携推進プランに基づく取組を強化するとともに、小学校外国語活動の教科化を見通して、小学校外国語活動に係る教員の指導力向上研修の充実を図ります。また、国公立大学の合格者数の増加を目指すなど、市内普通科高校の生徒確保及び活性化を継続して進めていきます。		
			2		20	教育委員会	学校教育課	②	A	100	86	B	②					
			3		21	教育委員会	教育総務課	②	A	100	44	B	②					
			4		22	教育委員会	学校教育課	②	A	100	100	B	②					
			5		23	教育委員会	学校教育課	②	A	100	80	B	②					
			6	5-86	24	教育委員会	総合教育センター	②	S	110	108	B	②					
			②					A	100	100								
			7	5-85	26	教育委員会	学校教育課	②	A	100	33	B	②					
8	5-87	27	ふるさと創造部	人口増政策課	②	B	97	81	B	②								
2	6	安全安心で潤いのある学校	1	5-84	29	教育委員会	教育総務課	③	A	100	-	B	①	B	西在田小学校の地震改築工事は残りの解体工事が予定通り完了し、各学校施設の改修工事について平成29年度からの改修計画を策定しました。また、単独調理場の統廃合に向けて事業計画を策定し、実施計画・建設工事を行う準備を行いました。	昭和56年以降に建設された建物は改修を行っていないため、老朽化が進んでおり計画的な改修が必要となっています。また、単独調理場施設が、建設より27年経過しており、南部給食センターの早期完成による統合が必要です。		
								③	A	100	-							
								③	A	100	100							
			2		31	教育委員会	教育総務課	②	-	-	-	B	②					
3		32	教育委員会	教育総務課	②	-	-	-	C	②								
2	7	地域に開かれた学校づくり	1	6-93	33	教育委員会	学校教育課	②	A	100	94	B	②	B	各校で地域の方々をゲストティーチャーとして招き、「生きる力」の育成とふるさと意識の醸成に努めました。また、全校でオープンスクール(運動会、音楽会、参観日等含む)を実施して児童生徒のありのままの姿を見ていただいた後、アンケート等で感想をもらうことで、学校改善を図るよう努めました。	地域と連携を深め、学校として希望する内容を指導できる人材の発掘・確保に努めます。また、オープンスクール実施にあたり、地域への周知の方法を工夫するとともに情報発信を積極的に行ううえで、効果的な内容を考えます。		
			2		34	教育委員会	総合教育センター	②	A	100	100	B	②					
			3		35	教育委員会	学校教育課	②	B	91	67	C	②					

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
 【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く進行、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。
 【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
 【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価(1次評価)							市民会議意見(2次評価)			
					部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	最終とりまとめ		総合評価	意見・提案等
								区分	単年(H28)	最終(H32)				H28取組状況	課題と今後の取組		
3	裾野の広い農業の育成	1	4-65	37	地域振興部	農政課	②	A	100	33	B	②	B	裾野の広い農業を育成するため、「かい農業塾」の開催、特産品普及推進、市民農園の整備、新規就農の受け入れ促進、法人化を検討する組織との協議、認定農業者ならびに農業法人による利用集積の加速等を行いました。 また、人口増対策プロジェクトチームにおいて「食と農」に関連する分野等の大学のサテライトキャンパス誘致についての検討を行いました。	各機関と連携して継続した取り組みにするための関係者どうしの結び付き強化やブランド・特産化については、規模拡大と共に品質の均一化が大きな課題となります。また、全国的なPRを行うため、関係機関一丸となった体制づくりや雇用の安定化に向けた指導ノウハウの蓄積及び法人化を推進するための支援策が必要です。		
			3-60				②	S	200	100							
		2	2-46	39	地域振興部	農政課	②	S	150	100	A					②	
			3-62				②	B	92	66	B						
		3	2-47	40	地域振興部	農政課	②	S	250	250						A	②
			2-50				②	S	150	150							
		4	2-49	42	地域振興部	農政課	②	A	100	90	A					②	
			2-50				②	S	550	550							
5		44	地域振興部	農政課	②	B	97	48	C	②							
					45	②	A	100	100		B						
6		46	地域振興部	農政課	②	B	0	0	C	②							
					47	②	-	-	-		C						
3	地域資源を活用した産業振興	1	4-66	49	地域振興部	農政課	②	B	80	60	C	②	B	地域資源を活用した産業振興のため、加西産野菜を使った学校給食の一部採用、商工会議所との連携による地域ビジネス講座の開催、さらにはビジネスタイプの宿泊施設を誘致工事着工しました。 新産業団地については、整備手法等について関係協議、検討地の地元と協議し、箕島町国道37号沿道地区については地権者へのアンケート調査を行いました。また、市内企業の拡張の支援について工業系特別指定区域にて加西市独自基準を策定し、6地区の指定を進め、地区計画制度を活用し、市街地調整区域にて下宮木町南部産業集積地区計画を策定しました。	加西産野菜について、生産量の不足、担い手をどう確保していくかが課題です。また、新規産業団地については、整備手法・スケジュールについて関係協議と協議を続けます。また、地域の理解を得るため、アンケート調査・説明会等を適時開催します。市内企業の拡張の支援として特別指定区域及び地区計画制度を活用した規制緩和を行い、地域の実情に沿った適切な制度の活用を進めます。		
			2				50	②	A	100	100					B	
		3	2-52	51	地域振興部	産業振興課	②	S	101	95	B					②	
			3-57				②	B	81	67	C						
		4		52	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	A	100	76	C					②	
							5	②	A	100							94
		6		54	地域振興部	産業振興課	②	A	100	94	B					②	
							4-67	②	S	101	95						B
7		56	都市整備部	都市計画課	②	B	91	89	B	②							
					2-39	②	-	-	-		B						
8		57	地域振興部	産業振興課	②	-	-	-	B	②							
					4-68	②	A	100	94		B						
9		58	地域振興部	産業振興課	②	A	100	94	B	②							
					3-56	②	A	100	94		B						
3	加西に住んで働ける就労支援	1	2-37	59	地域振興部	産業振興課	②	A	100	94	B	②	B	市内出身者の多い15大学を訪問し、Uターン、Iターンの推進に努めるとともに、ふるさとハローワークを運営し就職の促進を図るほか、女性や社会的弱者に対する相談体制を充実しました。また、出産や子育てのために未就業の女性講座の経費の一部を助成する制度を実施しました。 その他、UJIターナー者の支援としてUJIターナー促進補助金の交付を行うとともに、定住促進や若者主役計画のPRを図るため加西市の活性化ツールとして動画を制作しました。	中小企業の人材確保のため市内企業のPRに努めます。また、産業(工業)団地連絡協議会と連携を図り、新たな定住促進施策を立案していきます。子育て就職支援補助制度の利用を図るため、さらに周知を図り、女性の正規雇用の拡充を推進する企業に対する助成制度等を検討します。UJIターナー促進補助金については、補助金額が年々大きくなっているため、事業の効果検証を行いながら、制度の改正等について検討していく必要があります。		
			2				61	②	B	82						72	C
		3		62	地域振興部	産業振興課	②	S	103	93	B					②	
							2-34	②	B	98							84
		4		64	地域振興部	産業振興課	②	B	0	0	C					②	
							5	②	B	96	72						C
		6		66	地域振興部	産業振興課	②	S	107	92	B					②	
							2-33	②	B	93	39						B
		7		67	ふるさと創造部	人口増政策課	②	B	93	39	B					②	
							2-36	②	A	100	100						B
8		68	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	A	100	100	B	②							
					2-41	②	S	102			46						
9		70	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	20	20	C	②							
					2-42	②	A	100	71		B						
10		71	地域振興部	産業振興課	②	A	100	71	B	②							
					2-45	②	S	155	113		A						
3	加西らしい観光サービス	1	73	教育委員会	生涯学習課	②	S	155	113	A	②	B	住吉神社歴史的建造物群(9件)を市指定文化財に指定し、7件が県指定文化財に指定されました。また、青野原浮城塚遺跡など歴史文化遺産の調査を行いました。 「かさいまちあそび」ではプログラム数が昨年より2つ増えるなど充実を図ったほか、観光拠点のネットワーク化を図るため観光施設のWi-Fiスポットとして五百羅漢、法華山など観光地を中心に設置を完了しました。	平成29年度に「加西市歴史文化構想」を策定し、今後は包括的な文化財の指定を進めていきます。ハイキングとバスツアー助成は好評で今後も継続して行い、加西への訪問者を増やします。そのため、フェイスブックを活用して、タイムリーな情報提供を行います。「かさいまちあそび」では加西市の魅力を発見する新たなプログラムの発掘と体験交流プログラムづくりに取り組む団体の育成を行います。			
			2			74	②	S	270	135					B		
		3		75	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	98	72					A	②	
							3-58	②	S	130							96
		4		77	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	A	100	86					B	②	
							5	②	B	98					80		B
		5		78	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	98	80					B	②	
2-51	②						S	1000	100	S							
6		79	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	S	1000	100	S	②							
					6-92	①	-	-	-		C						
7		80	ふるさと創造部	人口増政策課	①	-	-	-	C	②							
					3-55												

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
 【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く進行、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。
 【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
 【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価(1次評価)										市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	最終とりまとめ		総合評価	意見・提案等	
								区分	単年(H28)	最終(H32)				H28取組状況				課題と今後の取組
4-12	魅力ある中心市街地の形成	1		81	総務部	管財課	②	-	-	-	C	②	B	西高室地区区画整理事業について保留地販売を開始し、販売促進活動等も行って71区画中50区画を販売しました。新たな土地区画整理事業等としては候補地の調査を行うとともに、整備手法等の検討を行いました。 また、市外在住の固定資産税納付通知書の封筒に、空き家バンクに係るPRチラシを同封し制度周知を行いました。	旧消防署跡地については、丸山バイパス改良工事や西高室区画整理事業の動向も見極めながら、売却事務を進めます。東南住宅跡地についても、近隣の開発計画を見ながら売却方法を検討します。 旧庁舎については、ホテル開業による周辺土地利用の需要を考慮し効果的な活用方法を検討します。 空き家調査をすすめ、空き家バンクの登録数を増やしストックの流動化をすすめます。			
		2	1-31	82	都市整備部	都市計画課	②	-	-	-	B	②						
		3		83	都市整備部	都市計画課	②	B	25	25	C	②						
		4	2-40 2-43 2-44	85	地域振興部	産業振興課	②	B	84	84	C	②						
							②	B	0	0								
							②	A	100	20								
							②	B	67	13								
		5	4-77	87	ふるさと創造部	人口増政策課	②	S	120	120	B	②						
		6	1-25	88	都市整備部	都市計画課	②	-	-	-	B	②						
		7-8	1-27	89	ふるさと創造部	人口増政策課	②	S	122	105	A	②						
		9	1-28	90	ふるさと創造部	人口増政策課	②	S	108	72	A	②						
10	4-74	91	ふるさと創造部	人口増政策課	②	-	-	-	B	②								
11	4-78	92	都市整備部	都市計画課	②	B	78	23	B	②								
4-13	周辺地域の定住促進	1	3-63 3-64 4-76	93	ふるさと創造部	人口増政策課	②	B	0	0	B	②	A	空き家・空き店舗の活用に向け、北条旧市街地ビジョンや北条旧市街地リノベーション計画の策定や、若者向けの持ち家促進のため新婚世帯向け家賃補助制度、若者世帯持家補助制度を継続実施しました。 宇仁地区新規居住者の住宅区域の見直しのほか加西インター周辺・鶴野飛行場跡地周辺等について有効な土地活用に向けて取り組みました。要望があった1地区において、地縁者の住宅区域及び地縁者の小規模事業所区域の指定を進め、市ホームページ等で、地縁者の住宅区域や新規居住者の住宅区域、定住促進まちづくり活動助成金制度のPRを行いました。	市内全域での空き家の基礎調査を行った上で、利活用可能な空き家を対象に支援策を検討します。 加西インター周辺の土地利用、鶴野飛行場跡地周辺整備、地縁者住宅区域の見直しを行うための準備を進めるほか、市街化調整区域内の各小学校区における住宅地整備の可能性について調査を行います。			
							②	S	124	62								
							②	B	67	40								
		2		95	都市整備部	都市計画課	②	B	25	10	B	②						
		3	1-26 1-30	96	地域振興部	産業振興課	②	S	190	152	A	②						
							②	S	108	93								
		4	4-75	98	都市整備部	都市計画課	②	-	-	-	B	②						
		5	3-53	99	都市整備部	都市計画課	②	A	100	50	B	②						
		6		100	都市整備部	都市計画課	②	S	158	158	B	②						
7	1-24	101	都市整備部	都市計画課	②	B	58	18	C	②								
8	1-29	102	ふるさと創造部	ふるさと創造課	①	B	0	0	D	④								
9	2-35	103	ふるさと創造部	人口増政策課	②	A	100	100	B	②								
4-14	公共交通網の構築	1・2 6・9	1-1 4-69 4-71	105	ふるさと創造部	人口増政策課	②	S	114	76	B	②	B	コミバスの利用者に対する聞き取り調査を行い、広域的な移動の確保のため利用状況の調査・分析や民間路線バスを支援しました。公共交通のわかりやすい情報提供ツールとして公共交通ガイド「かさいおでかけナビ」を作成し、公共交通の利用促進を図りました。また、運賃軽減に向けた制度設計を行い、H28.11月より高齢者や子育て世帯を対象にコミバス等の運賃を無料化しました。	地域主体型交通の導入に向け、地域への支援体制を整備し、地域公共交通網形成計画を策定し、面的な公共交通ネットワークの構築を図ります。 また、広域幹線バスのフィーダー路線となるコミバスの利用促進や地域主体型交通の導入の推進、市内の施設情報などの充実、老朽化している鉄道施設や安全輸送設備を適切に整備更新していきます。 コミバス利用者の新規開拓として特に子育て世帯への利用促進を行います。			
							②	B	93	89								
		3	1-1 4-71	107	ふるさと創造部	人口増政策課	②	S	114	76	B	②						
		4	1-1 4-69 4-71	108	ふるさと創造部	人口増政策課	②	S	114	76	B	②						
							②	B	93	89								
		5	4-69	110	ふるさと創造部	人口増政策課	②	B	93	89	C	②						
7・8	1-1 4-69 4-71	111	ふるさと創造部	人口増政策課	②	S	114	76	B	②								
					②	B	93	89										
4-15	住みよい住環境	1		113	都市整備部	都市計画課	②	S	116	109	B	②	B	史跡整備については年度別に行う実施設計および整備の国庫補助金の申請を行いました。 都市公園等については市関連事業による民間団体主催の集客イベントを開催、指定管理者を活用した適切な公園管理、施設の経年劣化に対処した修繕の適時実施を行いました。また、道路の整備、橋梁の補修、河川の維持等に取り組みました。	史跡整備基本計画に従い、順次、史跡整備(笹塚古墳・マンジウ古墳)を実施します。 都市公園等については指定管理者と共に、利用者数の更なる増加に向けての取り組みや、遊具等施設の経年劣化に対する迅速な修繕対応を行い、更新についての検討を進めます。道路・河川の整備や橋梁の修繕等を計画的に進めます。			
		2		114	教育委員会	生涯学習課	②	-	-	-	B	②						
		3	4-70	115	都市整備部	土木課	②	B	30	7	C	②						
							②	B	89	18								
		4		117	都市整備部	土木課	②	A	100	96	B	②						
		5		118	都市整備部	土木課	②	S	144	52	A	②						
		6		119	都市整備部	土木課	②	S	167	71	A	②						
7		120	都市整備部	土木課	②	A	100	20	B	②								

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
 【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く進行、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。
 【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
 【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	自己評価(1次評価)			市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名		区分	単年(H28)	最終(H32)			総合評価	最終とりまとめ		総合評価	意見・提案等
														H28取組状況	課題と今後の取組		
5 16	社会参加を通した生きがいづくり	1		121	教育委員会	生涯学習課	②	S	113	107	A	②	A	公民館における高齢者講座について、魅力ある講座の開催や情報提供を行った結果、受講者数が増加しました。運営委員会の自主運営で事業を実施するなど、高齢者講座の活性化が進んでいます。高齢者についてはシルバー人材センターへの活動助成、介護予防リーダー養成講座や生活支援・介護サポーター養成講座の実施等を通して、また障がい者については障がい者サロン事業への助成、就労支援員との連携による就労支援・定着支援を通して、高齢者や障がい者の社会参加や生きがいづくりの支援に取り組みました。	高齢者の知識や技能を活かし、社会参加や地域貢献の一助となる講座を開催し、学習や仲間づくりに終始しない学級運営を目指します。課題として、高齢者講座のボランティアの確保が難しくなっている現状があります。シルバー人材センターの新規会員獲得のための事業展開が課題です。また、障がい者サロンに参加する団体の増加等を図るとともに、障がい者等の雇用のため就労支援員による事業者や関係機関等との連携をさらに深めながら支援を行っていきます。		
		2		122	健康福祉部	長寿介護課	②	B	92	79	B	②					
		3		123	健康福祉部	長寿介護課	②	B	83	62	B	②					
		4		124	健康福祉部	地域福祉課	②	S	156	143	S	②					
		5		125	健康福祉部	地域福祉課	②	B	96	73	B	②					
		6	3-61	126	ふるさと創造部	人口増政策課	②	-	-	-	B	②					
5 17	こころとからだの健康づくり	1	5-80	127	健康福祉部	健康課 国保医療課	②	B	93	76	B	②	B	がん検診の受診啓発を行うとともに4か月健診・3歳児健診時における予防接種状況を把握し新たな助成制度や方法の検討を行います。平成29年度は第二次食育推進計画を策定し食育の推進に取り組みます。不妊治療助成について回数制限撤廃を周知し利用促進を進めます。また、運動ポイント事業については実施期間外や事業終了後も継続できるように取り組みやすい環境整備を図り、自主的な健康づくりの習慣化を目指します。			
							②	S	118	102							
							②	S	-	66							
		2	1-2	129	健康福祉部	健康課	②	-	-	-	C	②					
							②	A	-	-	B						
		3		130	健康福祉部	健康課	②	B	96	87	②						
							②	B	96	87							
		4		132	健康福祉部	健康課 国保医療課	②	S	112	104	A	②					
							②	S	106	88	A						
5		133	健康福祉部	健康課	②	S	106	88	A	②							
					②	S	106	88	A								
6		134	健康福祉部	健康課	②	S	75	90	A	②							
					②	-	-	-	B		②						
7		135	健康福祉部	健康課	②	-	-	-		②							
					②	B	98	80									
8	1-19	137	健康福祉部	健康課	②	B	83	67	C	②							
					②	A	100	50	B								
9	5-79	138	健康福祉部	健康課	②	A	100	50	B	②							
					②	A	100	50	B								
5 18	地域医療体制の充実	1		139	加西病院		②	B	44	31	C	B	循環器内科の開業医・救急向けホットラインを開設し、急変した患者さんの早期受け入れを促進しました。地域医療市民フォーラムでは基調講演の後、パネルディスカッションを行うなど、信頼される病院づくりに努めました。また、地域包括ケア推進部会を立ち上げ、保健・医療・福祉・介護等が包括的に提供される体制構築に向けて検討を行うとともに、地域医療市民フォーラムを開催し地域医療の現状や課題の共有を図りました。また、加西市医師会による休日診療、加西市歯科医師会による年末年始の休日歯科診療を実施しました。	医師の減少により入院患者数が減少しており、医師の確保に今後とも努力してゆく必要があります。それに加えて、診療所との連携をより深めて患者受け入れを促進する必要があります。また、医療や介護が必要となっても安心して地域で生活できる仕組みを構築するため、引き続き地域包括ケアシステム部会において医療と介護の連携のあり方について協議し、施策の具体化を図っていきます。産婦人科医療等の開設については市立加西病院産婦人科の医師確保及び利用状況並びに今後の出生者数の動向等を踏まえ、民間の産婦人科医療等の開設の必要性及び費用対効果等を念頭に置きつつ検討を進める必要があります。			
		2		140	加西病院		②	B	92	82	C						
		3		141	健康福祉部	健康課 福祉企画課	②	A	100	91	B						②
		4		142	健康福祉部	福祉企画課 健康課 長寿介護課	②	B	32	26	C						②
		5		143	健康福祉部	健康課	②	A	100	100	B						②
		6	1-4	144	ふるさと創造部	人口増政策課	②	-	-	-	B						②

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
 【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く達成、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。
 【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
 【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価(1次評価)										市民会議意見(2次評価)		
					部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	最終とりまとめ		総合評価	意見・提案等		
								区分	単年(H28)	最終(H32)				H28取組状況	課題と今後の取組				
6-19	地域で支え合う安心の暮らし	1		145	健康福祉部	長寿介護課 地域福祉課	②	S	105	91		B	②	B	高齢者には、地域資源の発掘と地域サービスの創出をコーディネートする生活支援コーディネーターを配置し、地域団体や事業所による協議体を設置しました。障がい者には、地域活動支援センターへの助成やグループホーム整備への補助金を創設し施設整備をすすめました。また、配食サービスや移送サービスを実施するとともに、介護予防リーダー養成講座を7回、あったか声かけ作戦を11回実施し介護予防の普及啓発や認知症理解に努めました。	地域ケア会議のモデル地区を立ち上げ、地域の实情にあった地域包括ケアシステムを構築することが課題であり、生活支援コーディネーターや協議体による資源発掘とサービス開発をコーディネートしていきます。配食サービスについては多様な民間サービスの提供も考えます。また、移送サービスでは利用が低減傾向にあり公共交通施策を含めた総合的な移動サービスの検討をしていきます。			
					健康福祉部	長寿介護課	②	B	76	76	B	②							
		2		147	健康福祉部	長寿介護課	②	B	79	79	C	③							
		3		148	健康福祉部	長寿介護課 地域福祉課	②	B	89	60	B	②							
		4		149	健康福祉部	長寿介護課	②	B	0	0	C	②							
		5	5-81	150	健康福祉部	長寿介護課	②	A	100	100	B	②							
6-20	防犯・防災のまちづくり	1		153	総務部	危機管理課	②	B	97	91	B	②	B	防災対策については自主防災組織の育成に取り組んだほか、防犯対策では、子どもの安全を確保する取組として、登下校時の防犯パトロールを行うとともに、防犯カメラ、防犯灯の設置を強化しました。	自主防災訓練を実施する自主防災組織が固定化している為、実施していない地域への普及啓発を行います。また、地元とも連携し、老朽危険空き家における事故を未然に防ぐことに努めます。				
					2		5-89	154	総務部	危機管理課	②	B						84	52
		2				156	総務部	危機管理課	②	S	103	93						A	②
		3		156	総務部	危機管理課	②	A	100	100	B	②							
		4		157	総務部	危機管理課	②	A	100	100	B	②							
		5		158	総務部	危機管理課	②	A	100	100	B	②							
		6		159	総務部	危機管理課	②	S	147	44	A	②							
6-21	安心できる子育て支援	1	1-6	161	教育委員会	こども未来課	②	B	83	100	C	②	B	児童保育専用棟を富合小に整備し、指導員の確保・充実を図るための指導や新人研修への参加機会を拡充しました。加西こども園の整備を実施し、平成30年4月の北条地区こども園開設に向け、仮設園舎の整備に着手しました。4・5歳児の保育料無料化を継続で実施しました。子育て支援については、すくすく相談窓口を開設し、妊娠からの支援に努めるとともに、市内4機関に委託し産後ケア事業を開始し支援の必要な方へ利用を奨励しました。また、児童虐待防止の啓発リーフレットや相談窓口啓発カードの配布、ファミサポたよりの発行など事業の周知を行いました。中学3年生までの医療費自己負担無料化は継続して実施しています。新たなひとり親家庭支援に向けてニーズ調査を実施しました。	児童保育の利用者が増加し、定員に空きがないため、教室と指導員の確保が課題です。泉中学校区におけるこども園整備は、地域事情など、慎重に協議を進める必要があります。保育料の無料化について、対象年齢を引き下げると、利用者数増加が見込まれるため、設備や保育士の確保が課題です。ひとり親家庭の支援については、ニーズ調査を踏まえ具体的な事業の整備を行っていきます。水道基本料金の減免については加西市における多子世帯の状況を踏まえ、第3子以降が適当なのか、第2子以降が適当なのか等を考慮しながら、制度の見直しや減免の範囲等について検討する必要があります。				
		2	1-20	162	健康福祉部	健康課	②	S	124	121	A	②							
		3	1-6	163	教育委員会	こども未来課	②	B	83	100	C	②							
		4		164	健康福祉部	地域福祉課	②	B	90	45	C	②							
		5	1-23	165	教育委員会	こども未来課	②	B	97	97	B	②							
		6	1-22	166	教育委員会	こども未来課	②	A	100	71	B	②							
		7	1-12	167	教育委員会 (ふるさと創造部)	こども未来課 (人口増政策課)	②	A	100	100		B						②	
		②→①	-				-	-											
		8	1-13	169	教育委員会	こども未来課	②	S	119	95	A	②							
		9	1-21	170	健康福祉部	地域福祉課	②	A	100	94	B	②							
		10	1-18	171	健康福祉部	国保医療課	②	S	101	99	B	②							
		11	1-3	172	健康福祉部	健康課	③→②	S	557	167	S	②							
		12	1-5	173	健康福祉部	地域福祉課	②	-	-	-	B	②							
		13	1-8	174	地域振興部	産業振興課	①	-	-	-	B	②							
		14	1-9	175	健康福祉部	地域福祉課	②	B	0	0	C	②							
		15	1-10	176	ふるさと創造部	人口増政策課	②	-	-	-	C	②							
		16	1-11	177	教育委員会	こども未来課	①	-	-	-	C	③							
		17	1-14	178	教育委員会	こども未来課	②	S	455	91	A	②							
		18	1-15	179	ふるさと創造部	人口増政策課	②	S	106	89	A	②							
19	1-16	180	ふるさと創造部	人口増政策課	②	B	90	75	C	②									

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
 【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く進行、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。
 【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
 【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価(1次評価)										市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	最終とりまとめ		総合評価	意見・提案等	
								区分	単年(H28)	最終(H32)				H28取組状況	課題と今後の取組			
7	22 自然と共生する里地里山づくり	1		181	地域振興部	農政課	②	B	90	90	C	②	C	自然と共生する里地里山づくりのため、企業による森づくり活動を開始しました。3池の実施設計と2池の改修工事着工、獣害防護柵を15町に渡って設置、特定外来生物を285匹駆除、耕作放棄地解消活動を行いました。 あびき湿原保存会に市・県が補助を行い、保存会が第1湿原の周囲に延長300m防護柵の設置、第2湿原、第3湿原の周囲(約7,500㎡)の低中高木の間伐等を実施しました。夏休みに「環境ものづくりと昆虫を学ぶバスツアー」を実施しました。(54名参加)	地元が主体となった里山整備の推進を図るとともに、ため池一斉点検において要改修の結果が出ている箇所を計画的に改修します。獣害防止柵の設置推進、維持管理及び狩猟者の世代交代が課題であり、果樹就農希望者による耕作放棄地の再整備を検討します。 あびき湿原は保全・活用体制が整備され、全国的に高評価を得ており、バイオマストイレの整備、市・県天然記念物指定に向けて取り組んでいます。他の自然資源も保全・活用する仕組みが必要です。			
		2		182	地域振興部	農政課	②→③	A	100	100	B	②						
		3		183	生活環境部	環境課	②	A	100	100	B	②						
		4		184	地域振興部	農政課	②	B	50	13	C	②						
		5		185	地域振興部	農政課	②	S	74	89	A	②						
		6		186	地域振興部	農政課	②	B	110	138	C	②						
7	23 加西の風土を活かした景観づくり	1		187	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	A	100	60	B	②	B	花咲くまちづくりを推進するため、フラワーセンター、播磨農高での育苗を行い、公共施設、老人会花壇等に配布を行うことで、花咲くまちづくりに努め、育苗作業に取り組むボランティアの募集、育成に努めました。 また景観との調和に努めるため、違反広告物パトロールを北条地区合同で行うほか、開発調整条例に基づく、適正な土地利用の推進のため、開発事業の事前調整を図ることで、周辺住民とのトラブル防止に努めました。	花咲くまちづくりを応援する、花と緑の協会の会員数の増加施策について検討します。資材等の高騰のなか、花の配布数の確保に努めます。 屋外広告物については、未申請となることも多いため、建築確認申請等の情報により申請の漏れを減らすとともに増加に違反広告物の指導に努めます。 開発調整条例に基づく、適正な土地利用の促進について継続して事前調整と適切な指導を継続します。			
		2	6-92	188	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	87	72	C	②						
		3		189	都市整備部	都市計画課	②	B	97	69	B	②						
		4		190	都市整備部	都市計画課	②	S	127	127	B	②						
		5		191	都市整備部	都市計画課	②	A	100	100	B	②						

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
 【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く進行、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。
 【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
 【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	自己評価(1次評価)		最終とりまとめ		市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名		区分	単年(H28)	最終(H32)			総合評価	H28取組状況	課題と今後の取組	総合評価	意見・提案等	
																		H28取組状況
8	省エネ・蓄エネ・創エネの推進	1	193	生活環境部	環境課	②	S	95	99	S	②	A	デマンド監視システムを運用し、庁舎電力負荷が上がらないように努めました。 住宅用太陽光発電システム設置補助金、電気自動車導入補助金事業を実施し、創エネ・蓄エネの取組みを支援しました。また、大規模太陽光発電施設の設置について、事業者に指導、助言を行い、地域の住環境に配慮した創エネの導入に努めるほか、グリーンハウス建築促進補助金を実施しました。	市庁舎の電気使用量について、取組みを継続していきます。 地域の住環境に配慮した大規模太陽光発電施設の導入が進むよう、新たなルール作りが必要となっており、H29年度は新たに蓄エネ設備である蓄電池も補助対象に加え、民生部門における創エネ・蓄エネを推進します。 民間による取組への助成、融資のため、グリーンハウス建築促進補助金の受付業務を継続して行います。				
		2	194	都市整備部	都市計画課	②	B	89	89	C	②							
		3	195	生活環境部	環境課	②	S	115	84	S	②							
8	水環境のまちづくり	1	197	生活環境部	上下水道課	②	A	100	97	B	③	B	5地区 L=1.96kmの配水管布設替、2地区 L=1.24kmの配水管布設を実施しました。水処理率が90%に達していない町の未接続家庭への戸別訪問を7月及び11月に実施するとともにミコプラ(加西北部地区)、農集(芥田地区)統合事業 工事を実施しました。市川町との受水費交渉を行い、責任水量を4,100㎥/日から100㎥引下げ、4,000㎥/日とすることで合意しました。 また、歩道整備に伴い、透水性舗装整備に取り組みました。	H28年度に見直した更新計画をH32年度以降に再度更新計画を見直します。合併浄化槽設置家庭の下水道接続が進み、いことから、合併浄化槽設置家庭には、水道メーターの検針時に水処理促進補助金制度のお知らせと下水道接続のお願いのチラシを配布するとともに、戸別訪問を継続します。 生活排水処理計画に基づき、統廃合事業を実施します。市川町とは受水状況を見ながら協議することとなっていることから、引き続き交渉を継続します。 公道の透水性舗装について今後計画的に整備を進めてまいります。				
		2	198	生活環境部	上下水道管理課	②	S	101	97	A	②							
		3	199	生活環境部	上下水道課	②	A	100	33	B	②							
		4	200	生活環境部	上下水道管理課	②	S	98	99	S	②							
		5	201	都市整備部	土木課	②	B	82	21	C	②							
8	ゴミ減量と資源リサイクルの推進	1	203	生活環境部	環境課	②	A	100	90	B	②	B	播磨風土記をデザインしたマイバック(エコバック)を作成・配布し、消費者側からのレジ袋削減に取組みました。平成28年度はマイバック(エコバック)600枚を補充作成(配布実績398枚)しました。 家庭用の廃食用油の回収量は、H28年度10,768L、19,887円でした。「自作プロジェクト」は、市内間伐ボランティアや市内福祉法人と協力し、10の間伐材が新に加工されました。「いかや焼プロジェクト」では、放置竹林整備のため、樹木粉砕機を貸出しました(10回体)。 要綱改正後の「資源物1kgあたり1円」及び「売り払い金額が5円未満の場合は、5円との差額」を回収量に応じて交付し事業の促進を図りました。	新規出店の量販店への協力依頼の実施とマイバック(エコバック)を利用してもらう習慣の啓発を併せて行います。3Rの啓発に努めます。廃食用油の回収は市民に浸透しており、継続していますが、食用油利用の減少が想定される中、いかに回収量を増やしていくかが課題です。市内全域に無料回収BOXが設置され、美バース事業での回収量が年々減少傾向で、リサイクル率が下がる要因にもなっています。引き続き啓発に努め、地域のごみ減量とリサイクルの推進を図ります。				
		2	204	生活環境部	環境課	②	A	100	102	B	②							
		②	B	90	86	B	②											
		3	206	生活環境部	環境課	②	B	81	74	C	②							
8	環境学習の推進	1	209	教育委員会	生涯学習課	②	B	72	37	C	②	B	公民館において、こどもや高齢者を対象とした環境学習講座を実施し、また、地域と連携し、「あびき湿原レンジャー養成講座」を開催しました。小・中学校で、校区の特性を生かした希少生物調査活動などの環境体験学習等を実施するほか、教員対象の環境学習を実施しました。 エコアクション21自治体イニシアティブプログラムが、平成28年度から広域実施となり、取組内容を変更し、事業者が環境経営システムの認証を受けるための問い合わせ等の助言を行っています。代替となる新たな普及啓発の方法を検討する必要があります。	公民館以外の施設や地域と連携した環境講座を引き続き開催します。小・中学校9年間を見通した環境学習の実施や各校区の色を踏まえたカリキュラム整備などが必要です。各校区での体験を伴う新たな学習教材や人材発掘に努めていきます。 環境経営システムは、認証取得に数十万円から百数十万円の費用がかかるため、取り組める事業者が限られます。更新しない事業者が増えているため、少ない費用負担で環境に配慮した経営を継続できる仕組みの検討が必要となっています。				
		2	210	教育委員会	生涯学習課	②	S	151	127	A	②							
		3	211	教育委員会	学校教育課	②	A	100	100	B	②							
		4	212	生活環境部	環境課	②	B	87	87	C	②							
		5	213	教育委員会	学校教育課 総合教育センター	②	A	100	40	B	②							

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
 【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く進行、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。
 【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
 【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価(1次評価)							市民会議意見(2次評価)			
					部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	最終とりまとめ		総合評価	意見・提案等
								区分	単年(H28)	最終(H32)				H28取組状況	課題と今後の取組		
9 28	情報公開と住民自治のまちづくり	1	6-91	215	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	A	100	50	B	②	C	地域おこし協力隊を2名採用し、地域住民とともに地域課題に取り組み市内外の若い世代へ刺激を与えています。市内11小学校区で「加西ふるさと春ミーティング2016」を実施しました。	市の単独事業であり、他市町の国の支援がある地域おこし協力隊と比べて予算が少ないため、地域おこし協力隊の人材確保が困難となっています。また、ふるさと創造会議の取組は、地域差があり課題です。		
							②	A	100	67							
		2	6-90	217	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	A	100	57	C	②					
							②	B	50	17							
		3		219	ふるさと創造部	ふるさと創造課	①	B	0	0	D	③					
		4	4-73	220	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	A	100	82	B	②					
5		221	ふるさと創造部	秘書課	③	A	100	100	B	②							
6	4-72	222	ふるさと創造部	ふるさと創造課	①	B	0	0	D	②							
9 29	自己実現と共生のまちづくり	1		223	ふるさと創造部	ふるさと創造課	①	B	48	40	C	③	C	若者の起業支援・商業誘致、女性創業者の育成を継続して行いました。国際交流としては、外国人親子のための学習サポート教室を実施しました。人権意識向上のため、各種学習会等を開催しました。	外国人親子への学習サポートや支援者の増員と研修を充実させる必要があります。人権学習会では、参加者が自治会の役員に固定化されてしまう傾向が強いため、見直しが必要です。		
		2		224	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	39	26	C	③					
		3		225	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	67	40	C	②					
		4		226	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	91	60	C	②					
		5		227	ふるさと創造部	人権推進課	②	S	146	126	A	②					

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
 【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く進行、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。
 【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
 【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本 政策	施策	枝 番	戦略 アク ション プラン	個票 ページ	主管部課		進捗 状況	目標数値の達成度			事業の 到達度	今後の 方針	自己評価(1次評価)		市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名		区分	単年 (H28)	最終 (H32)			最終とりまとめ		総合 評価	意見・提案等
													H28取組状況	課題と今後の取組		
10 30	行政サービスの向上と効率経営	1		229	総務部	総務課	②	A	100	102	B	②	B	第5次総合計画及び地域創生戦略の評価検証を行うため、地域の産学官金労若老若女の有識者による加西市元気なまちづくり市民会議を設置し、計3回の会議を開催しました。定住自立圏においても、北播磨広域定住自立圏共生ビジョン懇談会にて外部委員による評価検証やKPI(成果指標)を設定し、効率的かつ透明性の高い行財政運営の構築に努めました。 また、前年度の決算を踏まえ、行財政改革プランのこれまでの財政再建と今後の財政見通しの見直しを行い、平成29～31年度の実施計画を策定しました。	加西市元気なまちづくり市民会議においては、平成29年度は回数を増やし部会での評価検証を充実させ、実りある市民会議の運営に取り組めます。 また、少子高齢化が進む中、社会保障、子育て支援等の多様化する住民ニーズに対応した産出の重点化・効率化に取り組み、最終年度において標準財政規模の2割程度の基金を維持することで、持続可能な財政運営をめざします。	
		2		230	総務部	総務課	②	A	100	67	B	②				
		3・8	6-95	231	ふるさと創造部	人口増政策課	②	A	100	93	B	②				
		4		232	総務部	管財課	②	-	-	-	B	②				
		5	6-94	233	総務部	財政課	②	B	91	88	B	②				
							②	S	97	100						
							②	-	-	-						
					②	-	-	-								
6		235	総務部	税務課	②	B	98	96	C	②						
7		236	総務部	管財課	②	S	101	96	B	②						